
高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画（第 8 期）
策定のためのアンケート調査結果報告書

令和 2 年 3 月

目次

第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 配布件数及び有効回答件数・回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 回答者の属性	2
(2) 回答の記入者	3
3. 家族や生活状況について	4
(1) 家族構成	4
(2) 暮らし・住まいの状況	5
4. からだを動かすことについて	11
(1) 運動・転倒の状況	11
(2) 外出の状況	16
5. 食べることについて	24
(1) 口腔	24
(2) 栄養	31
6. 毎日の生活について	35
(1) 物忘れの状況	35
(2) IADL の状況	39
(3) 社会との関わり	44
(4) 趣味・生きがいについて	52
7. 地域での活動について	54
(1) 地域活動への参加の状況	54
(2) 地域活動づくりへの参加意向	62
8. たすけあいについて	65
(1) 周囲との相互の関係	65
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	71
(3) 友人・知人との関係性	73

9. 健康について	77
(1) 健康状態	77
(2) 飲酒・喫煙	81
(3) 病気の状況	83
(4) かかりつけ医	85
10. 相談窓口・支援について	86
(1) 認知症の症状の有無	86
(2) 認知症の相談窓口の周知状況	87
(3) 地域の認知症の高齢者への理解度	88
(4) 認知症への不安	89
(5) 認知症カフェの利用意向	90
(6) 自身や家族が認知症になったときあればよい支援	91
(7) 高砂市地域包括支援センターについて	93
11. 地域について	95
(1) 地域での在宅生活の継続しやすさ	95
(2) 近所の人に手助けをしてもらいたいこと	96
(3) 近所の人困っている時に支援できること	98
12. 介護保険について	100
(1) 介護保険サービスについて	100
(2) 保険料と介護サービスの充実の関係	105
13. 将来について	106
(1) 自然災害時の避難所などへの避難方法	106
(2) 高砂市に充実を希望する高齢者施策	108
(3) 将来希望する生活	110
(4) 将来希望する生活について話し合いをしたこと	112
14. 調査結果にみる現状と課題	113
(1) 回答者の属性・住まいの状況	113
(2) 介護の状況	113
(3) 運動・外出について	113
(4) 口腔・栄養について	114
(5) 日常生活について	114
(6) 社会参加について	114
(7) 健康について	115
(8) 地域づくりについて	115
(9) 在宅生活の継続について	115

第2章 在宅介護実態調査

1. 調査概要	117
(1) 調査目的	117
(2) 調査の実施について	117
(3) 配布件数及び有効回答件数・回答率	117
(4) 留意点	117
2. 回答者の属性	118
(1) 回答者の属性	118
(2) 回答の記入者	119
(3) 世帯類型	119
(4) 現在抱えている傷病	120
3. 親族による介護	121
(1) 介護の頻度	121
(2) 主な介護者の属性	122
(3) 介護の内容	124
(4) 介護離職	126
4. 支援・サービス	131
(1) 介護保険サービス	131
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス	133
(3) 在宅生活に必要な支援・サービス	134
(4) 施設等への入所・入居の検討状況	135
(5) 訪問診療の利用状況	135
5. 調査結果と認定データを使用した個別クロス	136
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	136
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	144
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	149
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	155
(5) 医療依存度の高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	158
(6) その他	162
6. 調査結果にみる現状と課題	164
(1) 在宅生活の継続を考えている人	164
(2) 介護者が不安に感じる介護とサービス利用の関係	164
(3) 主な介護者の就労状況と今後の就労継続見込み	164
(4) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	165
(5) 在宅生活における医療ニーズへの対応	165

第3章 事業所調査

1. 調査概要	167
(1) 調査目的	167
(2) 調査の実施について	167
(3) 配布件数及び有効回答件数・回答率	167
(4) 留意点	167
2. すべての事業者に対する設問	168
(1) 今後のサービス展開の意向	168
(2) 高砂市に不足しているサービス	170
(3) 介護人材について	174
(4) 周囲との連携	180
(5) 認知症施策について	191
3. 訪問介護事業所・訪問看護事業所に対する設問	192
(1) 従事者の安全確保	192

第4章 ケアマネジャー調査

1. 調査概要	197
(1) 調査目的	197
(2) 調査の実施について	197
(3) 配布件数及び有効回答件数・回答率	197
(4) 留意点	197
2. 回答者について	198
(1) 回答者の属性	198
(2) 担当しているケアプランについて	202
3. 業務について	205
(1) わからないことや困ったこと	205
(2) ケアマネジャーとしての考え	206
(3) 利用者や家族からの苦情について	208
4. 高砂市のサービスについて	209
(1) 不足している介護保険サービス	209
(2) サービスの利用希望と充実の必要性	210
(3) インフォーマルなサービスの利用	219
(4) 施設への入居希望	225

5. 周囲との連携	232
(1) 地域包括支援センターとの連携状況	232
(2) 多様な関係者との連携状況	237
(3) 医療との連携において必要なこと	240
6. ケアマネジャーとして感じること	241

資料編 アンケート調査票

第 1 章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、計画期間が令和3年度から令和5年度までの「高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画（第8期）」の策定にあたり、日ごろの生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を調査し、計画策定における基礎的な資料を作成するために実施しました。

(2) 調査の実施について

調査名	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
対象者	高砂市内にお住まいの高齢者 3,800 人（65 歳以上の方で介護認定を受けていない方と要支援 1・2の方を無作為に抽出。）
実施期間	令和2年1月31日（金）～令和2年2月21日（金）
実施方法	郵送配布、郵送回収（回収率向上のための礼状兼督促はがきも郵送）

(3) 配布件数及び有効回答件数・回答率

	配布数	有効回答数	有効回答率
全体	3,800 件	3,007 件	79.1%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を指します。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. 各種リスク判定の「非該当」には判定不能の場合も含まれます。

2. 回答者の属性

(1) 回答者の属性

<u>性別</u>	男性	45.0%
	女性	55.0%
<u>年齢</u>	65～69 歳	26.3%
	70～74 歳	31.8%
	75～79 歳	21.8%
	80～84 歳	13.2%
	85 歳以上	6.9%
<u>性別・年齢</u>	男性 前期高齢者	27.2%
	後期高齢者	17.8%
	女性 前期高齢者	30.9%
	後期高齢者	24.1%
<u>行政区</u>	高砂	13.4%
	荒井	13.3%
	伊保	12.9%
	中筋	9.4%
	曾根	13.2%
	米田	13.1%
	阿弥陀	13.8%
	北浜	10.8%
<u>認定該当状況</u>	一般高齢者	91.3%
	総合事業対象者	0.4%
	要支援 1	4.4%
	要支援 2	3.9%
	(要支援 1・2)	(8.3%)

(2) 回答の記入者

単位：％

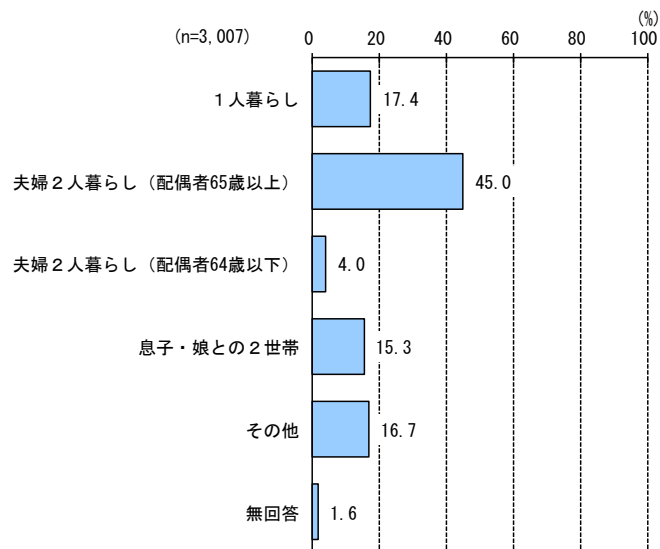
		母数 (n)	記入者					
			あて 名のご 本人	主 な 家 族・ 親 族	主 な 介 護 者 と な っ て い る	主 な 介 護 者 以 外 の	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	調 査 対 象 者 の
全体		3,007	84.8	3.4	0.6	0.1	0.4	10.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	87.0	1.8	0.9	－	0.7	9.5
	後期高齢者	536	76.5	6.3	0.7	－	0.6	15.9
	女性 前期高齢者	930	90.4	1.2	0.1	－	0.1	8.2
	後期高齢者	724	81.2	5.9	1.0	0.3	0.4	11.2
行政区	高砂	404	85.1	4.7	0.5	0.2	0.2	9.2
	荒井	399	85.2	3.0	0.5	－	0.3	11.0
	伊保	389	83.5	4.1	1.0	－	0.5	10.8
	中筋	284	78.9	3.5	0.7	－	1.8	15.1
	曾根	396	84.6	3.3	1.5	－	0.3	10.4
	米田	395	86.8	3.0	0.3	0.3	－	9.6
	阿弥陀	416	85.3	3.4	0.2	－	0.2	10.8
	北浜	324	87.7	2.2	0.3	－	0.6	9.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	86.1	2.3	0.6	0.0	0.4	10.5
	総合事業対象者	12	83.3	－	－	－	8.3	8.3
	要支援１・２	249	70.3	16.5	0.8	0.4	－	12.0

3. 家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問 1.1 家族構成を教えてください。(1つだけ)

- 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が45.0%で最も多く、「1人暮らし」が17.4%、「息子・娘との2世帯」が15.3%となっています。
- 「1人暮らし」「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」を合わせた“高齢者のみ世帯”は62.4%となっています。



単位：％

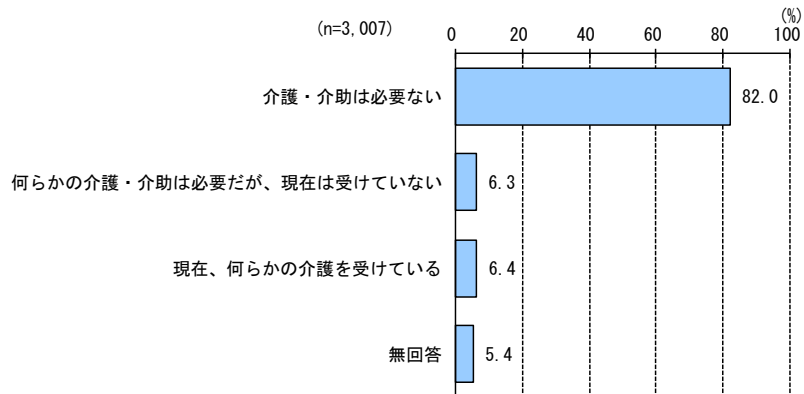
		母数 (n)	家族構成					
			1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		3,007	17.4	45.0	4.0	15.3	16.7	1.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	12.1	44.1	11.6	13.0	18.5	0.7
	後期高齢者	536	12.5	56.7	2.1	15.1	11.4	2.2
	女性 前期高齢者	930	16.0	50.8	1.0	12.3	18.7	1.3
	後期高齢者	724	28.9	29.8	0.8	21.8	16.0	2.6
行政区	高砂	404	19.1	46.0	4.0	12.1	16.8	2.0
	荒井	399	16.5	42.6	5.0	16.0	17.8	2.0
	伊保	389	15.9	46.0	3.1	18.0	15.9	1.0
	中筋	284	18.7	44.0	2.8	15.1	17.3	2.1
	曾根	396	15.9	44.7	4.8	14.6	18.9	1.0
	米田	395	26.6	39.7	2.8	13.2	15.9	1.8
	阿弥陀	416	11.5	48.3	5.5	17.3	15.6	1.7
	北浜	324	15.4	48.5	3.7	15.7	15.1	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	15.6	46.6	4.3	14.8	17.0	1.6
	総合事業対象者	12	33.3	41.7	－	－	25.0	－
	要支援1・2	249	36.5	26.5	1.2	21.3	12.9	1.6

(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

●問 1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つだけ）

○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が82.0%で最も多く、「現在、何らかの介護を受けている」が6.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%となっており、何らかの介護が必要な方が12.7%となっています。

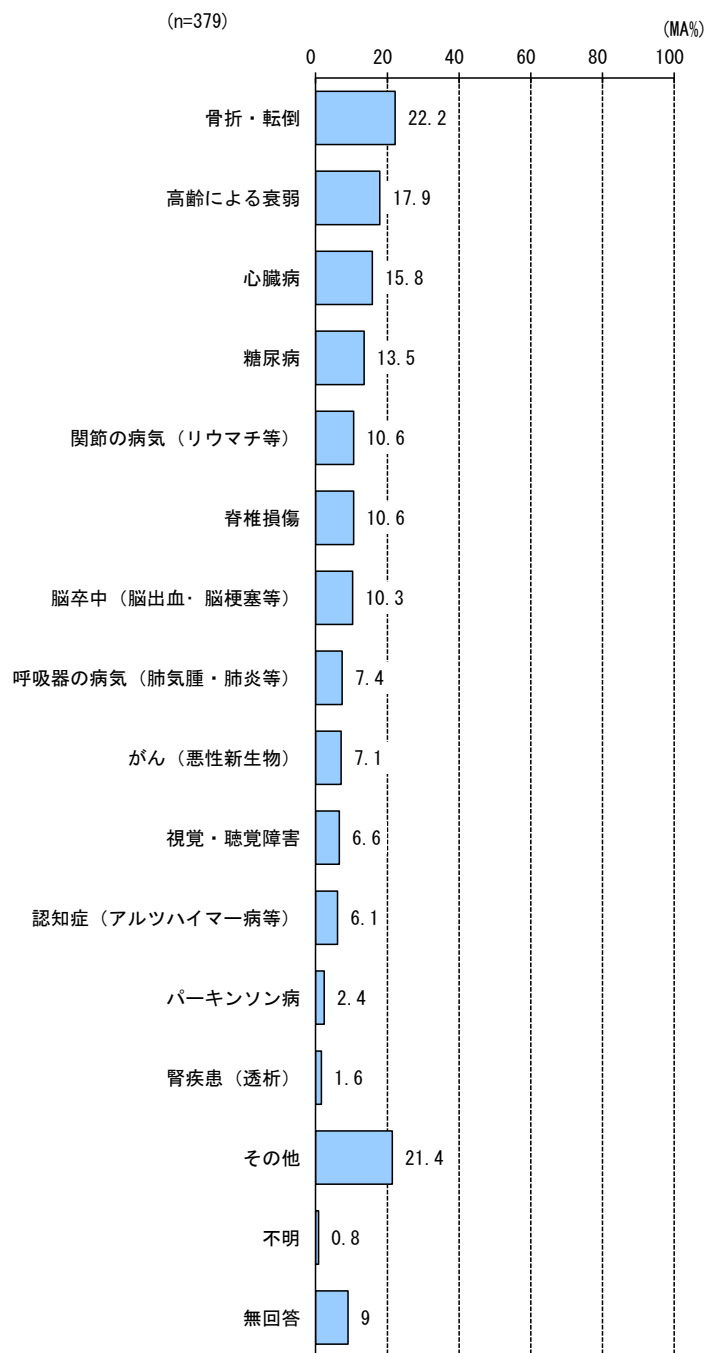


単位：%

		母数 (n)	介護・介助の必要性			
			介護・介助は必要ない	現在、何らかの介護・介助は必要だが、 現在では受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体		3,007	82.0	6.3	6.4	5.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	91.7	3.3	2.3	2.7
	後期高齢者	536	75.2	9.7	8.2	6.9
	女性 前期高齢者	930	90.2	3.0	2.8	4.0
	後期高齢者	724	65.6	11.2	14.1	9.1
行政区	高砂	404	78.7	6.7	8.7	5.9
	荒井	399	83.5	4.0	6.5	6.0
	伊保	389	82.5	6.4	6.4	4.6
	中筋	284	81.0	7.0	6.7	5.3
	曾根	396	82.1	6.8	6.6	4.5
	米田	395	83.3	6.6	4.1	6.1
	阿弥陀	416	82.5	7.7	5.0	4.8
	北浜	324	82.4	4.6	7.1	5.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	87.3	5.0	2.7	5.1
	総合事業対象者	12	91.7	—	8.3	—
	要支援１・２	249	23.3	20.5	47.0	9.2

●問 1.2-1 (介護・介助が必要な方で) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)

○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「骨折・転倒」が 22.2%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が 17.9%、「心臓病」が 15.8%となっています。



- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が多くなっています。一方、女性は男性に比べ「関節の病気（リウマチ等）」が多くなっています。
- 男性の前期高齢者では、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が19.6%と多く、後期高齢者では、「心臓病」が21.9%と多くなっています。
- 女性の前期高齢者では、「糖尿病」が18.5%と多く、後期高齢者では、「骨折・転倒」が30.1%と多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			(脳卒中・ 脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	(呼吸器の病気 肺炎等)	(関節の病気 リウマチ等)	(認知症 アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全体		379	10.3	15.8	7.1	7.4	10.6	6.1	2.4	13.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	46	19.6	13.0	8.7	4.3	6.5	2.2	2.2	10.9
	後期高齢者	96	14.6	21.9	7.3	12.5	9.4	7.3	1.0	14.6
	女性 前期高齢者	54	7.4	9.3	9.3	5.6	11.1	5.6	9.3	18.5
	後期高齢者	183	6.6	15.3	6.0	6.0	12.0	6.6	1.1	12.0
行政区	高砂	62	11.3	16.1	6.5	4.8	9.7	4.8	3.2	11.3
	荒井	42	4.8	16.7	9.5	4.8	14.3	9.5	-	9.5
	伊保	50	12.0	18.0	4.0	10.0	12.0	10.0	-	12.0
	中筋	39	5.1	17.9	7.7	10.3	17.9	2.6	-	30.8
	曽根	53	9.4	17.0	7.5	3.8	9.4	9.4	-	7.5
	米田	42	14.3	11.9	7.1	14.3	9.5	2.4	2.4	19.0
	阿弥陀	53	13.2	17.0	9.4	1.9	5.7	5.7	5.7	11.3
	北浜	38	10.5	10.5	5.3	13.2	7.9	2.6	7.9	10.5
認定該当状況	一般高齢者	210	10.5	16.7	6.7	9.0	10.5	6.2	3.3	13.3
	総合事業対象者	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	168	10.1	14.3	7.7	5.4	10.7	6.0	1.2	13.7

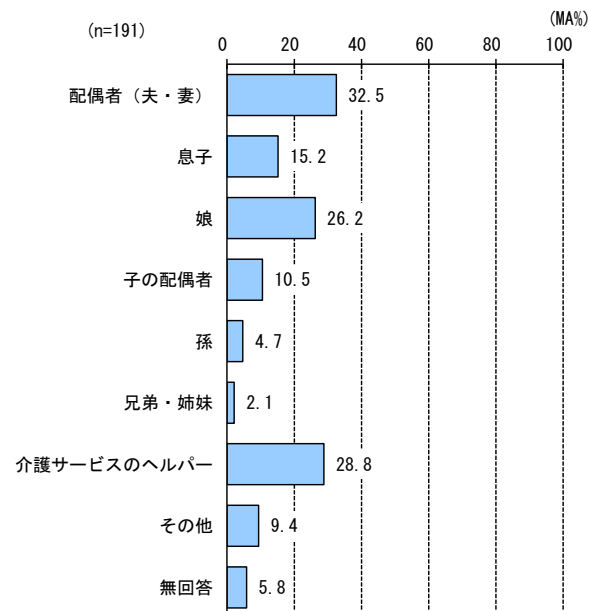
単位：％

		介護・介助が必要になった主な原因 (MA)							
		腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		1.6	6.6	22.2	10.6	17.9	21.4	0.8	9.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	4.3	13.0	15.2	6.5	10.9	21.7	2.2	6.5
	後期高齢者	1.0	7.3	15.6	12.5	19.8	13.5	－	11.5
	女性 前期高齢者	5.6	1.9	13.0	3.7	7.4	18.5	1.9	13.0
	後期高齢者	－	6.0	30.1	12.6	21.9	26.2	0.5	7.1
行政区	高砂	1.6	－	22.6	6.5	14.5	25.8	1.6	12.9
	荒井	4.8	2.4	21.4	23.8	9.5	21.4	－	4.8
	伊保	－	6.0	28.0	4.0	26.0	8.0	－	8.0
	中筋	－	5.1	30.8	5.1	12.8	30.8	2.6	7.7
	曽根	－	5.7	18.9	9.4	20.8	22.6	1.9	13.2
	米田	－	9.5	14.3	7.1	21.4	26.2	－	9.5
	阿弥陀	3.8	13.2	20.8	13.2	17.0	15.1	－	5.7
	北浜	2.6	13.2	21.1	18.4	21.1	23.7	－	7.9
認定該当状況	一般高齢者	0.5	9.5	16.2	6.7	17.1	21.0	0.5	11.4
	総合事業対象者	－	－	－	－	－	－	－	－
	要支援 1・2	3.0	3.0	29.8	15.5	19.0	22.0	1.2	6.0

② 主な介護者

●問 1.2-2 (介護・介助を受けている方は) 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

○ 主な介護者について、「配偶者(夫・妻)」が32.5%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が28.8%、「娘」が26.2%となっています。



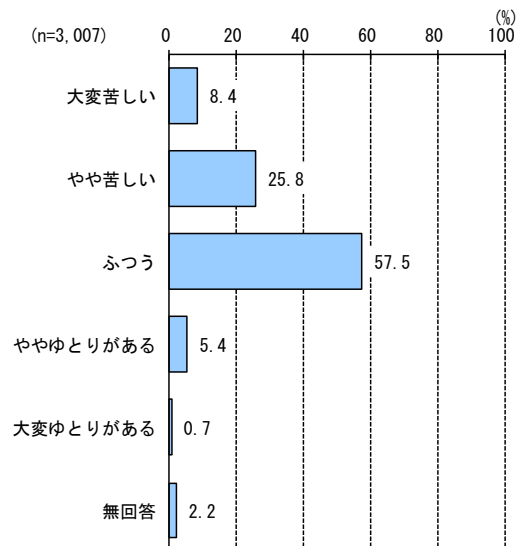
単位：%

		母数 (n)	主な介護者(MA)								無回答
			(配偶者・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	
全体		191	32.5	15.2	26.2	10.5	4.7	2.1	28.8	9.4	5.8
性別・年齢	男性 前期高齢者	19	57.9	15.8	5.3	—	—	5.3	15.8	21.1	5.3
	後期高齢者	44	47.7	6.8	18.2	2.3	—	2.3	31.8	4.5	11.4
	女性 前期高齢者	26	42.3	15.4	26.9	—	—	—	15.4	7.7	3.8
	後期高齢者	102	18.6	18.6	33.3	18.6	8.8	2.0	33.3	9.8	3.9
行政区	高砂	35	37.1	20.0	17.1	5.7	2.9	—	22.9	11.4	—
	荒井	26	23.1	11.5	23.1	7.7	3.8	7.7	46.2	7.7	7.7
	伊保	25	40.0	20.0	40.0	12.0	—	—	28.0	8.0	—
	中筋	19	26.3	10.5	36.8	5.3	5.3	5.3	36.8	15.8	5.3
	曾根	26	30.8	11.5	11.5	19.2	3.8	—	26.9	11.5	7.7
	米田	16	37.5	25.0	31.3	18.8	12.5	—	43.8	—	—
	阿弥陀	21	19.0	23.8	33.3	19.0	9.5	—	14.3	9.5	14.3
	北浜	23	43.5	—	26.1	—	4.3	4.3	17.4	8.7	13.0
認定該当状況	一般高齢者	73	47.9	13.7	20.5	8.2	6.8	1.4	26.0	11.0	5.5
	総合事業対象者	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
	要支援1・2	117	23.1	16.2	29.9	11.1	3.4	2.6	30.8	8.5	6.0
家族構成	1人暮らし	63	3.2	7.9	31.7	9.5	3.2	1.6	47.6	9.5	4.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	63	69.8	12.7	20.6	4.8	3.2	—	17.5	6.3	6.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	息子・娘との2世帯	37	24.3	27.0	35.1	24.3	5.4	—	27.0	8.1	2.7
	その他	25	24.0	24.0	16.0	8.0	12.0	8.0	16.0	20.0	8.0

③ 経済状況

●問 1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

- 経済状況について、「ふつう」が 57.5%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 25.8%、「大変苦しい」が 8.4%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は、34.2%となっています。



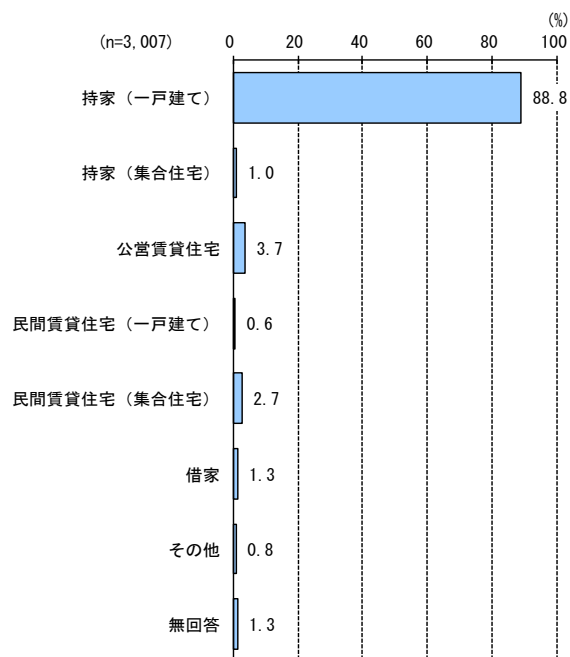
単位：%

		母数 (n)	経済状況					無 回 答
			大 変 苦 しい	や や 苦 しい	ふ つ う	あ や や ゆ と り が	あ る 大 変 ゆ と り が	
全体		3,007	8.4	25.8	57.5	5.4	0.7	2.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	8.6	27.9	55.6	6.1	0.6	1.2
	後期高齢者	536	8.8	27.6	54.3	5.0	0.7	3.5
	女性 前期高齢者	930	8.0	26.5	58.9	4.4	0.9	1.4
	後期高齢者	724	8.4	21.4	60.1	6.2	0.6	3.3
行政区	高砂	404	9.4	25.2	57.2	5.4	1.2	1.5
	荒井	399	6.0	27.3	56.4	6.8	0.5	3.0
	伊保	389	8.7	25.2	56.3	7.5	0.5	1.8
	中筋	284	13.0	26.8	52.5	4.9	0.7	2.1
	曾根	396	7.8	26.0	59.1	4.0	0.5	2.5
	米田	395	9.4	24.6	59.2	4.8	0.3	1.8
	阿弥陀	416	6.7	25.5	59.1	4.3	1.4	2.9
	北浜	324	7.1	26.5	58.6	5.6	0.3	1.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	8.2	25.9	57.7	5.5	0.7	2.0
	総合事業対象者	12	33.3	16.7	50.0	-	-	-
	要支援1・2	249	9.6	25.3	55.4	4.8	0.8	4.0

④ 住まいの状況

●問 1.4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

○ 住まいについて、「持家（一戸建て）」が88.8%で最も多くなっています。



単位：%

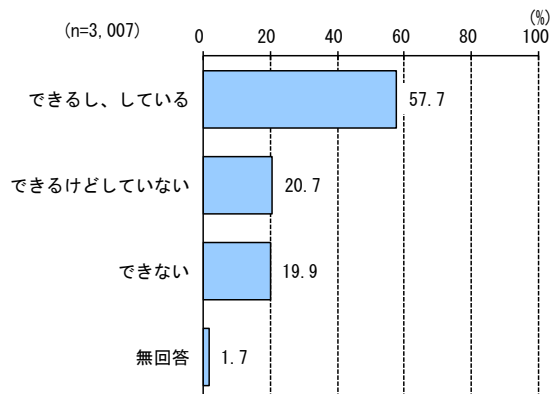
		母数 (n)	住まい							
			(持家 (一戸建て)	(持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	(民間 賃貸住宅 (一戸建て)	(民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
全体		3,007	88.8	1.0	3.7	0.6	2.7	1.3	0.8	1.3
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	90.5	0.7	2.6	0.5	3.2	1.1	0.9	0.6
	後期高齢者	536	88.2	1.5	3.2	0.4	2.2	1.5	0.7	2.2
	女性 前期高齢者	930	89.9	1.0	3.9	1.0	2.2	1.2	0.3	0.6
	後期高齢者	724	85.8	0.8	5.0	0.4	3.0	1.7	1.2	2.1
行政区	高砂	404	88.9	2.0	3.2	0.5	1.2	2.0	1.2	1.0
	荒井	399	90.7	1.0	0.3	0.8	4.3	1.3	0.3	1.5
	伊保	389	88.4	1.0	4.4	0.5	3.3	0.5	0.8	1.0
	中筋	284	76.1	1.8	12.3	0.7	3.5	2.8	1.4	1.4
	曾根	396	93.4	0.5	0.3	0.5	1.8	1.8	0.8	1.0
	米田	395	79.7	1.0	10.9	0.8	5.1	1.0	0.8	0.8
	阿弥陀	416	94.5	0.2	－	1.0	1.2	0.7	0.5	1.9
	北浜	324	95.7	0.3	－	－	0.9	0.9	0.6	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	89.3	1.0	3.4	0.7	2.5	1.2	0.8	1.2
	総合事業対象者	12	66.7	8.3	8.3	－	8.3	8.3	－	－
	要支援1・2	249	83.5	0.4	6.8	－	3.6	2.4	0.8	2.4
家族構成	1人暮らし	524	71.0	1.9	11.5	0.6	9.4	3.6	1.3	0.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	93.7	1.3	2.1	0.5	1.0	0.6	0.3	0.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	95.0	－	－	2.5	－	2.5	－	－
	息子・娘との2世帯	459	93.9	－	2.2	0.4	0.9	0.7	1.1	0.9
	その他	502	91.8	0.4	2.0	0.6	1.8	1.4	1.4	0.6

4. からだを動かすことについて

(1) 運動・転倒の状況

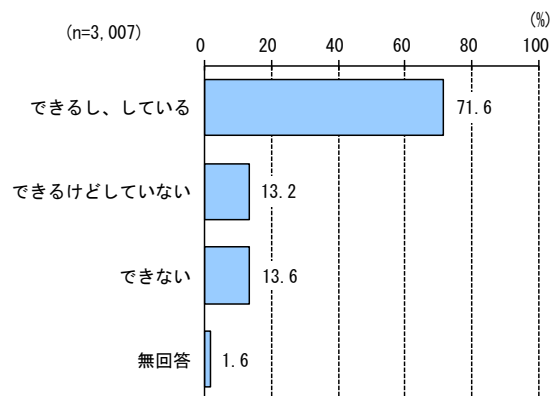
●問 2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)

○ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が57.7%で最も多く、「できるけどしていない」が20.7%、「できない」が19.9%となっています。



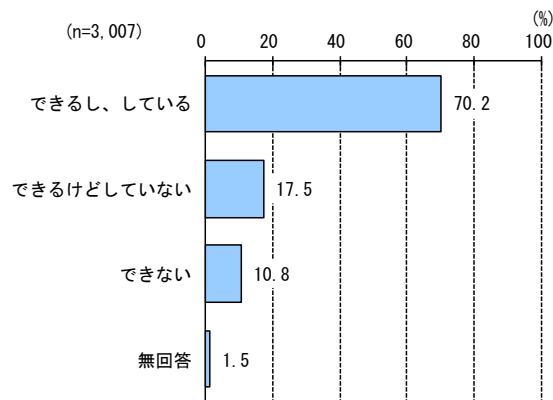
●問 2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)

○ 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が71.6%で最も多く、「できない」が13.6%、「できるけどしていない」が13.2%となっています。



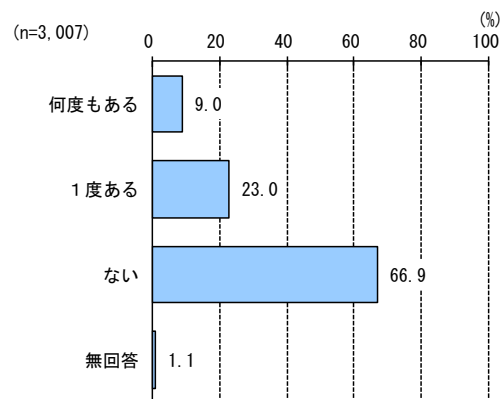
●問 2.3 15 分位続けて歩いていますか。(1 つだけ)

○ 15 分位続けての歩行について、「できるし、している」が 70.2%で最も多く、「できるけどしていない」が 17.5%、「できない」が 10.8%となっています。



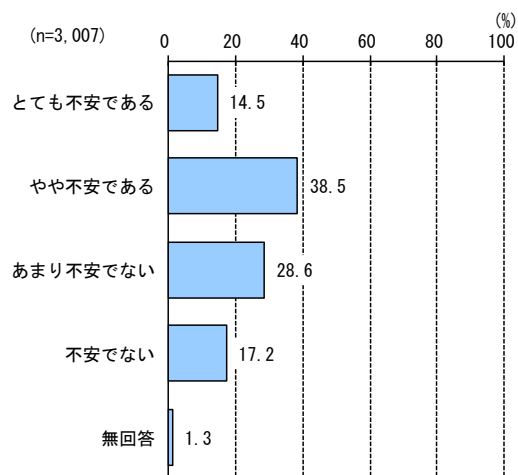
●問 2.4 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(1 つだけ)

○ 転倒経験について、「ない」が 66.9%で最も多く、「1 度ある」が 23.0%、「何度もある」が 9.0%となっています。



●問 2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

- 転倒に対する不安について、「やや不安である」が38.5%で最も多く、「あまり不安でない」が28.6%、「不安でない」が17.2%となっています。
- 「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”は、53.0%となっています。



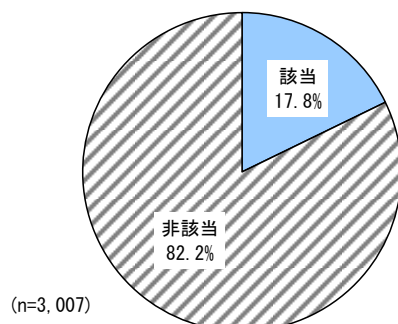
◆運動器の機能低下リスクの判定

●リスク判定方法

調査票の運動器機能に関する問 2.1～2.5 について、5 問中 3 問に該当した人を、運動器の機能が低下していると判定しました。

問 2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「3. できない」
問 2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
問 2.3 15分位続けて歩いていますか。	
問 2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「1. 何度もある」または 「2. 1度ある」
問 2.5 転倒に対する不安は大きいですか。	「1. とても不安である」または 「2. やや不安である」

- 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が 17.8%となっています。
- 性別・年齢をみると、男女ともに後期高齢者は前期高齢者に比べ「該当」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、一般高齢者、総合事業対象者では「該当」がそれぞれ 13.2%、16.7%であるのに対し、要支援 1・2 では 67.9%と多くなっています。



単位：％

		母数 (n)	運動器の機能 低下リスク	
			該 当	非 該 当
全体		3,007	17.8	82.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	6.9	93.1
	後期高齢者	536	20.7	79.3
	女性 前期高齢者	930	10.6	89.4
	後期高齢者	724	37.0	63.0
行政区	高砂	404	19.1	80.9
	荒井	399	15.0	85.0
	伊保	389	18.5	81.5
	中筋	284	18.7	81.3
	曾根	396	17.2	82.8
	米田	395	18.5	81.5
	阿弥陀	416	18.0	82.0
	北浜	324	17.3	82.7
認定該当状況	一般高齢者	2,746	13.2	86.8
	総合事業対象者	12	16.7	83.3
	要支援 1・2	249	67.9	32.1
家族構成	1人暮らし	524	24.8	75.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	15.9	84.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	9.1	90.9
	息子・娘との2世帯	459	21.4	78.6
	その他	502	13.5	86.5

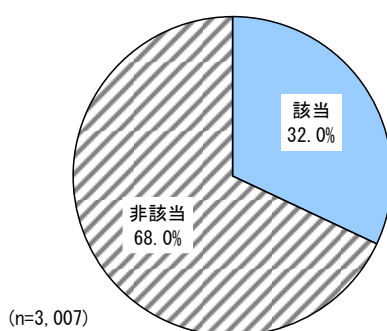
◆転倒リスクの判定

●リスク判定方法

調査票の転倒リスクに関する問 2.4 について、以下に該当した人を、転倒リスクがあると判定しました。

問 2.4 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。	「1. 何度もある」または 「2. 1 度ある」
----------------------------	-----------------------------

- 転倒リスクについて、「該当」が 32.0%となっています。
- 性別・年齢をみると、男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べ「該当」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、一般高齢者では「該当」が 29.4%であるのに対し、要支援 1・2 では 61.4%となっています。



単位：%

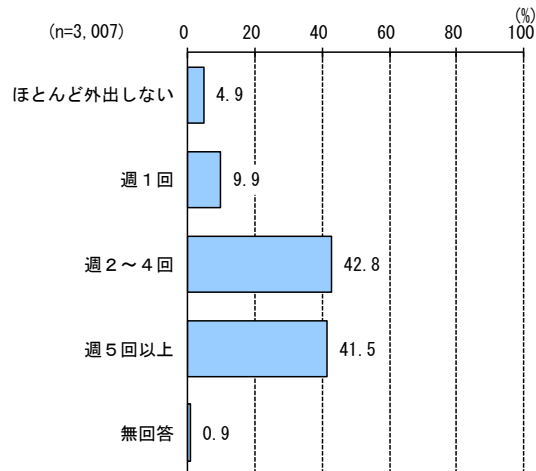
		母数 (n)	転倒リスク	
			該 当	非 該 当
全体		3,007	32.0	68.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	24.8	75.2
	後期高齢者	536	37.7	62.3
	女性 前期高齢者	930	26.9	73.1
	後期高齢者	724	42.5	57.5
行政区	高砂	404	32.7	67.3
	荒井	399	30.1	69.9
	伊保	389	32.1	67.9
	中筋	284	34.9	65.1
	曽根	396	28.3	71.7
	米田	395	32.2	67.8
	阿弥陀	416	32.9	67.1
	北浜	324	34.3	65.7
認定該当状況	一般高齢者	2,746	29.4	70.6
	総合事業対象者	12	33.3	66.7
	要支援 1・2	249	61.4	38.6
家族構成	1人暮らし	524	36.6	63.4
	夫婦 2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	30.1	69.9
	夫婦 2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	25.6	74.4
	息子・娘との2世帯	459	34.9	65.1
	その他	502	31.3	68.7

(2) 外出の状況

① 外出の頻度

●問 2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

- 外出頻度について、「週2～4回」が42.8%で最も多く、「週5回以上」が41.5%、「週1回」が9.9%となっています。
- 「週2～4回」「週5回以上」を合わせた“週に2回以上外出している”は、84.3%となっています。



単位：％

		母数 (n)	外出頻度				
			外 出 し ん ど い ない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回 以上	無 回 答
全体		3,007	4.9	9.9	42.8	41.5	0.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	3.5	5.4	35.3	55.2	0.6
	後期高齢者	536	8.4	10.6	41.2	38.8	0.9
	女性 前期高齢者	930	2.4	7.1	45.9	43.5	1.1
	後期高齢者	724	7.2	18.0	48.6	25.3	1.0
行政区	高砂	404	5.4	8.4	45.0	40.6	0.5
	荒井	399	4.3	10.3	44.9	40.1	0.5
	伊保	389	6.2	10.3	39.8	42.2	1.5
	中筋	284	4.9	14.4	40.8	38.4	1.4
	曾根	396	4.0	9.1	40.4	45.5	1.0
	米田	395	2.8	10.4	43.0	43.0	0.8
	阿弥陀	416	6.3	8.7	43.8	40.1	1.2
	北浜	324	5.6	8.6	44.4	41.0	0.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	4.1	8.3	42.6	44.1	0.9
	総合事業対象者	12	25.0	16.7	16.7	41.7	－
	要支援１・２	249	13.3	26.5	46.6	12.4	1.2
家族構成	１人暮らし	524	4.8	15.6	44.5	34.2	1.0
	夫婦２人暮らし （配偶者65歳以上）	1,352	5.2	8.6	42.2	43.2	0.8
	夫婦２人暮らし （配偶者64歳以下）	121	4.1	5.0	37.2	53.7	－
	息子・娘との２世帯	459	4.6	10.0	41.8	42.3	1.3
	その他	502	4.6	7.8	46.6	40.2	0.8

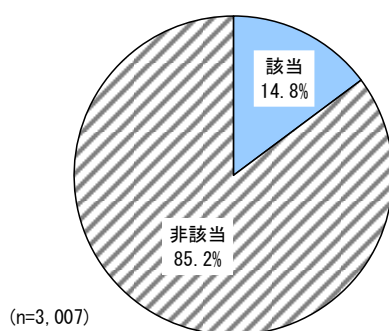
◆閉じこもりのリスクの判定

●リスク判定方法

調査票の閉じこもりのリスクに関する問 2.6 について、以下に該当した人を、閉じこもりのリスクがあると判定しました。

問 2.6 週に1回以上は外出していますか。	「1. ほとんど外出しない」または 「2. 週1回」
------------------------	-------------------------------

- 閉じこもりのリスクについて、「該当」が 14.8%となっています。
- 性別・年齢をみると、後期高齢者は前期高齢者に比べ「該当」が多く、特に女性では 25.1%となっています。
- 認定該当状況をみると、一般高齢者は「該当」が 12.4%であるのに対し、総合事業対象者では 41.7%、要支援 1・2 では 39.8%となっています。

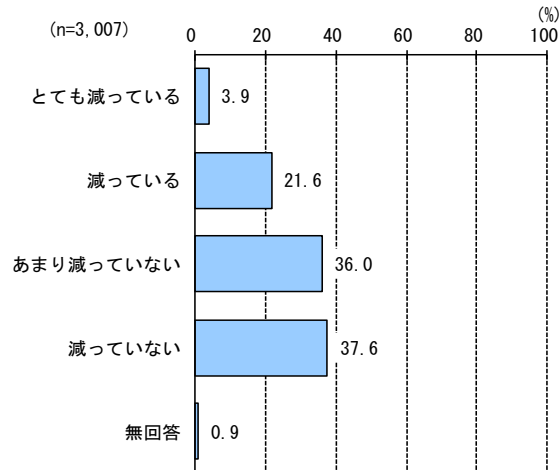


単位：％

		母数 (n)	閉じこもりの リスク	
			該 当	非 該 当
全体		3,007	14.8	85.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	8.9	91.1
	後期高齢者	536	19.0	81.0
	女性 前期高齢者	930	9.5	90.5
	後期高齢者	724	25.1	74.9
行政区	高砂	404	13.9	86.1
	荒井	399	14.5	85.5
	伊保	389	16.5	83.5
	中筋	284	19.4	80.6
	曾根	396	13.1	86.9
	米田	395	13.2	86.8
	阿弥陀	416	14.9	85.1
	北浜	324	14.2	85.8
認定該当状況	一般高齢者	2,746	12.4	87.6
	総合事業対象者	12	41.7	58.3
	要支援１・２	249	39.8	60.2
家族構成	１人暮らし	524	20.4	79.6
	夫婦２人暮らし （配偶者65歳以上）	1,352	13.8	86.2
	夫婦２人暮らし （配偶者64歳以下）	121	9.1	90.9
	息子・娘との２世帯	459	14.6	85.4
	その他	502	12.4	87.6

●問 2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

- 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が 37.6%で最も多く、「あまり減っていない」が 36.0%、「減っている」が 21.6%となっています。
- 「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”は、25.5%となっています。



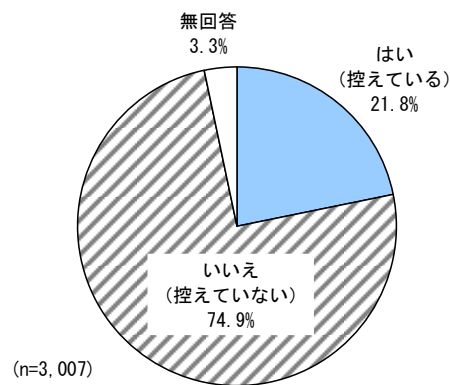
単位：%

		母数 (n)	昨年と比べて外出の回数				
			減 とも つても いる	減 つて いる	減 あ まり いて ない	減 つて いて ない	無 回 答
全体		3,007	3.9	21.6	36.0	37.6	0.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	2.2	14.0	32.6	50.7	0.6
	後期高齢者	536	4.1	23.9	38.4	32.3	1.3
	女性 前期高齢者	930	2.5	16.8	39.9	40.0	0.9
	後期高齢者	724	7.3	34.7	33.1	23.8	1.1
行政区	高砂	404	3.5	23.3	36.1	36.6	0.5
	荒井	399	2.5	24.6	36.1	35.8	1.0
	伊保	389	4.9	21.6	35.5	36.5	1.5
	中筋	284	4.6	23.9	33.8	36.6	1.1
	菅根	396	4.8	17.2	37.1	39.6	1.3
	米田	395	3.8	22.3	37.7	35.7	0.5
	阿弥陀	416	3.8	20.7	34.1	40.1	1.2
	北浜	324	3.1	19.4	37.3	39.8	0.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	2.8	18.8	37.3	40.2	0.9
	総合事業対象者	12	16.7	25.0	25.0	33.3	-
	要支援 1・2	249	14.5	52.2	22.9	9.2	1.2

② 外出を控えているか

●問 2.8 外出を控えていますか。(1つだけ)

- 外出を控えているかについて、「はい（控えている）」が21.8%、「いいえ（控えていない）」が74.9%となっています。
- 認定該当状況を見ると、要支援1・2では6割以上が外出を控えています。

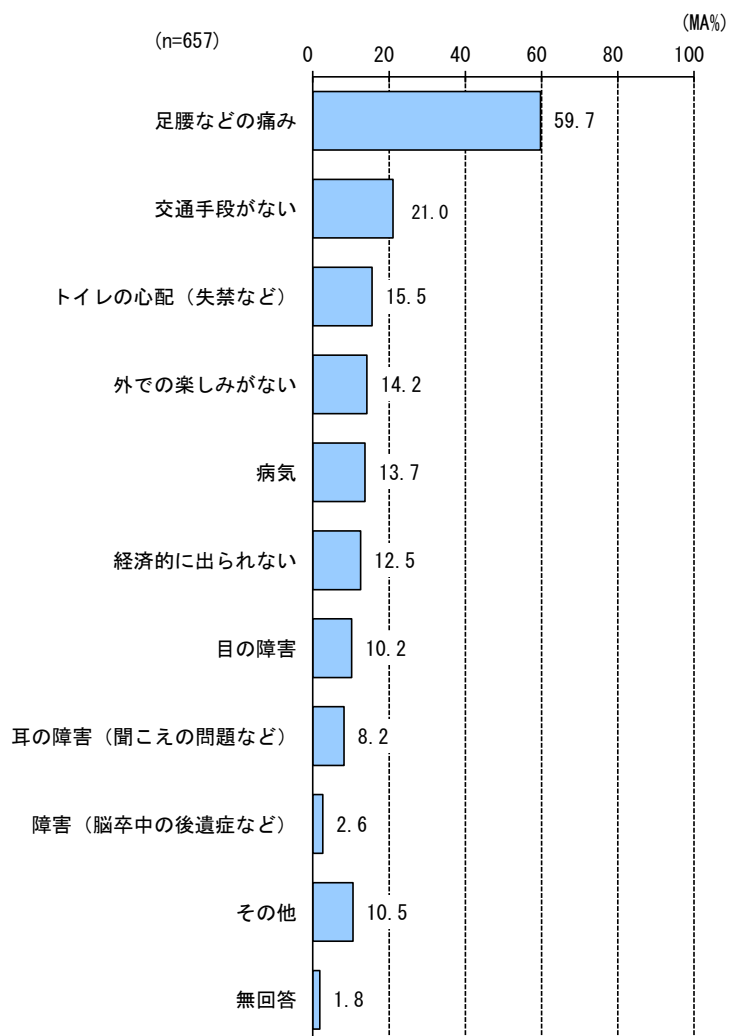


単位：％

		母数 (n)	外出を控えているか		
			はい (控えている)	いいえ (控えていない)	無回答
全体		3,007	21.8	74.9	3.3
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	10.8	87.8	1.5
	後期高齢者	536	25.7	69.8	4.5
	女性 前期高齢者	930	14.3	82.6	3.1
	後期高齢者	724	41.2	54.1	4.7
行政区	高砂	404	21.8	74.0	4.2
	荒井	399	20.3	76.2	3.5
	伊保	389	24.2	72.5	3.3
	中筋	284	24.3	71.5	4.2
	曾根	396	19.7	76.0	4.3
	米田	395	23.3	74.4	2.3
	阿弥陀	416	20.4	77.6	1.9
	北浜	324	21.6	75.6	2.8
認定該当状況	一般高齢者	2,746	17.8	79.0	3.2
	総合事業対象者	12	33.3	66.7	-
	要支援1・2	249	65.9	30.1	4.0

●問 2.8-1 (外出を控えている方で) 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

○ 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 59.7%で最も多く、「交通手段がない」が 21.0%、「トイレの心配 (失禁など)」が 15.5%となっています。



- 性別・年齢をみると、後期高齢者は前期高齢者に比べ「足腰などの痛み」「交通手段がない」が多くなっています。
- 男性の前期高齢者は他の区分に比べ「外での楽しみがない」が20.5%と多くなっています。
- 行政区をみると、阿弥陀では他の地域に比べ「交通手段がない」が30.6%と多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)				
			病 気	後 遺 害 (脳 卒 中 の)	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 (失 禁 な ど)	耳 の 障 害 (聞 こ え の 問 題 な ど)
全体		657	13.7	2.6	59.7	15.5	8.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	88	25.0	3.4	36.4	20.5	3.4
	後期高齢者	138	10.9	3.6	58.0	17.4	11.6
	女性 前期高齢者	133	15.8	1.5	53.4	10.5	3.0
	後期高齢者	298	10.7	2.3	70.1	15.4	10.4
行政区	高砂	88	19.3	5.7	43.2	13.6	5.7
	荒井	81	11.1	—	63.0	11.1	13.6
	伊保	94	14.9	3.2	64.9	16.0	7.4
	中筋	69	17.4	2.9	58.0	18.8	7.2
	曾根	78	9.0	1.3	65.4	9.0	6.4
	米田	92	9.8	2.2	58.7	18.5	8.7
	阿弥陀	85	14.1	1.2	63.5	22.4	10.6
	北浜	70	14.3	4.3	61.4	14.3	5.7
認定該当状況	一般高齢者	489	13.7	2.2	55.2	13.5	7.0
	総合事業対象者	4	25.0	—	25.0	50.0	—
	要支援1・2	164	13.4	3.7	73.8	20.7	12.2

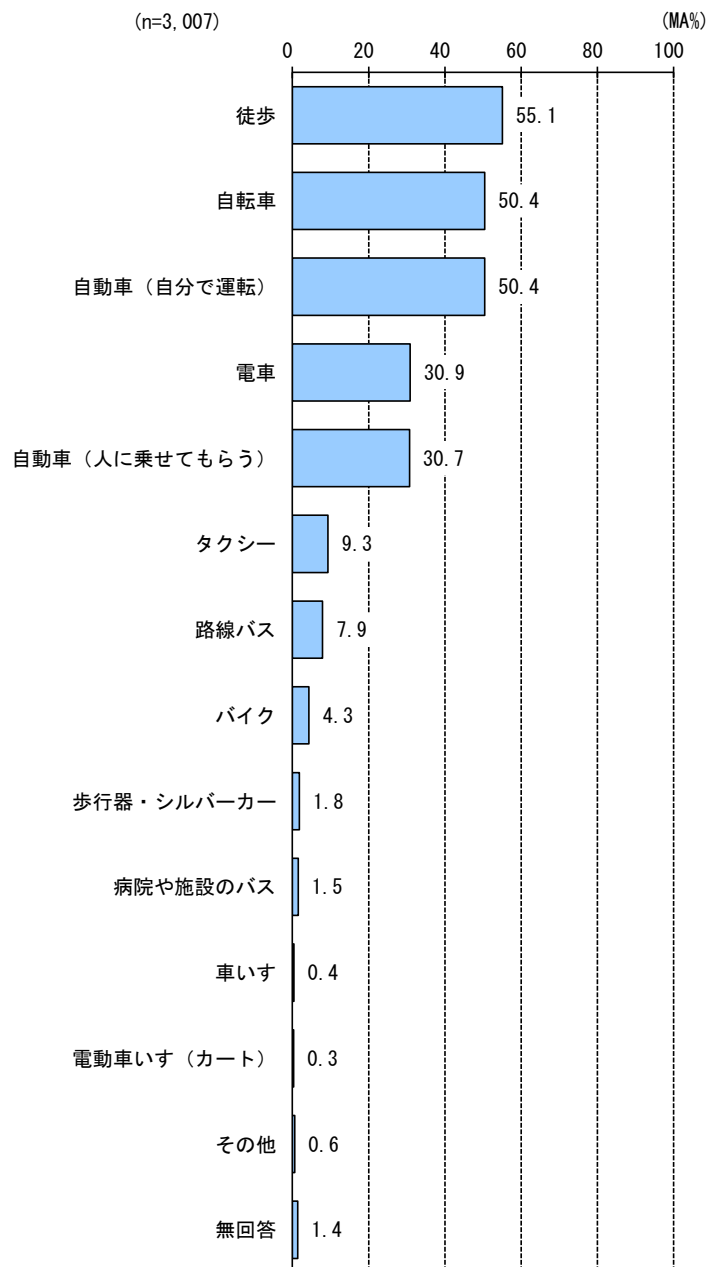
単位：％

		目 の 障 害	外出を控えている理由(MA)				
			楽 外 し で の み が な い	出 経 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体		10.2	14.2	12.5	21.0	10.5	1.8
性別・年齢	男性 前期高齢者	11.4	20.5	19.3	6.8	12.5	1.1
	後期高齢者	8.0	16.7	11.6	23.2	9.4	1.4
	女性 前期高齢者	8.3	15.8	16.5	16.5	15.0	2.3
	後期高齢者	11.7	10.4	9.1	26.2	8.4	2.0
行政区	高砂	8.0	18.2	13.6	23.9	11.4	2.3
	荒井	6.2	22.2	12.3	22.2	9.9	1.2
	伊保	8.5	14.9	11.7	22.3	7.4	1.1
	中筋	7.2	10.1	15.9	14.5	13.0	2.9
	曾根	16.7	6.4	14.1	17.9	7.7	1.3
	米田	12.0	13.0	14.1	17.4	13.0	—
	阿弥陀	10.6	16.5	11.8	30.6	8.2	3.5
	北浜	12.9	10.0	5.7	17.1	14.3	2.9
認定該当状況	一般高齢者	9.0	14.5	14.5	18.2	11.0	2.0
	総合事業対象者	—	50.0	25.0	25.0	—	—
	要支援1・2	14.0	12.2	6.1	29.3	9.1	1.2

③ 外出の際の移動手段

●問 2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

○ 外出する際の移動手段について、「徒歩」が55.1%で最も多く、「自転車」「自動車（自分で運転）」が50.4%、「電車」が30.9%となっています。



- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「自動車（自分で運転）」が多くなっています。一方で、女性は男性に比べ「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。
- 男性の前期高齢者は他の区分に比べ「徒歩」が61.8%と多くなっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなる傾向がみられ、要支援1・2では48.6%となっています。さらに、要支援1・2では、「タクシー」も33.7%と多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	外出する際の移動手段 (MA)						
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全体		3, 007	55. 1	50. 4	4. 3	50. 4	30. 7	30. 9	7. 9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	61. 8	48. 5	7. 7	83. 0	9. 8	32. 2	4. 9
	後期高齢者	536	52. 1	51. 9	2. 4	57. 8	20. 0	27. 6	8. 6
	女性 前期高齢者	930	54. 7	56. 2	3. 0	45. 8	41. 6	34. 4	7. 3
	後期高齢者	724	50. 3	44. 1	3. 5	14. 2	48. 2	27. 2	11. 6
行政区	高砂	404	60. 1	53. 5	2. 0	45. 8	32. 7	39. 1	12. 1
	荒井	399	60. 7	59. 9	3. 0	48. 1	28. 8	31. 6	9. 0
	伊保	389	50. 6	51. 2	3. 6	53. 0	31. 1	24. 2	6. 7
	中筋	284	51. 4	47. 2	4. 6	44. 4	33. 1	28. 9	8. 1
	曾根	396	53. 8	51. 5	4. 5	47. 5	30. 1	35. 4	6. 1
	米田	395	59. 5	51. 1	6. 1	48. 1	29. 9	29. 9	10. 9
	阿弥陀	416	50. 5	40. 9	4. 3	60. 1	29. 6	24. 8	6. 0
	北浜	324	52. 8	46. 9	6. 8	55. 6	31. 2	33. 0	3. 7
認定該当状況	一般高齢者	2, 746	56. 7	53. 3	4. 6	54. 2	29. 1	32. 5	7. 6
	総合事業対象者	12	58. 3	41. 7	－	50. 0	33. 3	8. 3	－
	要支援 1・2	249	36. 9	18. 9	1. 2	9. 2	48. 6	14. 1	12. 0

単位：％

		外出する際の移動手段(MA)						
		病院 や施設 のバス	車 いす	電動 車いす (カート)	歩 行 器 ・ カ ー	タク シ ー	そ の 他	無 回 答
全体		1.5	0.4	0.3	1.8	9.3	0.6	1.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	0.2	0.7	0.1	-	4.3	-	0.9
	後期高齢者	2.1	0.6	0.9	0.6	11.2	0.2	2.1
	女性 前期高齢者	0.9	0.1	-	0.3	4.7	0.5	0.8
	後期高齢者	3.2	0.4	0.6	6.8	19.6	1.7	2.2
行政区	高砂	1.2	0.2	0.2	1.7	10.1	0.7	1.5
	荒井	1.5	0.5	0.5	2.0	8.0	0.3	1.0
	伊保	2.1	0.5	-	1.5	10.3	0.3	1.5
	中筋	0.7	0.7	0.4	2.5	7.4	1.4	1.4
	曾根	1.0	-	0.5	1.3	7.6	0.5	2.8
	米田	2.3	0.3	0.5	3.0	10.4	0.5	0.5
	阿弥陀	1.2	0.7	0.5	1.4	11.3	0.5	1.4
	北浜	1.5	0.6	-	1.2	9.0	0.9	0.6
認定該当状況	一般高齢者	0.9	0.3	0.0	0.7	7.1	0.4	1.2
	総合事業対象者	-	-	-	-	8.3	-	-
	要支援1・2	8.0	1.6	3.6	14.9	33.7	2.4	3.6

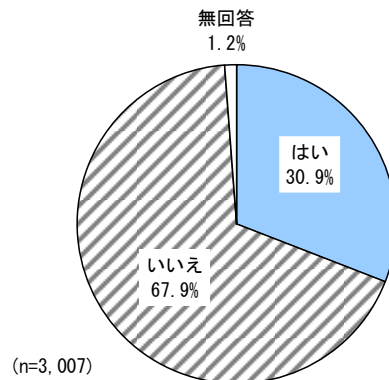
5. 食べることにについて

(1) 口腔

① 口内の健康状態

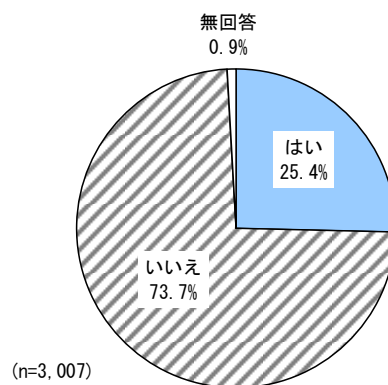
●問 3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1 つだけ)

○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 30.9%、「いいえ」が 67.9%となっています。



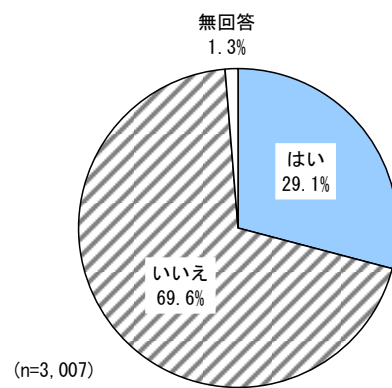
●問 3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1 つだけ)

○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 25.4%、「いいえ」が 73.7%となっています。



問 3.4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が29.1%、「いいえ」が69.6%となっています。



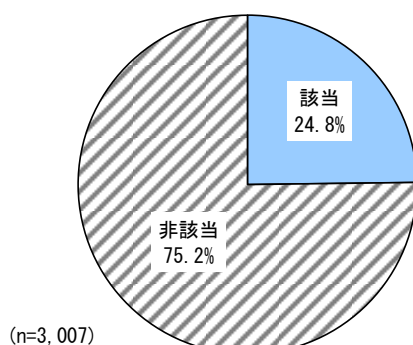
◆口腔機能の低下リスクの判定

●リスク判定方法

調査票の口腔機能に関する問 3.2～3.4 について、3 問中 2 問に該当した人を、口腔機能が低下していると判定しました。

問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「1. はい」
問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。	
問3.4 口の渇きが気になりますか。	

- 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が 24.8%となっています。
- 性別・年齢をみると、男女ともに後期高齢者は前期高齢者に比べ「該当」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、一般高齢者は「該当」が 22.4%であるのに対し、総合事業対象者では 50.0%、要支援 1・2 では 50.2%となっています。



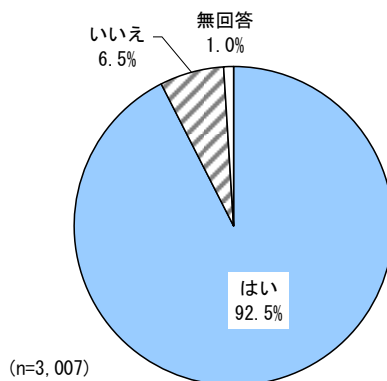
単位：％

		母数 (n)	口腔機能の低下 リスク	
			該 当	非 該 当
全体		3,007	24.8	75.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	19.6	80.4
	後期高齢者	536	29.9	70.1
	女性 前期高齢者	930	20.9	79.1
	後期高齢者	724	31.9	68.1
行政区	高砂	404	24.3	75.7
	荒井	399	23.8	76.2
	伊保	389	28.5	71.5
	中筋	284	29.2	70.8
	曾根	396	21.2	78.8
	米田	395	24.8	75.2
	阿弥陀	416	22.6	77.4
	北浜	324	25.3	74.7
認定該当状況	一般高齢者	2,746	22.4	77.6
	総合事業対象者	12	50.0	50.0
	要支援１・２	249	50.2	49.8
家族構成	１人暮らし	524	29.0	71.0
	夫婦２人暮らし （配偶者65歳以上）	1,352	23.1	76.9
	夫婦２人暮らし （配偶者64歳以下）	121	20.7	79.3
	息子・娘との２世帯	459	27.5	72.5
	その他	502	23.5	76.5

② 歯の状況

●問 3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）

- 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が92.5%、「いいえ」が6.5%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ「はい」が多くなっています。

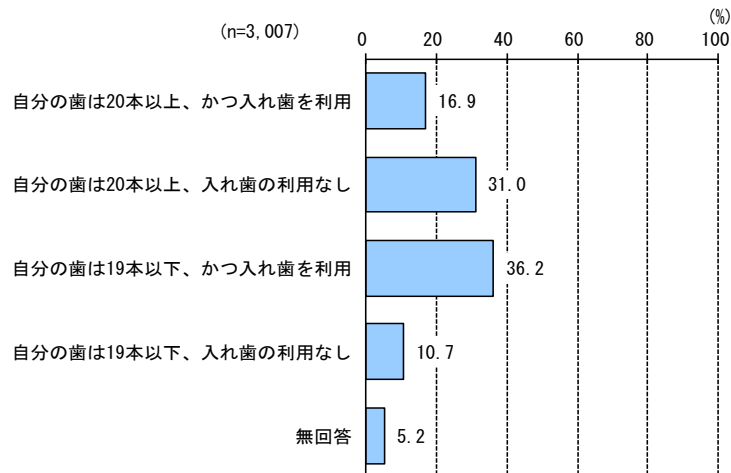


単位：%

		母数 (n)	歯磨きを毎日しているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	92.5	6.5	1.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	89.6	9.3	1.1
	後期高齢者	536	89.2	8.6	2.2
	女性 前期高齢者	930	96.5	3.3	0.2
	後期高齢者	724	93.1	5.8	1.1
行政区	高砂	404	93.6	5.9	0.5
	荒井	399	94.7	4.8	0.5
	伊保	389	92.8	5.4	1.8
	中筋	284	90.1	8.1	1.8
	曾根	396	91.4	7.6	1.0
	米田	395	91.9	7.3	0.8
	阿弥陀	416	91.1	7.5	1.4
	北浜	324	93.8	5.6	0.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	92.9	6.1	1.0
	総合事業対象者	12	91.7	8.3	-
	要支援1・2	249	88.0	10.4	1.6

●問 3.6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ)

- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.2%で最も多く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が31.0%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.9%となっています。
- 年齢をみると、「自分の歯は20本以上」が、80～84歳では33.8%、85歳以上では29.6%となっています。
- 認定該当状況をみると、「自分の歯は20本以上」が、一般高齢者では49.2%であるのに対し、要支援1・2では35.0%と少なくなっています。

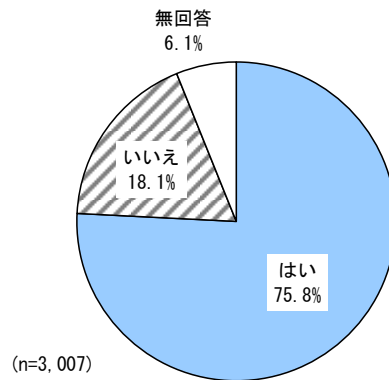


単位：%

		母数 (n)	歯の数と入れ歯の利用状況				
			か つ 自 分 の 入 れ 歯 は 2 利 用 本 以 上、	入 れ 自 分 の 歯 の 利 用 は 2 な し 本 以 上、	か つ 自 分 の 入 れ 歯 は 1 利 用 本 以 下、	入 れ 自 分 の 歯 の 利 用 は 1 な し 本 以 下、	無 回 答
全体		3,007	16.9	31.0	36.2	10.7	5.2
年齢	65～69歳	791	18.0	44.4	24.8	11.4	1.5
	70～74歳	956	15.2	33.7	36.0	11.7	3.5
	75～79歳	657	20.1	23.3	42.2	8.8	5.6
	80～84歳	397	13.9	19.9	45.8	9.8	10.6
	85歳以上	206	16.5	13.1	43.7	10.7	16.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	18.5	36.8	31.3	11.5	1.8
	後期高齢者	536	19.4	20.1	44.4	8.6	7.5
	女性 前期高齢者	930	14.6	40.0	30.5	11.6	3.2
	後期高齢者	724	16.2	20.9	43.0	10.1	9.9
行政区	高砂	404	15.8	34.7	34.2	10.6	4.7
	荒井	399	15.8	36.1	35.1	9.3	3.8
	伊保	389	17.2	27.8	38.3	10.8	5.9
	中筋	284	15.8	23.2	39.1	14.8	7.0
	曽根	396	18.2	32.1	34.6	11.6	3.5
	米田	395	15.2	27.6	36.7	11.9	8.6
	阿弥陀	416	18.8	30.8	34.6	10.3	5.5
	北浜	324	18.2	34.0	38.6	6.5	2.8
認定該当状況	一般高齢者	2,746	17.1	32.1	35.7	10.4	4.8
	総合事業対象者	12	8.3	16.7	33.3	41.7	－
	要支援1・2	249	15.3	19.7	42.2	12.4	10.4

●問 3.6-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ)

- 噛み合わせは良いかについて、「はい」が75.8%、「いいえ」が18.1%となっています。
- 性別・年齢をみると、男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べ、「はい」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、一般高齢者では「はい」が77.1%であるのに対し、要支援1・2では60.2%となっています。

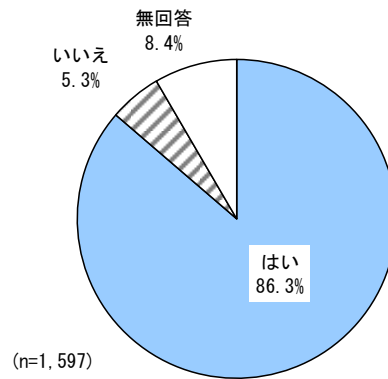


単位：%

		母数 (n)	噛み合わせは良いか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	75.8	18.1	6.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	78.5	16.4	5.1
	後期高齢者	536	73.1	20.1	6.7
	女性 前期高齢者	930	78.2	16.8	5.1
	後期高齢者	724	71.5	20.3	8.1
行政区	高砂	404	77.5	18.1	4.5
	荒井	399	74.9	18.5	6.5
	伊保	389	73.3	19.8	6.9
	中筋	284	72.9	20.1	7.0
	曾根	396	77.8	16.2	6.1
	米田	395	70.4	23.3	6.3
	阿弥陀	416	77.2	17.1	5.8
	北浜	324	82.4	11.4	6.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	77.1	16.9	6.0
	総合事業対象者	12	83.3	16.7	-
	要支援1・2	249	60.2	32.1	7.6

●問 3.6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)

- 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が86.3%、「いいえ」が5.3%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ「はい」が多くなっています。



単位：%

		母数 (n)	毎日入れ歯の手入れを しているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		1,597	86.3	5.3	8.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	407	80.8	8.6	10.6
	後期高齢者	342	82.5	7.9	9.6
	女性 前期高齢者	420	91.0	2.6	6.4
	後期高齢者	428	90.2	2.6	7.2
行政区	高砂	202	84.7	5.9	9.4
	荒井	203	86.7	4.9	8.4
	伊保	216	91.2	3.2	5.6
	中筋	156	86.5	5.8	7.7
	曾根	209	81.3	5.3	13.4
	米田	205	86.8	5.4	7.8
	阿弥陀	222	85.6	6.3	8.1
	北浜	184	88.0	5.4	6.5
認定該当状況	一般高齢者	1,449	86.5	5.2	8.2
	総合事業対象者	5	80.0	-	20.0
	要支援 1・2	143	84.6	5.6	9.8

(2) 栄養

① 体重の状況

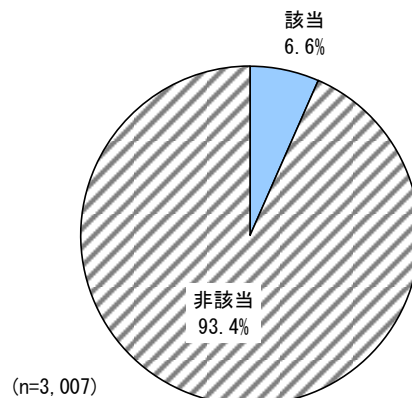
◆栄養改善のリスクの判定

●リスク判定方法

調査票の栄養改善に関する問 3.1 について、以下に該当した人を、栄養改善のリスクがあると判定しました。

問3.1 BMI：体重（kg）÷ {身長（m）×身長（m）}	18.5 以下
--------------------------------	---------

- 栄養改善のリスクについて、「該当」が 6.6%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性の後期高齢者は他の区分に比べ「該当」が 10.4%と多くなっています。
- 認定該当状況をみると、一般高齢者では「該当」が 6.3%であるのに対し、要支援 1・2 では 10.0%となっています。

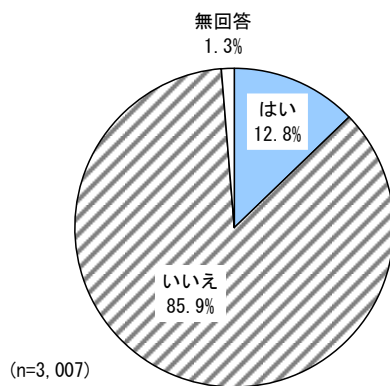


		単位：％		
		母数 (n)	栄養改善の リスク	
			該 当	非 該 当
全体		3,007	6.6	93.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	5.0	95.0
	後期高齢者	536	3.9	96.1
	女性 前期高齢者	930	6.5	93.5
	後期高齢者	724	10.4	89.6
行政区	高砂	404	7.2	92.8
	荒井	399	5.3	94.7
	伊保	389	7.7	92.3
	中筋	284	7.7	92.3
	曾根	396	7.6	92.4
	米田	395	4.6	95.4
	阿弥陀	416	7.9	92.1
	北浜	324	4.3	95.7
認定該当状況	一般高齢者	2,746	6.3	93.7
	総合事業対象者	12	-	100.0
	要支援１・２	249	10.0	90.0
家族構成	１人暮らし	524	7.6	92.4
	夫婦２人暮らし （配偶者65歳以上）	1,352	5.5	94.5
	夫婦２人暮らし （配偶者64歳以下）	121	3.3	96.7
	息子・娘との２世帯	459	7.8	92.2
	その他	502	8.2	91.8

※BMI…体重と身長の関係から算出される、ヒトの肥満度を表す体格指数。

●問 3.7 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか。(1 つだけ)

- 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少があったかについて、「はい」が 12.8%、「いいえ」が 85.9%となっています。



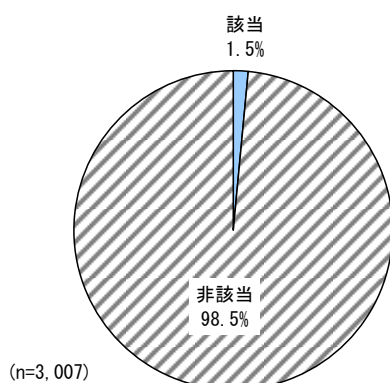
◆低栄養のリスクの判定

●リスク判定方法

調査票の低栄養に関する問3.1、3.7について、2問中2問に該当した人を、低栄養のリスクがあると判定しました。

問3.1 BMI：体重（kg）÷ {身長（m）×身長（m）}	18.5 以下
問3.7 6 か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	「1. はい」

- 低栄養のリスクについて、「該当」が1.5%となっています。
- 認定該当状況をみると、一般高齢者では「該当」が1.3%であるのに対し、要支援1・2では4.0%となっています。

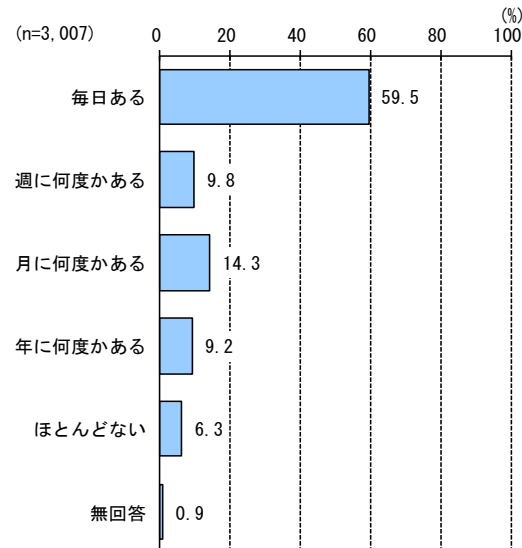


			単位：％	
		母数 (n)	低栄養のリスク	
			該 当	非 該 当
全体		3,007	1.5	98.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	1.8	98.2
	後期高齢者	536	1.7	98.3
	女性 前期高齢者	930	0.9	99.1
	後期高齢者	724	1.9	98.1
行政区	高砂	404	1.7	98.3
	荒井	399	1.0	99.0
	伊保	389	0.8	99.2
	中筋	284	1.4	98.6
	曾根	396	2.0	98.0
	米田	395	2.0	98.0
	阿弥陀	416	1.9	98.1
	北浜	324	1.2	98.8
認定該当状況	一般高齢者	2,746	1.3	98.7
	総合事業対象者	12	-	100.0
	要支援１・２	249	4.0	96.0

② 孤食の状況

●問 3.8 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つだけ)

- 共食の有無について、「毎日ある」が59.5%で最も多く、「月に何度かある」が14.3%、「週に何度かある」が9.8%となっています。
- 家族構成をみると、1人暮らしは他の区分に比べ「ほとんどない」が14.9%と多くなっています。



単位：%

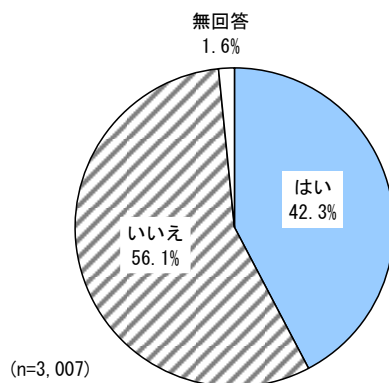
		母数 (n)	共食の有無					無回答
			毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	
全体		3,007	59.5	9.8	14.3	9.2	6.3	0.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	64.9	8.3	10.3	9.1	6.7	0.7
	後期高齢者	536	57.6	6.0	11.0	14.0	9.5	1.9
	女性 前期高齢者	930	65.9	10.5	15.8	4.9	2.5	0.3
	後期高齢者	724	46.7	13.5	19.2	11.5	8.1	1.0
行政区	高砂	404	57.7	12.1	14.6	8.9	5.7	1.0
	荒井	399	62.7	9.8	12.0	8.0	6.8	0.8
	伊保	389	58.1	10.3	13.9	10.0	7.5	0.3
	中筋	284	55.3	8.8	14.1	11.6	9.2	1.1
	曾根	396	61.9	12.1	13.4	8.3	3.5	0.8
	米田	395	54.7	7.8	17.7	10.6	8.4	0.8
	阿弥陀	416	63.2	8.9	13.7	7.7	5.8	0.7
	北浜	324	61.7	8.3	14.8	9.6	3.7	1.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	61.3	9.4	13.8	9.0	5.6	0.8
	総合事業対象者	12	50.0	25.0	-	-	16.7	8.3
	要支援1・2	249	40.2	13.7	19.7	12.0	13.3	1.2
家族構成	1人暮らし	524	6.1	25.0	33.8	19.1	14.9	1.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	72.1	5.3	10.7	7.7	3.3	0.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	77.7	7.4	7.4	3.3	3.3	0.8
	息子・娘との2世帯	459	66.9	8.1	9.2	7.6	7.8	0.4
	その他	502	71.7	7.2	10.0	6.2	4.4	0.6

6. 毎日の生活について

(1) 物忘れの状況

●問 4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が42.3%、「いいえ」が56.1%となっています。



単位：％

		母数 (n)	物忘れが多いと感じるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	42.3	56.1	1.6
性・年齢	男性 前期高齢者	817	37.1	61.8	1.1
	後期高齢者	536	47.2	49.8	3.0
	女性 前期高齢者	930	38.7	60.2	1.1
	後期高齢者	724	49.3	49.0	1.7
圏域	高砂	404	43.8	55.4	0.7
	荒井	399	41.1	57.9	1.0
	伊保	389	44.7	54.2	1.0
	中筋	284	40.8	57.7	1.4
	曾根	396	40.9	57.8	1.3
	米田	395	39.5	57.0	3.5
	阿弥陀	416	43.3	55.0	1.7
	北浜	324	44.4	53.7	1.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	41.0	57.5	1.6
	総合事業対象者	12	33.3	66.7	－
	要支援 1・2	249	57.8	40.6	1.6

◆認知機能の低下リスクの判定

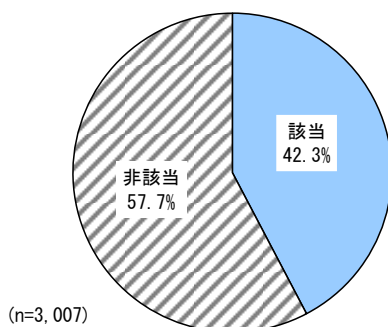
●リスク判定方法

調査票の認知機能に関する問 4.1 について、以下に該当した人を、認知機能が低下していると判定しました。

問4.1 物忘れが多いと感じますか。

「1. はい」

- 認知機能の低下リスクについて、「該当」が 42.3%となっています。
- 性別・年齢をみると、男女ともに後期高齢者は前期高齢者に比べ「該当」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、一般高齢者では「該当」が 41.0%であるのに対し、要支援 1・2 では 57.8%となっています。

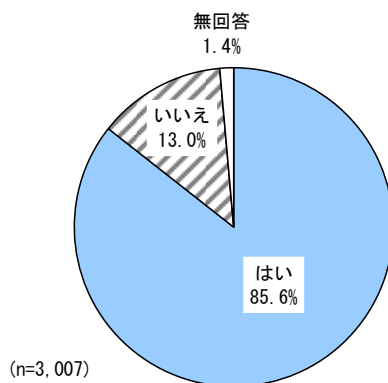


単位：%

		母数 (n)	認知機能の低下 リスク	
			該当	非該当
全体		3,007	42.3	57.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	37.1	62.9
	後期高齢者	536	47.2	52.8
	女性 前期高齢者	930	38.7	61.3
	後期高齢者	724	49.3	50.7
行政区	高砂	404	43.8	56.2
	荒井	399	41.1	58.9
	伊保	389	44.7	55.3
	中筋	284	40.8	59.2
	曾根	396	40.9	59.1
	米田	395	39.5	60.5
	阿弥陀	416	43.3	56.7
	北浜	324	44.4	55.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	41.0	59.0
	総合事業対象者	12	33.3	66.7
	要支援 1・2	249	57.8	42.2

●問 4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ)

- 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が85.6%、「いいえ」が13.0%となっています。
- 認定該当状況を見ると、一般高齢者では「はい」が86.5%であるのに対し、要支援1・2では75.1%となっています。

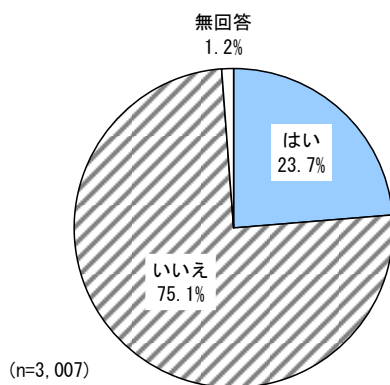


単位：%

		母数 (n)	自分で電話番号を 調べて、電話をかける ことをしているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	85.6	13.0	1.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	84.7	14.2	1.1
	後期高齢者	536	81.2	16.2	2.6
	女性 前期高齢者	930	87.5	11.3	1.2
	後期高齢者	724	87.4	11.6	1.0
行政区	高砂	404	84.9	13.9	1.2
	荒井	399	85.5	12.5	2.0
	伊保	389	84.3	14.9	0.8
	中筋	284	88.4	10.6	1.1
	曾根	396	86.9	12.6	0.5
	米田	395	82.0	14.9	3.0
	阿弥陀	416	85.6	13.2	1.2
	北浜	324	88.6	10.5	0.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	86.5	12.1	1.4
	総合事業対象者	12	91.7	8.3	-
	要支援1・2	249	75.1	23.7	1.2

●問 4.3 今日が何月何日か、わからない時がありますか。(1つだけ)

- 今日が何月何日か、わからない時があるかについて、「はい」が23.7%、「いいえ」が75.1%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性の後期高齢者は他の区分に比べ「はい」が30.6%と多くなっています。



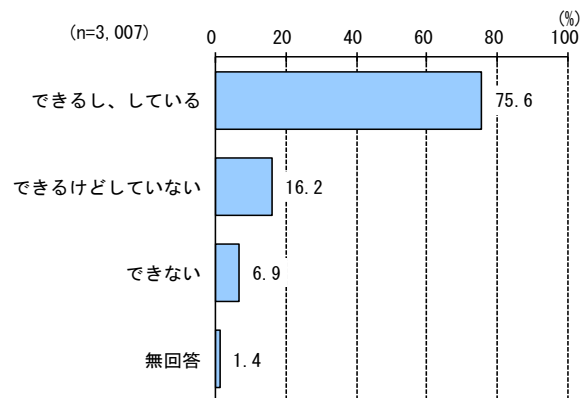
単位：%

		母数 (n)	今日が何月何日か、 わからない時があるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	23.7	75.1	1.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	20.4	78.9	0.6
	後期高齢者	536	30.6	67.5	1.9
	女性 前期高齢者	930	19.5	79.5	1.1
	後期高齢者	724	27.8	70.7	1.5
行政区	高砂	404	24.8	74.3	1.0
	荒井	399	21.3	77.9	0.8
	伊保	389	23.4	75.3	1.3
	中筋	284	22.9	76.1	1.1
	曾根	396	23.5	75.5	1.0
	米田	395	26.3	71.6	2.0
	阿弥陀	416	26.2	72.6	1.2
	北浜	324	20.4	78.4	1.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	22.0	76.8	1.2
	総合事業対象者	12	33.3	66.7	-
	要支援1・2	249	42.2	56.2	1.6

(2) IADL の状況

●問 4.4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(1つだけ)

- バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が75.6%で最も多く、「できるけどしていない」が16.2%、「できない」が6.9%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性の前期高齢者は他の区分に比べ「できるし、している」が88.9%と多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者は前期高齢者に比べ「できない」が多く、特に女性では17.1%となっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2では、「できない」が35.3%と多くなっています。



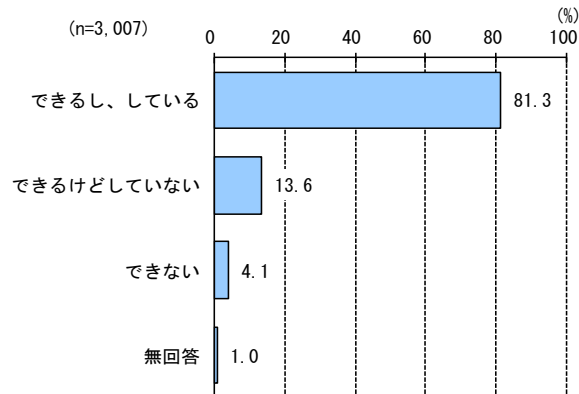
単位：%

		母数 (n)	バスや電車を使った1人での外出			
			し で て き い る し、	し で て き い る け い ど	で き な い	無 回 答
全体		3,007	75.6	16.2	6.9	1.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	88.9	8.1	2.1	1.0
	後期高齢者	536	73.7	18.5	6.0	1.9
	女性 前期高齢者	930	79.0	16.2	3.7	1.1
	後期高齢者	724	57.6	23.5	17.1	1.8
行政区	高砂	404	77.0	15.6	5.9	1.5
	荒井	399	74.4	16.0	8.3	1.3
	伊保	389	73.5	18.0	7.5	1.0
	中筋	284	76.4	13.7	8.5	1.4
	曾根	396	78.0	14.6	5.8	1.5
	米田	395	71.6	20.3	6.1	2.0
	阿弥陀	416	75.2	14.9	8.7	1.2
	北浜	324	79.3	15.4	4.3	0.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	79.6	14.9	4.3	1.2
	総合事業対象者	12	58.3	25.0	16.7	-
	要支援1・2	249	32.1	29.7	35.3	2.8
家族構成	1人暮らし	524	69.7	17.4	10.3	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	79.1	14.9	5.0	1.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	88.4	9.1	0.8	1.7
	息子・娘との2世帯	459	69.9	18.7	10.2	1.1
	その他	502	76.1	17.3	5.8	0.8

※IADL…電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、日常生活動作ではとらえられない高次の生活機能の水準を測定するものであり、手段的日常生活動作とも呼ばれる。

●問 4.5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

- 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が81.3%で最も多く、「できるけどしていない」が13.6%、「できない」が4.1%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性では女性に比べ、「できるけどしていない」が多くなっています。
- 女性の後期高齢者では、「できるし、している」に次いで、「できない」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2では、「できない」が23.7%と多くなっています。

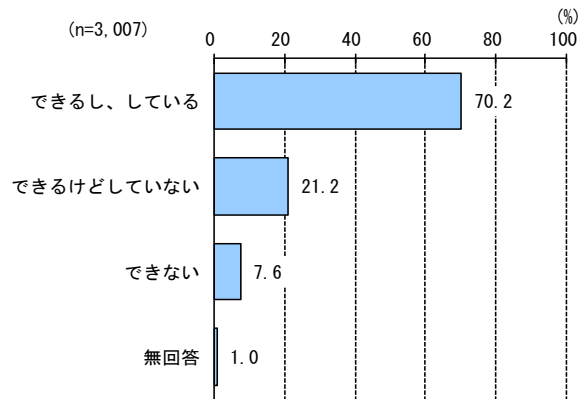


単位：%

		母数 (n)	食品・日用品の買物			
			し で き る し、	し で き る い け ど	で き な い	無 回 答
全体		3,007	81.3	13.6	4.1	1.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	76.5	20.8	2.0	0.7
	後期高齢者	536	63.4	29.5	5.4	1.7
	女性 前期高齢者	930	95.3	2.6	1.5	0.6
	後期高齢者	724	82.0	7.7	8.8	1.4
行政区	高砂	404	81.9	12.9	4.5	0.7
	荒井	399	80.2	14.0	5.3	0.5
	伊保	389	78.9	15.7	4.1	1.3
	中筋	284	81.7	12.7	5.3	0.4
	曾根	396	82.6	12.1	4.5	0.8
	米田	395	84.3	10.9	2.5	2.3
	阿弥陀	416	81.0	13.9	3.8	1.2
	北浜	324	79.6	16.7	2.8	0.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	83.6	13.0	2.3	1.0
	総合事業対象者	12	75.0	25.0	-	-
	要支援1・2	249	55.8	18.9	23.7	1.6
家族構成	1人暮らし	524	89.3	3.4	5.7	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	79.7	16.0	3.5	0.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	73.6	24.0	0.8	1.7
	息子・娘との2世帯	459	78.6	14.6	6.1	0.7
	その他	502	82.5	14.3	2.6	0.6

●問 4.6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

- 食事の用意について、「できるし、している」が70.2%で最も多く、「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が7.6%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「できるけどしていない」が多く、特に後期高齢者では40.1%と多くなっています。

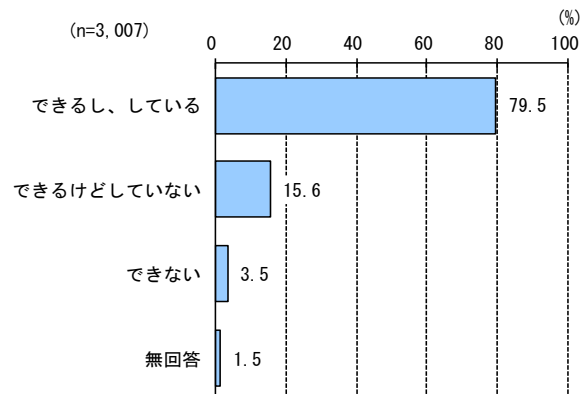


単位：%

		母数 (n)	食事の用意			
			しで て き い る し、	しで て き い る け い ど	で き な い	無 回 答
全体		3,007	70.2	21.2	7.6	1.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	45.5	42.5	11.1	0.9
	後期高齢者	536	39.2	40.1	18.7	2.1
	女性 前期高齢者	930	96.3	2.5	0.5	0.6
	後期高齢者	724	87.6	7.2	4.6	0.7
行政区	高砂	404	68.8	22.5	8.2	0.5
	荒井	399	67.7	24.3	7.3	0.8
	伊保	389	70.2	20.3	8.5	1.0
	中筋	284	71.1	18.0	10.2	0.7
	曾根	396	72.0	21.0	6.1	1.0
	米田	395	74.2	17.7	6.3	1.8
	阿弥陀	416	67.8	22.6	8.7	1.0
	北浜	324	70.7	22.2	6.2	0.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	70.8	21.4	6.9	0.9
	総合事業対象者	12	66.7	16.7	16.7	-
	要支援1・2	249	64.7	18.5	15.3	1.6
家族構成	1人暮らし	524	90.5	4.8	3.2	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	66.1	24.5	8.6	0.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	43.8	45.5	9.1	1.7
	息子・娘との2世帯	459	65.4	25.3	8.9	0.4
	その他	502	70.3	20.7	8.4	0.6

●問 4.7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

- 請求書の支払いについて、「できるし、している」が79.5%で最も多く、「できるけどしていない」が15.6%、「できない」が3.5%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「できるけどしていない」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて、「できない」が多くなる傾向がみられます。

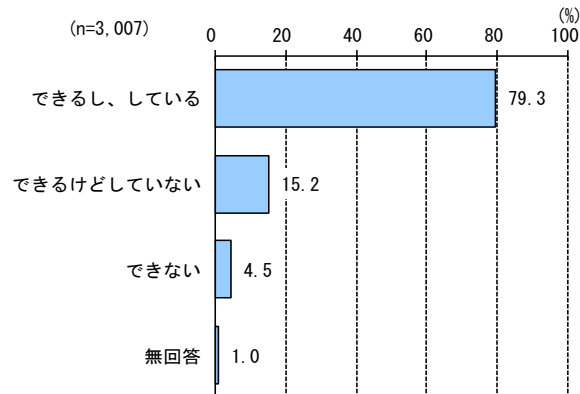


単位：%

		母数 (n)	請求書の支払い			
			し で き る し、	し で き る け ど い な い	で き な い	無 回 答
全体		3,007	79.5	15.6	3.5	1.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	68.8	27.4	2.6	1.2
	後期高齢者	536	59.3	31.0	7.1	2.6
	女性 前期高齢者	930	93.5	4.6	1.0	0.9
	後期高齢者	724	88.4	5.0	5.0	1.7
行政区	高砂	404	78.7	17.1	3.5	0.7
	荒井	399	80.7	14.5	3.8	1.0
	伊保	389	79.7	15.2	3.3	1.8
	中筋	284	81.0	13.4	4.9	0.7
	曾根	396	79.3	15.2	3.5	2.0
	米田	395	81.5	13.4	2.5	2.5
	阿弥陀	416	79.1	16.1	3.1	1.7
	北浜	324	75.6	20.1	3.4	0.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	80.3	15.8	2.5	1.5
	総合事業対象者	12	83.3	8.3	8.3	-
	要支援1・2	249	70.3	14.1	14.1	1.6

●問 4.8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

- 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が79.3%で最も多く、「できるけどしていない」が15.2%、「できない」が4.5%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「できるけどしていない」が多くなっています。



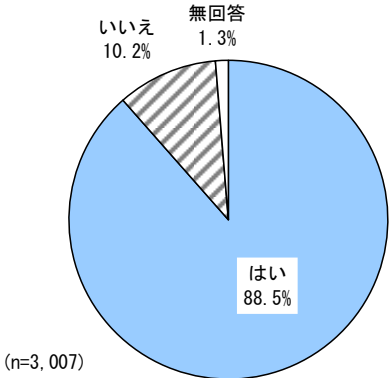
単位：%

		母数 (n)	預貯金の出し入れ			
			し で て き る し、	し で て き る け い ど	で き な い	無 回 答
全体		3,007	79.3	15.2	4.5	1.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	71.2	24.6	3.5	0.6
	後期高齢者	536	58.2	29.1	10.6	2.1
	女性 前期高齢者	930	95.2	3.2	0.8	0.9
	後期高齢者	724	83.8	9.5	5.8	0.8
行政区	高砂	404	80.4	14.9	4.2	0.5
	荒井	399	79.7	14.8	5.0	0.5
	伊保	389	77.1	16.5	4.9	1.5
	中筋	284	78.9	14.1	6.3	0.7
	曾根	396	79.5	14.4	5.6	0.5
	米田	395	82.0	12.9	2.8	2.3
	阿弥陀	416	78.6	16.3	3.8	1.2
	北浜	324	78.1	17.6	3.7	0.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	80.7	14.8	3.4	1.0
	総合事業対象者	12	75.0	25.0	-	-
	要支援1・2	249	64.3	18.5	16.5	0.8

(3) 社会との関わり

●問 4.9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1 つだけ）

- 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が 88.5%、「いいえ」が 10.2%となっています。
- 性別・年齢をみると、後期高齢者は前期高齢者に比べ「いいえ」が多く、特に女性では 17.1%となっています。
- 認定該当状況をみると、要支援 1・2 は他の区分に比べ「いいえ」が 31.3%と多くなっています。

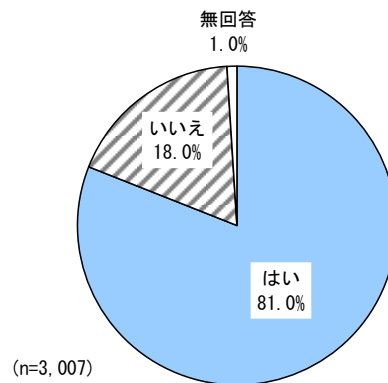


単位：％

		母数 (n)	年金などの書類が 書けるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	88.5	10.2	1.3
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	93.1	6.0	0.9
	後期高齢者	536	82.6	15.3	2.1
	女性 前期高齢者	930	93.2	5.7	1.1
	後期高齢者	724	81.4	17.1	1.5
行政区	高砂	404	89.6	9.4	1.0
	荒井	399	89.5	10.0	0.5
	伊保	389	87.7	11.3	1.0
	中筋	284	88.7	10.2	1.1
	曾根	396	88.6	10.4	1.0
	米田	395	87.3	10.9	1.8
	阿弥陀	416	87.7	10.1	2.2
	北浜	324	88.6	9.6	1.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	90.4	8.3	1.3
	総合事業対象者	12	91.7	8.3	－
	要支援１・２	249	67.1	31.3	1.6

●問 4.10 新聞を読んでいますか。(1つだけ)

- 新聞を読んでいるかについて、「はい」が81.0%、「いいえ」が18.0%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「はい」が多く、特に後期高齢者では87.5%と多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2は他の区分に比べ、「いいえ」が30.9%と多くなっています。

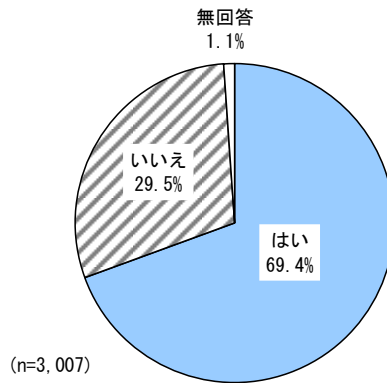


単位：%

		母数 (n)	新聞を読んでいるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	81.0	18.0	1.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	82.3	17.3	0.5
	後期高齢者	536	87.5	10.6	1.9
	女性 前期高齢者	930	79.5	19.8	0.8
	後期高齢者	724	76.8	22.1	1.1
行政区	高砂	404	83.7	15.6	0.7
	荒井	399	84.5	14.8	0.8
	伊保	389	78.9	20.3	0.8
	中筋	284	77.1	21.8	1.1
	曾根	396	78.0	21.5	0.5
	米田	395	78.2	20.0	1.8
	阿弥陀	416	83.2	15.4	1.4
	北浜	324	83.6	15.7	0.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	82.2	16.9	1.0
	総合事業対象者	12	83.3	16.7	-
	要支援1・2	249	68.3	30.9	0.8

●問 4.11 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ)

- 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が69.4%、「いいえ」が29.5%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性の前期高齢者は他の区分に比べ「はい」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて、「いいえ」が多くなる傾向がみられます。

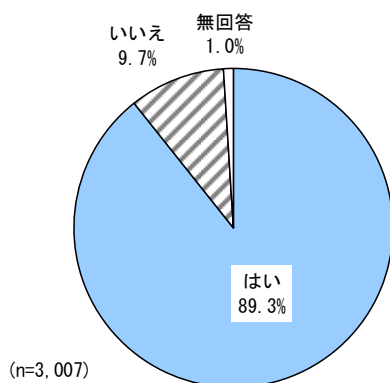


単位：%

		母数 (n)	本や雑誌を読んでいるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	69.4	29.5	1.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	68.3	31.0	0.7
	後期高齢者	536	62.9	35.4	1.7
	女性 前期高齢者	930	77.4	21.9	0.6
	後期高齢者	724	65.5	33.0	1.5
行政区	高砂	404	71.8	26.7	1.5
	荒井	399	72.2	27.1	0.8
	伊保	389	68.4	30.6	1.0
	中筋	284	67.6	31.3	1.1
	曾根	396	67.2	32.6	0.3
	米田	395	67.8	30.4	1.8
	阿弥陀	416	69.0	30.0	1.0
	北浜	324	71.6	27.2	1.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	71.3	27.7	1.0
	総合事業対象者	12	58.3	41.7	-
	要支援1・2	249	50.2	48.2	1.6

●問 4.12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ)

- 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が89.3%、「いいえ」が9.7%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ「はい」が多くなっています。

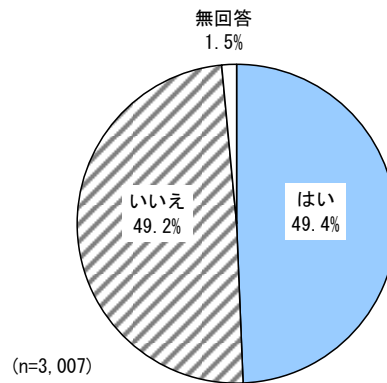


単位：%

		母数 (n)	健康についての記事や 番組に関心があるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	89.3	9.7	1.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	83.4	16.0	0.6
	後期高齢者	536	84.5	13.6	1.9
	女性 前期高齢者	930	94.0	5.3	0.8
	後期高齢者	724	93.4	5.5	1.1
行政区	高砂	404	87.9	11.4	0.7
	荒井	399	88.7	10.5	0.8
	伊保	389	87.7	10.8	1.5
	中筋	284	89.1	10.6	0.4
	曾根	396	90.4	9.1	0.5
	米田	395	90.1	8.1	1.8
	阿弥陀	416	89.2	9.4	1.4
	北浜	324	91.4	8.0	0.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	89.4	9.7	0.9
	総合事業対象者	12	100.0	-	-
	要支援1・2	249	87.6	10.4	2.0

●問 4.13 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ)

- 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が49.4%、「いいえ」が49.2%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は「いいえ」、女性は「はい」が多くなっています。
- 行政区をみると、伊保、曽根、阿弥陀、北浜で「はい」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて、「いいえ」が多くなる傾向がみられます。

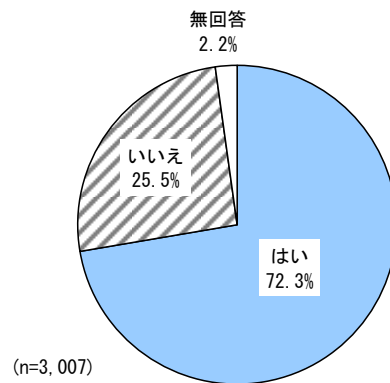


単位：%

		母数 (n)	友人の家を訪ねているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	49.4	49.2	1.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	43.0	56.1	1.0
	後期高齢者	536	37.3	60.4	2.2
	女性 前期高齢者	930	58.9	40.1	1.0
	後期高齢者	724	53.3	44.6	2.1
行政区	高砂	404	47.3	51.0	1.7
	荒井	399	46.4	52.9	0.8
	伊保	389	51.7	46.8	1.5
	中筋	284	46.8	52.5	0.7
	曽根	396	52.0	46.7	1.3
	米田	395	46.8	50.4	2.8
	阿弥陀	416	50.2	48.3	1.4
	北浜	324	54.0	44.8	1.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	51.0	47.6	1.4
	総合事業対象者	12	50.0	50.0	-
	要支援1・2	249	31.7	66.3	2.0

●問 4.14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ)

- 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が 72.3%、「いいえ」が 25.5%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ「はい」が多く、特に前期高齢者では 84.2%となっています。

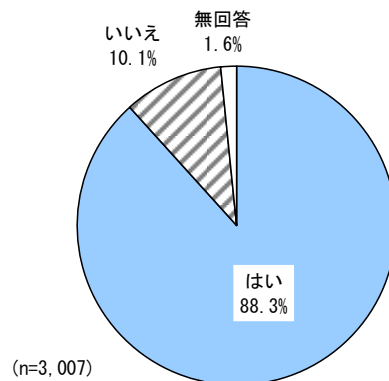


単位：%

		母数 (n)	家族や友人の相談に のっているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	72.3	25.5	2.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	71.4	27.5	1.1
	後期高齢者	536	61.0	35.8	3.2
	女性 前期高齢者	930	84.2	14.3	1.5
	後期高齢者	724	66.7	29.8	3.5
行政区	高砂	404	72.3	25.7	2.0
	荒井	399	71.7	26.1	2.3
	伊保	389	74.8	23.4	1.8
	中筋	284	71.8	26.8	1.4
	曾根	396	73.5	24.2	2.3
	米田	395	70.1	26.8	3.0
	阿弥陀	416	73.3	24.5	2.2
	北浜	324	71.0	26.9	2.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	74.5	23.4	2.0
	総合事業対象者	12	50.0	50.0	-
	要支援1・2	249	49.4	47.0	3.6

●問 4.15 病人を見舞うことができますか。(1 っだけ)

- 病人を見舞うことができるかについて、「はい」が 88.3%、「いいえ」が 10.1%となっています。
- 性別・年齢をみると、男女ともに前期高齢者は後期高齢者に比べ「はい」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて、「いいえ」が多くなる傾向がみられます。

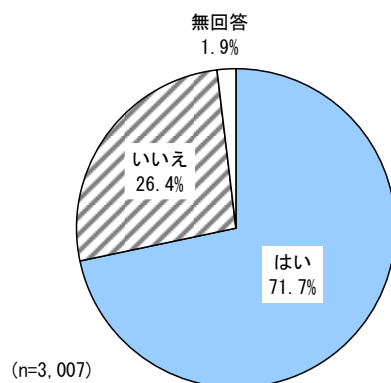


単位：%

		母数 (n)	病人を見舞うことが できるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	88.3	10.1	1.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	92.5	6.9	0.6
	後期高齢者	536	84.9	12.5	2.6
	女性 前期高齢者	930	94.0	5.2	0.9
	後期高齢者	724	78.6	18.5	2.9
行政区	高砂	404	87.9	10.6	1.5
	荒井	399	89.0	10.0	1.0
	伊保	389	88.2	10.3	1.5
	中筋	284	86.3	12.3	1.4
	曾根	396	89.9	8.8	1.3
	米田	395	86.3	10.4	3.3
	阿弥陀	416	87.3	11.3	1.4
	北浜	324	91.4	7.4	1.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	91.0	7.5	1.5
	総合事業対象者	12	83.3	16.7	-
	要支援 1・2	249	58.2	39.4	2.4

●問 4.16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ)

- 若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が71.7%、「いいえ」が26.4%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ「はい」が多くなっています。



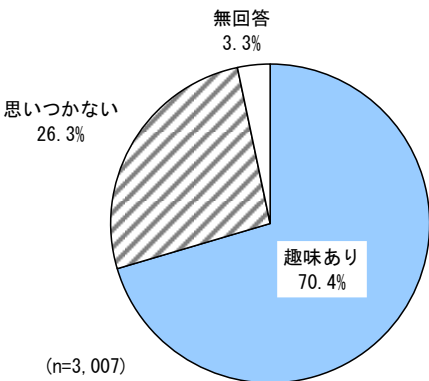
単位：%

		母数 (n)	若い人に自分から 話しかけることがあるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	71.7	26.4	1.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	69.6	29.0	1.3
	後期高齢者	536	63.4	33.6	3.0
	女性 前期高齢者	930	76.3	22.0	1.6
	後期高齢者	724	74.3	23.8	1.9
行政区	高砂	404	70.5	27.5	2.0
	荒井	399	70.7	27.6	1.8
	伊保	389	72.8	25.7	1.5
	中筋	284	69.7	29.2	1.1
	曾根	396	74.0	24.7	1.3
	米田	395	71.6	25.1	3.3
	阿弥陀	416	72.4	26.0	1.7
	北浜	324	71.6	26.2	2.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	72.8	25.4	1.8
	総合事業対象者	12	50.0	50.0	-
	要支援 1・2	249	61.0	36.1	2.8

(4) 趣味・生きがいについて

●問 4.17 趣味はありますか。(1つだけ)

- 趣味の有無について、「趣味あり」が70.4%、「思いつかない」が26.3%となっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて、「思いつかない」が多くなる傾向がみられます。

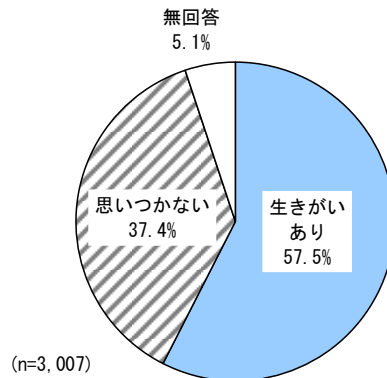


単位：％

		母数 (n)	趣味の有無		
			趣味あり	思いつかない	無回答
全体		3,007	70.4	26.3	3.3
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	73.7	25.2	1.1
	後期高齢者	536	68.1	26.9	5.0
	女性 前期高齢者	930	71.5	25.7	2.8
	後期高齢者	724	67.3	27.8	5.0
行政区	高砂	404	70.5	26.5	3.0
	荒井	399	74.9	21.8	3.3
	伊保	389	67.9	28.8	3.3
	中筋	284	66.2	29.9	3.9
	曾根	396	68.7	28.3	3.0
	米田	395	69.4	25.3	5.3
	阿弥陀	416	73.6	24.5	1.9
	北浜	324	71.3	26.2	2.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	72.1	24.8	3.1
	総合事業対象者	12	58.3	33.3	8.3
	要支援1・2	249	53.0	42.6	4.4

●問 4.18 生きがいがありますか。(1つだけ)

- 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 57.5%、「思いつかない」が 37.4%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「思いつかない」が多く、特に後期高齢者で 44.4%となっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて、「思いつかない」が多くなる傾向がみられます。



単位：%

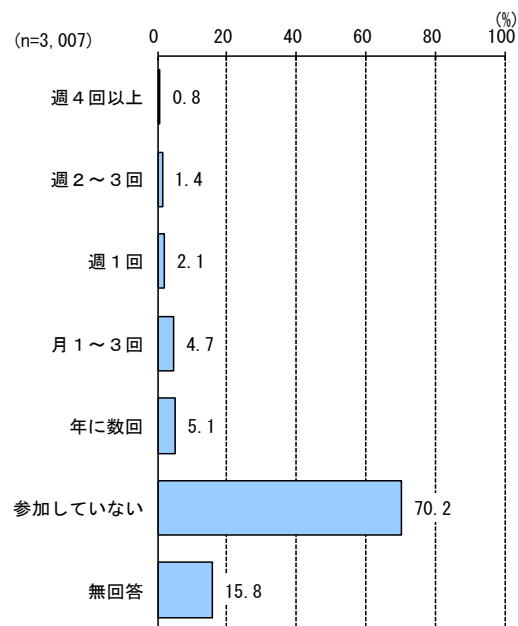
		母数 (n)	生きがいの有無		
			生き がい あり	思 い つ か ない	無 回 答
全体		3,007	57.5	37.4	5.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	56.2	40.6	3.2
	後期高齢者	536	49.1	44.4	6.5
	女性 前期高齢者	930	62.9	33.1	4.0
	後期高齢者	724	58.1	34.3	7.6
行政区	高砂	404	57.7	37.1	5.2
	荒井	399	53.9	40.6	5.5
	伊保	389	57.3	36.8	5.9
	中筋	284	56.7	40.1	3.2
	曾根	396	59.1	35.4	5.6
	米田	395	56.2	37.0	6.8
	阿弥陀	416	60.3	36.1	3.6
	北浜	324	58.3	37.3	4.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	58.9	36.2	4.9
	総合事業対象者	12	50.0	50.0	—
	要支援1・2	249	41.8	50.6	7.6
家族構成	1人暮らし	524	55.3	37.6	7.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	59.6	35.7	4.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	57.0	39.7	3.3
	息子・娘との2世帯	459	59.3	35.3	5.4
	その他	502	51.4	44.8	3.8

7. 地域での活動について

(1) 地域活動への参加の状況

●問 5.1① ボランティアのグループへの参加頻度

○ ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が70.2%となっており、参加している人では、「年に数回」が5.1%で最も多く、「月1～3回」が4.7%となっています。

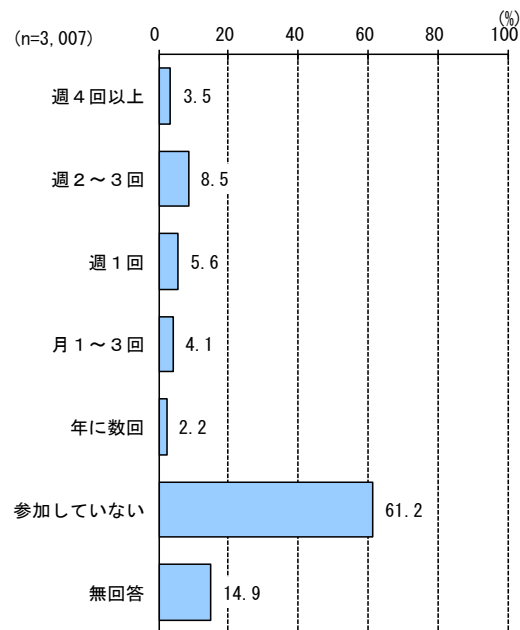


単位：%

		母数 (n)	①ボランティアのグループへの参加頻度						
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
全体		3,007	0.8	1.4	2.1	4.7	5.1	70.2	15.8
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	0.5	1.2	2.2	4.7	7.1	74.8	9.5
	後期高齢者	536	1.1	1.3	0.2	4.5	6.5	65.1	21.3
	女性 前期高齢者	930	1.0	1.9	2.6	4.9	3.7	76.3	9.6
	後期高齢者	724	0.6	1.1	2.6	4.4	3.7	60.9	26.7
行政区	高砂	404	1.2	1.7	1.7	4.2	7.4	69.6	14.1
	荒井	399	0.5	2.3	2.8	4.0	4.8	70.4	15.3
	伊保	389	0.3	0.5	2.1	4.1	3.1	74.8	15.2
	中筋	284	1.1	1.8	0.7	4.9	2.8	70.4	18.3
	曾根	396	0.5	1.0	2.0	3.5	4.0	72.0	16.9
	米田	395	0.8	1.3	1.8	5.8	4.6	69.1	16.7
	阿弥陀	416	1.4	1.4	2.4	4.8	6.0	68.8	15.1
	北浜	324	0.3	1.5	2.8	6.2	8.0	66.0	15.1
認定該当状況	一般高齢者	2,746	0.8	1.4	2.1	4.9	5.3	70.3	15.2
	総合事業対象者	12	8.3	-	16.7	-	-	66.7	8.3
	要支援1・2	249	0.4	1.6	0.8	2.0	3.2	69.5	22.5

●問 5.1② スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度

- ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が 61.2%となっており、参加している人では、「週 2～3 回」が 8.5%で最も多く、「週 1 回」が 5.6%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性の前期高齢者は他の区分に比べ“月 1 回以上参加する”人が 27.8%と多くなっています。

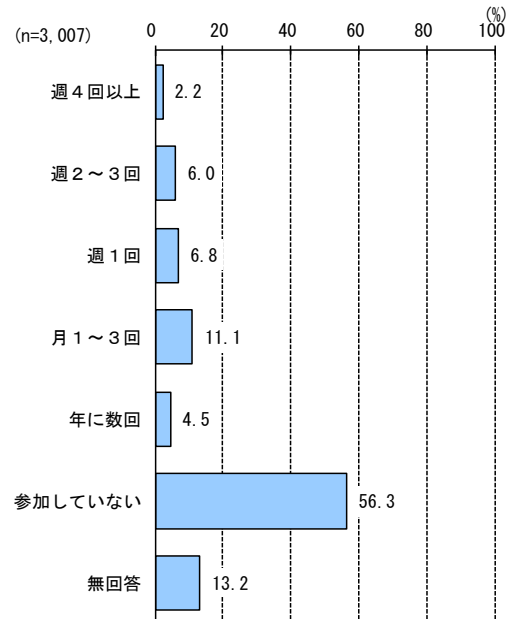


単位：%

		母数 (n)	②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度						
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い 参 加 し て な い	無 回 答
全体		3,007	3.5	8.5	5.6	4.1	2.2	61.2	14.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	2.6	6.0	4.2	6.4	4.2	67.9	8.8
	後期高齢者	536	4.7	6.9	2.8	2.4	2.8	60.4	20.0
	女性 前期高齢者	930	4.0	10.9	8.6	4.3	0.8	62.5	9.0
	後期高齢者	724	3.2	9.7	5.2	2.6	1.5	52.3	25.4
行政区	高砂	404	3.2	8.4	5.0	5.7	1.5	62.4	13.9
	荒井	399	3.3	7.8	6.3	2.5	2.0	62.4	15.8
	伊保	389	3.9	8.7	5.4	4.9	1.5	62.7	12.9
	中筋	284	2.1	6.0	6.0	2.8	1.8	64.4	16.9
	曾根	396	2.0	11.6	4.5	4.3	2.3	59.3	15.9
	米田	395	3.5	8.4	5.3	3.3	2.0	60.8	16.7
	阿弥陀	416	5.5	8.4	6.5	4.8	3.8	57.9	13.0
	北浜	324	4.3	8.3	5.6	4.3	2.8	60.2	14.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	3.7	9.0	6.0	4.3	2.4	60.4	14.3
	総合事業対象者	12	-	16.7	8.3	8.3	-	58.3	8.3
	要支援 1・2	249	1.6	2.8	0.8	2.4	0.8	69.9	21.7

●問 5.1③ 趣味関係のグループへの参加頻度

- ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が56.3%となっており、参加している人では、「月1～3回」が11.1%で最も多く、「週1回」が6.8%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ“月1回以上参加する”人が多く、前期高齢者では28.9%、後期高齢者では27.8%となっています。

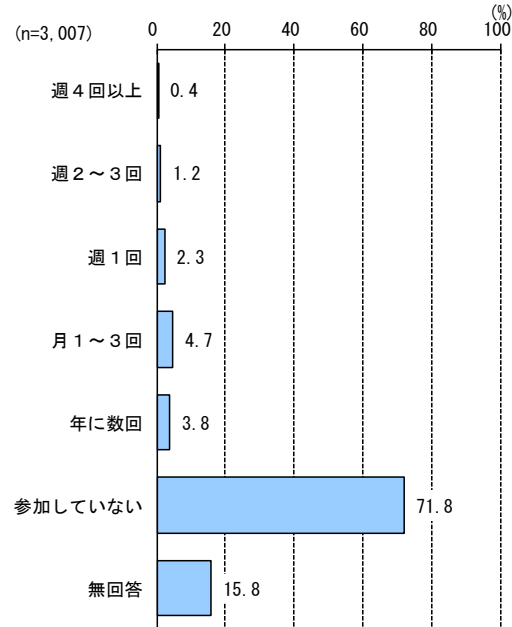


単位：%

		母数 (n)	③趣味関係のグループへの参加頻度						
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い 参 加 し て	無 回 答
全体		3,007	2.2	6.0	6.8	11.1	4.5	56.3	13.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	1.7	4.8	4.5	12.1	7.0	61.6	8.3
	後期高齢者	536	4.7	6.0	5.8	6.9	5.6	53.7	17.4
	女性 前期高齢者	930	1.2	6.6	8.4	12.7	3.2	59.8	8.2
	後期高齢者	724	2.1	6.8	7.9	11.0	2.5	47.8	22.0
行政区	高砂	404	2.2	6.4	6.4	12.6	4.0	55.0	13.4
	荒井	399	1.8	4.8	6.3	11.3	5.5	57.9	12.5
	伊保	389	1.3	5.9	6.2	8.5	4.1	60.9	13.1
	中筋	284	2.5	2.5	6.0	9.2	4.9	58.1	16.9
	曾根	396	1.8	8.6	6.6	11.9	3.3	53.3	14.6
	米田	395	2.0	6.8	6.6	11.1	4.8	56.7	11.9
	阿弥陀	416	1.9	4.6	8.9	12.0	5.5	56.0	11.1
	北浜	324	4.3	8.0	6.8	11.7	3.7	52.5	13.0
認定該当状況	一般高齢者	2,746	2.3	6.2	7.1	11.4	4.8	55.5	12.7
	総合事業対象者	12	-	16.7	-	16.7	-	58.3	8.3
	要支援1・2	249	0.8	3.2	3.6	8.0	1.6	64.7	18.1

●問 5.1④ 学習・教養サークルへの参加頻度

- ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が71.8%となっており、参加している人では、「月1～3回」が4.7%で最も多く、「年に数回」が3.8%となっています。

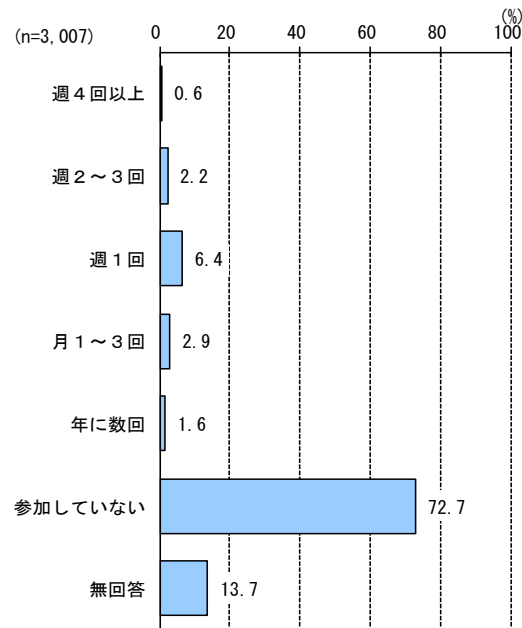


単位：%

		母数 (n)	④学習・教養サークルへの参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い 参 加 し て	無 回 答
全体		3,007	0.4	1.2	2.3	4.7	3.8	71.8	15.8
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	0.6	0.7	1.8	3.9	3.7	79.1	10.2
	後期高齢者	536	0.4	0.6	2.1	3.5	2.4	70.7	20.3
	女性 前期高齢者	930	0.4	1.6	2.3	5.4	4.5	76.0	9.8
	後期高齢者	724	0.3	1.5	3.0	5.4	4.1	59.1	26.5
行政区	高砂	404	0.5	0.5	2.7	5.0	3.2	72.8	15.3
	荒井	399	0.8	1.5	1.5	3.5	3.8	72.7	16.3
	伊保	389	0.3	0.5	1.8	3.6	3.9	76.1	13.9
	中筋	284	－	2.1	1.1	4.6	2.1	72.9	17.3
	曾根	396	－	0.8	2.0	6.8	3.5	69.2	17.7
	米田	395	0.5	1.8	2.3	4.3	3.5	71.1	16.5
	阿弥陀	416	0.5	0.7	3.6	5.3	4.3	71.2	14.4
	北浜	324	0.9	1.9	3.1	4.0	6.2	68.5	15.4
認定該当状況	一般高齢者	2,746	0.5	1.2	2.2	4.9	4.0	71.9	15.4
	総合事業対象者	12	－	－	8.3	－	－	83.3	8.3
	要支援１・２	249	－	0.8	2.8	2.4	2.4	70.7	20.9

●問 5.1⑤ 介護予防のための通いの場（いきいき百歳体操・生きがいデイ・サロンなど）への参加頻度

- ⑤介護予防のための通いの場（いきいき百歳体操・生きがいデイ・サロンなど）への参加頻度について、「参加していない」が72.7%となっており、参加している人では、「週1回」が6.4%で最も多く、「月1～3回」が2.9%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性の後期高齢者は他の区分に比べ参加している人が多くなっています。

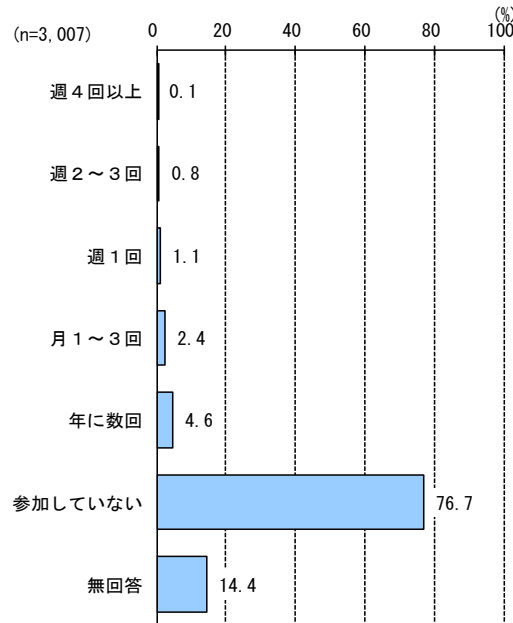


単位：%

		母数 (n)	⑤介護予防のための通いの場 (いきいき百歳体操・生きがいデイ・サロンなど) への 参加頻度						
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い 参 加 し て い ない	無 回 答
全体		3,007	0.6	2.2	6.4	2.9	1.6	72.7	13.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	0.2	1.0	1.2	1.2	1.1	85.6	9.7
	後期高齢者	536	0.9	1.5	3.0	2.4	1.5	70.5	20.1
	女性 前期高齢者	930	0.6	2.6	7.3	2.9	1.6	77.2	7.7
	後期高齢者	724	0.6	3.6	13.5	5.0	2.3	53.9	21.1
行政区	高砂	404	0.2	2.0	6.4	3.2	1.0	72.8	14.4
	荒井	399	0.5	1.8	8.0	2.8	0.8	72.9	13.3
	伊保	389	0.5	2.3	5.4	2.1	2.3	74.0	13.4
	中筋	284	—	2.1	5.3	2.5	1.4	71.8	16.9
	曾根	396	—	2.5	6.8	1.8	2.0	72.2	14.6
	米田	395	0.5	2.0	6.1	2.0	1.8	73.4	14.2
	阿弥陀	416	1.7	1.4	6.7	2.9	2.2	73.8	11.3
	北浜	324	0.9	3.7	5.9	6.2	1.5	69.4	12.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	0.5	1.9	5.7	2.8	1.6	74.0	13.4
	総合事業対象者	12	—	—	—	16.7	—	75.0	8.3
	要支援1・2	249	0.8	5.6	14.1	2.4	2.4	57.4	17.3

●問 5.1⑥ 老人クラブへの参加頻度

- ⑥老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が76.7%となっており、参加している人では、「年に数回」が4.6%で最も多く、「月1～3回」が2.4%となっています。
- 性別・年齢をみると、男女ともに後期高齢者は前期高齢者に比べ参加している人が多くなっています。
- 行政区をみると、北浜は他の地域に比べ参加している人が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2の参加している人は、「年に数回」が8.4%となっています。

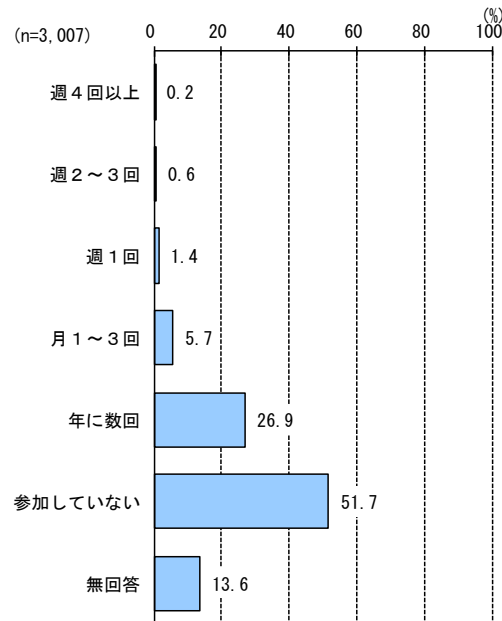


単位：%

		母数 (n)	⑥老人クラブへの参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い 参 加 し て い ない	無 回 答
全体		3,007	0.1	0.8	1.1	2.4	4.6	76.7	14.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	0.1	0.2	0.6	1.0	2.9	85.6	9.5
	後期高齢者	536	0.6	2.2	0.9	3.2	7.5	67.4	18.3
	女性 前期高齢者	930	－	0.5	1.0	0.9	2.7	86.0	8.9
	後期高齢者	724	－	0.7	1.8	5.5	6.6	61.5	23.9
行政区	高砂	404	－	－	0.7	0.5	3.2	80.4	15.1
	荒井	399	－	0.3	0.3	1.8	3.0	80.2	14.5
	伊保	389	－	1.8	1.0	3.6	3.1	76.9	13.6
	中筋	284	－	1.4	1.1	2.1	3.2	75.7	16.5
	曾根	396	－	0.3	2.0	1.8	4.3	78.3	13.4
	米田	395	－	1.0	1.0	1.8	4.8	75.7	15.7
	阿弥陀	416	1.0	1.0	1.7	4.3	5.8	73.3	13.0
	北浜	324	－	0.9	0.6	3.7	9.6	71.6	13.6
	一般高齢者	2,746	0.1	0.7	1.0	2.4	4.2	77.6	13.9
認定該当状況	総合事業対象者	12	－	－	－	－	8.3	83.3	8.3
	要支援1・2	249	－	1.6	2.0	2.8	8.4	65.5	19.7

●問 5.1⑦ 町内会・自治会への参加頻度

- ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が51.7%となっており、参加している人では、「年に数回」が26.9%で最も多く、「月1～3回」が5.7%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性の前期高齢者は他の区分に比べ参加している人が多くなっています。
- 行政区をみると、高砂、阿弥陀、北浜は他の地域に比べ参加している人が多くなっています。

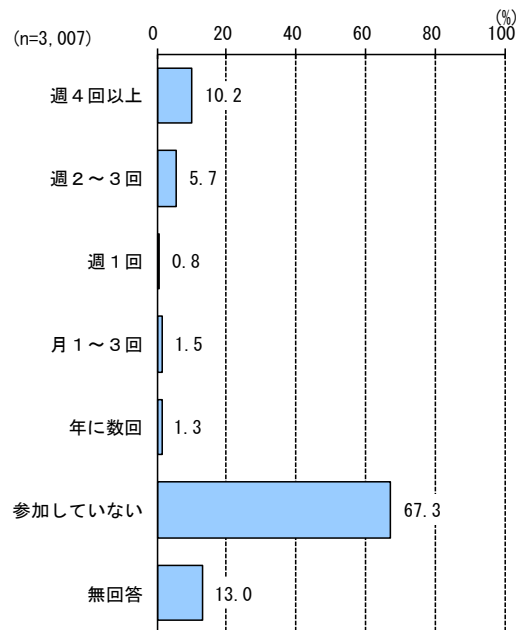


単位：%

		母数 (n)	⑦町内会・自治会への参加頻度						
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い 参 な 加 い し て	無 回 答
全体		3,007	0.2	0.6	1.4	5.7	26.9	51.7	13.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	0.4	1.2	1.5	8.0	29.5	51.4	8.1
	後期高齢者	536	0.2	0.6	1.7	4.5	24.3	50.9	17.9
	女性 前期高齢者	930	0.2	0.2	1.1	4.2	30.5	55.6	8.2
	後期高齢者	724	0.1	0.3	1.5	5.9	21.1	47.5	23.5
行政区	高砂	404	0.2	1.0	1.2	7.2	34.4	42.6	13.4
	荒井	399	0.5	—	1.5	4.0	23.8	56.4	13.8
	伊保	389	0.3	0.3	0.8	4.1	28.5	53.7	12.3
	中筋	284	—	0.4	1.4	6.7	21.1	53.2	17.3
	曾根	396	—	0.8	2.0	2.5	19.9	60.1	14.6
	米田	395	0.3	0.3	0.5	6.3	19.7	58.2	14.7
	阿弥陀	416	0.5	0.7	1.9	7.2	34.4	43.8	11.5
	北浜	324	—	1.2	1.9	8.0	31.8	45.4	11.7
認定該当状況	一般高齢者	2,746	0.3	0.6	1.4	6.0	28.0	50.6	13.1
	総合事業対象者	12	—	—	8.3	—	8.3	75.0	8.3
	要支援1・2	249	—	0.4	1.2	2.8	14.9	62.2	18.5

●問 5.1⑧ 収入のある仕事への参加頻度

- ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が67.3%となっており、参加している人では、「週4回以上」が10.2%で最も多く、「週2～3回」が5.7%となっています。
- 性別・年齢をみると、男女ともに前期高齢者は後期高齢者に比べ、参加している人が多くなっています。
- 後期高齢者で「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上”は、男性では8.6%、女性では5.1%となっています。
- 行政区をみると、中筋は他の地域に比べ参加している人が多くなっています。



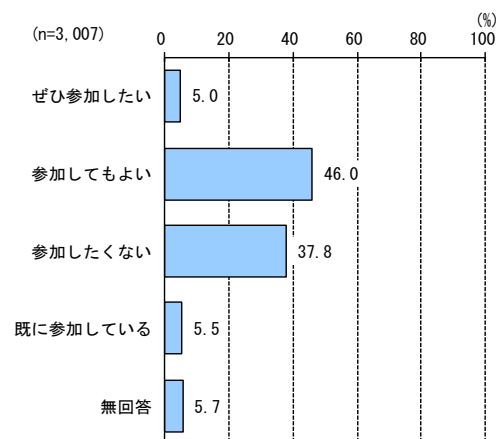
単位：%

		母数 (n)	⑧収入のある仕事への参加頻度						
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い 参 加 し て い な い	無 回 答
全体		3,007	10.2	5.7	0.8	1.5	1.3	67.3	13.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	19.6	12.0	0.5	2.6	1.8	56.3	7.2
	後期高齢者	536	5.8	2.4	0.4	0.4	1.9	70.9	18.3
	女性 前期高齢者	930	10.3	5.5	1.4	2.0	1.0	72.4	7.4
	後期高齢者	724	2.9	1.4	0.8	0.6	0.8	70.7	22.8
行政区	高砂	404	9.7	5.2	1.2	1.7	1.0	68.1	13.1
	荒井	399	9.5	5.0	0.5	1.5	2.3	68.7	12.5
	伊保	389	9.0	6.7	0.5	1.5	1.0	68.6	12.6
	中筋	284	13.7	4.6	1.1	0.7	1.4	63.4	15.1
	曾根	396	10.4	6.1	1.3	1.5	1.0	66.9	12.9
	米田	395	10.4	6.8	1.0	1.3	0.5	65.8	14.2
	阿弥陀	416	10.6	6.3	0.7	1.2	2.4	67.1	11.8
	北浜	324	9.6	4.6	0.3	2.8	0.9	69.4	12.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	11.1	6.2	0.9	1.7	1.4	66.3	12.4
	総合事業対象者	12	8.3	-	-	-	-	83.3	8.3
	要支援1・2	249	0.8	0.8	-	-	0.4	77.9	20.1

(2) 地域活動づくりへの参加意向

●問 5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が46.0%で最も多く、「参加したくない」が37.8%、「既に参加している」が5.5%となっています。
- 「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると、“参加意向あり”は51.0%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性の前期高齢者は他の区分に比べ、“参加意向あり”が56.7%と多くなっています。
- 行政区をみると、高砂、荒井、阿弥陀、北浜は他の地域に比べ、“参加意向あり”が50%を超えて多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2では、“参加意向あり”が33.7%となっています。

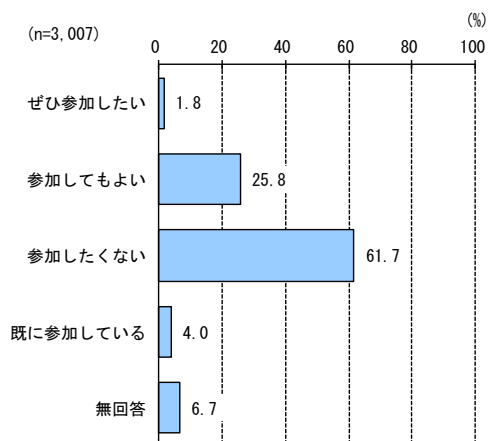


単位：％

		母数 (n)	地域づくり活動に対する参加者としての参加意向				
			し ぜ た ひ い 参 加	よ 参 い 加 し て も	な 参 い 加 し た く	し 既 て に い 参 る 加	無 回 答
全体		3,007	5.0	46.0	37.8	5.5	5.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	2.6	49.1	41.0	4.0	3.3
	後期高齢者	536	5.2	42.5	38.1	6.5	7.6
	女性 前期高齢者	930	5.8	50.9	35.5	4.7	3.1
	後期高齢者	724	6.5	38.8	37.2	7.2	10.4
行政区	高砂	404	4.5	47.3	35.6	6.2	6.4
	荒井	399	5.8	48.9	34.8	5.5	5.0
	伊保	389	7.2	42.4	41.4	4.4	4.6
	中筋	284	5.3	40.1	46.1	2.8	5.6
	曾根	396	3.3	45.5	39.4	3.8	8.1
	米田	395	3.8	45.8	38.7	6.3	5.3
	阿弥陀	416	5.0	46.6	36.1	6.7	5.5
	北浜	324	5.2	50.3	32.1	7.4	4.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	5.1	47.5	36.6	5.6	5.2
	総合事業対象者	12	－	25.0	66.7	8.3	－
	要支援 1・2	249	3.6	30.1	50.2	4.0	12.0

●問 5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が61.7%で最も多く、「参加してもよい」が25.8%、「既に参加している」が4.0%となっています。
- 「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると、“参加意向あり”は27.6%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性の前期高齢者は他の区分に比べ、“参加意向あり”が30.3%と多くなっています。
- 行政区をみると、高砂、北浜は他の地域に比べ、“参加意向あり”が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2では、“参加意向あり”が14.5%となっています。

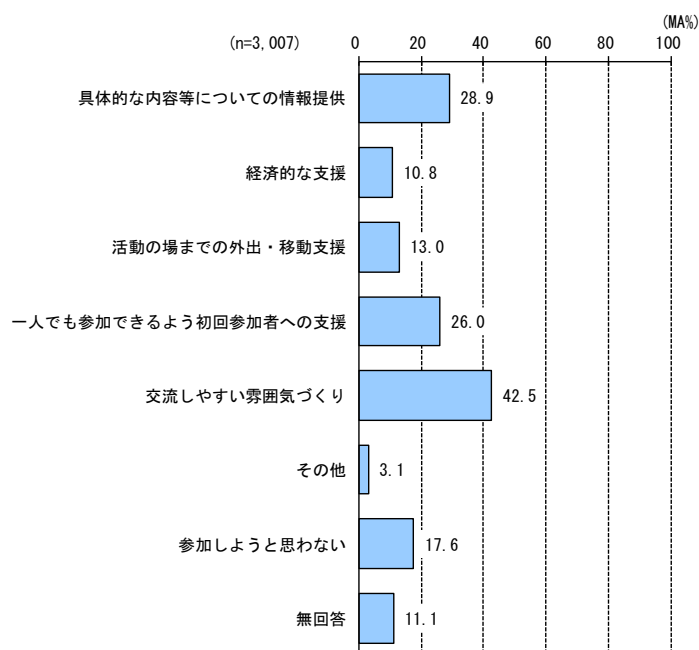


単位：%

		母数 (n)	地域づくり活動に対する お世話役としての参加意向				
			し ぜ た ひ い 参 加	よ 参 加 し て も	な 参 加 し た く	し 既 て に い 参 加	無 回 答
全体		3,007	1.8	25.8	61.7	4.0	6.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	1.7	28.6	62.3	3.2	4.2
	後期高齢者	536	1.9	26.5	60.1	4.7	6.9
	女性 前期高齢者	930	1.6	26.5	64.1	3.5	4.3
	後期高齢者	724	1.9	21.1	59.3	5.1	12.6
行政区	高砂	404	1.2	29.5	57.9	4.2	7.2
	荒井	399	1.5	26.8	60.2	4.0	7.5
	伊保	389	2.3	25.7	60.9	4.4	6.7
	中筋	284	1.4	23.2	67.3	2.1	6.0
	曾根	396	2.3	23.2	64.6	2.3	7.6
	米田	395	2.0	25.1	62.0	4.8	6.1
	阿弥陀	416	1.0	24.3	63.5	5.0	6.3
	北浜	324	2.5	28.1	58.3	4.9	6.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	1.8	27.0	60.8	4.1	6.3
	総合事業対象者	12	8.3	-	91.7	-	-
	要支援1・2	249	1.2	13.3	70.3	3.2	12.0

●問 5.4 地域での活動に、どのような支援があれば参加しやすくなると思いますか。(いくつかでも)

○ 地域での活動に参加しやすくなる支援について、「交流しやすい雰囲気づくり」が42.5%で最も多く、「具体的な内容等についての情報提供」が28.9%、「一人でも参加できるよう初回参加者への支援」が26.0%となっています。



単位：％

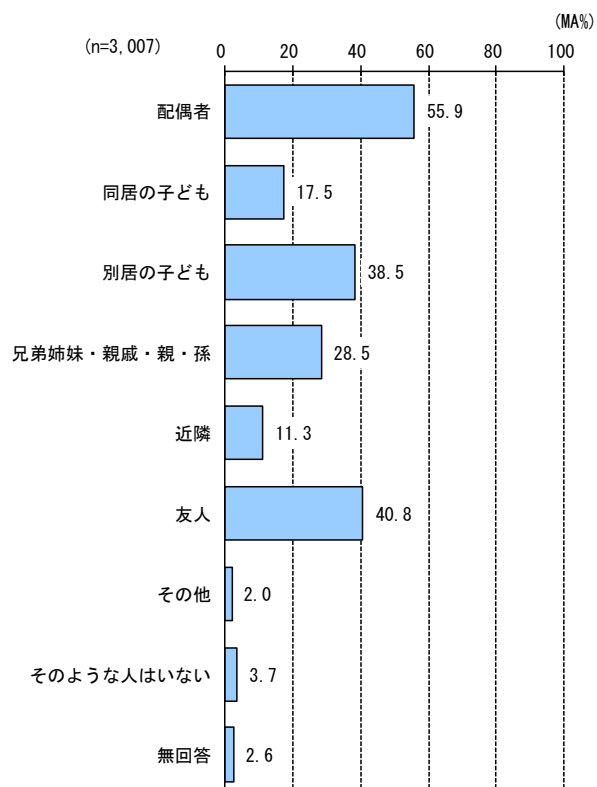
		母数 (n)	地域での活動に参加しやすくなる支援(MA)							
			つ 具 体 的 な 情 報 提 供 に	経 済 的 な 支 援	外 活 動 の 場 ま で の 支 援	初 一 人 で も 参 加 で き る よ う の 支 援	交 流 し やす い	そ の 他	参 加 し よう と 思 わ な い	無 回 答
全体		3,007	28.9	10.8	13.0	26.0	42.5	3.1	17.6	11.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	34.8	17.1	7.6	26.7	43.8	3.7	18.6	6.7
	後期高齢者	536	24.8	10.4	11.9	19.4	34.9	3.5	20.3	14.7
	女性 前期高齢者	930	33.1	9.9	13.2	32.7	49.4	2.8	14.5	7.5
	後期高齢者	724	20.0	5.2	19.8	21.7	38.0	2.5	18.2	17.8
行政区	高砂	404	31.2	12.9	14.6	26.5	46.8	1.5	15.3	11.1
	荒井	399	29.3	8.0	11.3	23.8	43.4	2.3	18.3	13.3
	伊保	389	31.9	9.3	13.9	25.4	39.3	3.3	18.0	11.3
	中筋	284	24.6	11.3	9.9	22.5	35.6	6.3	21.8	10.6
	菅根	396	28.5	11.1	11.1	29.8	38.6	2.5	18.2	11.1
	米田	395	28.9	10.6	12.7	29.1	39.2	3.8	15.9	12.2
	阿弥陀	416	30.0	10.8	15.1	26.4	46.4	2.9	17.8	9.9
	北浜	324	25.0	13.3	15.1	23.1	50.0	3.1	16.0	8.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	30.0	11.3	12.1	26.9	44.4	3.1	16.8	10.5
	総合事業対象者	12	50.0	8.3	16.7	25.0	41.7	—	16.7	8.3
	要支援1・2	249	16.1	5.6	23.7	16.9	22.1	2.8	26.1	17.7

8. たすけあいについて

(1) 周囲との相互の関係

●問 6.1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか。(いくつでも)

○ あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 55.9%で最も多く、「友人」が 40.8%、「別居の子ども」が 38.5%となっています。



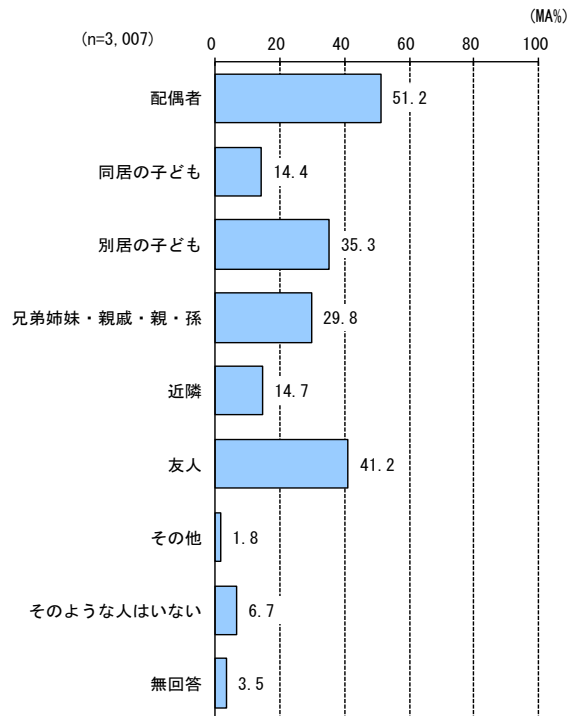
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ、「配偶者」が多くなっています。
- 女性の前期高齢者は「友人」が55.8%と多くなっています。
- 行政区をみると、中筋は他の地域に比べ、「近隣」が15.8%と多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・孫・親戚・	近隣	友人	その他	そのような人は いない	無回答
全体		3,007	55.9	17.5	38.5	28.5	11.3	40.8	2.0	3.7	2.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	72.2	12.7	25.6	19.8	5.1	33.3	2.2	6.0	1.3
	後期高齢者	536	67.0	15.3	33.4	20.5	6.7	23.5	1.9	5.0	4.7
	女性 前期高齢者	930	54.3	19.2	48.3	38.0	16.2	55.8	0.9	1.7	1.3
	後期高齢者	724	31.4	22.2	44.5	32.2	15.3	42.7	3.2	2.5	4.3
行政区	高砂	404	55.4	13.4	37.6	27.7	11.6	43.6	1.2	3.2	2.2
	荒井	399	56.9	19.5	38.6	27.6	9.0	40.6	1.8	3.0	2.8
	伊保	389	56.6	20.3	40.6	28.0	9.3	40.6	2.1	3.3	3.6
	中筋	284	54.2	16.2	36.6	27.1	15.8	37.3	2.5	6.0	4.2
	曾根	396	55.3	20.2	38.6	32.3	11.4	41.9	2.3	3.0	2.5
	米田	395	49.1	15.4	40.3	26.6	13.7	40.5	2.3	5.6	2.0
	阿弥陀	416	60.1	18.5	37.5	28.1	11.8	41.3	2.2	3.6	2.2
	北浜	324	59.6	15.7	38.0	30.9	8.6	38.9	1.5	1.9	1.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	58.2	17.4	38.2	28.6	11.3	42.0	1.6	3.5	2.4
	総合事業対象者	12	41.7	8.3	50.0	41.7	8.3	50.0	-	16.7	-
	要支援1・2	249	31.3	18.9	42.2	27.3	11.6	27.3	6.0	4.4	5.2
家族構成	1人暮らし	524	2.5	0.8	46.4	29.8	14.3	48.7	3.6	9.5	3.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	78.8	3.5	45.0	28.0	10.3	38.6	1.0	2.3	2.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	81.0	5.0	28.1	21.5	5.8	32.2	1.7	5.8	2.5
	息子・娘との2世帯	459	49.9	53.4	28.1	27.5	13.3	37.7	1.7	1.5	3.1
	その他	502	52.6	41.8	26.1	31.3	10.8	43.8	3.4	3.0	2.2

●問 6.2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。(いくつでも)

- あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が51.2%で最も多く、「友人」が41.2%、「別居の子ども」が35.3%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ、「配偶者」が多くなっています。
- 女性の前期高齢者は「友人」が56.3%と多くなっています。
- 行政区をみると、中筋は他の地域に比べ、「近隣」が21.1%と多くなっています。

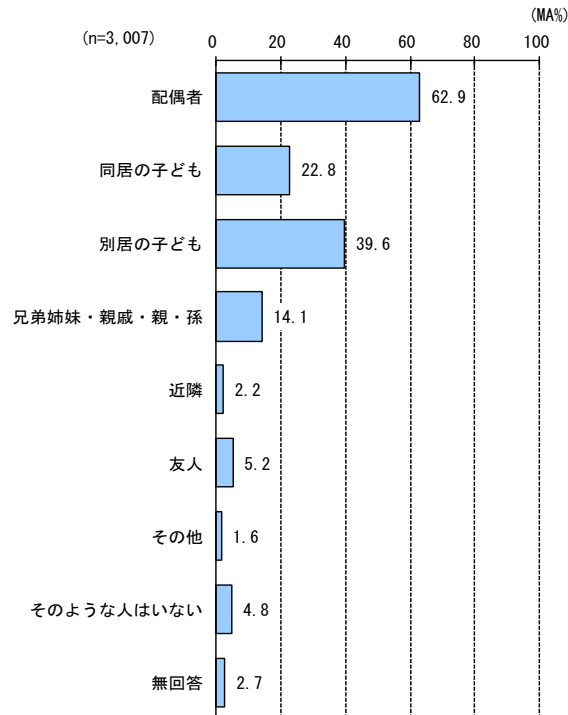


単位：%

		母数 (n)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
全体		3,007	51.2	14.4	35.3	29.8	14.7	41.2	1.8	6.7	3.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	70.1	12.9	30.6	23.1	8.4	32.4	2.4	6.6	1.5
	後期高齢者	536	62.1	13.1	29.5	23.5	9.9	23.1	1.1	8.6	6.0
	女性 前期高齢者	930	48.4	16.0	44.8	38.4	19.1	56.3	1.1	3.9	2.7
	後期高齢者	724	25.4	15.2	32.6	30.8	19.5	44.9	2.3	8.8	5.1
行政区	高砂	404	50.0	10.4	35.6	26.2	15.1	41.6	1.5	7.2	2.7
	荒井	399	51.9	15.3	35.6	29.6	11.8	40.1	1.8	6.3	4.8
	伊保	389	51.9	17.5	36.0	30.6	12.3	41.9	1.0	6.9	3.9
	中筋	284	51.4	15.8	30.6	28.5	21.1	39.8	3.2	7.0	5.3
	曾根	396	50.0	15.2	35.6	32.8	14.1	42.4	1.5	6.1	2.3
	米田	395	43.0	12.9	35.7	27.1	17.0	40.0	1.8	9.1	4.1
	阿弥陀	416	57.0	16.3	35.1	31.7	14.2	43.5	1.4	6.7	2.2
	北浜	324	54.9	12.0	37.0	31.5	13.3	39.2	2.5	3.4	3.7
認定該当状況	一般高齢者	2,746	53.4	14.5	36.1	30.1	14.7	42.4	1.6	6.0	3.1
	総合事業対象者	12	41.7	8.3	25.0	50.0	8.3	58.3	-	8.3	-
	要支援1・2	249	27.3	13.7	26.9	25.3	14.1	26.9	3.2	13.3	8.0
家族構成	1人暮らし	524	2.5	0.4	34.4	26.9	16.2	49.0	3.4	14.1	5.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	72.2	2.9	42.5	31.2	14.2	39.1	0.9	4.4	2.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	81.0	5.0	34.7	19.0	9.1	28.9	2.5	6.6	2.5
	息子・娘との2世帯	459	43.8	41.6	25.3	27.0	14.6	40.1	1.5	4.8	4.6
	その他	502	48.2	37.3	27.5	34.1	16.1	43.0	2.2	7.0	2.6

●問 6.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。(いくつかつでも)

○ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 62.9%で最も多く、「別居の子ども」が 39.6%、「同居の子ども」が 22.8%となっています。

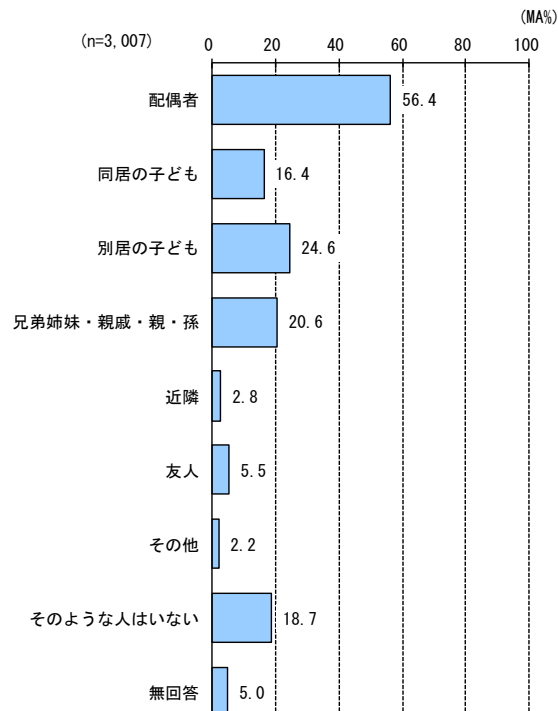


単位：%

		母数 (n)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	その ない よう な人 は	無 回 答
全体		3,007	62.9	22.8	39.6	14.1	2.2	5.2	1.6	4.8	2.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	80.7	16.5	27.5	10.8	0.2	2.3	1.1	5.9	1.7
	後期高齢者	536	74.8	20.5	34.0	12.5	1.9	4.1	1.3	4.3	3.9
	女性 前期高齢者	930	62.6	23.7	46.9	15.4	2.6	7.8	1.4	4.0	1.3
	後期高齢者	724	34.3	30.7	48.2	17.3	4.0	5.7	2.8	5.0	4.7
行政区	高砂	404	64.4	20.5	38.9	13.6	2.5	5.0	2.5	4.5	3.0
	荒井	399	62.9	25.3	38.3	12.8	1.3	5.8	1.8	5.8	3.8
	伊保	389	65.8	23.4	39.1	14.1	1.3	5.4	0.3	4.9	2.6
	中筋	284	58.5	21.8	36.6	12.3	1.8	4.6	2.8	6.7	4.2
	曾根	396	60.6	24.7	41.9	14.6	2.5	4.8	1.8	3.3	2.3
	米田	395	54.4	21.3	41.5	13.9	3.3	5.8	2.3	6.1	2.8
	阿弥陀	416	68.8	23.1	38.0	13.5	1.7	4.1	1.0	4.8	1.7
	北浜	324	66.7	22.2	42.6	17.9	3.1	5.9	0.9	2.5	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	65.5	22.6	39.0	13.9	2.0	5.1	1.4	4.6	2.5
	総合事業対象者	12	50.0	8.3	41.7	8.3	8.3	16.7	-	25.0	-
	要支援1・2	249	33.7	26.1	47.0	16.1	3.2	5.6	4.0	6.0	4.8
家族構成	1人暮らし	524	2.7	1.1	53.1	22.7	5.0	11.3	3.6	18.3	5.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	88.3	3.8	46.1	11.8	1.7	3.3	0.5	1.7	1.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	91.7	8.3	19.8	7.4	1.7	5.0	-	1.7	2.5
	息子・娘との2世帯	459	54.5	71.2	25.7	12.2	1.3	3.5	1.3	2.0	2.6
	その他	502	61.0	54.6	27.1	14.5	1.6	5.2	2.8	2.6	1.8

●問 6.4 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(いくつでも)

- 看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が 56.4%で最も多く、「別居の子ども」が 24.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 20.6%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性の後期高齢者は他の区分に比べ「配偶者」が 35.5%と少なく、「そのような人はいない」が多くなっています。



単位：%

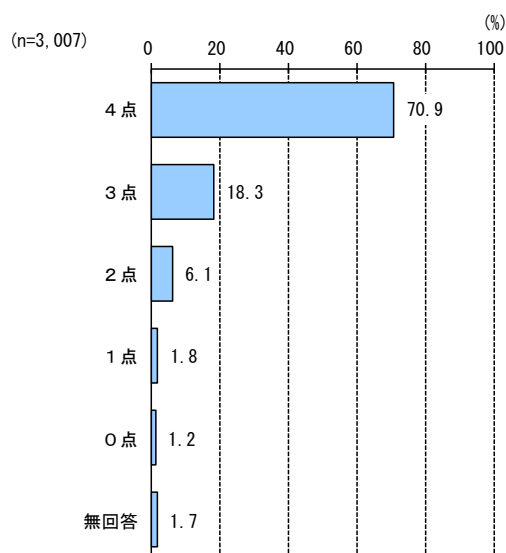
		母数 (n)	反対に、看病や世話をし て あげる人 (MA)								無回答
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	その い な い よ う な 人 は	
全体		3,007	56.4	16.4	24.6	20.6	2.8	5.5	2.2	18.7	5.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	67.7	15.4	19.5	17.6	1.0	3.4	2.6	17.3	2.4
	後期高齢者	536	65.5	13.8	18.1	12.3	2.8	3.7	1.9	18.3	5.8
	女性 前期高齢者	930	57.4	17.1	36.7	30.2	4.0	7.4	1.6	16.1	3.1
	後期高齢者	724	35.5	18.4	19.6	17.8	3.5	6.8	2.8	23.8	9.5
行政区	高砂	404	54.5	13.1	21.8	20.3	2.5	6.2	1.7	22.0	5.9
	荒井	399	56.9	18.5	23.1	20.1	2.0	5.3	1.8	20.1	5.8
	伊保	389	56.6	17.0	24.2	21.1	1.5	6.2	3.3	17.5	4.9
	中筋	284	53.5	15.1	23.2	18.0	2.8	3.9	3.5	19.7	7.4
	曾根	396	55.6	18.9	25.8	18.2	4.3	4.5	1.5	17.2	4.5
	米田	395	49.4	15.2	25.8	21.3	2.5	5.6	3.8	22.5	3.0
	阿弥陀	416	63.9	17.3	26.9	22.8	3.4	5.0	1.2	16.1	3.8
	北浜	324	60.2	15.1	25.6	22.8	3.7	7.4	0.9	13.6	4.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	58.7	16.8	25.7	21.2	2.9	5.7	2.0	17.5	4.4
	総合事業対象者	12	50.0	8.3	33.3	33.3	-	16.7	-	8.3	8.3
	要支援1・2	249	31.3	12.4	11.6	13.3	2.4	3.2	4.0	32.1	10.8
家族構成	1人暮らし	524	3.2	1.1	24.4	19.7	3.6	11.1	3.8	40.1	9.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	79.1	3.0	30.3	20.3	3.2	4.3	0.8	12.0	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	82.6	5.0	25.6	19.8	1.7	4.1	0.8	8.3	3.3
	息子・娘との2世帯	459	50.1	46.6	15.7	17.4	2.4	4.1	3.3	20.5	5.0
	その他	502	53.0	43.4	18.3	26.1	2.0	4.8	3.6	14.9	4.6

◆たすけあい合計点

●算出方法

調査票のたすけあいに関する問 6.1～6.4 について、それぞれ誰かしらそのような相手が“いる”人に 1 点を配点し、合計 4 点として、たすけあいの関係の有無を得点化しました。

- たすけあいの合計点について、「4 点」が 70.9%で最も多く、「3 点」が 18.3%、「2 点」が 6.1%となっています。
- 家族構成をみると、1 人暮らしでは他の区分に比べ、「3 点」以下が多くなっています。



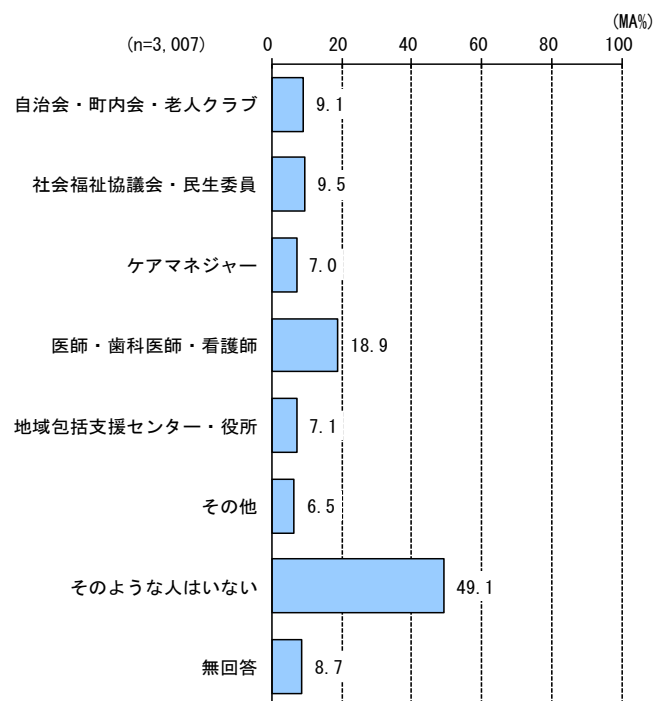
単位：%

		母数 (n)	たすけあいの合計点					無 回 答
			4 点	3 点	2 点	1 点	0 点	
全体		3,007	70.9	18.3	6.1	1.8	1.2	1.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	75.3	14.9	4.9	1.6	2.1	1.2
	後期高齢者	536	69.2	16.4	6.9	3.5	1.3	2.6
	女性 前期高齢者	930	75.9	18.0	3.9	0.6	0.5	1.1
	後期高齢者	724	60.6	24.0	9.8	2.1	1.1	2.3
行政区	高砂	404	66.3	22.3	7.9	1.2	0.7	1.5
	荒井	399	67.2	21.6	6.0	2.5	1.3	1.5
	伊保	389	72.2	17.0	5.9	0.8	1.5	2.6
	中筋	284	69.0	16.2	6.0	2.8	2.5	3.5
	曾根	396	74.7	15.9	5.6	1.0	0.8	2.0
	米田	395	68.1	18.7	6.3	3.5	2.3	1.0
	阿弥陀	416	73.6	17.5	5.0	1.9	1.0	1.0
	北浜	324	76.2	16.4	6.2	0.3	-	0.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	72.7	17.6	5.4	1.4	1.2	1.7
	総合事業対象者	12	75.0	8.3	-	8.3	8.3	-
	要支援 1・2	249	50.6	26.5	14.1	5.2	1.6	2.0
家族構成	1 人暮らし	524	43.5	27.1	16.4	5.3	5.2	2.5
	夫婦 2 人暮らし (配偶者 65 歳以上)	1,352	80.4	14.2	2.8	0.9	0.3	1.4
	夫婦 2 人暮らし (配偶者 64 歳以下)	121	81.8	9.1	5.8	0.8	-	2.5
	息子・娘との 2 世帯	459	69.3	22.9	4.8	0.7	0.9	1.5
	その他	502	74.5	16.7	5.8	1.6	0.4	1.0

(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

●問 6.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はいますか。(いくつでも)

○ 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が 49.1%で最も多く、「医師・歯科医師・看護師」が 18.9%、「社会福祉協議会・民生委員」が 9.5%となっています。



- 性別・年齢をみると、男女ともに後期高齢者は前期高齢者に比べ、相談相手が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援１・２では「ケアマネジャー」が 41.0%と多くなっています。
- 家族構成をみると、１人暮らしは他の区分に比べ「社会福祉協議会・民生委員」が 17.2%と多くなっています。
- 夫婦２人暮らしでは他の区分に比べ「そのような人はいない」が多くなっています。

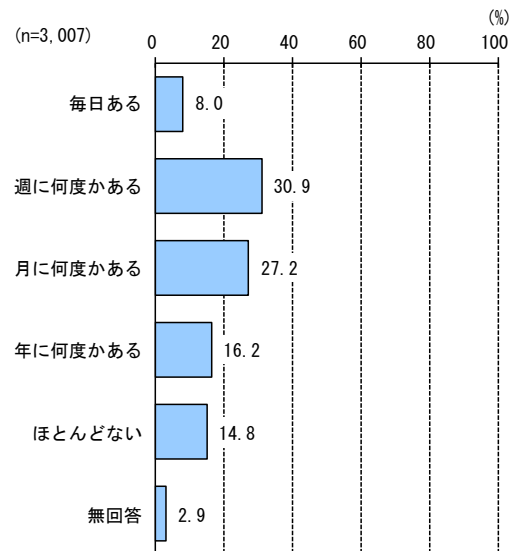
単位：％

		母数 (n)	何かあったときの相談相手 (MA)							
			老人自治会・町内会・クラブ	民生社会福祉協議会・委員	ケアマネジャー	看護師・医師・歯科医師	地域包括支援センター・役所	その他	いないような人は	無回答
全体		3,007	9.1	9.5	7.0	18.9	7.1	6.5	49.1	8.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	9.7	7.0	4.4	17.0	4.9	7.8	58.3	3.9
	後期高齢者	536	12.1	12.7	7.8	20.5	7.3	5.6	46.6	8.0
	女性 前期高齢者	930	6.7	8.7	4.1	17.2	8.0	5.9	54.0	7.7
	後期高齢者	724	9.4	11.0	13.1	22.0	8.6	6.2	34.1	15.9
行政区	高砂	404	9.9	11.4	9.7	19.6	10.4	5.9	45.5	9.7
	荒井	399	7.0	9.5	6.3	17.5	7.5	7.0	53.4	7.3
	伊保	389	9.5	7.2	5.9	19.3	7.2	6.7	48.3	9.0
	中筋	284	7.7	13.0	8.1	20.8	6.0	7.4	47.5	7.7
	曽根	396	5.8	9.8	5.8	17.2	5.6	5.6	50.8	11.1
	米田	395	8.1	8.9	6.8	17.7	9.4	6.6	47.8	8.9
	阿弥陀	416	13.7	8.7	6.0	18.8	5.3	6.3	49.5	7.2
	北浜	324	10.8	8.3	8.0	21.3	5.2	6.5	49.1	8.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	9.1	9.2	3.9	18.6	6.4	6.6	51.0	8.6
	総合事業対象者	12	－	－	8.3	－	8.3	－	83.3	－
	要支援１・２	249	9.6	12.9	41.0	22.9	14.9	5.2	26.1	10.0
家族構成	１人暮らし	524	7.8	17.2	10.9	16.8	7.4	8.8	42.0	9.9
	夫婦２人暮らし （配偶者65歳以上）	1,352	9.4	9.5	5.8	19.5	7.8	5.3	50.8	7.2
	夫婦２人暮らし （配偶者64歳以下）	121	7.4	6.6	3.3	16.5	4.1	5.0	66.1	4.1
	息子・娘との２世帯	459	10.5	5.0	7.6	20.3	5.9	4.4	48.4	11.5
	その他	502	9.2	6.8	7.0	19.1	7.2	9.2	48.6	8.4

(3) 友人・知人との関係性

●問 6.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)

- 友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が30.9%で最も多く、「月に何度かある」が27.2%、「年に何度かある」が16.2%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「ほとんどない」が多くなっています。
- 女性の前期高齢者では、“何度かある”人が87.2%と多くなっています。
- 行政区をみると、北浜は他の地域に比べ「毎日ある」「週に何度かある」が多くなっています。また「ほとんどない」も少なくなっています。

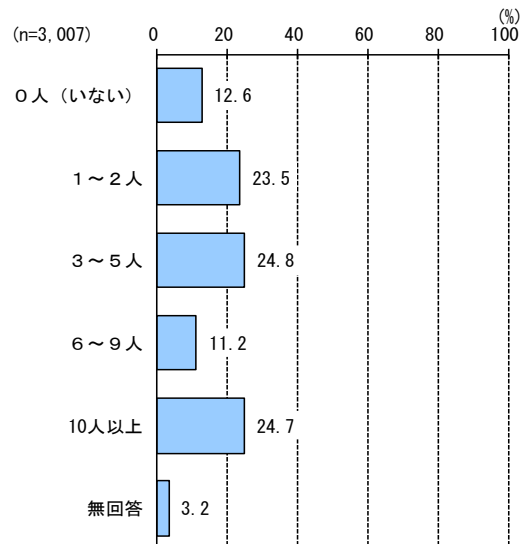


単位：%

		母数 (n)	友人・知人と会う頻度					無 回 答
			毎 日 あ る	あ 週 る に 何 度 か	あ 月 る に 何 度 か	あ 年 る に 何 度 か	な ほ い と ん ど	
全体		3,007	8.0	30.9	27.2	16.2	14.8	2.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	9.2	25.2	27.3	20.8	15.7	1.8
	後期高齢者	536	9.5	28.4	23.3	15.1	20.1	3.5
	女性 前期高齢者	930	7.3	33.0	30.6	16.3	11.2	1.5
	後期高齢者	724	6.5	36.6	25.7	11.5	14.5	5.2
行政区	高砂	404	7.9	33.4	25.7	14.6	14.6	3.7
	荒井	399	5.5	30.6	29.8	17.5	14.3	2.3
	伊保	389	7.7	30.3	24.9	15.2	18.5	3.3
	中筋	284	7.0	28.2	26.1	17.3	18.0	3.5
	曾根	396	8.1	33.3	26.5	13.1	16.2	2.8
	米田	395	8.9	27.6	30.1	16.2	14.2	3.0
	阿弥陀	416	8.7	29.3	29.6	17.1	13.2	2.2
	北浜	324	10.5	34.6	24.1	19.1	9.6	2.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	8.4	31.3	27.2	16.6	13.7	2.8
	総合事業対象者	12	8.3	16.7	33.3	8.3	33.3	-
	要支援1・2	249	3.6	27.7	27.3	11.2	26.1	4.0

●問 6.7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つだけ)

- この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が24.8%で最も多く、「10人以上」が24.7%、「1～2人」が23.5%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「0人(いない)」が多くなっています。

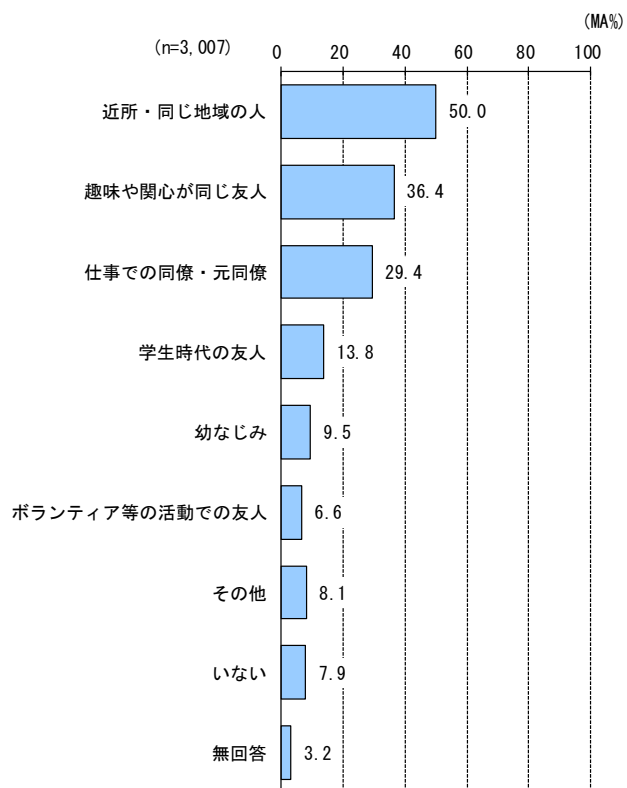


単位：%

		母数 (n)	この1か月間で会った友人・知人の数					
			0人 (いない)	1人	3人	6人	10人以上	無回答
全体		3,007	12.6	23.5	24.8	11.2	24.7	3.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	14.7	22.9	24.0	10.6	26.1	1.7
	後期高齢者	536	16.6	26.1	24.3	8.6	20.7	3.7
	女性 前期高齢者	930	9.9	23.2	26.2	12.4	26.2	2.0
	後期高齢者	724	10.6	22.5	24.4	12.2	24.2	6.1
行政区	高砂	404	12.1	23.3	25.0	9.4	26.7	3.5
	荒井	399	13.3	26.6	25.3	11.5	20.1	3.3
	伊保	389	14.7	22.6	24.4	11.3	22.9	4.1
	中筋	284	15.5	23.9	23.6	8.8	23.2	4.9
	曾根	396	11.9	22.2	25.3	11.6	25.3	3.8
	米田	395	12.2	23.8	29.1	10.4	21.8	2.8
	阿弥陀	416	10.8	24.3	20.9	13.0	28.6	2.4
	北浜	324	10.8	20.7	25.0	13.0	29.3	1.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	12.1	23.1	24.7	11.4	25.8	3.0
	総合事業対象者	12	16.7	8.3	33.3	16.7	25.0	—
	要支援1・2	249	17.7	28.1	26.5	8.8	12.9	6.0
家族構成	1人暮らし	524	12.0	22.5	27.9	9.9	22.5	5.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	13.2	22.3	24.4	11.9	25.4	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	10.7	28.1	19.0	9.9	28.9	3.3
	息子・娘との2世帯	459	11.3	24.4	26.4	11.1	24.2	2.6
	その他	502	12.5	25.5	23.3	10.8	25.5	2.4

●問 6.8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

○ よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が 50.0%で最も多く、「趣味や関心と同じ友人」が 36.4%、「仕事での同僚・元同僚」が 29.4%となっています。



- 性別・年齢をみると、女性では男性に比べ、「近所・同じ地域の人」が多くなっています。
- 男性の前期高齢者では、「仕事での同僚・元同僚」「幼なじみ」が多くなっています。
- 女性の前期高齢者では、「趣味や関心が同じ友人」が41.0%と多くなっています。
- 行政区をみると、高砂、米田、阿弥陀、北浜は他の地域に比べ「近所・同じ地域の人」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2は他の区分に比べ「近所・同じ地域の人」が57.8%と多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	よく会う友人・知人との関係(MA)									
			近 域 の 人	所 ・ 同 じ	幼 な じ み	学 生 時 代 の 友 人	元 仕 事 で の 同 僚 ・	同 趣 味 や 関 心 が	活 動 で の 友 人	ボ ラ ン テ イ ア 等 の	そ の 他	い な い
全体		3,007	50.0		9.5	13.8	29.4	36.4	6.6	8.1	7.9	3.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	33.5		12.0	15.4	46.8	34.1	6.2	7.3	9.2	1.7
	後期高齢者	536	45.1		7.6	9.1	26.1	33.8	4.3	6.7	10.4	3.9
	女性 前期高齢者	930	57.3		9.7	17.5	28.3	41.0	8.1	9.4	6.1	1.8
	後期高齢者	724	62.7		8.0	10.5	13.5	34.9	6.8	8.6	6.9	6.1
行政区	高砂	404	54.0		10.1	18.1	27.7	39.4	8.7	5.9	8.7	2.7
	荒井	399	44.9		9.8	13.8	29.1	36.1	4.8	8.0	8.3	3.5
	伊保	389	48.8		10.0	14.4	29.6	36.2	3.3	8.0	10.0	3.1
	中筋	284	49.3		6.3	9.9	24.6	31.0	8.1	12.3	9.2	4.6
	曽根	396	45.5		9.1	14.9	29.3	37.6	6.8	8.8	7.3	4.3
	米田	395	51.6		7.3	10.1	30.6	33.9	6.6	7.1	7.6	2.8
	阿弥陀	416	52.2		8.9	15.1	33.7	38.9	7.0	9.1	6.7	2.4
	北浜	324	54.0		14.8	12.3	28.7	36.1	8.0	6.8	5.6	2.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	49.3		9.9	14.4	30.9	37.7	6.8	8.0	7.5	2.9
	総合事業対象者	12	33.3		8.3	8.3	25.0	50.0	16.7	8.3	8.3	-
	要支援1・2	249	57.8		6.0	6.8	12.4	21.3	3.2	9.6	12.4	6.8

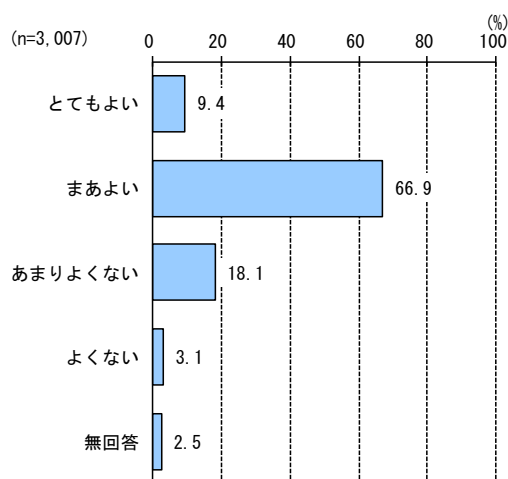
9. 健康について

(1) 健康状態

① 主観的な健康感

●問 7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

- 主観的健康感について、「まあよい」が66.9%で最も多く、「あまりよくない」が18.1%、「とてもよい」が9.4%となっています。
- 「とてもよい」「まあよい」を合わせると、“よい”は76.3%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性の前期高齢者は他の区分に比べ“よい”が82.1%と多くなっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて“よい”が少なく、「あまりよくない」「よくない」が多くなる傾向がみられます。



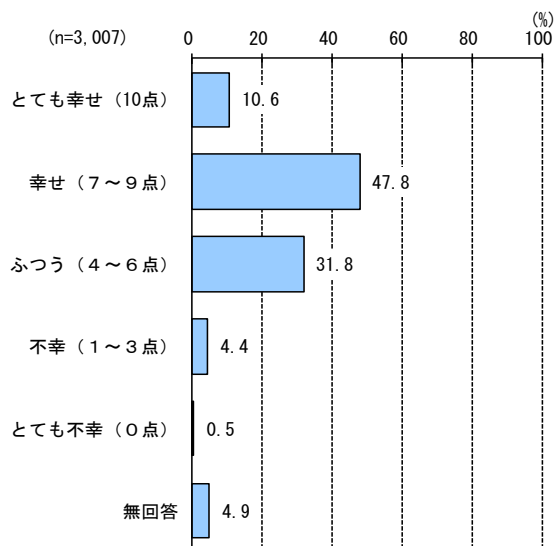
単位：%

		母数 (n)	主観的健康感				
			よ と い て も	ま あ よ い	よ あ く ま な り い	よ く な い	無 回 答
全体		3,007	9.4	66.9	18.1	3.1	2.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	9.3	71.0	15.9	2.3	1.5
	後期高齢者	536	6.0	63.1	21.8	4.9	4.3
	女性 前期高齢者	930	11.2	70.9	14.4	1.3	2.3
	後期高齢者	724	9.7	60.1	22.5	5.1	2.6
行政区	高砂	404	10.1	63.1	21.8	3.0	2.0
	荒井	399	9.5	69.7	15.8	2.0	3.0
	伊保	389	11.1	62.0	19.0	4.9	3.1
	中筋	284	9.9	64.1	21.1	2.1	2.8
	曾根	396	7.8	68.7	16.7	3.0	3.8
	米田	395	9.9	70.4	14.4	2.8	2.5
	阿弥陀	416	7.9	68.3	19.2	3.4	1.2
	北浜	324	9.0	68.5	17.3	3.7	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	10.1	69.3	15.6	2.6	2.4
	総合事業対象者	12	8.3	66.7	25.0	-	-
	要支援1・2	249	2.0	40.2	45.0	8.8	4.0

② こころの健康

●問 7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。（１つだけ）

- 幸福感について、「幸せ（７～９点）」が 47.8%で最も多く、「ふつう（４～６点）」が 31.8%、「とても幸せ（１０点）」が 10.6%となっています。
- 「とても幸せ（１０点）」「幸せ（７～９点）」を合わせると、“幸せ”は 58.4%となっています。

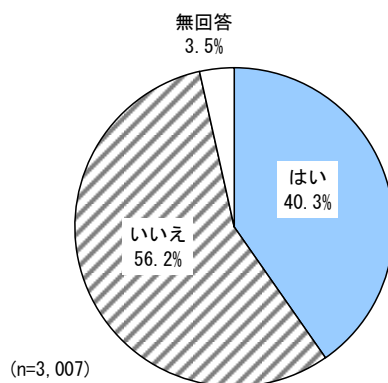


単位：％

		母数 (n)	幸福感					無回答
			とても 幸せ (10点)	幸 せ (7～9点)	ふつ う (4～6点)	不 幸 (1～3点)	とても 不幸 (0点)	
全体		3,007	10.6	47.8	31.8	4.4	0.5	4.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	8.9	46.6	37.0	4.9	0.4	2.2
	後期高齢者	536	10.4	39.6	36.2	5.4	0.6	7.8
	女性 前期高齢者	930	11.2	54.9	26.9	3.4	0.4	3.1
	後期高齢者	724	12.0	46.0	29.1	4.4	0.6	7.9
行政区	高砂	404	9.7	50.7	28.7	6.7	0.5	3.7
	荒井	399	11.3	51.1	27.8	3.3	0.8	5.8
	伊保	389	12.3	45.5	31.6	3.1	0.8	6.7
	中筋	284	12.3	45.8	31.3	5.6	0.7	4.2
	曾根	396	10.9	46.5	30.3	5.1	－	7.3
	米田	395	10.6	45.3	35.2	4.8	0.3	3.8
	阿弥陀	416	10.1	47.1	36.1	3.6	0.5	2.6
	北浜	324	8.0	50.0	33.6	3.4	0.3	4.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	11.1	48.7	31.3	4.3	0.4	4.3
	総合事業対象者	12	33.3	25.0	25.0	8.3	－	8.3
	要支援1・2	249	4.8	39.0	38.2	5.6	1.2	11.2
家族構成	1人暮らし	524	6.9	44.8	32.6	7.1	1.7	6.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,352	12.2	49.3	30.8	3.1	0.3	4.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	121	9.1	59.5	26.4	2.5	－	2.5
	息子・娘との2世帯	459	11.1	47.7	31.4	3.9	0.2	5.7
	その他	502	10.0	44.8	35.5	5.8	－	4.0

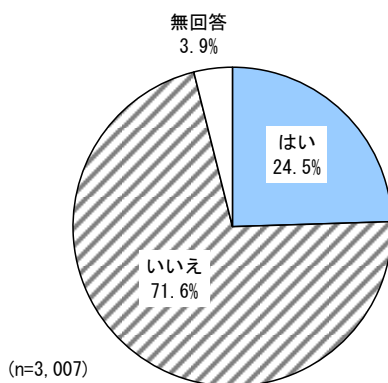
●問 7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が40.3%、「いいえ」が56.2%となっています。



●問 7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

○ どうしても物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が24.5%、「いいえ」が71.6%となっています。



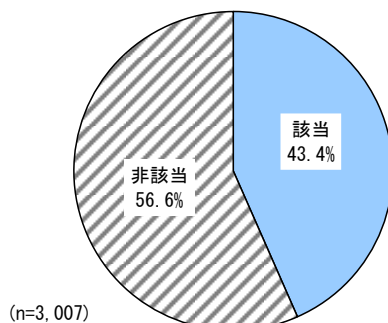
◆うつリスクの判定

●リスク判定方法

調査票のうつに関する問7.3～7.4について、2問中1問に該当した人を、うつリスクがあると判定しました。

問7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「1. はい」
問7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	

- うつリスクについて、「該当」が43.4%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ「該当」が多く、特に後期高齢者で47.1%となっています。
- 行政区をみると、阿弥陀は他の地域に比べ「該当」が50.7%と多くなっています。
- 認定該当状況をみると、身体状況が悪化するにつれて「該当」が多くなる傾向がみられます。



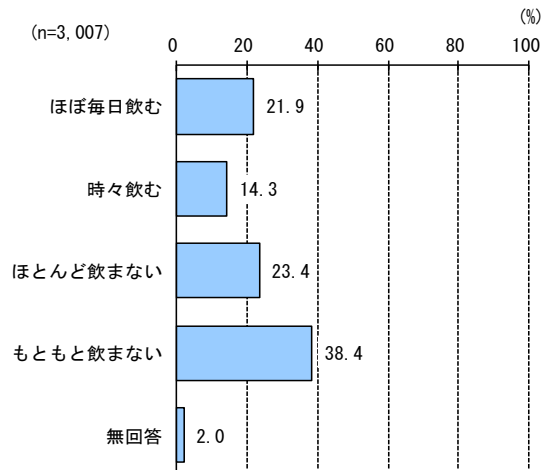
単位：%

		母数 (n)	うつリスク	
			該当	非該当
全体		3,007	43.4	56.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	39.2	60.8
	後期高齢者	536	43.1	56.9
	女性 前期高齢者	930	44.3	55.7
	後期高齢者	724	47.1	52.9
行政区	高砂	404	43.3	56.7
	荒井	399	41.1	58.9
	伊保	389	42.4	57.6
	中筋	284	41.5	58.5
	曾根	396	39.6	60.4
	米田	395	43.5	56.5
	阿弥陀	416	50.7	49.3
	北浜	324	43.8	56.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	41.9	58.1
	総合事業対象者	12	50.0	50.0
	要支援1・2	249	59.4	40.6

(2) 飲酒・喫煙

●問 7.5 お酒は飲みますか。(1つだけ)

- 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が 38.4%で最も多く、「ほとんど飲まない」が 23.4%、「ほぼ毎日飲む」が 21.9%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は「ほぼ毎日飲む」が多く、特に前期高齢者では 43.2%となっています。

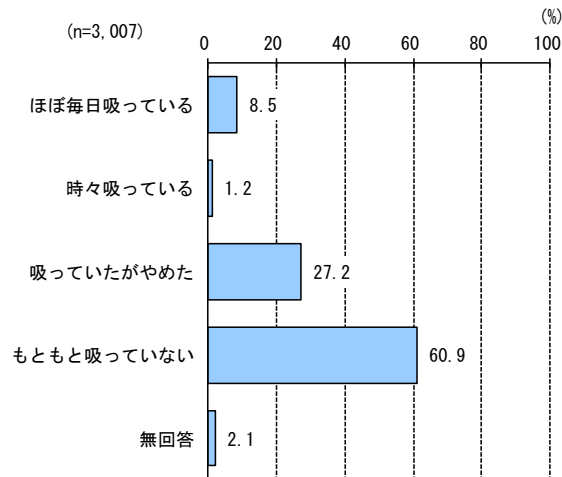


単位：%

		母数 (n)	飲酒の状況				
			飲 ほぼ む 毎日	時 々 飲 む	飲 ほと ま んど	飲 も ま と な い	無 回 答
全体		3,007	21.9	14.3	23.4	38.4	2.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	43.2	17.9	18.2	19.2	1.5
	後期高齢者	536	35.4	14.2	23.9	22.6	3.9
	女性 前期高齢者	930	8.7	12.7	26.5	50.9	1.3
	後期高齢者	724	4.8	12.6	24.9	55.7	2.1
行政区	高砂	404	21.3	15.1	22.5	38.6	2.5
	荒井	399	24.6	12.5	23.3	37.1	2.5
	伊保	389	22.4	15.2	20.8	39.1	2.6
	中筋	284	19.7	10.9	26.4	41.2	1.8
	曽根	396	21.2	13.4	24.0	37.9	3.5
	米田	395	22.0	13.9	27.1	35.7	1.3
	阿弥陀	416	20.2	16.6	22.8	39.9	0.5
	北浜	324	23.8	16.4	20.4	38.3	1.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	23.2	14.6	22.8	37.5	1.9
	総合事業対象者	12	25.0	16.7	33.3	25.0	-
	要支援1・2	249	7.6	11.6	29.7	48.2	2.8

●問 7.6 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が60.9%で最も多く、「吸っていたがやめた」が27.2%、「ほぼ毎日吸っている」が8.5%となっています。
- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」が多くなっています。



単位：％

		母数 (n)	喫煙の状況				
			吸 ほ っ ぽ て 毎 日 る	吸 時 々 て い る	や 吸 め っ た て い た が	吸 も っ て い と ない	無 回 答
全体		3,007	8.5	1.2	27.2	60.9	2.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	20.4	2.0	52.1	24.1	1.3
	後期高齢者	536	9.9	1.7	57.8	27.2	3.4
	女性 前期高齢者	930	2.9	1.0	5.3	89.4	1.5
	後期高齢者	724	1.4	0.4	4.6	90.9	2.8
行政区	高砂	404	8.2	2.0	26.0	62.1	1.7
	荒井	399	7.3	0.8	30.1	59.4	2.5
	伊保	389	10.0	0.8	30.1	56.0	3.1
	中筋	284	13.0	2.1	22.2	59.9	2.8
	曾根	396	10.6	0.5	23.7	61.9	3.3
	米田	395	8.9	1.8	29.4	58.7	1.3
	阿弥陀	416	5.3	0.5	27.6	65.9	0.7
	北浜	324	6.2	1.9	27.2	63.3	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	9.0	1.3	27.7	60.0	2.0
	総合事業対象者	12	16.7	－	16.7	66.7	－
	要支援１・２	249	2.8	0.8	22.5	70.7	3.2

(3) 病気の状況

●問 7.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「ない」が 14.9%となっていますが、病気がある人は、「高血圧」が 42.3%で最も多く、「目の病気」が 19.1%、「糖尿病」が 13.4%となっています。



- 性別・年齢をみると、男性は女性に比べ「糖尿病」が多くなっています。
- 女性は男性に比べ「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多くなっています。特に「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」は、後期高齢者で23.6%と多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者は前期高齢者に比べ「心臓病」「目の病気」が多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			ない	高血圧	(脳卒中・ 脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胆のう・肝臓・ 胃腸の病気	腎臓・ 前立腺の病気	(筋骨格の病気 骨粗しょう症、 関節症等)
全体		3,007	14.9	42.3	4.0	9.8	13.4	11.6	4.4	5.3	6.5	11.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	17.6	43.3	4.9	10.9	17.7	11.8	3.4	5.3	9.7	4.4
	後期高齢者	536	8.0	44.0	6.2	17.2	17.9	7.6	6.7	6.2	15.9	5.8
	女性 前期高齢者	930	20.9	35.5	2.2	3.4	9.8	13.7	4.0	5.1	2.4	12.9
	後期高齢者	724	9.1	48.5	3.6	11.5	9.9	11.7	4.4	5.1	1.2	23.6
行政区	高砂	404	11.9	38.6	5.7	11.1	13.6	11.4	4.7	5.7	8.4	12.6
	荒井	399	17.5	45.1	2.5	7.5	11.5	10.0	3.8	5.3	7.0	11.0
	伊保	389	12.9	43.4	3.6	9.8	15.4	14.1	3.9	5.9	6.9	10.0
	中筋	284	13.7	37.3	2.8	7.4	14.8	9.9	6.3	6.7	4.2	15.1
	曽根	396	16.2	42.7	5.6	11.4	10.4	10.1	4.8	5.1	4.8	13.6
	米田	395	15.7	44.1	3.0	9.4	14.7	12.7	3.8	3.8	6.6	12.2
	阿弥陀	416	14.7	42.3	3.4	10.3	13.7	13.0	4.3	5.3	6.3	11.1
	北浜	324	16.4	43.5	4.9	11.4	13.9	11.1	4.3	5.2	7.1	10.2
	認定該当状況											
一般高齢者		2,746	16.1	41.3	3.5	9.1	13.0	11.6	4.1	5.0	6.2	10.3
総合事業対象者		12	16.7	41.7	－	8.3	8.3	16.7	8.3	－	8.3	8.3
要支援１・２		249	1.2	52.6	9.6	18.1	18.9	11.2	7.6	8.8	9.2	30.1

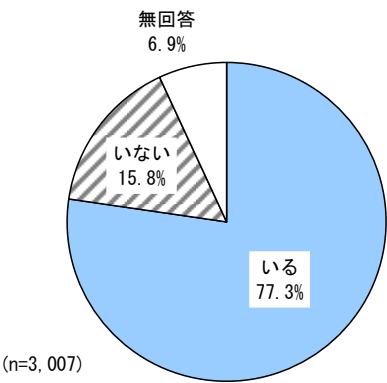
単位：％

		現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
		(外傷・ 転倒・ 骨折等)	がん (悪性 新生物)	血液・ 免疫の 病気	うつ 病	認知症 (アルツ ハイマ ー病等)	パー キン ソン 病	目の 病気	耳の 病気	その他	無 回 答
全体		3.6	3.9	1.2	1.1	0.9	0.5	19.1	6.4	10.2	5.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	0.7	3.8	0.6	0.7	0.2	0.4	14.3	4.3	9.5	4.0
	後期高齢者	4.5	6.0	1.9	0.7	1.3	0.2	21.3	9.3	9.5	6.9
	女性 前期高齢者	2.3	3.1	1.5	1.8	0.2	0.8	15.2	4.9	10.4	5.4
	後期高齢者	8.0	3.6	1.1	1.0	2.2	0.6	27.9	8.3	11.3	6.6
行政区	高砂	4.7	5.4	1.7	1.5	1.0	0.7	19.6	6.4	11.1	6.4
	荒井	3.0	3.5	1.0	1.3	1.3	0.5	16.3	7.3	10.3	5.8
	伊保	3.6	3.9	1.0	1.8	1.3	-	17.2	4.6	12.1	5.7
	中筋	6.0	4.9	1.1	1.8	1.1	-	20.8	6.0	10.2	7.7
	曽根	3.8	1.8	1.0	0.5	1.0	0.3	17.4	4.5	10.4	6.6
	米田	2.3	3.8	1.3	0.8	-	0.5	18.7	7.6	8.9	5.6
	阿弥陀	2.6	3.4	1.7	0.7	1.0	0.7	23.3	7.2	10.3	3.4
	北浜	3.7	5.2	0.9	0.9	0.6	1.2	19.8	7.1	8.3	4.0
	認定該当状況										
一般高齢者		2.5	3.6	1.2	1.1	0.6	0.4	18.0	5.8	9.9	5.6
総合事業対象者		8.3	-	-	-	-	-	33.3	-	8.3	-
要支援1・2		15.7	7.2	1.6	2.0	4.0	1.6	30.9	13.3	14.5	5.6

(4) かかりつけ医

●問 7.8 かかりつけの医師はいますか。(1つだけ)

○ かかりつけの医師の有無について、「いる」が77.3%、「いない」が15.8%となっています。



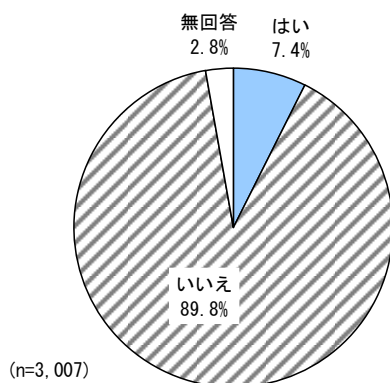
		単位：％			
		母数 (n)	かかりつけの医師の有無		
			い る	い な い	無 回 答
全体		3,007	77.3	15.8	6.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	77.0	18.8	4.2
	後期高齢者	536	79.1	11.6	9.3
	女性 前期高齢者	930	73.9	21.2	4.9
	後期高齢者	724	80.7	8.6	10.8
行政区	高砂	404	79.7	13.4	6.9
	荒井	399	78.4	14.8	6.8
	伊保	389	75.1	17.0	8.0
	中筋	284	72.9	22.2	4.9
	曾根	396	73.5	18.2	8.3
	米田	395	81.8	11.9	6.3
	阿弥陀	416	77.4	16.1	6.5
	北浜	324	78.4	14.5	7.1
認定該当状況	一般高齢者	2,746	76.9	16.7	6.4
	総合事業対象者	12	58.3	33.3	8.3
	要支援 1・2	249	82.3	4.8	12.9

10. 相談窓口・支援について

(1) 認知症の症状の有無

●問 8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

- 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が7.4%、「いいえ」が89.8%となっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2では、「はい」が10.8%となっています。



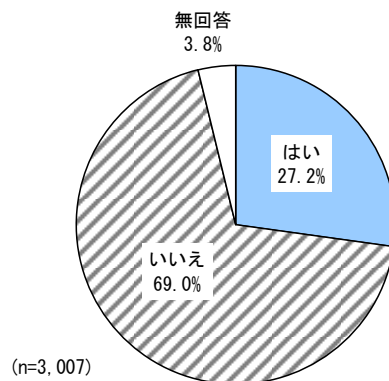
単位：%

		母数 (n)	自身や家族の認知症の 症状有無		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	7.4	89.8	2.8
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	7.8	90.7	1.5
	後期高齢者	536	7.6	87.9	4.5
	女性 前期高齢者	930	6.9	91.5	1.6
	後期高齢者	724	7.5	88.0	4.6
行政区	高砂	404	9.9	87.6	2.5
	荒井	399	7.3	89.2	3.5
	伊保	389	6.2	90.5	3.3
	中筋	284	7.7	90.1	2.1
	曾根	396	7.1	89.1	3.8
	米田	395	6.1	91.4	2.5
	阿弥陀	416	6.7	91.1	2.2
	北浜	324	8.6	89.2	2.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	7.1	90.2	2.7
	総合事業対象者	12	8.3	91.7	-
	要支援1・2	249	10.8	85.5	3.6

(2) 認知症の相談窓口の周知状況

●問 8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

- 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が 27.2%、「いいえ」が 69.0%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性 前期高齢者は他の区分に比べ「はい」が 30.3%と多くなっています。
- 行政区をみると、高砂、北浜は他の地域に比べ「はい」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援 1・2 では、「いいえ」が 69.1%となっており、一般高齢者とほぼ同値となっています。



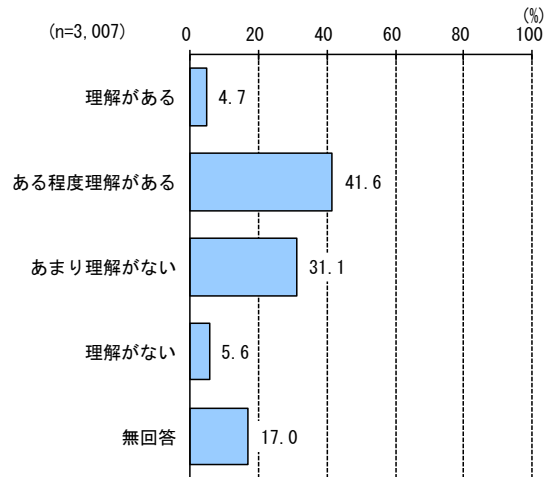
単位：%

		母数 (n)	認知症に関する相談窓口の 周知状況		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	27.2	69.0	3.8
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	23.4	74.8	1.8
	後期高齢者	536	25.7	69.0	5.2
	女性 前期高齢者	930	30.3	67.1	2.6
	後期高齢者	724	28.7	64.9	6.4
行政区	高砂	404	34.2	60.9	5.0
	荒井	399	26.6	68.2	5.3
	伊保	389	29.8	65.8	4.4
	中筋	284	26.8	70.4	2.8
	曾根	396	22.7	73.5	3.8
	米田	395	22.5	75.4	2.0
	阿弥陀	416	23.8	73.1	3.1
	北浜	324	32.4	64.2	3.4
認定該当状況	一般高齢者	2,746	27.5	69.0	3.5
	総合事業対象者	12	33.3	66.7	-
	要支援 1・2	249	24.1	69.1	6.8

(3) 地域の認知症の高齢者への理解度

●問 8.3 お住まいの地域は、認知症の高齢者に対して理解があると感じますか。(1つだけ)

- 地域の認知症の高齢者への理解度について、「ある程度理解がある」が 41.6%で最も多く、「あまり理解がない」が 31.1%、「理解がない」が 5.6%となっています。
- 「理解がある」「ある程度理解がある」を合わせた“理解がある”は、46.3%となっています。
- 行政区をみると、阿弥陀は“理解がある”が 49.5%と多くなっています。



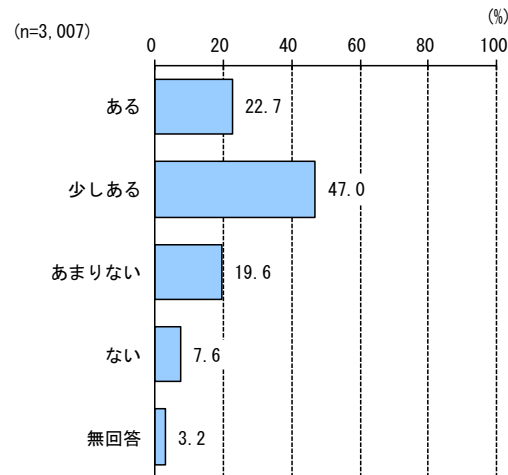
単位：%

		母数 (n)	地域の認知症の高齢者への理解度				
			理 解 が あ る	理 あ 解 る が 程 あ る	理 あ 解 ま が り な い	理 解 が な い	無 回 答
全体		3,007	4.7	41.6	31.1	5.6	17.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	3.8	41.9	34.8	5.9	13.7
	後期高齢者	536	6.2	39.9	28.9	6.3	18.7
	女性 前期高齢者	930	4.2	42.0	32.3	4.7	16.8
	後期高齢者	724	5.2	42.1	26.9	5.9	19.8
行政区	高砂	404	5.2	41.8	31.4	6.2	15.3
	荒井	399	3.5	40.4	30.8	6.3	19.0
	伊保	389	5.4	40.6	28.0	6.7	19.3
	中筋	284	4.6	43.3	32.4	5.3	14.4
	曾根	396	3.3	39.6	30.8	6.1	20.2
	米田	395	6.1	40.0	32.2	4.8	17.0
	阿弥陀	416	5.5	44.0	29.8	3.8	16.8
	北浜	324	3.7	44.1	34.0	5.9	12.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	4.7	41.6	31.6	5.6	16.5
	総合事業対象者	12	-	25.0	50.0	16.7	8.3
	要支援1・2	249	4.8	43.0	24.5	5.2	22.5

(4) 認知症への不安

●問 8.4 認知症について不安がありますか。(1つだけ)

- 認知症への不安について、「少しある」が47.0%で最も多く、「ある」が22.7%、「あまりない」が19.6%となっています。
- 「ある」「少しある」を合わせた“ある”は、69.7%となっています。

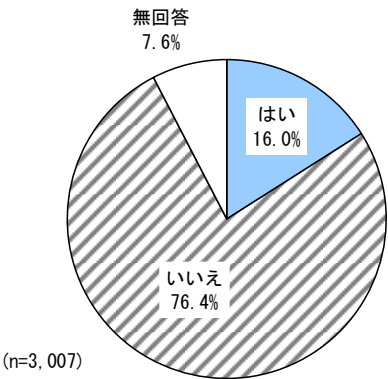


		単位：％					
		母数 (n)	認知症への不安				
			ある	少し ある	ない あり	ない	無 回 答
全体		3,007	22.7	47.0	19.6	7.6	3.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	18.2	46.8	23.9	9.3	1.8
	後期高齢者	536	20.9	45.5	18.1	9.9	5.6
	女性 前期高齢者	930	23.9	50.6	18.0	5.7	1.8
	後期高齢者	724	27.5	43.5	18.0	6.5	4.6
行政区	高砂	404	20.5	50.2	18.6	7.2	3.5
	荒井	399	23.1	47.1	18.0	8.0	3.8
	伊保	389	26.2	41.6	18.8	9.8	3.6
	中筋	284	18.7	46.5	22.9	9.5	2.5
	曾根	396	20.5	46.2	21.5	7.1	4.8
	米田	395	23.3	46.3	20.5	7.6	2.3
	阿弥陀	416	23.8	46.2	20.9	7.0	2.2
	北浜	324	24.7	52.2	15.7	4.9	2.5
認定該当状況	一般高齢者	2,746	21.9	47.6	19.8	7.6	2.9
	総合事業対象者	12	33.3	58.3	—	8.3	—
	要支援 1・2	249	30.5	39.0	17.7	7.2	5.6

(5) 認知症カフェの利用意向

●問 8.5 認知症カフェを利用したいと思いますか。(1つだけ)

- 認知症カフェの利用意向について、「はい」が16.0%、「いいえ」が76.4%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性の前期高齢者は他の区分に比べ「はい」が20.4%と多くなっています。
- 行政区をみると、米田は他の地域に比べ「はい」が19.0%と多くなっています。



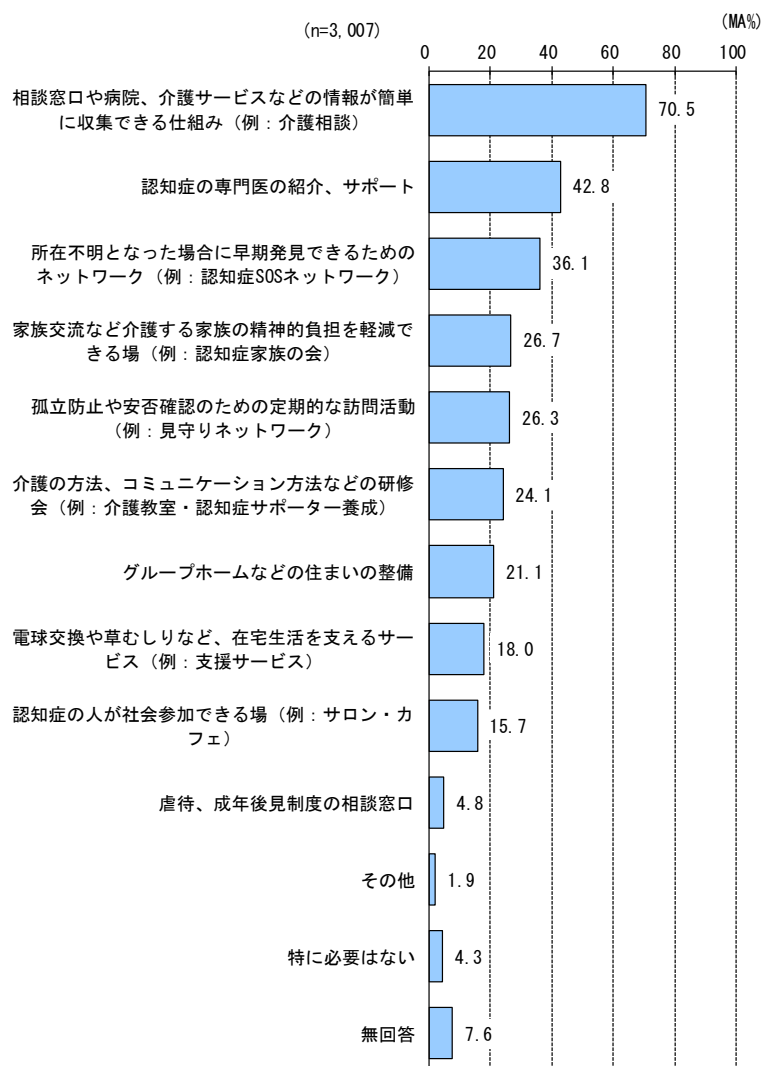
単位：％

		母数 (n)	認知症カフェの利用意向		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,007	16.0	76.4	7.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	11.9	84.0	4.2
	後期高齢者	536	14.6	76.1	9.3
	女性 前期高齢者	930	20.4	73.3	6.2
	後期高齢者	724	16.0	71.8	12.2
行政区	高砂	404	17.6	76.7	5.7
	荒井	399	14.5	76.9	8.5
	伊保	389	15.2	74.6	10.3
	中筋	284	15.5	77.8	6.7
	曽根	396	15.2	75.5	9.3
	米田	395	19.0	73.7	7.3
	阿弥陀	416	14.4	78.6	7.0
	北浜	324	16.7	77.5	5.9
認定該当状況	一般高齢者	2,746	16.2	76.5	7.2
	総合事業対象者	12	16.7	83.3	－
	要支援１・２	249	13.3	73.9	12.9

(6) 自身や家族が認知症になったときあればよい支援

- 問 8.6 あなたや家族が認知症になった時に、どのような支援があればよいと思いますか。
(いくつでも)

- 自身や家族が認知症になったときあればよい支援について、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）」が70.5%で最も多く、「認知症の専門医の紹介、サポート」が42.8%、「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク（例：認知症SOSネットワーク）」が36.1%となっています。



- 性別・年齢をみると、前期高齢者は後期高齢者に比べほとんどの支援について割合が多く、多様な支援を必要としています。

単位：％

		母数 (n)	自身や家族が認知症になったときあればよい支援(MA)											
			相集 談)	ビデ スな どの 仕組 み(例： 介護 収	ポシ ンメ タリ 養方 成)	介 護 の 方 法、 コ ミ ュ ニ ケー ション 方法な どの 研修 会サ ケー	場 (例： 精神 的交 流な ど介 護す る家 族	の精 神交 流な ど介 護す る家 族	(例： 在宅 生活 を支 える サー ビス (例： 支保 障サ ービ ス)	電球 交換 や草 むし りな ど、 エネ ルギ ーサ ロンの 力	認知 症の人 が社会 参加で きる場 (例： サロン・ カフェ)	ネット ワーク (例： 認知症 ＳＯ Ｓ	所在不 明とな ったた め場合 に早	
全体		3,007	70.5	24.1	26.7	18.0	15.7	36.1						
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	74.7	28.8	26.1	14.6	13.5	40.8						
	後期高齢者	536	68.7	22.9	24.4	12.5	13.6	30.6						
	女性 前期高齢者	930	73.7	26.6	32.5	21.6	19.5	39.6						
	後期高齢者	724	63.0	16.7	21.5	21.3	14.8	30.5						
行政区	高砂	404	69.8	25.5	25.5	20.3	15.6	34.4						
	荒井	399	69.4	23.8	24.3	17.5	13.5	35.1						
	伊保	389	67.1	25.4	27.2	17.5	14.1	36.5						
	中筋	284	65.5	17.6	25.4	14.8	15.1	36.6						
	曾根	396	72.0	25.0	27.0	17.9	13.9	34.1						
	米田	395	71.6	24.1	27.8	16.7	18.5	37.2						
	阿弥陀	416	76.2	26.0	25.7	19.2	17.5	37.7						
	北浜	324	70.4	23.8	30.9	19.1	17.0	37.7						
認定該当状況	一般高齢者	2,746	71.0	24.7	27.2	17.6	15.8	36.1						
	総合事業対象者	12	75.0	25.0	16.7	25.0	8.3	8.3						
	要支援１・２	249	64.3	18.1	21.3	22.1	14.1	37.3						

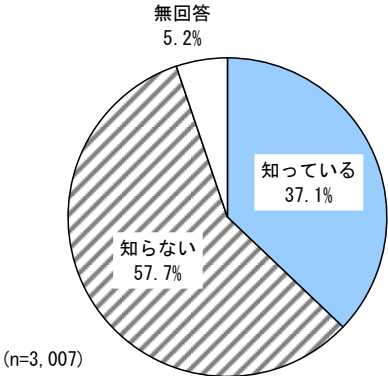
単位：％

		自身や家族が認知症になったときあればよい支援(MA)						
		見守り 定期的な ネットワー ク	孤立防止 や安否確 認のため	認知症の 専門医の 紹介、サ ポート	虐待、 成年後見 制度の相 談	住まいの 整備 グループ ホームな どの	その他	特に必要 はない
全体		26.3	42.8	4.8	21.1	1.9	4.3	7.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	28.5	42.8	5.4	20.9	1.0	5.8	4.0
	後期高齢者	20.7	36.8	3.7	15.1	3.5	4.3	12.5
	女性 前期高齢者	30.3	49.4	5.8	27.3	1.5	2.8	5.3
	後期高齢者	22.9	38.8	3.5	17.8	2.2	4.6	10.9
行政区	高砂	24.5	43.6	5.0	21.5	2.5	5.2	7.7
	荒井	25.8	40.6	4.8	20.1	1.5	3.5	10.5
	伊保	26.5	41.9	4.4	22.6	2.1	3.9	7.7
	中筋	26.4	42.6	5.3	21.8	2.1	5.3	8.5
	曽根	24.5	42.9	3.5	21.7	1.5	5.3	7.6
	米田	26.1	39.0	4.1	20.3	1.8	5.1	7.8
	阿弥陀	29.6	47.1	5.0	19.2	1.7	3.4	4.1
	北浜	27.5	44.8	6.5	22.2	2.2	2.8	7.1
	認定該当状況	一般高齢者	26.8	43.5	4.6	21.3	1.8	4.4
	総合事業対象者	33.3	25.0	8.3	25.0	-	-	8.3
	要支援1・2	21.3	35.7	6.4	18.5	3.2	3.6	14.1

(7) 高砂市地域包括支援センターについて

●問 8.7 高砂市地域包括支援センターをご存じですか。(1 つだけ)

- 高砂市地域包括支援センターの周知度について、「知っている」が 37.1%、「知らない」が 57.7%となっています。
- 行政区をみると、高砂は他の地域に比べ「知っている」が 47.8%と多くなっています。

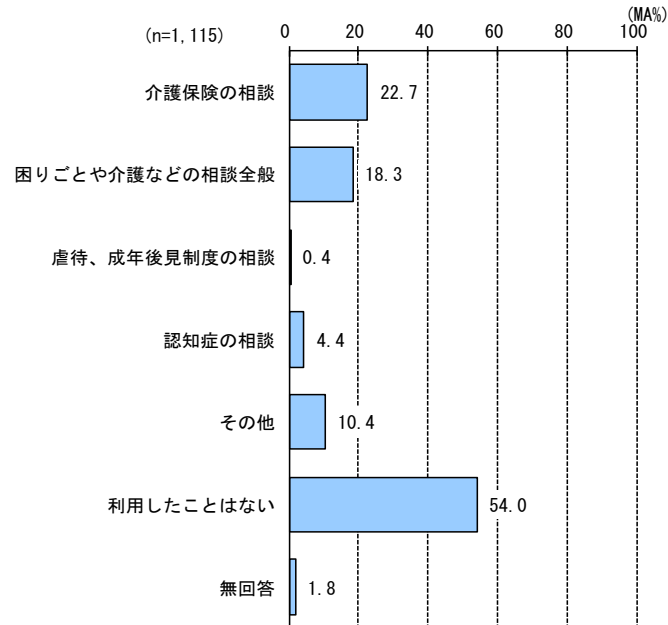


単位：%

		母数 (n)	高砂市地域包括支援 センターの周知度		
			知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全体		3,007	37.1	57.7	5.2
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	28.9	68.3	2.8
	後期高齢者	536	30.2	62.5	7.3
	女性 前期高齢者	930	42.0	54.2	3.8
	後期高齢者	724	45.0	46.7	8.3
行政区	高砂	404	47.8	47.3	5.0
	荒井	399	38.1	54.4	7.5
	伊保	389	36.0	58.1	5.9
	中筋	284	36.6	57.7	5.6
	曾根	396	33.8	59.8	6.3
	米田	395	30.6	65.8	3.5
	阿弥陀	416	35.8	60.8	3.4
	北浜	324	37.7	57.7	4.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	34.8	60.3	4.9
	総合事業対象者	12	41.7	58.3	—
	要支援1・2	249	61.8	28.9	9.2

●問 8.7-1 地域包括支援センターをどのような目的で利用したことがありますか。(いくつでも)

○ 地域包括支援センターの利用目的について、「利用したことはない」が 54.0%で最も多く、「介護保険の相談」が 22.7%、「困りごとや介護などの相談全般」が 18.3%となっています。



単位：%

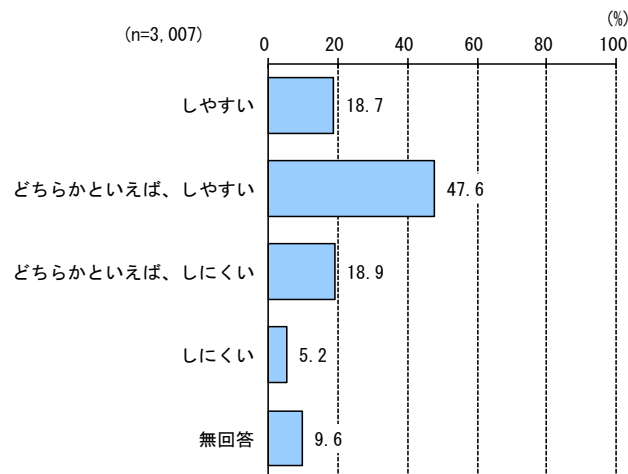
		母数 (n)	地域包括支援センターの利用目的 (MA)						
			介護 保険 の 相談	相 談 全 般 の 困 り ご と や 介 護 な ど の	制 度 の 相 談 、 成 年 後 見	認 知 症 の 相 談	そ の 他	こ と は な い	無 回 答
全体		1,115	22.7	18.3	0.4	4.4	10.4	54.0	1.8
性別・年齢	男性 前期高齢者	236	17.8	19.5	0.4	4.7	7.2	59.7	2.1
	後期高齢者	162	25.9	18.5	1.2	6.8	8.0	49.4	2.5
	女性 前期高齢者	391	17.1	15.9	0.5	3.8	11.5	59.1	1.8
	後期高齢者	326	31.3	20.2	—	3.7	12.6	46.0	1.2
行政区	高砂	193	18.7	22.8	—	5.2	9.3	54.9	1.0
	荒井	152	26.3	20.4	0.7	6.6	10.5	48.0	2.6
	伊保	140	29.3	13.6	0.7	3.6	13.6	49.3	1.4
	中筋	104	16.3	11.5	1.0	5.8	7.7	64.4	—
	曾根	134	20.1	19.4	—	5.2	13.4	52.2	3.7
	米田	121	25.6	19.0	—	—	11.6	54.5	2.5
	阿弥陀	149	27.5	16.1	0.7	4.7	10.7	50.3	1.3
	北浜	122	16.4	20.5	0.8	3.3	5.7	62.3	1.6
認定該当状況	一般高齢者	956	17.6	15.6	0.4	4.6	10.4	59.9	1.7
	総合事業対象者	5	—	20.0	—	—	—	80.0	—
	要支援1・2	154	55.2	35.1	0.6	3.2	11.0	16.2	2.6

11. 地域について

(1) 地域での在宅生活の継続しやすさ

●問 9.1 お住まいの地域で在宅生活を継続しやすいと感じますか。（1つだけ）

- 地域での在宅生活の継続しやすさについて、「どちらかといえば、しやすい」が47.6%で最も多く、「どちらかといえば、しにくい」が18.9%、「しやすい」が18.7%となっています。
- 「しやすい」「どちらかといえば、しやすい」を合わせた“しやすい”は、66.3%となっています。
- 行政区をみると、米田は他の地域に比べ“しやすい”が75.7%と多くなっています。



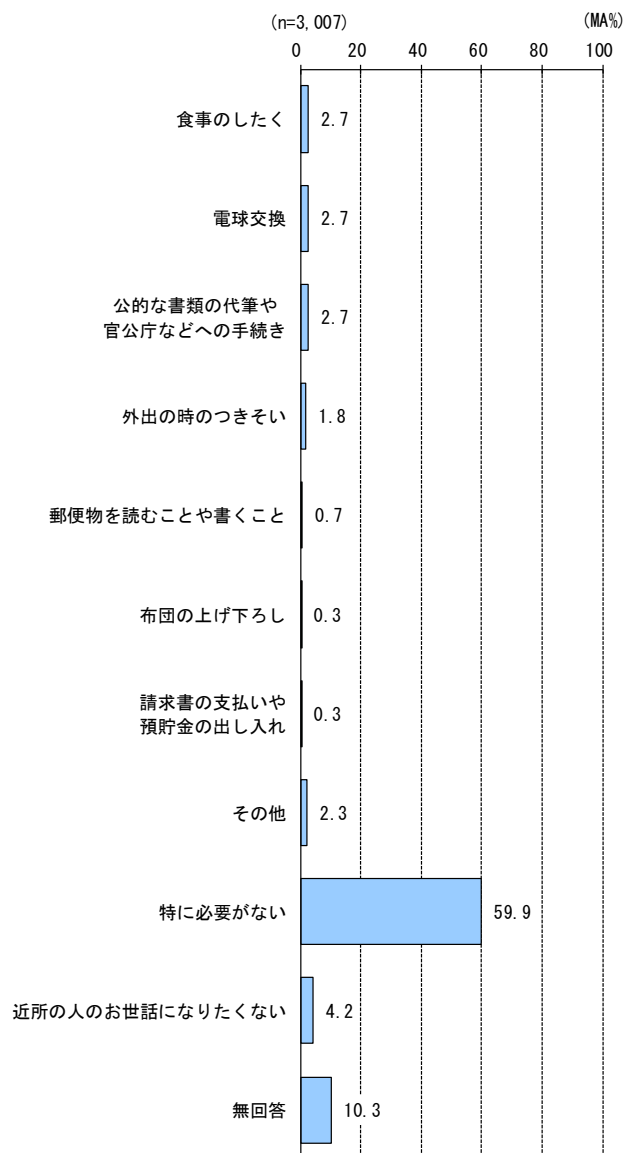
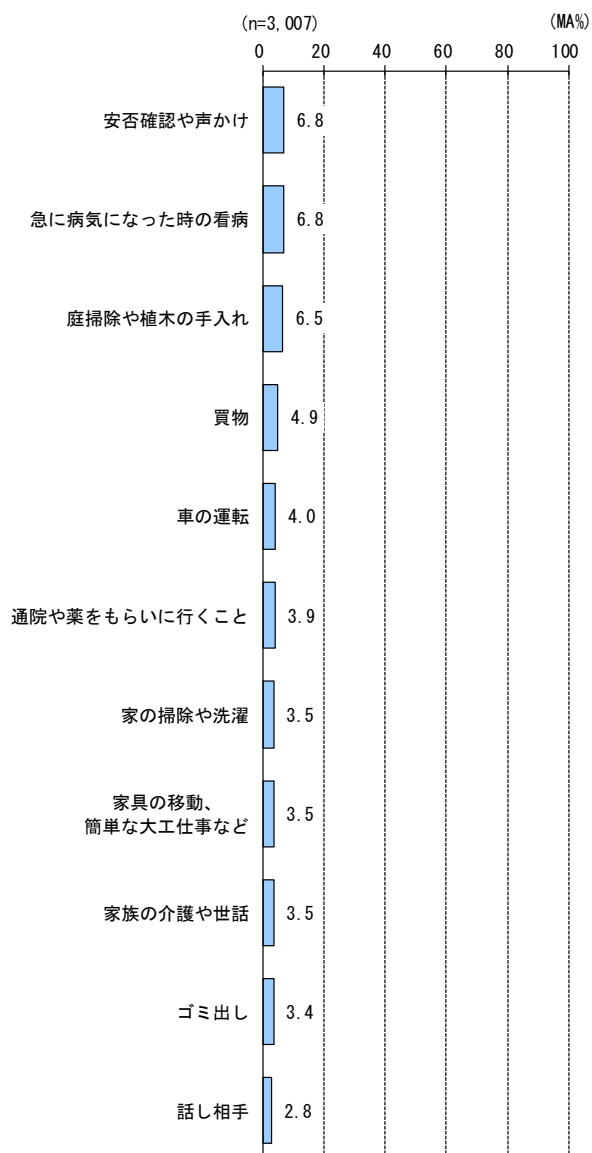
単位：%

		母数 (n)	地域での在宅生活の継続しやすさ				
			しやすい	どちらか やすいか といえ ば、	どちら くいか といえ ば、	し にく い	無 回 答
全体		3,007	18.7	47.6	18.9	5.2	9.6
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	18.2	51.4	19.3	4.4	6.6
	後期高齢者	536	25.0	44.4	15.3	4.1	11.2
	女性 前期高齢者	930	14.3	47.6	22.8	6.2	9.0
	後期高齢者	724	20.0	45.6	16.2	5.7	12.6
行政区	高砂	404	17.1	43.8	24.8	6.7	7.7
	荒井	399	21.3	48.1	15.3	2.8	12.5
	伊保	389	20.6	47.6	15.7	4.9	11.3
	中筋	284	15.5	46.5	20.8	6.7	10.6
	曾根	396	20.2	48.2	16.4	4.8	10.4
	米田	395	18.5	57.2	13.4	4.6	6.3
	阿弥陀	416	17.1	44.2	23.3	6.3	9.1
	北浜	324	18.2	44.4	22.5	5.6	9.3
	一般高齢者	2,746	18.6	47.6	19.1	5.3	9.4
認定該当状況	総合事業対象者	12	8.3	50.0	33.3	-	8.3
	要支援1・2	249	19.7	47.0	16.5	4.8	12.0

(2) 近所の人に手助けをしてもらいたいこと

●問 9.2 近所の人やボランティアに、金銭を支払って手助けをしてもらいたいことはありますか。(いくつでも)

○ 近所の人やボランティアに金銭を支払って手助けをしてもらいたいことについて、「特に必要がない」が59.9%で最も多く、「安否確認や声かけ」「急に病気になった時の看病」が6.8%、「庭掃除や植木の手入れ」が6.5%となっています。



- 性別・年齢をみると、後期高齢者は前期高齢者に比べ「庭掃除や植木の手入れ」「急に病気になった時の看病」が多くなっています。
- 認定該当状況をみると、要支援１・２では、「庭掃除や植木の手入れ」が多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	近所の人やボランティアに金銭を支払って手助けをしてもらいたいこと (MA)										
			声 か け 安 否 確 認 や	話 し 相 手	つ き そ い 外 出 の 時 の	車 の 運 転	買 物	家 の 掃 除 や 洗 濯	食 事 の し た く	ゴ ミ 出 し	電 球 交 換	家 具 の 移 動 、 簡 単 な 大 工 事 な ど	手 庭 掃 除 や 植 木 の 入 れ
全体		3,007	6.8	2.8	1.8	4.0	4.9	3.5	2.7	3.4	2.7	3.5	6.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	6.7	2.2	1.5	3.5	4.2	3.3	3.2	3.3	1.7	2.9	4.8
	後期高齢者	536	5.0	3.4	2.4	3.4	4.9	4.1	3.9	3.7	2.6	2.8	6.7
	女性 前期高齢者	930	7.6	2.6	1.7	3.5	5.4	2.0	1.6	2.3	2.8	2.9	5.9
	後期高齢者	724	7.2	3.3	1.7	5.5	5.2	5.2	2.5	4.8	3.9	5.4	9.1
行政区	高砂	404	5.4	2.5	2.0	2.0	5.7	4.5	1.7	3.0	3.0	4.2	7.9
	荒井	399	8.5	3.5	1.5	2.5	4.0	3.3	2.0	2.3	3.0	4.3	7.5
	伊保	389	7.5	3.9	2.1	4.4	5.9	4.4	3.1	4.1	3.3	3.1	8.5
	中筋	284	5.6	1.4	1.1	4.6	3.9	3.5	3.9	3.2	2.1	3.2	4.2
	曾根	396	6.1	1.0	1.8	3.0	4.3	2.8	3.3	3.0	2.8	2.8	2.5
	米田	395	6.1	2.5	1.0	3.5	3.8	3.5	3.3	4.6	2.0	3.3	6.1
	阿弥陀	416	7.2	4.6	2.6	6.7	6.7	3.1	2.2	3.4	2.6	3.8	6.0
	北浜	324	8.0	2.5	1.9	5.6	4.6	3.1	2.2	4.0	2.8	3.1	9.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	6.9	2.8	1.6	4.0	4.9	3.3	2.5	3.2	2.3	3.4	6.1
	総合事業対象者	12	8.3	8.3	8.3	-	-	8.3	-	16.7	8.3	-	8.3
	要支援１・２	249	5.6	2.8	3.2	4.0	5.2	6.0	4.4	5.2	6.8	4.4	11.2

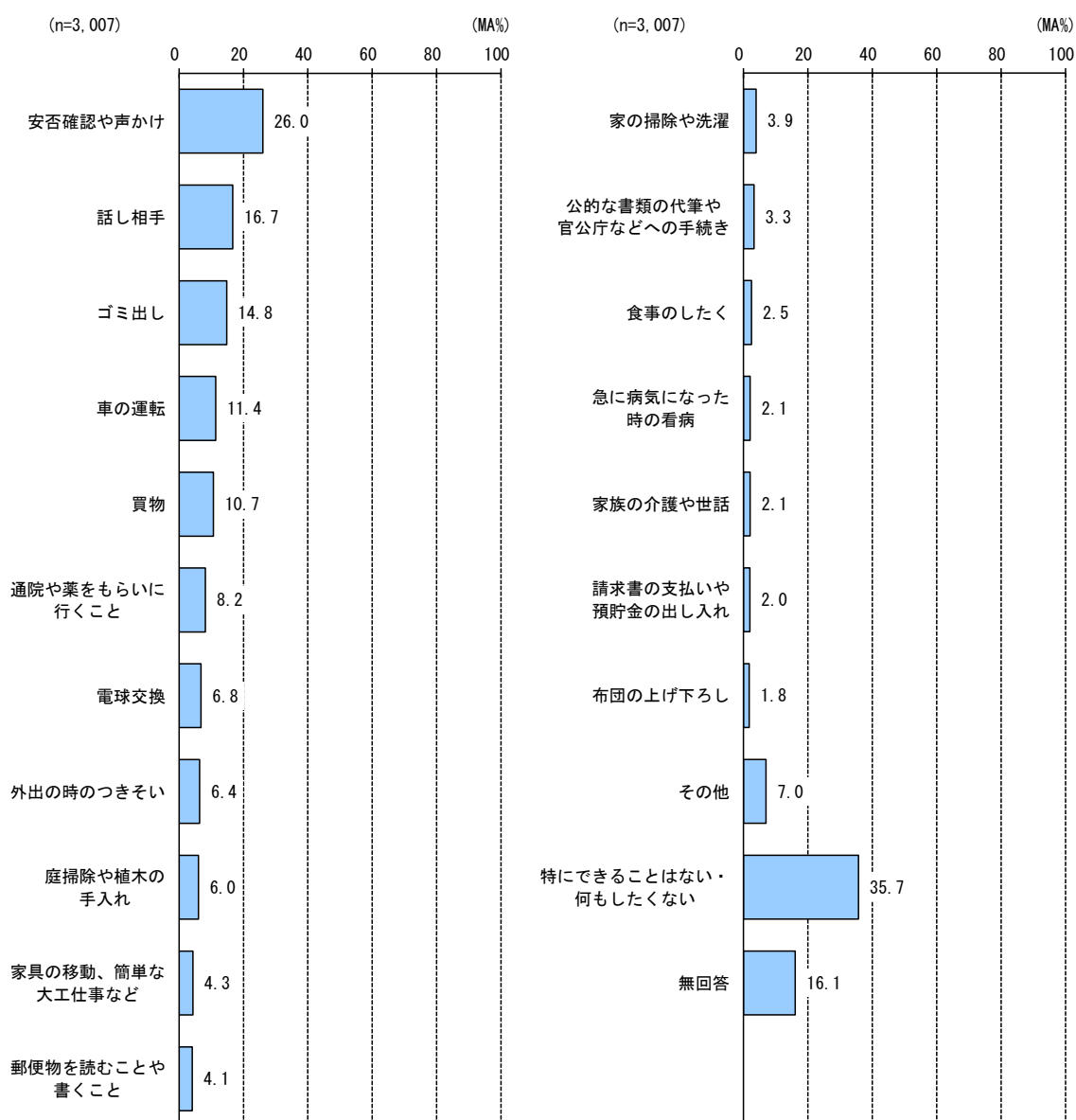
単位：％

		近所の人やボランティアに金銭を支払って手助けをしてもらいたいこと (MA)										
		布 団 の 上 げ 下 ろ し	預 請 金 の 出 し 入 れ や	官 公 的 な 書 類 の 代 筆 や き	こ 郵 と 便 物 を 読 む こ と	も 通 院 や 薬 を 行 く こ と	時 急 に 病 気 に な っ た	家 族 の 介 護 や 世 話	そ の 他	特 に 必 要 が な い	近 所 の 人 の お 世 話 に な り た く な い	無 回 答
全体		0.3	0.3	2.7	0.7	3.9	6.8	3.5	2.3	59.9	4.2	10.3
性別・年齢	男性 前期高齢者	0.5	0.4	2.3	0.6	3.3	5.9	3.3	2.1	70.6	3.8	5.5
	後期高齢者	0.4	0.4	4.1	0.7	4.9	8.2	4.1	3.5	54.1	3.7	14.4
	女性 前期高齢者	0.1	0.3	2.0	0.5	3.4	5.1	3.9	2.0	62.8	4.8	7.6
	後期高齢者	0.4	0.3	3.0	0.8	4.4	8.8	2.6	2.1	48.2	4.3	16.2
行政区	高砂	0.2	0.2	3.0	0.5	2.7	6.2	4.5	2.2	64.1	3.5	5.7
	荒井	-	-	1.8	0.3	0.8	5.5	2.5	1.5	61.2	2.8	11.5
	伊保	0.8	1.0	2.6	1.0	4.6	5.9	4.9	2.3	57.6	4.4	13.1
	中筋	-	-	3.5	0.7	4.2	8.8	3.2	2.5	59.9	4.2	12.7
	曾根	0.3	-	1.0	-	2.5	4.0	1.5	2.0	63.4	4.3	10.9
	米田	-	0.5	3.5	1.3	4.1	8.6	3.3	2.3	57.5	4.6	11.6
	阿弥陀	0.7	0.5	4.6	1.0	7.7	7.7	5.3	2.9	57.7	5.5	7.2
	北浜	0.6	0.3	1.9	0.6	4.6	8.0	2.2	3.1	57.1	4.6	10.8
認定該当状況	一般高齢者	0.4	0.4	2.7	0.4	3.6	6.7	3.7	2.3	61.6	4.2	9.7
	総合事業対象者	-	-	8.3	-	8.3	-	-	-	50.0	8.3	16.7
	要支援１・２	-	-	2.8	3.2	6.8	7.6	1.2	3.2	41.0	4.0	17.3

(3) 近所の人が困っている時に支援できること

●問 9.3 近所の人が困っている時に、あなたが週 1、2 回程度、金銭をもらって支援できることはありますか。(いくつでも)

- 近所の人が困っている時に、週 1、2 回程度、金銭をもらって支援できることについて、「特にできることはない・何もしたくない」が 35.7%で最も多く、「安否確認や声かけ」が 26.0%、「話し相手」が 16.7%となっています。
- 手助けしてもらいたいことと比べると、「安否確認や声かけ」は支援できる人の割合が上回っている一方、「急に病気になった時の看病」「庭掃除や植木の手入れ」は支援できる人の割合が下回っています。



- 性別・年齢をみると、男女ともに何かしらの支援ができる人が多く、男性では「安否確認や声かけ」「車の運転」、女性では「安否確認や声かけ」「話し相手」「ゴミ出し」が多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	近所の人が困っている時に、週１、２回程度、金銭をもらって支援できること（MA）									
			安否確認 や声かけ	話し相手	外出の時の つきそい	車の運 転	買物	家の掃除 や洗濯	食事のしたく	ゴミ出し	電球交換	家具の移動、 簡単な大
全体		3,007	26.0	16.7	6.4	11.4	10.7	3.9	2.5	14.8	6.8	4.3
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	28.8	11.9	7.1	24.7	9.8	3.1	1.0	15.3	17.0	11.5
	後期高齢者	536	17.5	11.8	4.1	9.5	6.5	1.1	0.4	9.9	8.0	5.2
	女性 前期高齢者	930	35.4	25.1	9.5	8.3	17.4	6.9	5.1	21.1	2.2	0.5
	後期高齢者	724	17.1	14.9	3.3	1.7	6.1	2.9	2.5	9.7	0.4	0.3
行政区	高砂	404	26.5	15.3	6.4	11.4	10.9	3.7	2.5	16.8	7.2	5.2
	荒井	399	24.6	12.5	3.8	9.5	6.5	3.0	2.8	12.3	6.3	3.3
	伊保	389	26.2	15.4	7.2	11.1	11.1	4.4	2.3	14.1	7.2	4.4
	中筋	284	25.4	16.5	4.9	10.9	12.0	2.1	2.1	12.3	5.3	3.2
	曾根	396	26.5	16.2	6.1	7.3	10.6	3.5	2.8	14.4	6.6	2.8
	米田	395	25.8	17.2	8.9	13.4	11.9	5.6	3.0	16.5	9.1	5.8
	阿弥陀	416	28.8	22.4	6.3	14.4	12.5	4.3	1.9	16.8	7.7	5.0
	北浜	324	23.5	17.6	7.4	13.0	10.2	3.7	2.5	13.9	4.3	4.3
	一般高齢者	2,746	27.3	17.1	6.8	12.3	11.4	4.0	2.5	15.7	7.4	4.7
認定該当状況	総合事業対象者	12	25.0	16.7	8.3	8.3	16.7	16.7	－	16.7	－	－
	要支援１・２	249	11.2	12.0	1.2	1.6	2.4	1.6	2.4	4.4	1.2	0.4

単位：％

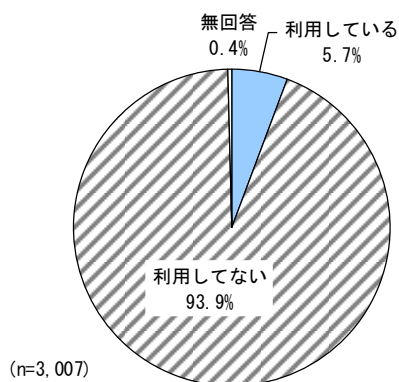
		近所の人が困っている時に、週１、２回程度、金銭をもらって支援できること(MA)										
		手 庭 入 掃 除 や 植 木 の	布 団 の 上 げ 下 ろ し	預 貯 金 の 出 し 入 れ	請 求 書 の 支 払 い や	公 的 な 書 類 の 代 筆 や 官 公 庁 な ど へ の 手 続 き	く こ と	郵 便 物 を 読 む こ と や 書 く こ と	通 院 や 薬 を も ら い に 行 く こ と	時 急 に 病 気 に な っ た の 看 病	家 族 の 介 護 や 世 話	そ の 他
全体		6.0	1.8	2.0	3.3	4.1	8.2	2.1	2.1	7.0	35.7	16.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	10.8	2.6	3.1	6.4	4.7	11.1	2.1	2.4	6.2	37.5	7.6
	後期高齢者	7.6	0.9	1.5	3.4	2.8	5.2	1.7	3.2	9.3	38.1	19.8
	女性 前期高齢者	4.0	2.3	2.3	2.3	5.1	10.6	3.0	1.9	7.4	29.2	12.3
	後期高齢者	1.8	1.1	0.7	1.0	3.2	3.9	1.4	1.2	5.7	40.5	27.8
行政区	高砂	5.7	1.7	3.0	5.0	4.0	8.4	2.2	1.2	5.9	39.9	12.6
	荒井	5.0	1.8	1.8	2.0	4.3	7.0	1.8	2.0	7.8	35.6	17.5
	伊保	7.5	0.8	2.1	3.6	4.1	7.7	2.1	2.8	7.5	33.4	16.5
	中筋	4.2	1.8	1.8	1.4	4.2	6.7	2.1	1.1	6.0	37.0	18.0
	曾根	3.8	1.8	1.0	2.8	3.0	7.1	1.0	1.5	5.8	37.4	17.9
	米田	7.3	4.1	3.3	3.5	5.6	9.6	3.5	1.8	8.1	31.4	17.0
	阿弥陀	7.5	1.2	1.4	4.3	4.3	10.6	1.9	3.4	7.0	35.3	13.0
	北浜	6.2	1.5	1.2	2.8	3.1	7.7	2.5	3.1	8.0	36.4	17.0
認定該当状況	一般高齢者	6.3	1.9	2.0	3.4	4.3	8.7	2.2	2.2	7.0	34.7	15.2
	総合事業対象者	-	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	-	-	8.3	41.7	25.0
	要支援１・２	2.0	0.4	0.8	1.2	2.0	2.4	1.6	1.2	7.2	47.0	24.9

12. 介護保険について

(1) 介護保険サービスについて

●問 10.1 あなたは、介護保険サービスを利用していますか。(1つだけ)

- 介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が5.7%、「利用してない」が93.9%となっています。
- 認定該当状況をみると、要支援1・2では「利用している」が68.3%となっています。

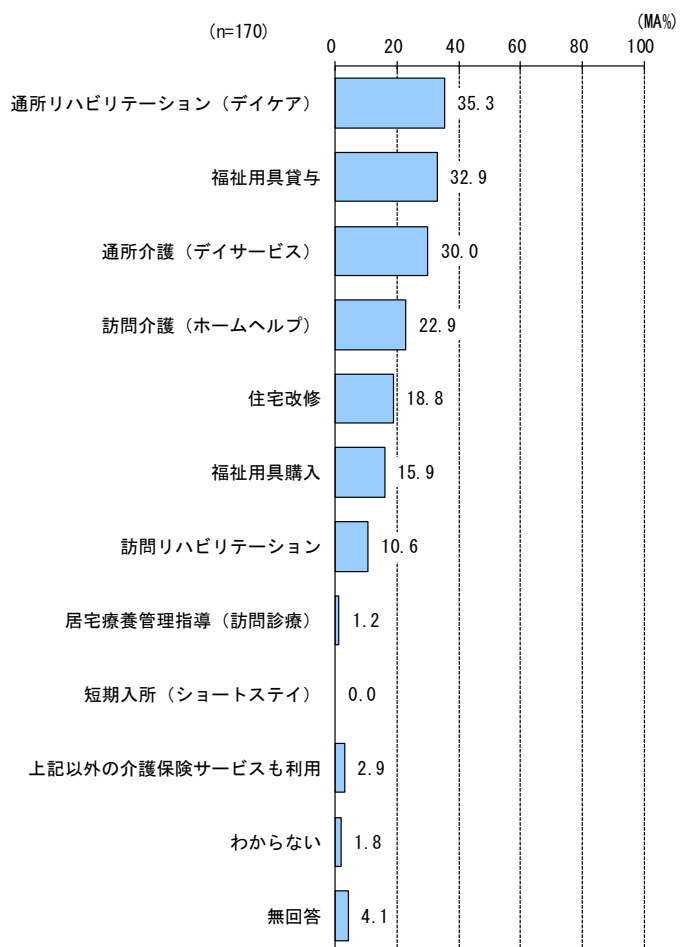


単位：％

		母数 (n)	介護保険サービスの 利用状況		
			利用 して いる	利用 して ない	無 回 答
全体		3,007	5.7	93.9	0.4
性・年齢	男性 前期高齢者	817	0.7	99.3	—
	後期高齢者	536	6.7	92.9	0.4
	女性 前期高齢者	930	1.8	98.1	0.1
	後期高齢者	724	15.3	83.3	1.4
圏域	高砂	404	7.4	92.1	0.5
	荒井	399	6.0	93.5	0.5
	伊保	389	5.4	94.1	0.5
	中筋	284	4.2	95.4	0.4
	曾根	396	5.8	93.7	0.5
	米田	395	6.1	93.7	0.3
	阿弥陀	416	4.3	95.2	0.5
	北浜	324	5.6	94.1	0.3
認定該当状況	一般高齢者	2,746	—	100.0	—
	総合事業対象者	12	—	100.0	—
	要支援1・2	249	68.3	26.5	5.2

●問 10.1-1 （介護サービスを利用している方で）利用している介護保険サービスを教えてください。（いくつでも）

○ 利用している介護保険サービスについて、「通所リハビリテーション（デイケア）」が 35.3%で最も多く、「福祉用具貸与」が 32.9%、「通所介護（デイサービス）」が 30.0%となっています。



○ 家族構成をみると、1人暮らしでは、「訪問介護（ホームヘルプ）」が最も多くなっています。

単位：％

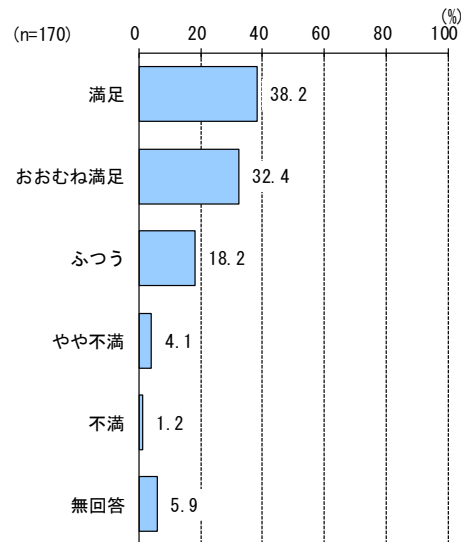
		母数 (n)	利用している介護保険サービス(MA)					
			(訪問介護 ホームヘルプ)	訪問リハビリ センター	(通所介護 デイサービス)	通所リハビリ センター (デイケア)	福祉用具貸与	福祉用具購入
全体		170	22.9	10.6	30.0	35.3	32.9	15.9
性・年齢	男性 前期高齢者	6	-	33.3	-	66.7	16.7	16.7
	後期高齢者	36	33.3	11.1	36.1	27.8	30.6	13.9
	女性 前期高齢者	17	11.8	11.8	35.3	23.5	41.2	29.4
	後期高齢者	111	22.5	9.0	28.8	37.8	33.3	14.4
圏域	高砂	30	26.7	20.0	30.0	20.0	43.3	13.3
	荒井	24	41.7	12.5	33.3	25.0	29.2	20.8
	伊保	21	19.0	19.0	9.5	61.9	42.9	14.3
	中筋	12	16.7	-	8.3	50.0	41.7	16.7
	曾根	23	26.1	8.7	21.7	17.4	39.1	30.4
	米田	24	20.8	4.2	54.2	41.7	20.8	12.5
	阿弥陀	18	5.6	-	38.9	50.0	11.1	11.1
	北浜	18	16.7	11.1	33.3	33.3	33.3	5.6
認定該当状況	一般高齢者	-	-	-	-	-	-	-
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	170	22.9	10.6	30.0	35.3	32.9	15.9
家族構成	1人暮らし	70	38.6	7.1	34.3	30.0	34.3	14.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	37	16.2	16.2	18.9	27.0	35.1	16.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	3	-	33.3	33.3	33.3	-	-
	息子・娘との2世帯	35	11.4	11.4	34.3	45.7	31.4	17.1
	その他	23	8.7	8.7	26.1	47.8	30.4	17.4

単位：％

		住宅 改修	利用している介護保険サービス(MA)				
			(短期入所 ショートステイ)	(居宅療養 管理指導 訪問診療)	上記以外の 介護保険 サービス利用	わからない	無回答
全体		18.8	-	1.2	2.9	1.8	4.1
性・年齢	男性 前期高齢者	33.3	-	-	-	-	-
	後期高齢者	8.3	-	-	5.6	-	5.6
	女性 前期高齢者	11.8	-	5.9	-	-	5.9
	後期高齢者	22.5	-	0.9	2.7	2.7	3.6
圏域	高砂	26.7	-	3.3	6.7	3.3	-
	荒井	8.3	-	4.2	-	-	4.2
	伊保	19.0	-	-	-	4.8	4.8
	中筋	25.0	-	-	-	-	-
	曾根	43.5	-	-	4.3	4.3	-
	米田	12.5	-	-	4.2	-	12.5
	阿弥陀	5.6	-	-	5.6	-	5.6
	北浜	5.6	-	-	-	-	5.6
認定該当状況	一般高齢者	-	-	-	-	-	-
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	18.8	-	1.2	2.9	1.8	4.1
家族構成	1人暮らし	15.7	-	2.9	4.3	-	2.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	21.6	-	-	2.7	2.7	5.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	-	-	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯	17.1	-	-	2.9	2.9	2.9
	その他	30.4	-	-	-	4.3	8.7

●問 10.1-2 現在利用されているサービスに満足していますか。(1つだけ)

○ 現在利用しているサービスの満足度について、「満足」が38.2%で最も多く、「おおむね満足」が32.4%、「ふつう」が18.2%となっています。

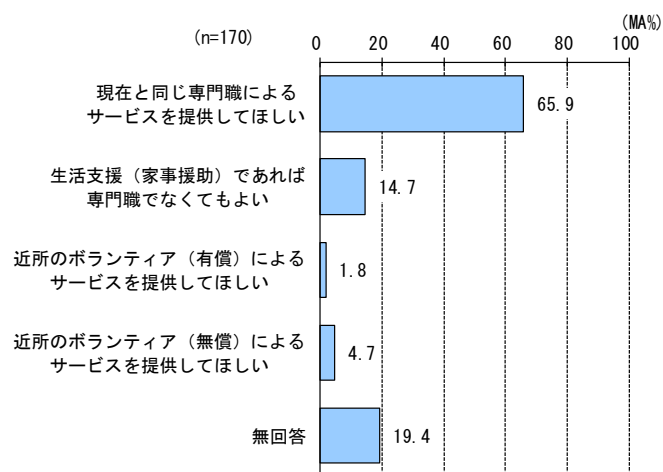


単位：%

		母数 (n)	現在利用しているサービスの満足度					
			満足	おおむね満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体		170	38.2	32.4	18.2	4.1	1.2	5.9
性・年齢	男性 前期高齢者	6	-	83.3	-	16.7	-	-
	後期高齢者	36	27.8	44.4	13.9	8.3	2.8	2.8
	女性 前期高齢者	17	41.2	29.4	23.5	5.9	-	-
	後期高齢者	111	43.2	26.1	19.8	1.8	0.9	8.1
圏域	高砂	30	33.3	36.7	23.3	3.3	-	3.3
	荒井	24	33.3	41.7	12.5	4.2	-	8.3
	伊保	21	38.1	33.3	14.3	9.5	-	4.8
	中筋	12	58.3	25.0	8.3	-	-	8.3
	曾根	23	56.5	4.3	26.1	-	-	13.0
	米田	24	33.3	37.5	8.3	12.5	-	8.3
	阿弥陀	18	27.8	50.0	22.2	-	-	-
	北浜	18	33.3	27.8	27.8	-	11.1	-
認定該当状況	一般高齢者	-	-	-	-	-	-	-
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	170	38.2	32.4	18.2	4.1	1.2	5.9

●問 10.1-3 現在利用しているサービスについて、今後、どのような形で利用していきたいですか。(いくつでも)

- 現在利用しているサービスの今後の利用意向について、「現在と同じ専門職によるサービスを提供してほしい」が 65.9%で最も多く、「生活支援（家事援助）であれば専門職でなくてもよい」が 14.7%、「近所のボランティア（有償）によるサービスを提供してほしい」が 4.7%となっています。



単位：%

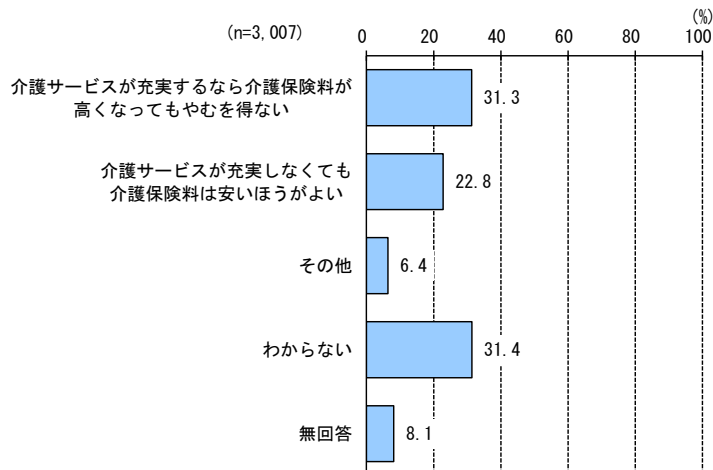
単位：人

		母数 (n)	現在利用しているサービスの 今後の利用意向 (MA)				
			ほる し い	現 在 と 同 じ 専 門 職 に よ る	て も あ ら ば 専 門 職 で な く	ス （ 有 償 ） に よ る	近 所 の ボ ラ ン テ ィ ア に よ る
全体		170	65.9	14.7	1.8	4.7	19.4
性・年齢	男性 前期高齢者	6	100.0	－	－	－	－
	後期高齢者	36	58.3	22.2	2.8	8.3	16.7
	女性 前期高齢者	17	70.6	5.9	－	－	23.5
	後期高齢者	111	65.8	14.4	1.8	4.5	20.7
圏域	高砂	30	76.7	6.7	6.7	3.3	13.3
	荒井	24	45.8	20.8	－	－	41.7
	伊保	21	61.9	19.0	4.8	9.5	14.3
	中筋	12	83.3	－	－	－	16.7
	曾根	23	60.9	13.0	－	8.7	21.7
	米田	24	62.5	20.8	－	12.5	16.7
	阿弥陀	18	72.2	11.1	－	－	16.7
	北浜	18	72.2	22.2	－	－	11.1
認定該当状況	一般高齢者	－	－	－	－	－	－
	総合事業対象者	－	－	－	－	－	－
	要支援 1・2	170	65.9	14.7	1.8	4.7	19.4

(2) 保険料と介護サービスの充実の関係

●問 10.2 介護サービスが充実すると、介護保険料は高くなる傾向があります。保険料の金額とサービスの充実の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(1つだけ)

- 保険料と介護サービスの充実の関係についての考えについて、「介護サービスが充実するなら介護保険料が高くなってもやむを得ない」が31.3%、「介護サービスが充実しなくても介護保険料は安いほうがよい」が22.8%となっています。



単位：%

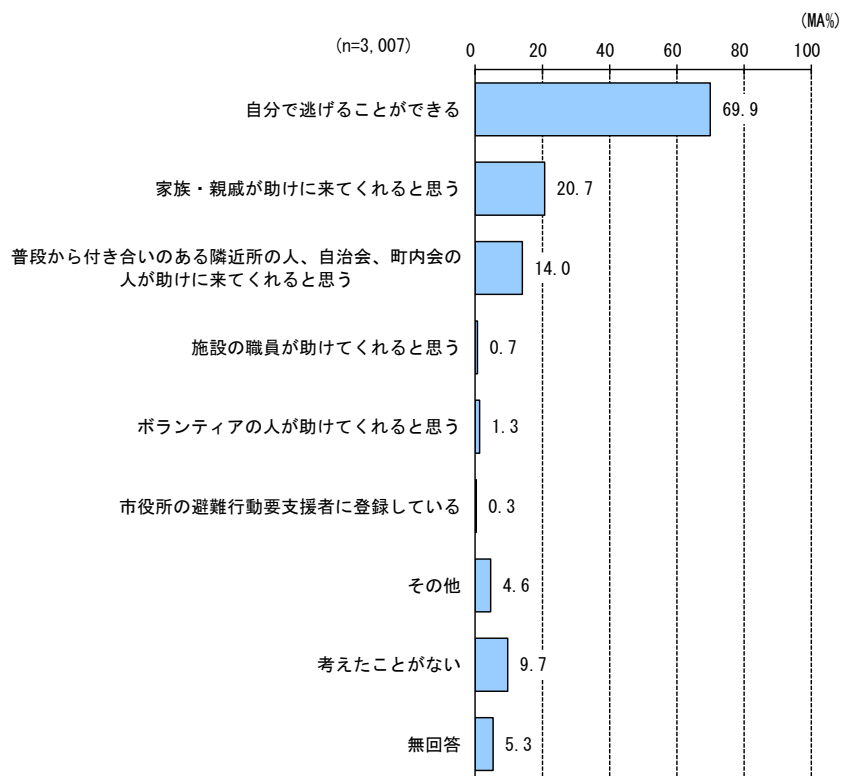
		母数 (n)	保険料と介護サービスの充実の 関係についての考え				
			介護保険料が やむを得ない が高くなっても なら	介護保険料が 安いほうが 充実しなくて も	その他	わからない	無 回 答
全体		3,007	31.3	22.8	6.4	31.4	8.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	33.7	24.6	7.2	30.4	4.2
	後期高齢者	536	31.5	24.6	4.3	25.7	13.8
	女性 前期高齢者	930	29.8	22.2	7.5	35.6	4.9
	後期高齢者	724	30.4	20.2	5.7	31.2	12.6
行政区	高砂	404	31.2	22.3	6.2	31.7	8.7
	荒井	399	32.8	20.3	6.3	31.8	8.8
	伊保	389	33.2	19.0	4.9	31.6	11.3
	中筋	284	28.5	21.5	7.0	34.9	8.1
	曾根	396	28.0	23.2	6.6	34.8	7.3
	米田	395	29.9	26.1	6.3	29.6	8.1
	阿弥陀	416	32.9	25.0	6.7	28.8	6.5
	北浜	324	33.3	24.7	7.7	28.1	6.2
認定該当状況	一般高齢者	2,746	30.5	22.8	6.6	32.1	8.0
	総合事業対象者	12	50.0	33.3	8.3	-	8.3
	要支援1・2	249	39.0	22.1	4.0	24.9	10.0

13. 将来について

(1) 自然災害時の避難所などへの避難方法

●問 11.1 地震や台風などの自然災害があったとき、避難所などへの避難方法を、考えていますか。(いくつでも)

○ 自然災害時の避難所などへの避難方法について、「自分で逃げることができる」が 69.9%で最も多く、「家族・親戚が助けに来てくれると思う」が 20.7%、「普段から付き合いのある隣近所の人、自治会、町内会の人」が助けに来てくれると思う」が 14.0%となっています。



- 認定該当状況をみると、総合事業対象者、要支援１・２では、「考えたことがない」がそれぞれ 16.7%、13.3%となっています。

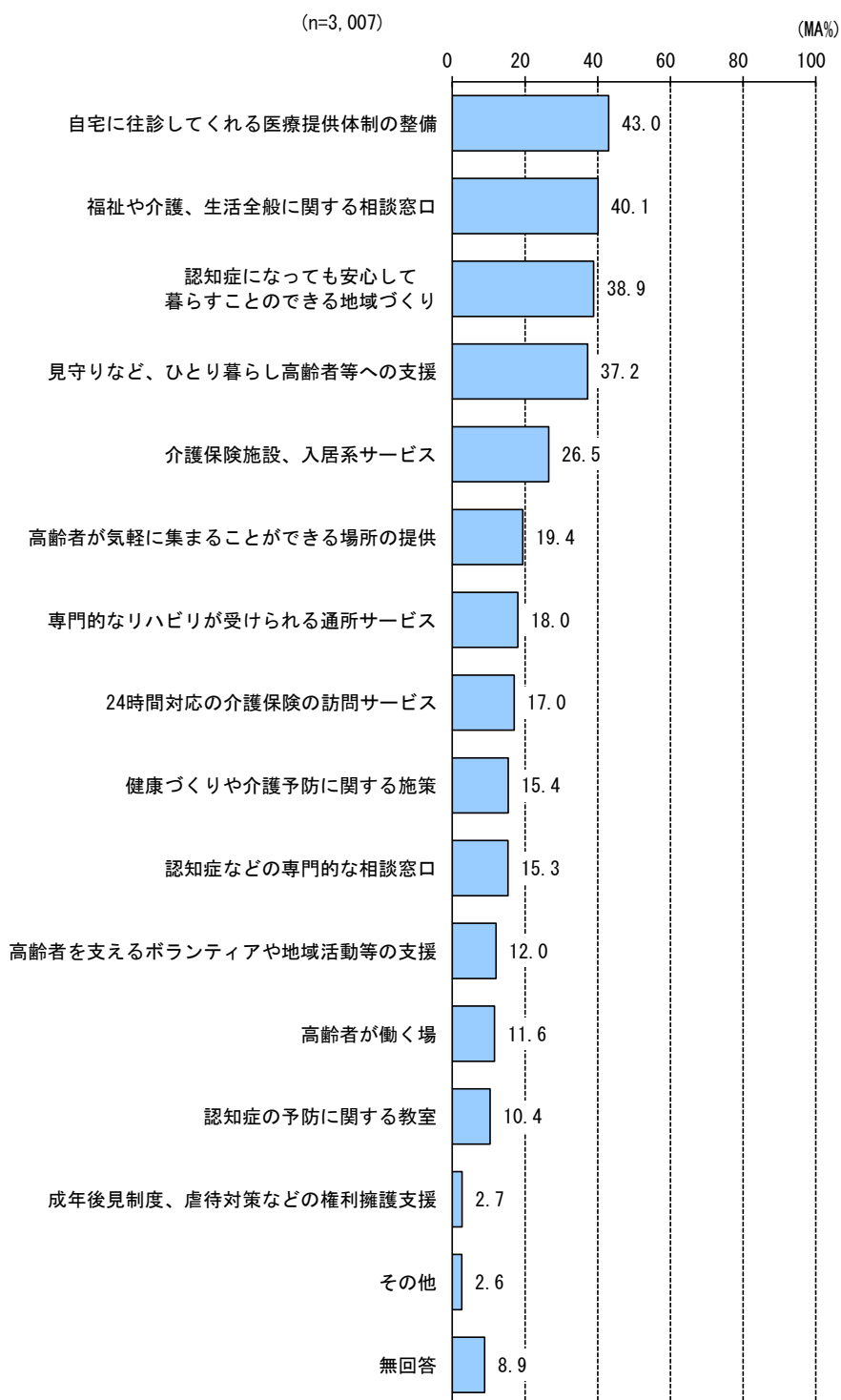
単位：％

		母数 (n)	自然災害時の避難所などへの避難方法 (MA)								無回答
			自分で逃げる ことができる	家族・親戚が 助けに 来てくれる と思う	人、自治会、 町内会の人 が助けに 来てくれる と思う	施設の職員が 助けに 来てくれる と思う	ボランティア の人の助けに 来てくれる と思う	登録している 市役所の避難 行動要支援者 に	その他	考えたことが ない	
全体		3,007	69.9	20.7	14.0	0.7	1.3	0.3	4.6	9.7	5.3
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	83.2	10.5	9.4	1.0	0.6	－	2.8	9.9	2.6
	後期高齢者	536	68.3	19.4	17.5	0.9	2.1	0.4	3.5	10.1	6.7
	女性 前期高齢者	930	77.2	19.0	12.2	0.3	1.2	0.3	5.9	7.7	3.3
	後期高齢者	724	46.7	35.1	18.9	0.7	1.5	0.4	5.5	11.6	9.7
行政区	高砂	404	67.3	19.6	14.1	0.2	1.5	0.5	6.2	8.9	4.0
	荒井	399	70.2	20.6	10.0	1.0	0.5	－	2.8	10.5	6.0
	伊保	389	70.7	19.3	13.6	1.3	1.3	0.8	4.4	9.5	5.4
	中筋	284	66.2	20.1	16.5	0.7	1.4	－	6.7	10.6	6.3
	曽根	396	70.5	19.2	10.4	0.5	0.8	0.3	4.8	8.8	5.6
	米田	395	68.4	22.5	14.2	1.0	1.8	0.3	5.3	9.6	6.1
	阿弥陀	416	70.7	23.6	16.1	0.7	2.2	0.2	3.1	10.1	4.8
	北浜	324	75.3	20.1	18.5	－	0.6	－	3.7	9.6	4.0
認定該当状況	一般高齢者	2,746	73.7	18.9	13.3	0.7	1.1	0.1	4.4	9.3	4.9
	総合事業対象者	12	50.0	33.3	25.0	－	－	－	－	16.7	－
	要支援 1・2	249	29.3	39.8	20.9	0.8	2.8	2.0	6.8	13.3	9.6

(2) 高砂市に充実を希望する高齢者施策

●問 11.2 あなたは、高砂市にどのような高齢者施策の充実を希望しますか。(いくつでも)

○ 高砂市に充実を希望する高齢者施策について、「自宅に往診してくれる医療提供体制の整備」が 43.0%で最も多く、「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」が 40.1%、「認知症になっても安心して暮らすことのできる地域づくり」が 38.9%となっています。



単位：％

単位：％

		母数 (n)	高砂市に充実を希望する高齢者施策(MA)							
			福祉や介護、生活全般に 関する相談窓口	見守りなど、ひとり暮らし 高齢者等への支援	健康づくりや介護予防に 関する施策	認知症の予防に 関する教室	認知症などの専門的な 相談窓口	認知症になっても安心して 暮らすことのできる地域づくり	高齢者が気軽に集まることが できる場所の提供	高齢者を支えるボランティアや 地域活動等の支援
全体		3,007	40.1	37.2	15.4	10.4	15.3	38.9	19.4	12.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	48.2	38.8	18.2	10.5	18.5	38.6	15.8	11.8
	後期高齢者	536	39.0	36.0	12.7	8.8	14.2	37.1	20.9	10.8
	女性 前期高齢者	930	39.7	39.8	17.6	11.0	16.1	42.2	20.9	12.4
	後期高齢者	724	32.3	33.0	11.5	10.8	11.6	36.3	20.6	12.7
行政区	高砂	404	40.3	35.9	16.3	10.9	16.3	40.1	21.3	12.9
	荒井	399	43.4	36.3	17.8	10.0	15.8	37.8	20.6	10.3
	伊保	389	39.6	40.1	15.9	8.5	15.9	39.1	21.1	10.8
	中筋	284	37.3	36.6	13.4	9.2	14.4	40.1	16.2	13.7
	曽根	396	37.9	35.4	14.1	10.1	14.6	36.4	20.2	12.1
	米田	395	41.8	38.7	12.4	11.1	14.9	38.0	17.5	11.6
	阿弥陀	416	40.1	34.9	16.8	10.1	14.2	38.2	18.8	13.0
	北浜	324	39.5	40.4	16.0	13.6	16.4	42.3	18.8	12.0
認定該当状況	一般高齢者	2,746	40.2	37.2	15.9	10.7	15.7	39.3	19.6	11.9
	総合事業対象者	12	50.0	41.7	25.0	8.3	16.7	50.0	25.0	8.3
	要支援１・２	249	38.2	36.9	9.6	6.8	11.2	33.7	16.9	12.9

単位：％

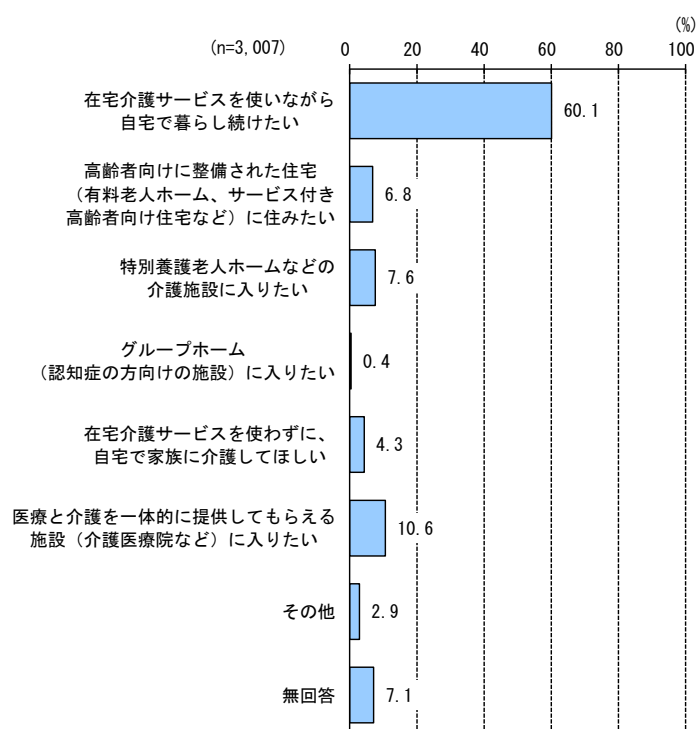
単位：％

		高砂市に充実を希望する高齢者施策(MA)							
		介護保険施設、 入居系サービス	24時間対応の 訪問サービス	専門的なリハビリが 受けられる通所サ ービス	高齢者が働く場	成年後見制度、 権利擁護支援、 虐待対策などの	自宅に往診してく れる医療提供体制 の整備	その他	無回答
全体		26.5	17.0	18.0	11.6	2.7	43.0	2.6	8.9
性別・年齢	男性 前期高齢者	30.0	19.1	17.0	17.3	3.1	42.4	2.8	4.4
	後期高齢者	22.6	15.3	14.4	7.8	2.8	39.7	4.3	12.9
	女性 前期高齢者	30.2	17.8	21.8	13.5	3.3	45.9	1.4	6.9
	後期高齢者	20.7	14.8	16.9	5.4	1.5	42.3	2.5	13.7
行政区	高砂	29.7	17.8	20.0	11.9	4.0	39.9	3.7	10.1
	荒井	24.6	16.3	18.3	10.3	3.5	41.9	1.8	9.0
	伊保	30.6	17.0	16.7	11.6	2.1	44.2	4.1	7.2
	中筋	23.6	18.3	14.8	13.0	2.5	38.4	1.4	12.7
	曽根	27.0	15.9	17.9	13.1	2.0	45.5	2.0	9.1
	米田	25.1	16.5	17.5	11.9	2.3	41.5	2.8	8.9
	阿弥陀	25.5	15.1	19.2	10.3	2.4	45.7	2.2	6.7
	北浜	25.0	20.1	18.5	10.8	3.1	46.0	2.2	8.6
認定該当状況	一般高齢者	26.9	17.1	17.9	12.4	2.8	42.9	2.6	8.6
	総合事業対象者	33.3	33.3	16.7	8.3	8.3	50.0	-	-
	要支援1・2	21.7	15.3	19.3	2.4	2.0	43.0	2.4	12.4

(3) 将来希望する生活

●問 11.3 あなたは将来について、どのような生活を希望しますか。(1つだけ)

- 将来希望する生活について、「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が60.1%で最も多く、「医療と介護を一体的に提供してもらえる施設（介護医療院など）に入りたい」が10.6%、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」が7.6%となっています。
- 「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」「在宅介護サービスを使わずに、自宅で家族に介護してほしい」を合わせた“自宅で暮らし続けたい”は、64.4%となっています。



- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ「医療と介護を一体的に提供してもらえる施設（介護医療院など）に入りたい」が多くなっています。
- 行政区をみると、伊保は他の地域に比べ“自宅で暮らし続けたい”が67.6%と多くなっています。一方で、中筋は他の地域に比べ“自宅で暮らし続けたい”が60.2%と少なく、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」が10.2%と多くなっています。
- 荒井では、「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」、「高齢者向けに整備された住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など）に住みたい」がそれぞれ60.9%、9.0%と多くなっています。

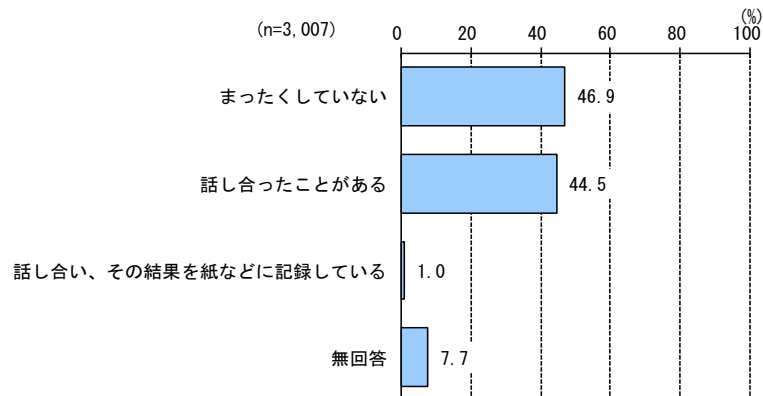
単位：％

		母数 (n)	将来希望する生活							
			在宅介護サービスを使いながら 自宅で暮らし続けたい	高齢者向けに整備された住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など）に住みたい	特別養護老人ホームなどの 介護施設に入りたい	グループホーム（認知症の方向けの施設）に入りたい	在宅介護サービスを使わずに、 自宅で家族に介護してほしい	医療と介護を一体的に提供して もらえる施設（介護医療院など） に 入りたい	その他	無回答
全体		3,007	60.1	6.8	7.6	0.4	4.3	10.6	2.9	7.1
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	59.0	8.8	8.2	0.5	5.1	9.7	4.0	4.7
	後期高齢者	536	59.9	6.3	7.5	0.6	5.2	8.6	1.9	10.1
	女性 前期高齢者	930	60.1	8.1	8.7	0.3	3.0	12.2	2.8	4.8
	後期高齢者	724	61.5	3.3	5.8	0.4	4.4	11.2	2.6	10.8
行政区	高砂	404	61.1	8.2	5.9	0.5	4.2	11.1	2.7	6.2
	荒井	399	60.9	9.0	7.8	－	4.0	8.3	3.0	7.0
	伊保	389	64.5	5.9	5.9	－	3.1	11.3	3.6	5.7
	中筋	284	54.2	7.4	10.2	1.4	6.0	7.7	2.8	10.2
	曽根	396	60.9	5.6	8.1	0.8	4.3	10.1	2.8	7.6
	米田	395	57.2	6.3	7.8	0.8	4.8	10.6	3.8	8.6
	阿弥陀	416	60.1	6.5	7.0	0.2	4.6	12.7	2.9	6.0
	北浜	324	60.2	5.6	9.6	－	4.0	12.3	1.5	6.8
認定該当状況	一般高齢者	2,746	59.6	7.0	7.8	0.4	4.5	10.7	3.0	7.0
	総合事業対象者	12	66.7	－	－	－	8.3	8.3	8.3	8.3
	要支援１・２	249	65.5	5.6	6.0	0.8	2.0	9.6	2.0	8.4

(4) 将来希望する生活について話し合いをしたこと

●問 11.4 将来希望する生活について、どなたかと話し合いをしていますか。(1つだけ)

- 将来希望する生活について話し合いをしたことについて、「まったくしていない」が46.9%で最も多く、「話し合ったことがある」が44.5%、「話し合い、その結果を紙などに記録している」が1.0%となっています。
- 性別・年齢をみると、女性は男性に比べ「話し合ったことがある」が多くなっています。



単位：%

		母数 (n)	将来希望する生活について 話し合いをしたこと			
			ま っ た く し て い な い	話 し 合 っ た こ と が あ る	紙 な ど に 記 録 し て い る	無 回 答
全体		3,007	46.9	44.5	1.0	7.7
性別・年齢	男性 前期高齢者	817	53.5	41.9	0.5	4.2
	後期高齢者	536	50.4	37.3	0.9	11.4
	女性 前期高齢者	930	42.7	51.0	1.2	5.2
	後期高齢者	724	42.1	44.3	1.4	12.2
行政区	高砂	404	47.5	43.1	1.0	8.4
	荒井	399	45.4	47.4	0.5	6.8
	伊保	389	46.3	46.0	1.3	6.4
	中筋	284	49.3	38.4	1.4	10.9
	曽根	396	48.2	42.2	2.0	7.6
	米田	395	46.6	45.1	1.0	7.3
	阿弥陀	416	48.6	45.0	-	6.5
	北浜	324	42.9	47.5	0.9	8.6
認定該当状況	一般高齢者	2,746	47.5	44.5	1.0	7.1
	総合事業対象者	12	41.7	58.3	-	-
	要支援1・2	249	40.6	43.8	0.8	14.9

14. 調査結果にみる現状と課題

(1) 回答者の属性・住まいの状況

- 回答者の属性について、男性が 1,353 人、女性が 1,654 人と女性のほうがやや多く、前期高齢者が 1,747 人、後期高齢者が 1,260 人となっています。回答者に占める認定者（要支援 1・2）の割合は約 1 割です。また、回答者の居住地域の割合としては、高砂、荒井、伊保、曽根、米田、阿弥陀が約 13～14%、中筋、北浜が約 9～11%となっています。
- 家族構成について、1 人暮らしが約 17%、夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）が 45%となっており、合わせると 6 割以上が高齢者のみの世帯となっています。回答者の属性では、女性の後期高齢者、総合事業対象者、要支援 1・2 で、行政区では米田で、特に 1 人暮らしの割合が多く、地域における見守りが必要となっています。
- 経済状況について、3 割以上が現在の暮らしが経済的に苦しいと回答しています。
- 住まいの状況について、持家が約 9 割となっています。

(2) 介護の状況

- 介護・介助の必要性について、後期高齢者になると介護・介助の必要性が高まる傾向がみられ、特に女性で必要な人が多くなっています。また、総合事業対象者においても、約 1 割がすでに介護・介助を受けていると回答しています。一方で、要支援 1・2 では、介護・介助は必要ないと回答している人（お守り認定と考えられる人）は 2 割以上となっています。
- 介護・介助が必要になった原因について、全体では骨折・転倒、高齢による衰弱が約 2 割と多くなっています。骨折・転倒については、男性では前期高齢者、後期高齢者ともに約 15%であるのに対し、女性では前期高齢者で約 1 割、後期高齢者では約 3 割と大きな差がみられます。高齢による衰弱については、男女ともに後期高齢者で多くなっています。そのほか、男性では、前期高齢者で脳卒中、後期高齢者で心臓病が多く、女性では、前期高齢者で糖尿病が多くなっています。中年期からの運動習慣等により、生活習慣病の予防や生活機能全般の維持が重要です。
- 主な介護者について、家族・親族の占める割合が多く、特に配偶者、息子、娘が主な介護者となっている場合が多いですが、女性の後期高齢者や 1 人暮らしの人では介護サービスのヘルパーの割合が多くなっています。

(3) 運動・外出について

- 運動器の機能低下をみると、後期高齢者でリスク該当者の割合が多く、特に女性では約 4 割となっています。身体状況が悪化するにつれてリスク該当者の割合が多くなる傾向がみられますが、一般高齢者、総合事業対象者では 2 割未満であるのに対し、要支援 1・2 は約 7 割となっています。補助なしで階段を昇ることや椅子から立ち上がること、15 分程度歩くことについて、できるにもかかわらずしていない人が 1 割から 2 割みられます。日常生活におけるこうした取り組みの積み重ねによって、身体機能が維持され、介護予防につながることの意識付けが必要です。
- 外出の状況について、閉じこもりのリスクをみると、後期高齢者で該当者の割合が多く、特に女性では 4 人に 1 人が閉じこもり傾向となっています。足腰などの痛みにより外出が億劫になることに加え、交通手段がないために閉じこもり傾向になっている可能性があります。閉じこもりがちになると、身体機能が低下し、要介護状態へとつながりやすくなることから、外出を妨げる要因に対するアプローチが必要ですが、閉じこもりのリスク該当者が多い女性の後期高齢者では、外出の際に自動車やバス、タクシーといった運転手付きの移動手段を利用している人が多いことから、転倒や

足腰の痛み等に配慮した安全な移動手段の確保が求められます。

(4) 口腔・栄養について

- 咀嚼機能、嚥下機能等の口腔機能の低下リスクに該当している人は全体では約2割となっています。また、自分の歯が20本以上ある人は、79歳以下では4割以上であるのに対し、80～84歳で約3割、85歳以上では3割を下回っています。歯磨きの状況を見ると、毎日行えていない人は身体が悪化するにつれて多くなる傾向がみられます。身体機能の低下に伴い、毎食後の歯磨きは負担になる可能性もありますが、口内を清潔に保つことで、口腔機能の維持・栄養状態の改善のほか、肺炎や認知症の予防にもつながるとされていることから、口腔清掃方法の周知と習慣付けを行うことが必要です。
- 1人暮らしでは他の家族構成に比べ孤食のことが多いほか、加齢に伴い誰かと食事をともにする機会が減少する傾向がみられます。体重・身長から算出するBMIが18.5以下（栄養改善のリスク）に該当している人は全体では1割未満ですが、一般高齢者に比べ要支援1・2では割合がやや多くなっています。通いの場等を通じて誰かと食事を楽しむことで、栄養状態の維持・改善や閉じこもりの予防につながると考えられます。

(5) 日常生活について

- 一般高齢者、総合事業対象者では、バスや電車を使った1人での外出や食品・日用品の買物、友人との関わり、新聞、本や雑誌を読むことができている人の割合が多くなっていますが、要支援1・2では（項目によっては総合事業対象者でも）少なくなっていることから、要介護状態になると行動範囲がより限定され、あらゆる情報を収集する能力も低くなっていると考えられます。ただし、健康についての記事や番組に関しては、身体状況によらず約9割が関心を持っています。
- 認知機能の低下リスク該当者は全体で約4割となっており、特に後期高齢者では約5割と多くなっています。本や雑誌を読むことで認知機能の低下予防につながるとされていることから、身体状況によらず関心を持ちやすい健康についての情報を発信し、高齢者が情報を収集する能力を維持することで、認知機能の低下予防につながる可能性があります。
- 趣味について、一般高齢者では約7割、総合事業対象者では約6割があると回答しています。また、生きがいについては、一般高齢者では約6割、総合事業対象者では5割があると回答しています。いずれも、身体状況が悪化するにつれて思いつかない人の割合が多くなる傾向がみられます。

(6) 社会参加について

- 地域活動について、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、町内会・自治会に参加している人が2～3割以上と比較的多くなっています。一方で、学習・教養サークル、介護予防のための通いの場、老人クラブについては、参加している人が1割程度となっており、さらなる周知や参加促進が必要と考えられます。また、収入のある仕事については、前期高齢者と後期高齢者の差が大きく、特に男性は、前期高齢者では約4割が参加しているのに対し、後期高齢者では1割程度となっています。男性では、外での楽しみがないために外出を控えている人が女性に比べ多く、よく会う友人・知人をみると近所・同じ地域の人が少なくなっています。交流しやすい雰囲気や具体的な内容等についての情報提供があれば、地域での活動に参加しやすくなるという人が3～4割みられるため、雰囲気づくりや活動内容の周知等の支援を行うことで、男性の地域参加を促すことができると考えられます。一方で、男性では、地域活動への参加に経済的な支援が必要と感じている人が多いことが課題となっています。

- 地域づくり活動について、参加者として参加意向がある人は約5割、お世話役として参加意向がある人は約3割となっています。性・年齢をみると、女性の前期高齢者で参加者として、男性の前期高齢者でお世話役として参加意向がある人の割合が多くなっています。また、地域づくり活動の担い手となりうる総合事業対象者については、約1割がお世話役として参加意向があると回答しています。

(7) 健康について

- 自身の健康状態をよいと感じている人は約8割となっていますが、男女ともに前期高齢者に比べ後期高齢者では健康感が下がる傾向がみられます。特に女性では、前期高齢者では8割以上がよいと感じているのに対し、後期高齢者では7割以下に留まっています。また、一般高齢者、総合事業対象者では約8割がよいと感じているのに対し、要支援1・2では約4割となっていることから、主観的健康感は身体状況に影響される可能性が考えられます。
- 飲酒・喫煙について、男性で嗜好する人の割合が多く、特に前期高齢者では頻度が高い人が多くなっています。男性では、高血圧、脳卒中、心臓病、糖尿病といった、飲酒・喫煙等に起因する生活習慣病の既往歴がある人が多くなっています。こうした疾病が介護・介助が必要になった主な原因の一つになっていることも踏まえ、介護予防の取り組みは、生活習慣の見直し等、疾病予防・重症化予防といった保健分野も関与した保健事業との一体的な実施が重要となっています。

(8) 地域づくりについて

- 認知症について、認知症に関する相談窓口を知っている人は3割未満に留まっています。一方で、自身や家族が認知症になった時にあればよいと思う支援について、相談窓口や病院、介護サービスの情報が簡単に収集できる仕組みが7割以上と最も多くなっています。認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」をめざし、認知症バリアフリーの地域づくりを進めるにあたって、まずは認知症の症状の有無にかかわらず、地域で認知症の相談窓口が周知されることが重要であると考えられます。その中でも、認知症カフェの役割は大きいことから、現在2割未満である利用意向を伸ばす取り組みを行うことで、認知症に理解のある地域づくりにつながると考えられます。
- 近所の人に支援できることについて、男性・女性ともに、何かしらの支援ができると考えている人が比較的多く、互助の担い手になりうると考えられます。地域資源を把握し、支援の手が足りないものについては、公的な支援を検討し、住民による支援が充足しているものについては、地域の支援者と支援を必要としている高齢者を円滑に結びつけることができる仕組みづくりが求められています。

(9) 在宅生活の継続について

- 将来について、自宅で暮らし続けたい人が約6割となっています。また、そうした暮らしの希望について、周囲の身近な人と話し合いをしていない人が約5割となっています。自分らしい最高のエンディングを考えることは、今をよりよく生きることにつながることから、終活をより推進することが必要であると考えられます。
- 市に充実を希望する高齢者施策について、自宅に往診してくれる医療提供体制の整備が4割以上と最も多くなっています。高齢化に伴い、医療と介護のニーズを併せ持つ人が増加すると考えられますが、どのような状態であっても住み慣れた地域で最期を迎えたいという理想を実現できるよう、在宅生活の継続への支援の充実がますます求められます。

第 2 章

在宅介護実態調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、「高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画（第8期）」の見直しを行うにあたり、「家族の介護のために仕事をやめなくてもよいようにしていくためにはどのようなサービスが必要か」、「高齢者が安心して自宅での生活が続けること」と「家族など介護者の方が仕事を続けること」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施しました。

(2) 調査の実施について

調査名	高砂市これからの介護保険のための調査
対象者	高砂市内にお住まいの高齢者 1,000 人（過去に要支援、要介護認定の更新、区分変更申請をされた方を無作為に抽出。）
実施期間	令和2年1月31日（金）～2月21日（金）
実施方法	郵送配布、郵送回収（回収率向上のための礼状兼督促はがきも郵送）

(3) 配布件数及び有効回答件数・回答率

	配布数	有効回答数	有効回答率
全体	1,000 件	720 件	72.0%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を指します。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0% とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. クロス集計については、厚労省が推奨する在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト（三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社作成）を用いて、回答結果と認定データを突合・集計しています。なお、認定データが欠けている場合や無回答の場合を除いた集計となっています。

2. 回答者の属性

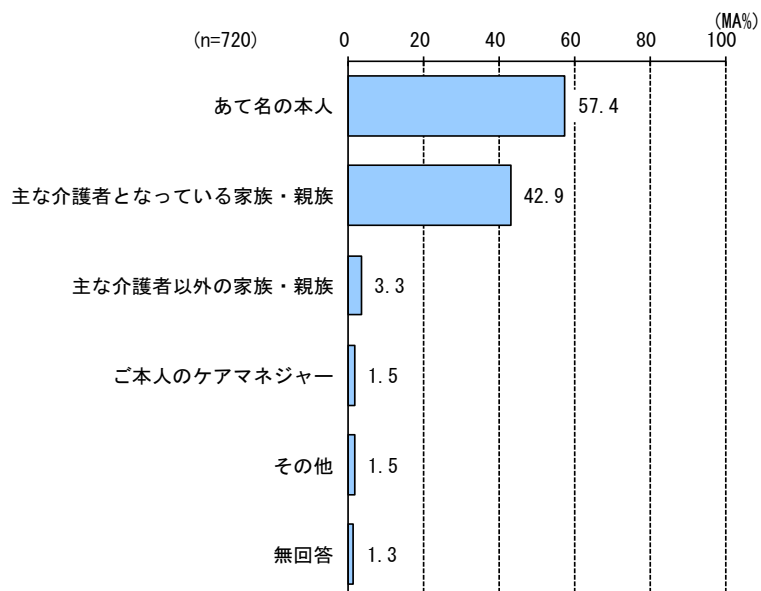
(1) 回答者の属性

<u>性別</u>	男性	34.0%
	女性	66.0%
<u>年齢</u>	65～69 歳	8.5%
	70～74 歳	11.7%
	75～79 歳	21.0%
	80～84 歳	27.4%
	85 歳以上	31.6%
<u>性別・年齢</u>	男性 前期高齢者	10.1%
	後期高齢者	23.9%
	女性 前期高齢者	10.0%
	後期高齢者	56.0%
<u>行政区</u>	高砂	13.3%
	荒井	12.1%
	伊保	19.7%
	中筋	5.0%
	曾根	10.0%
	米田	21.3%
	阿弥陀	11.8%
	北浜	6.8%
<u>要介護度</u>	要支援 1	26.4%
	要支援 2	29.2%
	要介護 1	20.1%
	要介護 2	10.6%
	要介護 3	5.6%
	要介護 4	4.9%
	要介護 5	3.3%
	要支援 1・2	55.6%
	要介護 1・2	30.7%
	要介護 3～5	13.8%

(2) 回答の記入者

●A表 問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(いくつでも○)

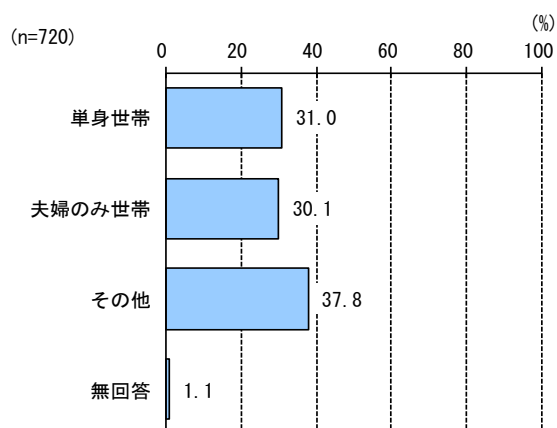
○ 回答者について、「あて名の本人」が57.4%で最も多く、「主な介護者となっている家族・親族」が42.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.3%となっています。



(3) 世帯類型

●A表 問2 あて名の本人の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ○)

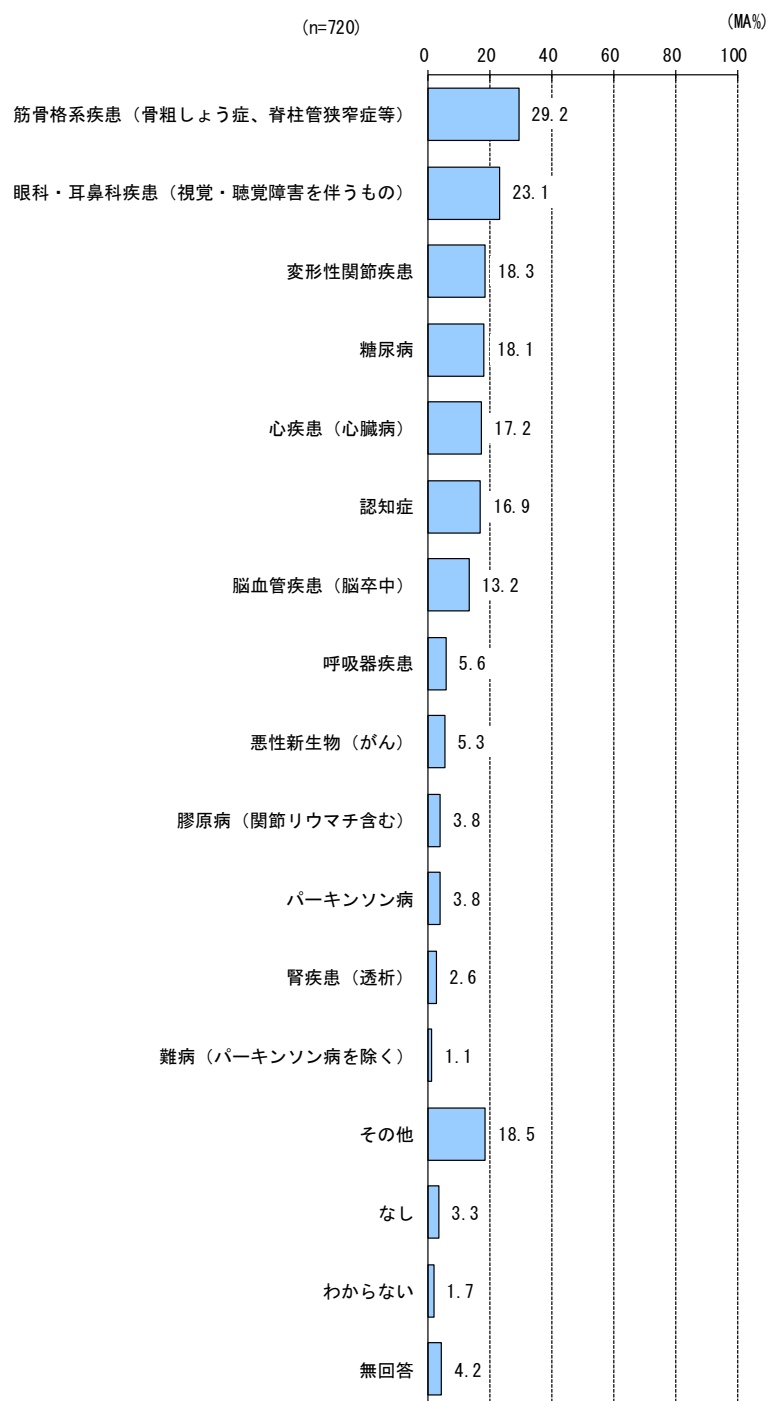
○ 世帯類型について、「その他」が37.8%で最も多く、「単身世帯」が31.0%、「夫婦のみ世帯」が30.1%となっています。



(4) 現在抱えている傷病

●A 表 問 12 あて名の本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも○)

○ 現在抱えている傷病について、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 29.2%で最も多く、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が 23.1%、「変形性関節疾患」が 18.3%となっています。

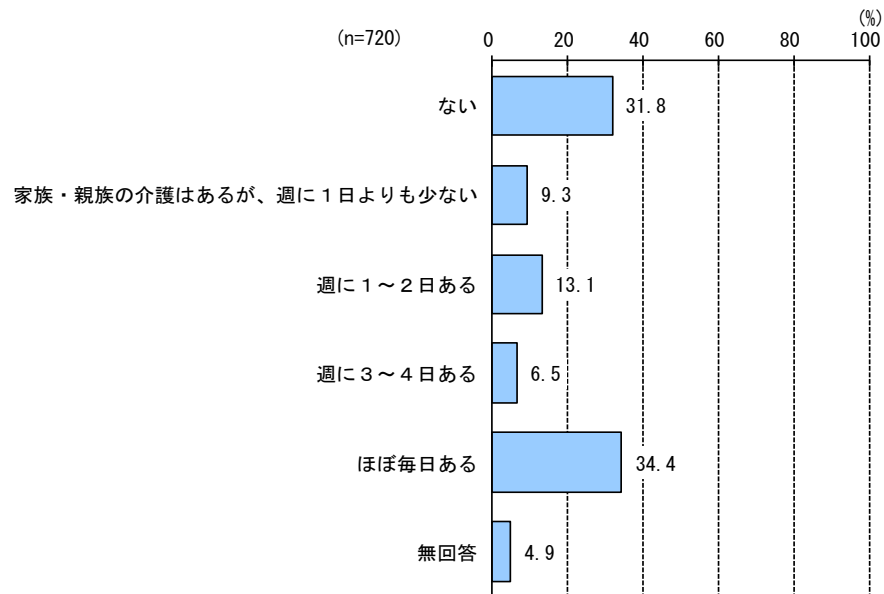


3. 親族による介護

(1) 介護の頻度

- A 表 問 3 あて名の本人は、家族や親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つだけ○)

○ 介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が 34.4%で最も多く、「ない」が 31.8%、「週に1～2日ある」が 13.1%となっています。

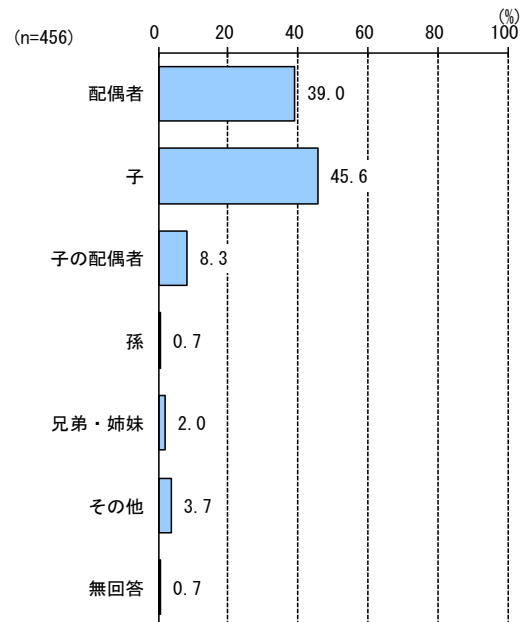


(2) 主な介護者の属性

① 主な介護者

●A表 問4 あて名の本人を、主に介護している方は、どなたですか。(1つだけ○)

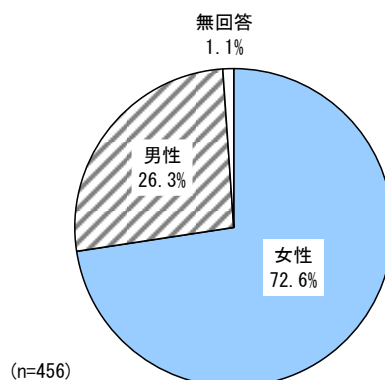
○ 主な介護者について、「子」が45.6%で最も多く、「配偶者」が39.0%、「子の配偶者」が8.3%となっています。



② 介護者の性別

●A表 問5 あて名の本人を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ○)

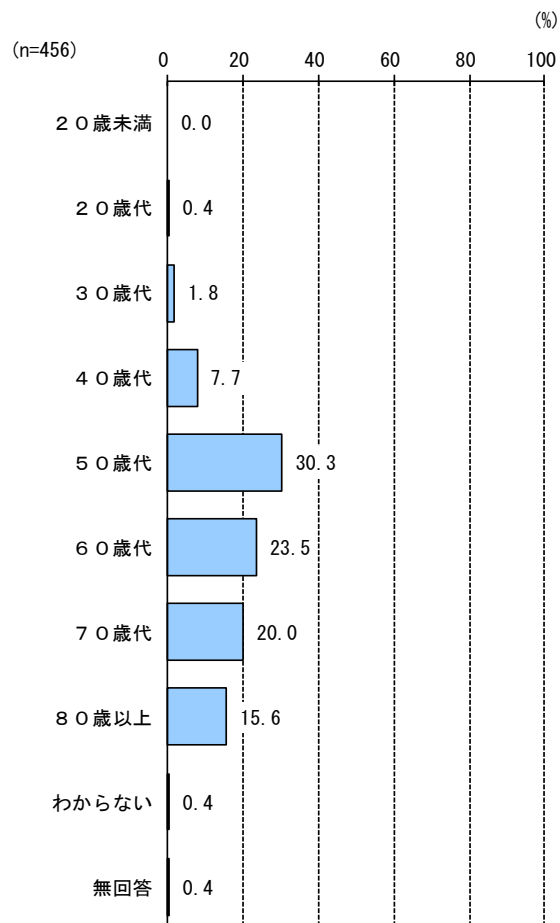
○ 主な介護者の性別について、「女性」が72.6%、「男性」が26.3%となっています。



③ 介護者の年齢

●A 表 問 6 あて名の本人を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。(1つだけ○)

○ 主な介護者の年齢について、「50歳代」が30.3%で最も多く、「60歳代」が23.5%、「70歳代」が20.0%となっています。

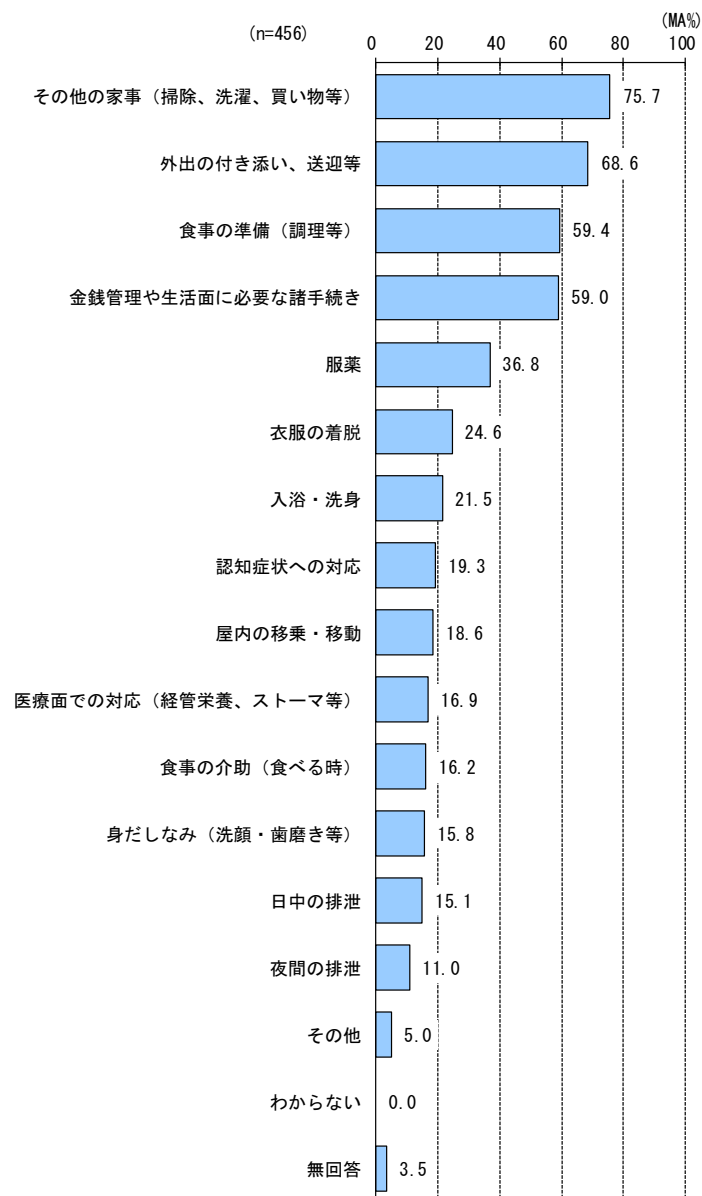


(3) 介護の内容

① 現在行っている介護

●A 表 問 7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも○)

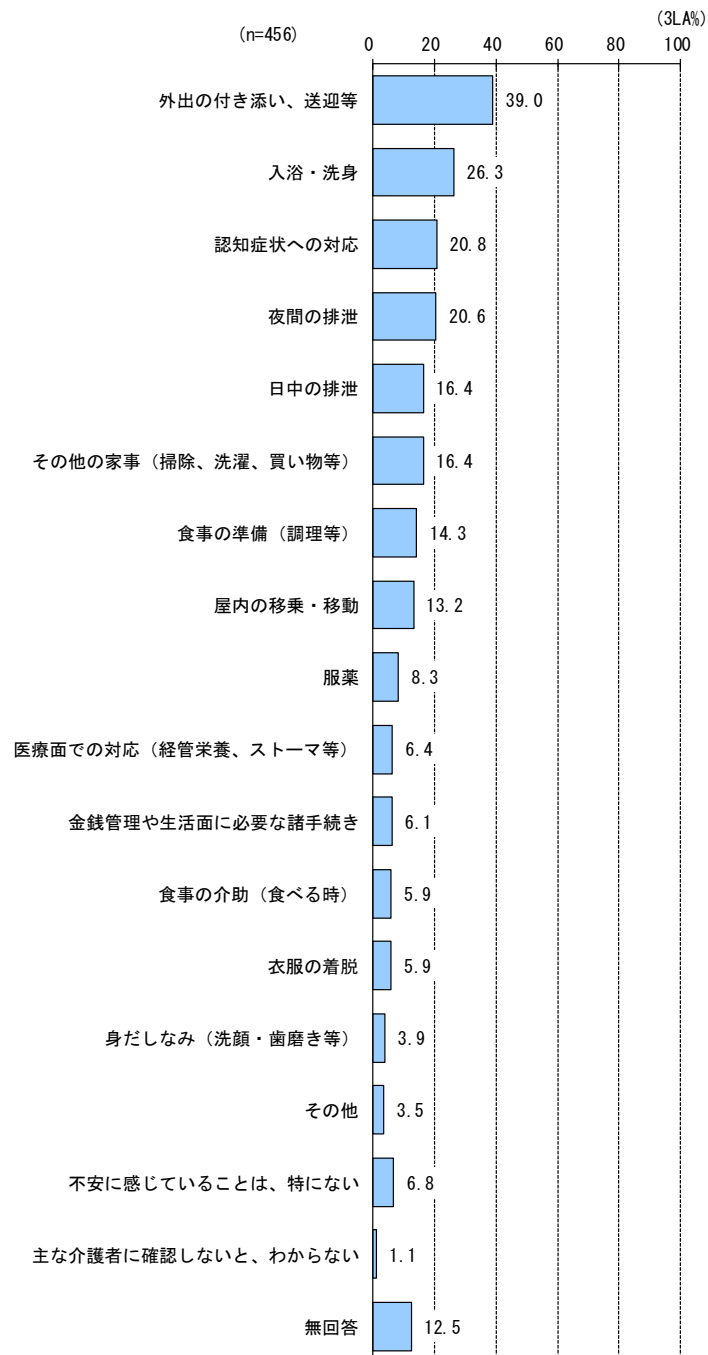
○ 主な介護者が行う介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 75.7%で最も多く、「外出の付き添い、送迎等」が 68.6%、「食事の準備（調理等）」が 59.4%となっています。



② 不安に感じる介護

●B 票 問 21 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで○）

○ 不安に感じる介護について、「外出の付き添い、送迎等」が 39.0%で最も多く、「入浴・洗身」が 26.3%、「認知症状への対応」が 20.8%となっています。

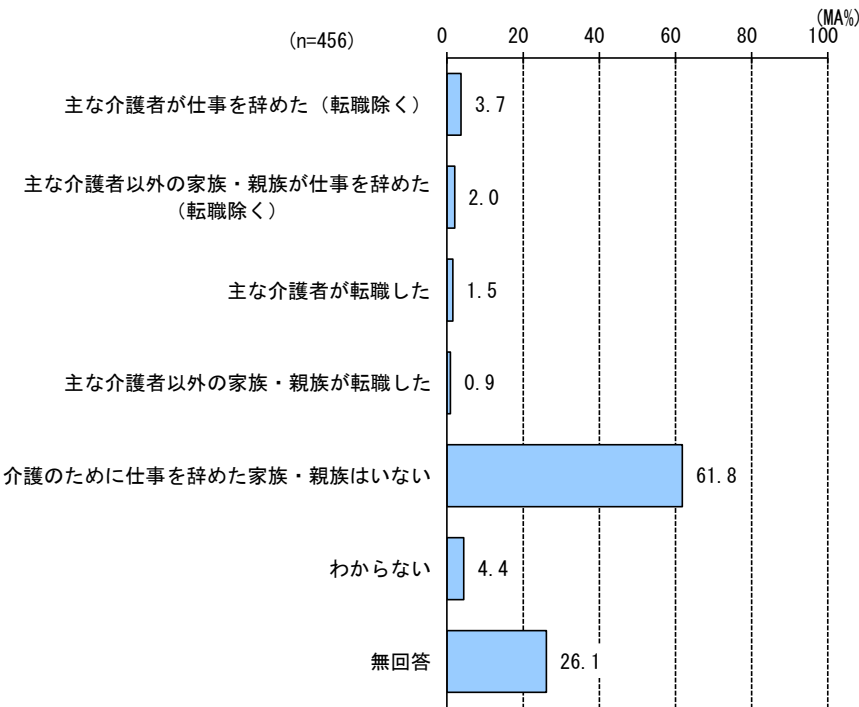


(4) 介護離職

① 介護離職者の有無

●A 表 問 8 家族や親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (いくつでも○)

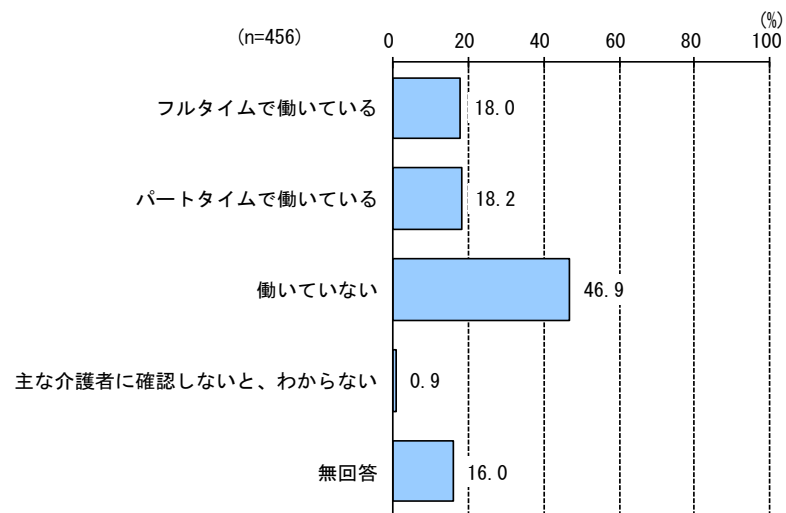
○ 介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.8%で最も多くなっています。



② 主な介護者の勤務形態

●B 票 問 17 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○)

- 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が 46.9%で最も多く、「パートタイムで働いている」が 18.2%、「フルタイムで働いている」が 18.0%となっています。
- 「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を合わせた、“就労している”は 36.2%となっています。

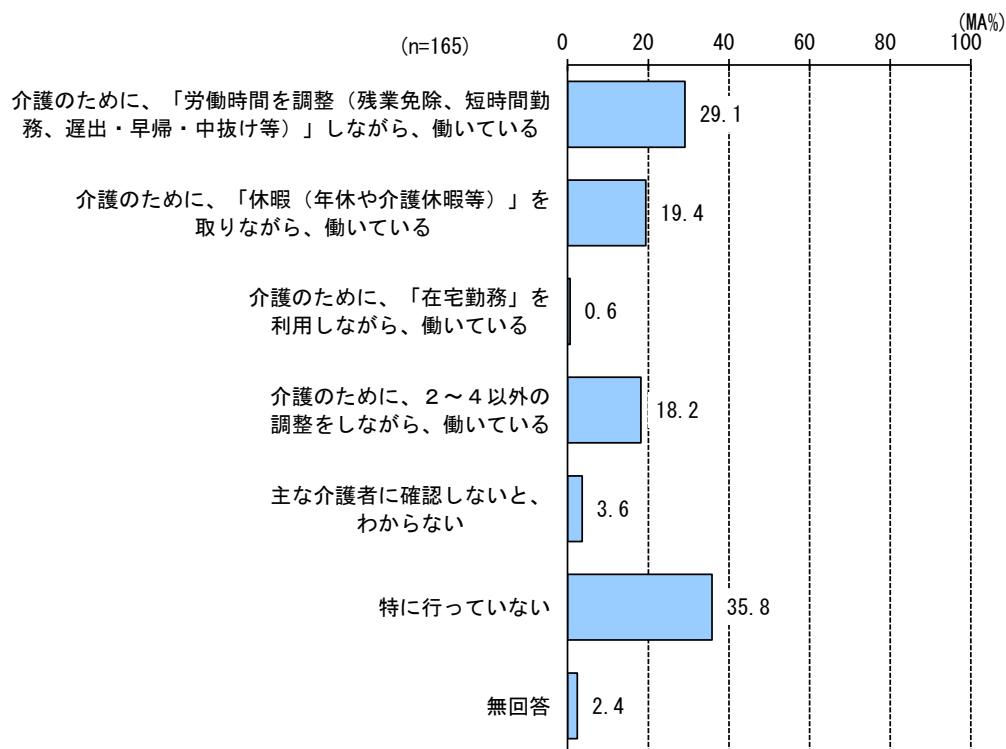


③ 働き方の調整

●B 票 問 18 「フルタイム」「パートタイム」で働いている方のみ)

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(いくつでも○)

○ 働き方の調整について、「特に行っていない」が 35.8%で最も多く、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 29.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 19.4%となっています。

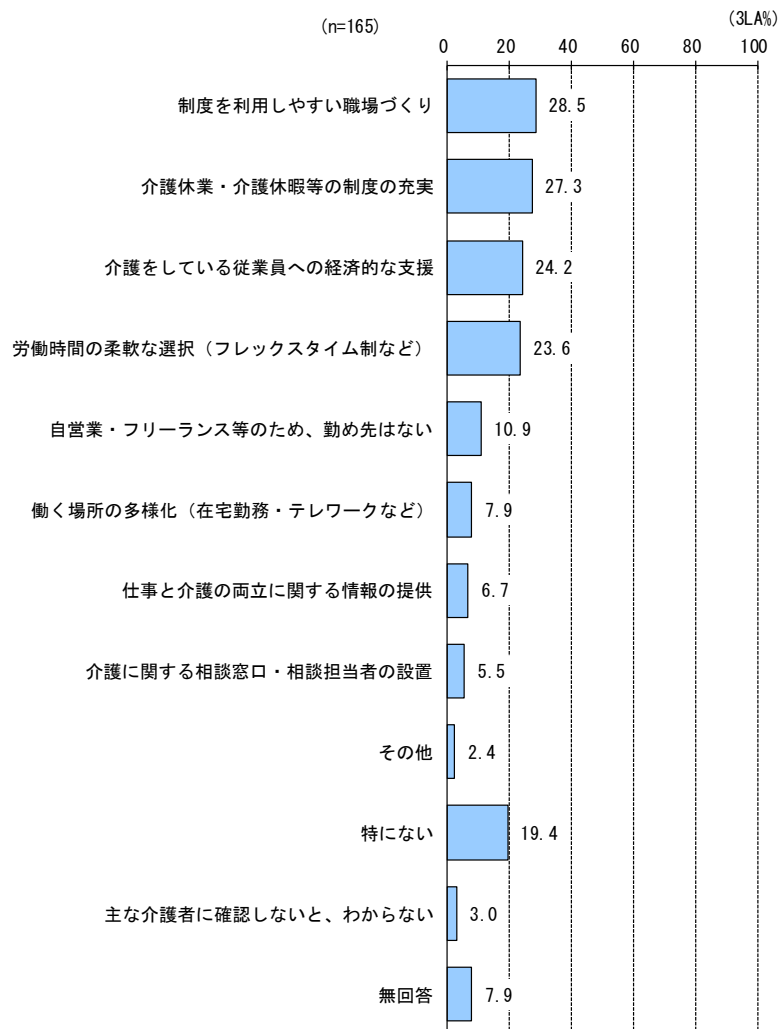


④ 勤め先からの必要な支援

●B 票 問 19 「フルタイム」「パートタイム」で働いている方のみ

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで○）

○ 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援について、「制度を利用しやすい職場づくり」が 28.5%で最も多く、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 27.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 24.2%となっています。

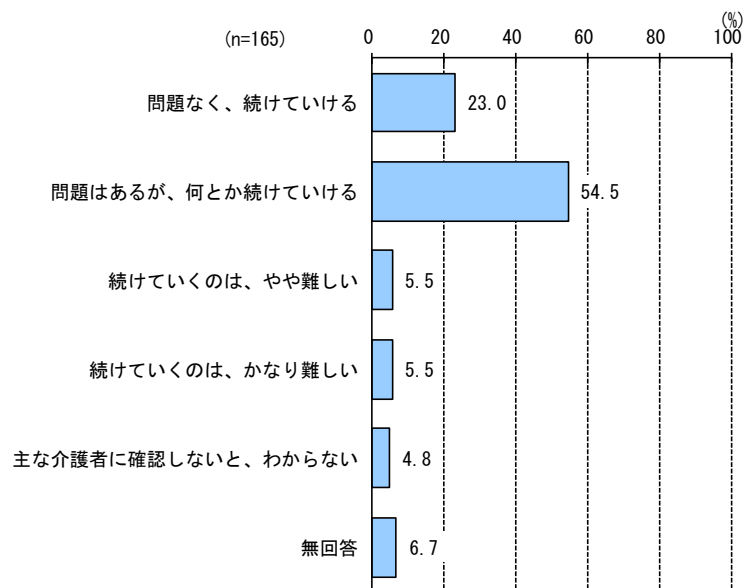


⑤ 今後の介護と仕事の両立

●B 票 問 20 「フルタイム」「パートタイム」で働いている方のみ

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つだけ○）

- 今後の仕事と介護の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が 54.5%で最も多く、「問題なく、続けていける」が 23.0%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」が 5.5%となっています。
- 「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた、“続けていくのは難しい” が 11.0%となっています。

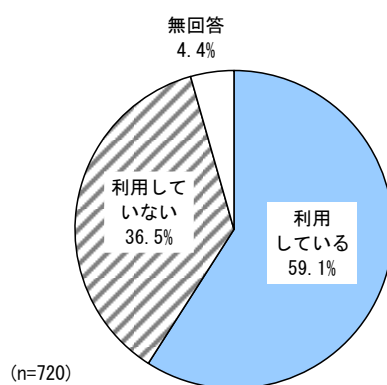


4. 支援・サービス

(1) 介護保険サービス

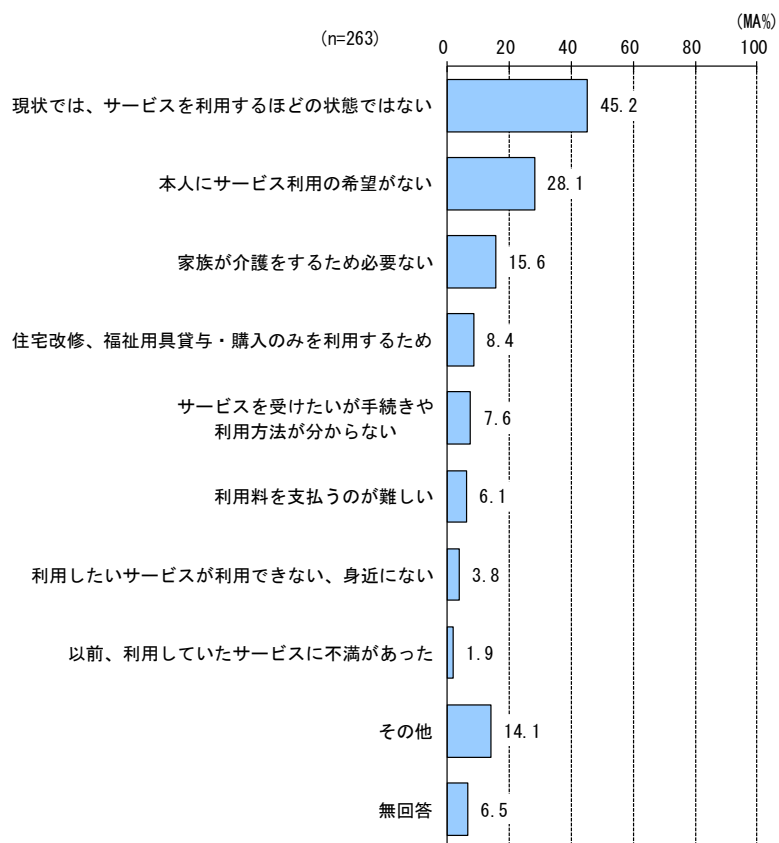
●A 表 問 14 あて名の本人は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1 つだけ○）

○ （住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が 59.1%、「利用していない」が 36.5%となっています。



●A 表 問 15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

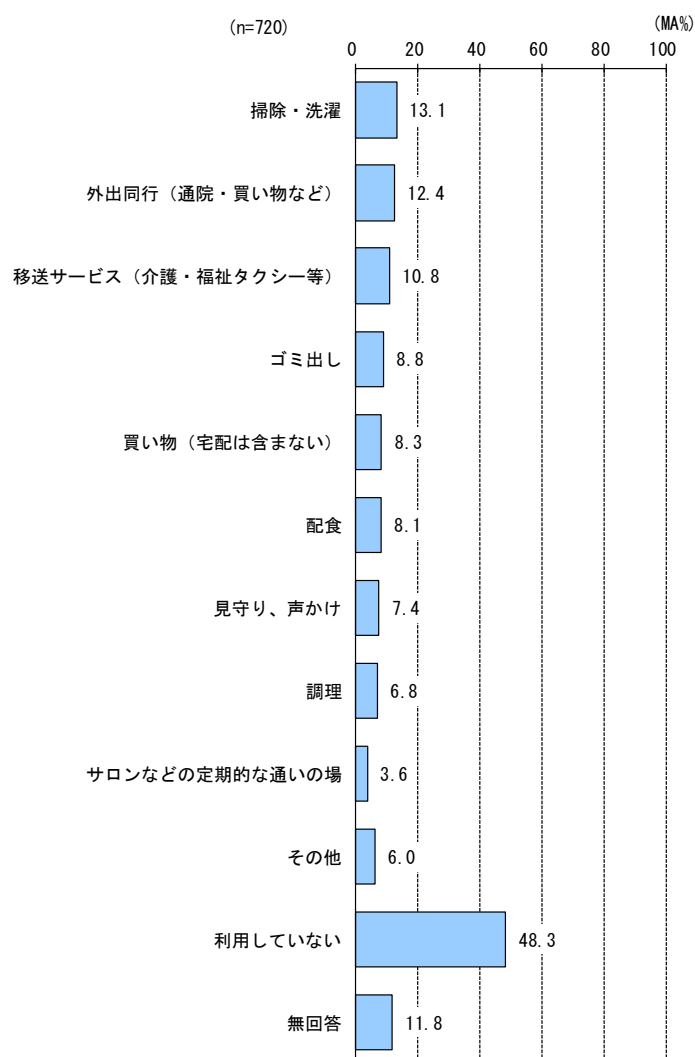
○ 介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 45.2%で最も多く、「本人にサービス利用の希望がない」が 28.1%、「家族が介護をするため必要ない」が 15.6%となっています。



(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

●A 表 問 9 現在、あて名の本人が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも○)

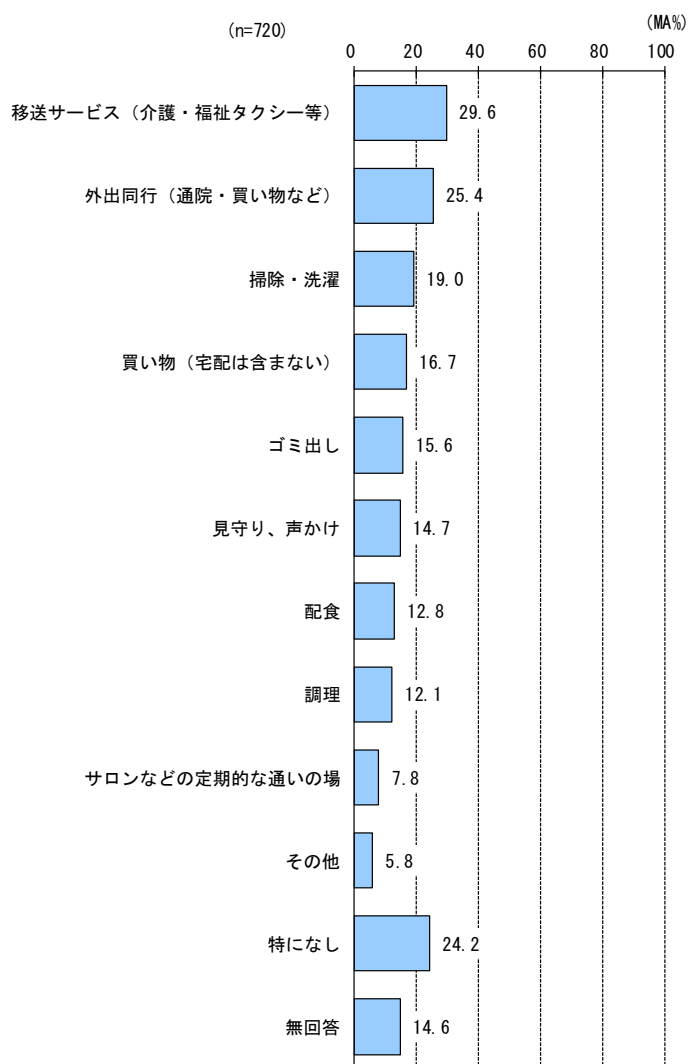
○ 利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについて、「利用していない」が 48.3%で最も多く、利用しているサービスとしては、「掃除・洗濯」が 13.1%、「外出同行（通院・買い物など）」が 12.4%となっています。



(3) 在宅生活に必要な支援・サービス

●A 表 問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも○）

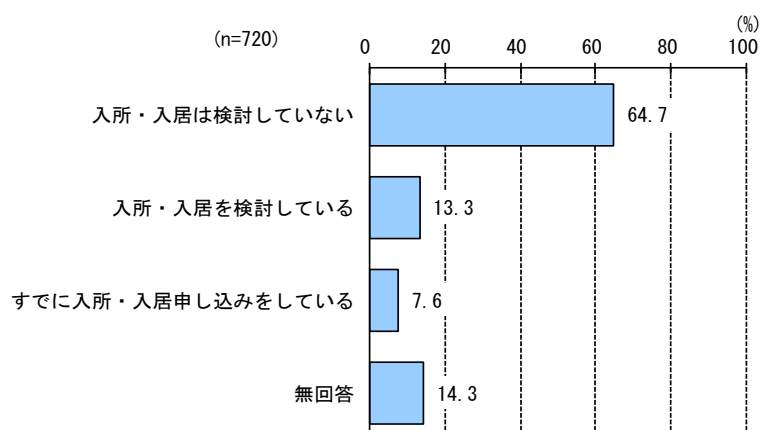
○ 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 29.6%で最も多く、「外出同行（通院・買い物など）」が 25.4%、「特になし」が 24.2%となっています。



(4) 施設等への入所・入居の検討状況

●A 表 問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つだけ○)

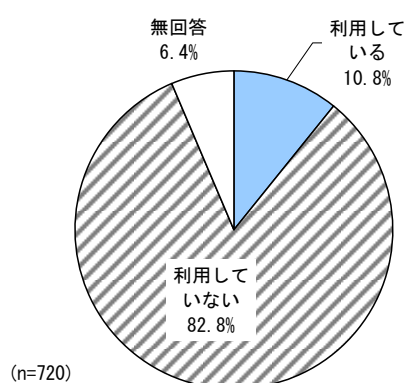
- 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が 64.7%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 13.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 7.6%となっています。
- 「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」を合わせた、“入所・入居を希望している”が 20.9%となっています。



(5) 訪問診療の利用状況

●A 表 問 13 あて名の本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ○)

- 訪問診療の利用有無について、「利用している」が 10.8%、「利用していない」が 82.8%となっています。



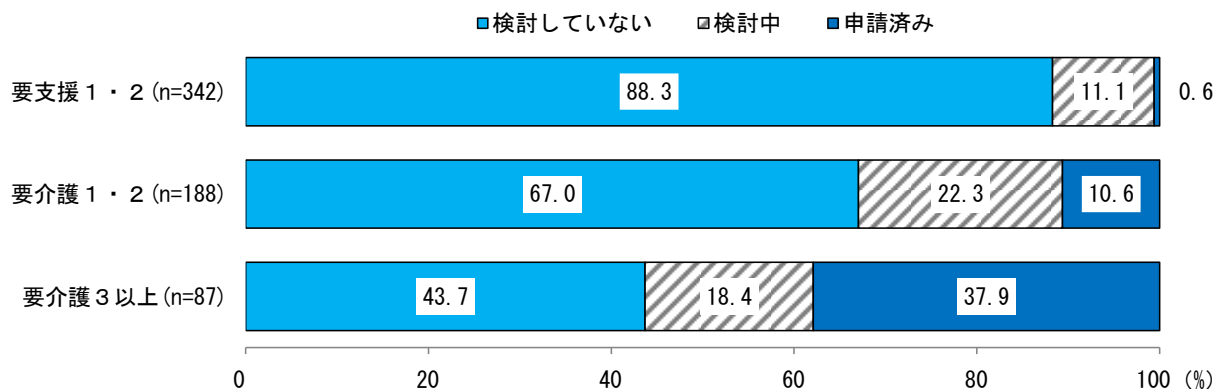
5. 調査結果と認定データを使用した個別クロス

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

① 施設等の検討状況

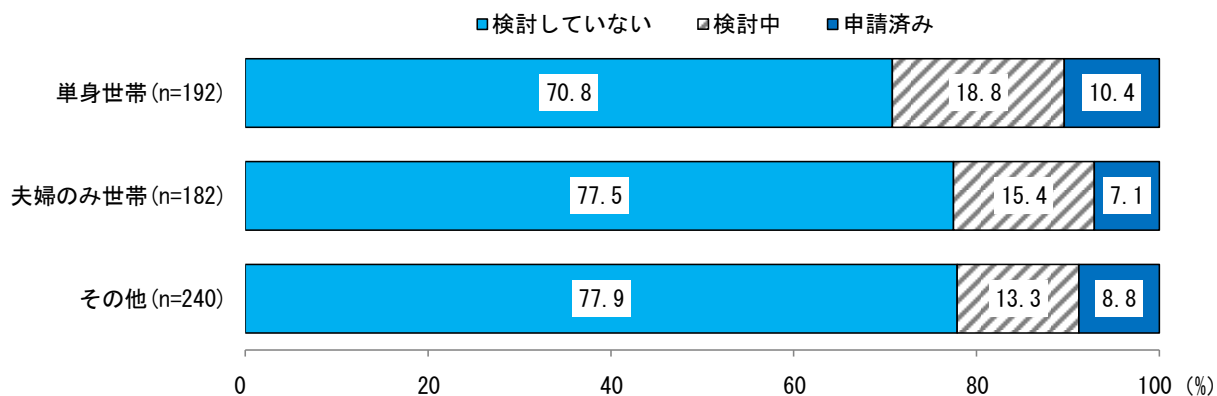
●要介護度別

○ 「検討中」「申請済み」を合わせると、要支援１・２が 11.7%、要介護１・２が 32.9%、要介護３以上が 56.3%となっており、介護度があがるにつれて増加しています。



●世帯類型別

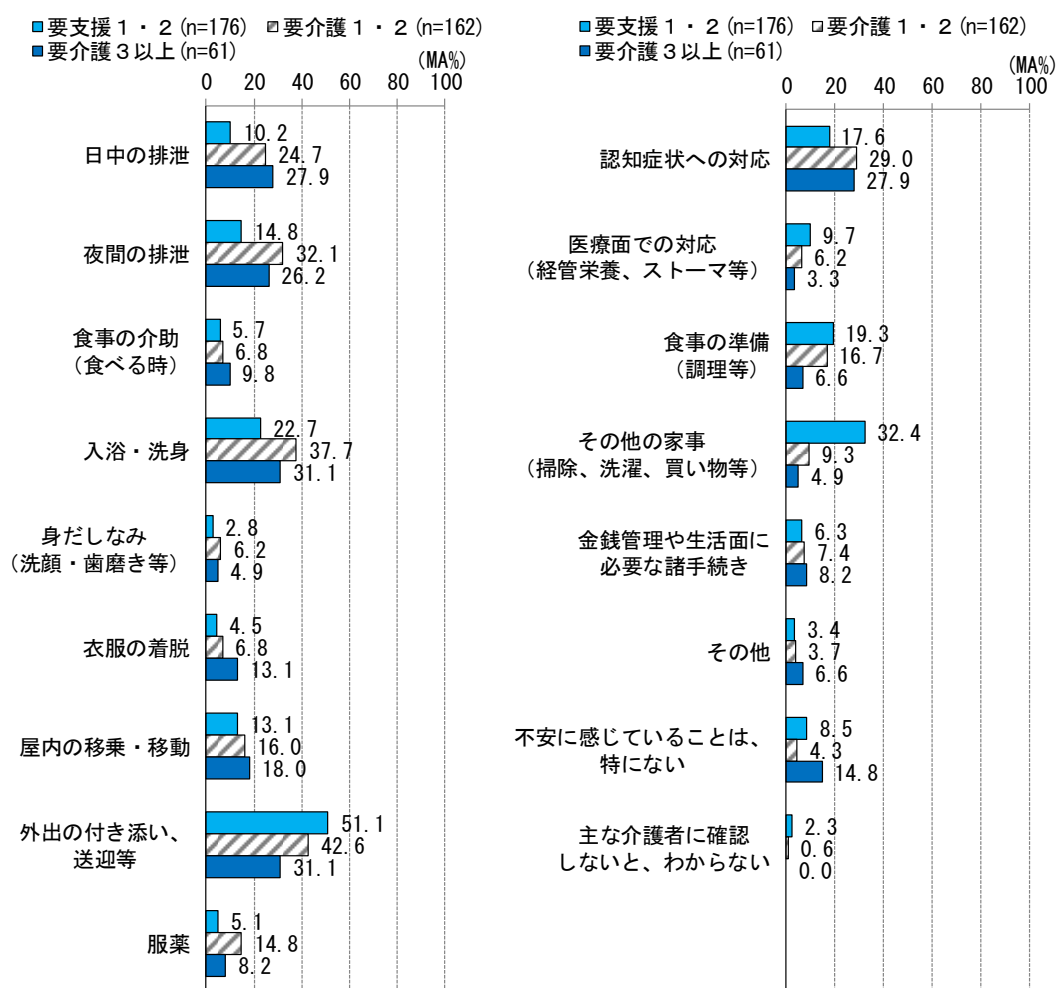
○ 「検討中」「申請済み」を合わせると、単身世帯が 29.2%、夫婦のみ世帯が 22.5%となっています。



② 介護者が不安に感じる介護

●要介護度別

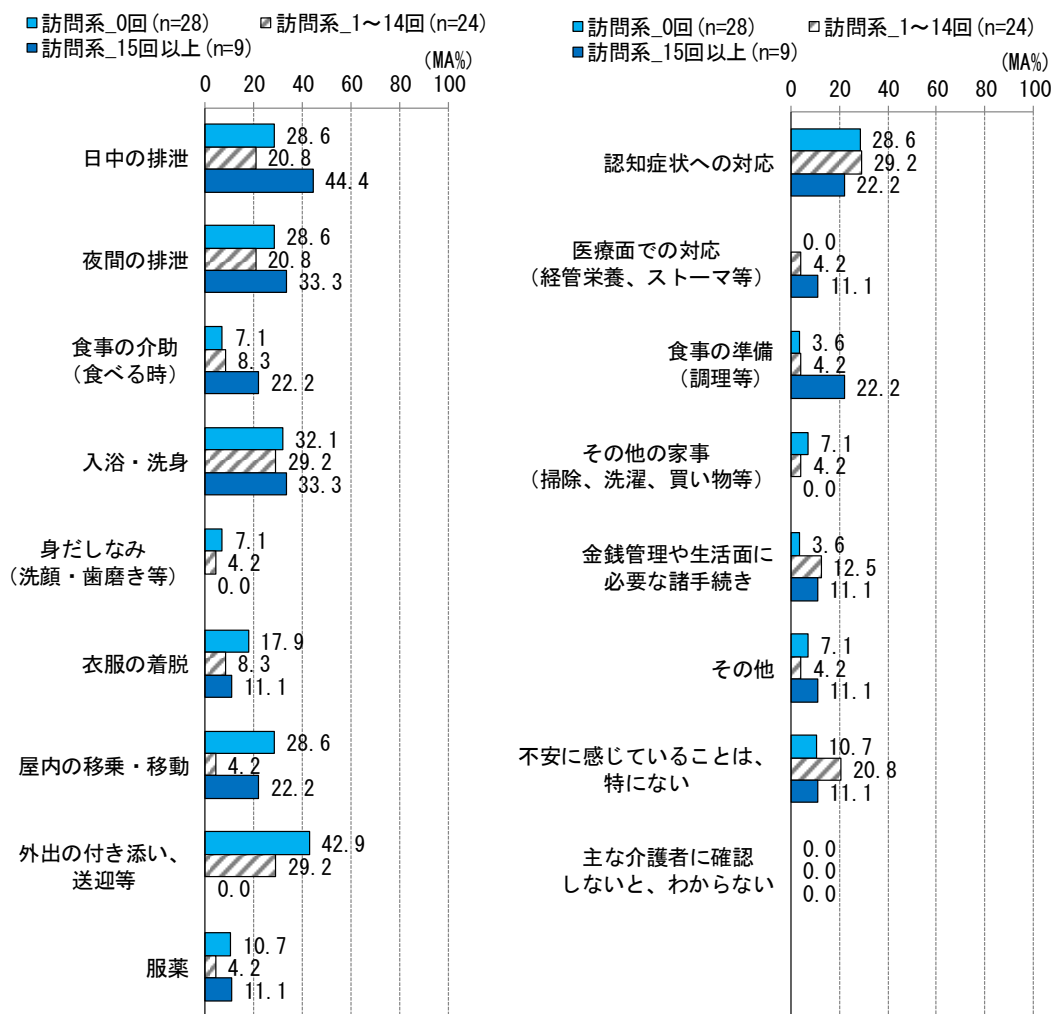
- 要介護度別にみると、どの区分においても「外出の付き添い、送迎等」が多くなっています。
- そのほか、要支援１・２では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、要介護１・２では「入浴・洗身」「夜間の排泄」「認知症状への対応」、要介護３以上では「入浴・洗身」「日中の排泄」「夜間の排泄」「認知症状への対応」が多くなっています。



②-1 訪問系サービスの利用回数と介護者の不安の相関

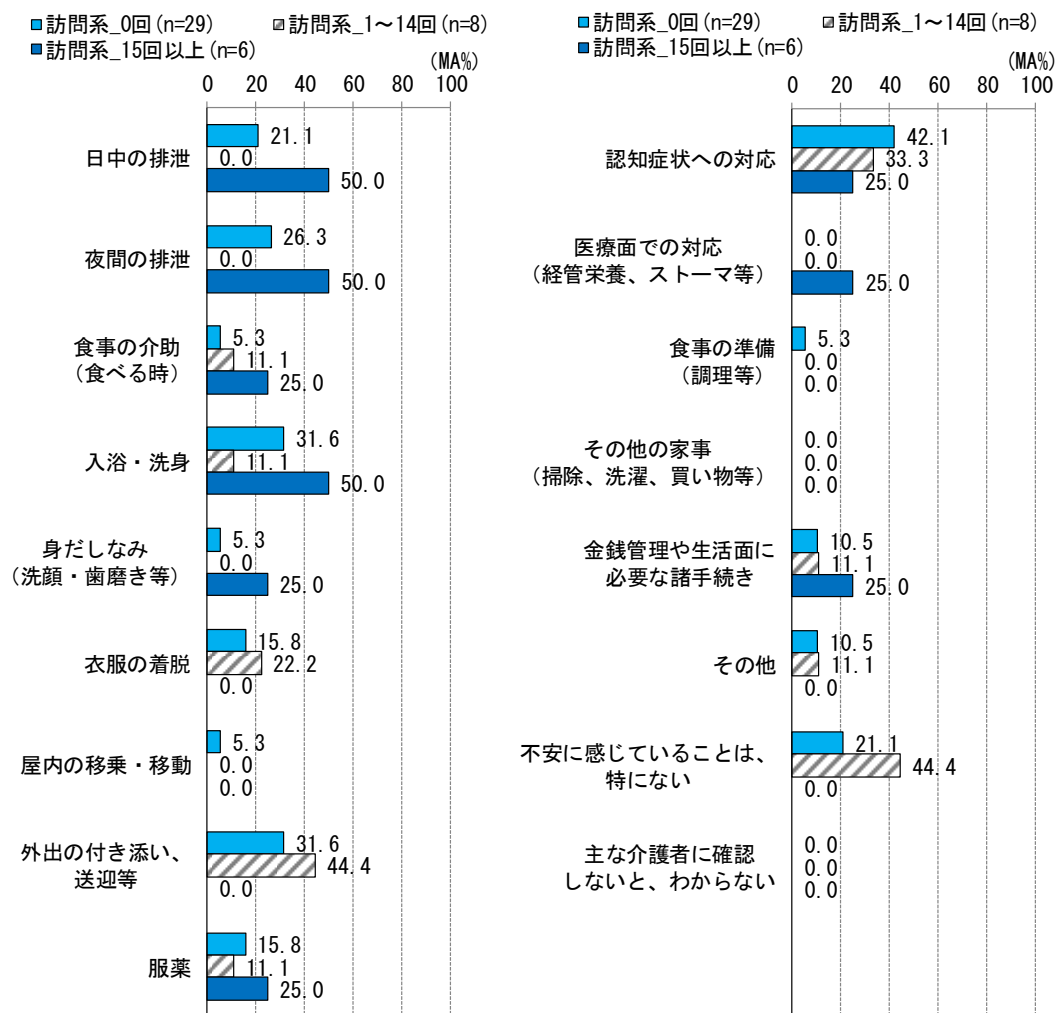
●要介護3以上

○ 要介護3以上の人をみると、訪問系サービスの利用回数が増えることで、「衣服の着脱」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」を不安に感じる介護者が少なくなっています。



●認知症自立度Ⅲ以上

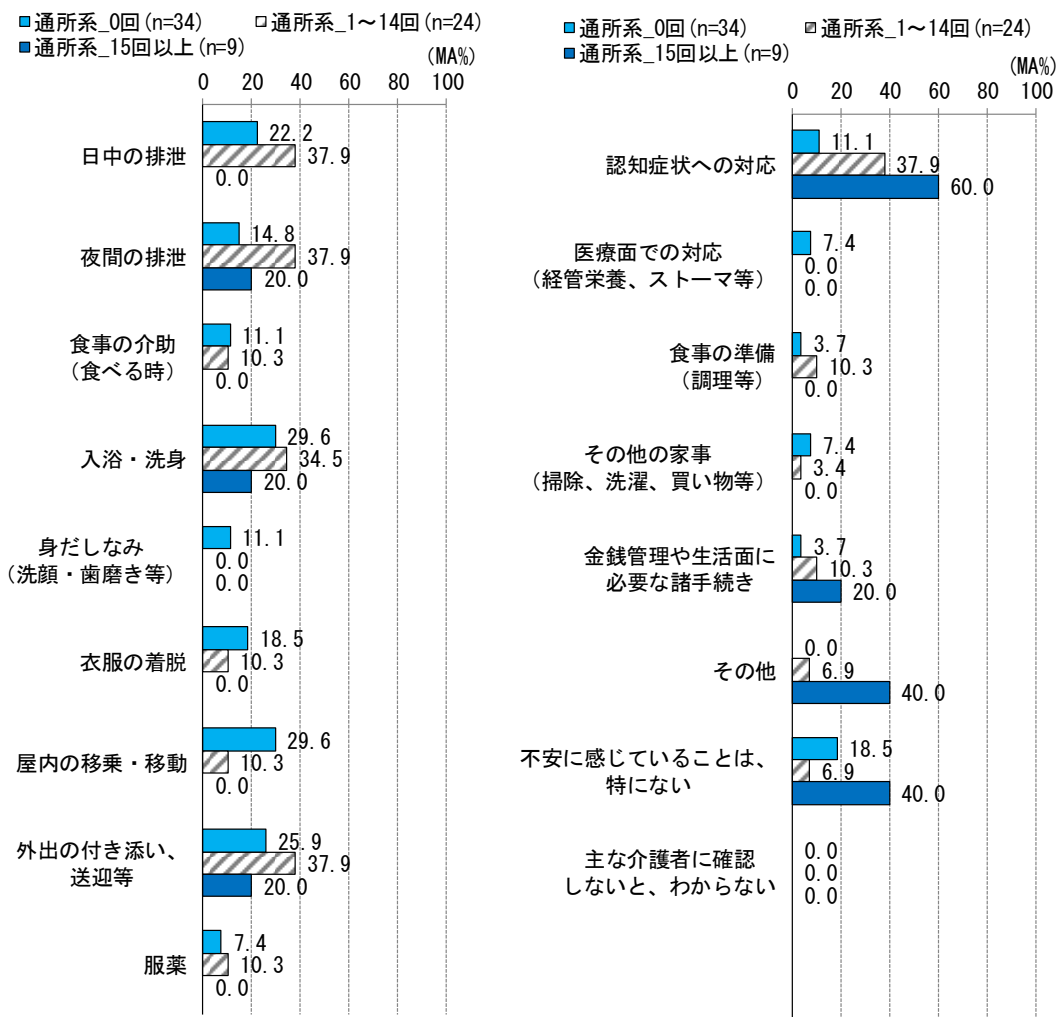
- 認知症自立度Ⅲ以上の人をみると、訪問系サービスの利用回数が増えることで、「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」を不安に感じる介護者が少なくなっています。



②-2 通所系サービスの利用回数と介護者の不安の相関

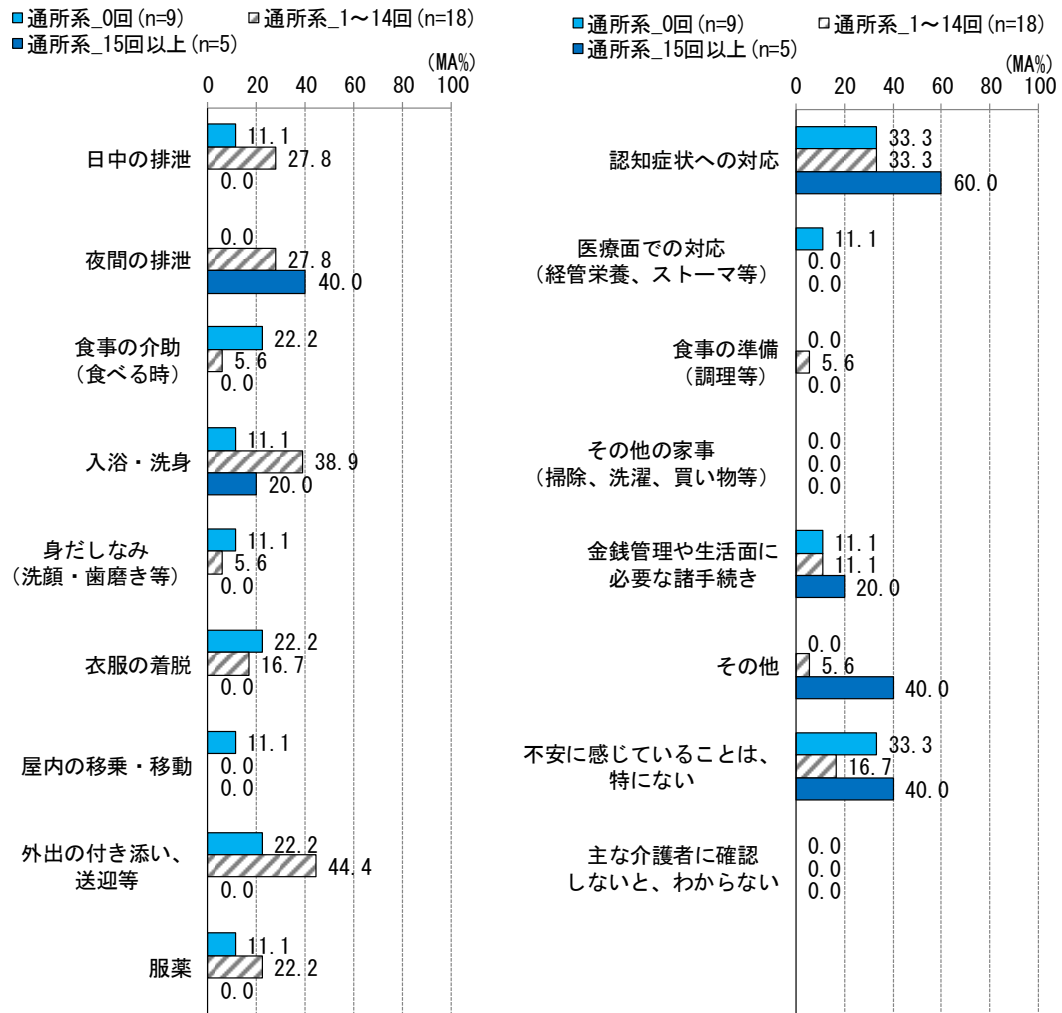
●要介護3以上

- 要介護3以上の人をみると、通所系サービスの利用回数が増えることで、「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」を不安に感じる介護者が少なくなっています



●認知症自立度Ⅲ以上

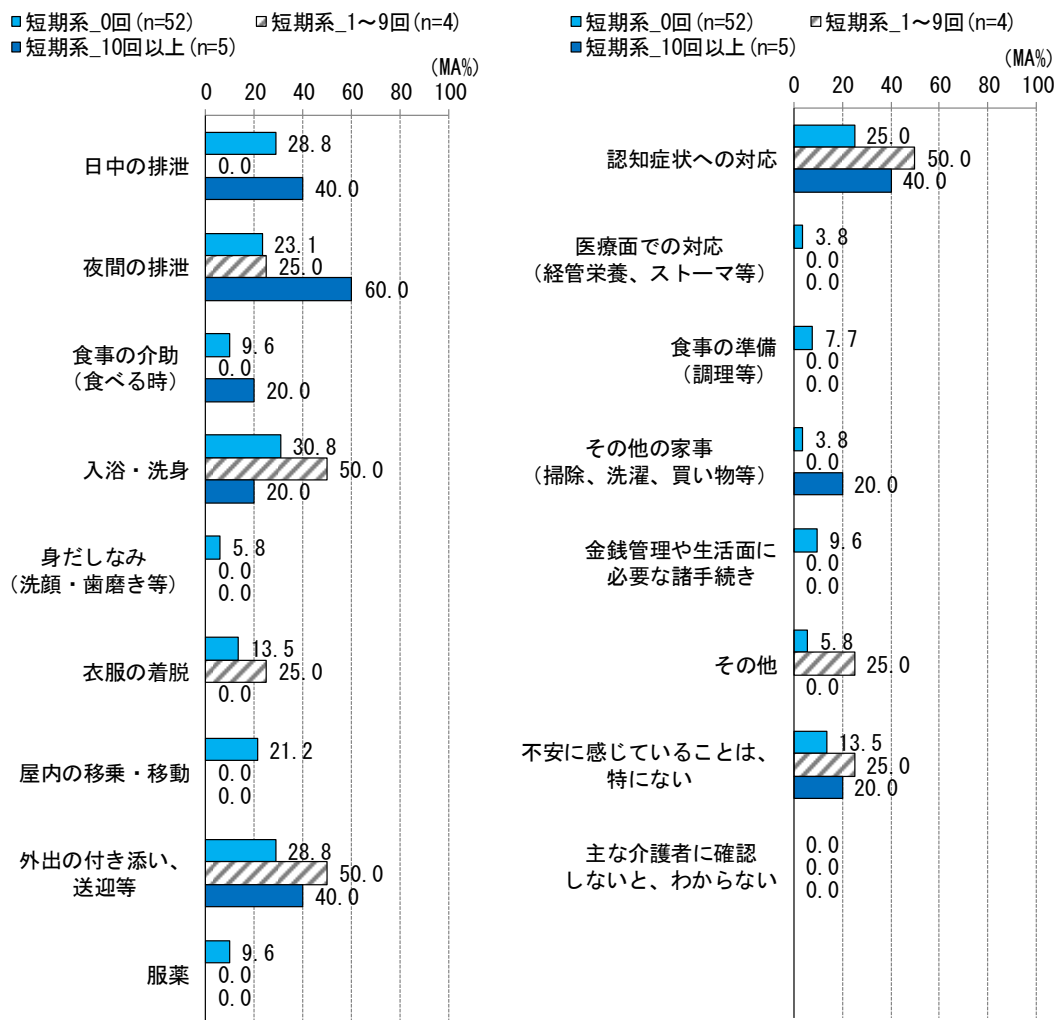
○ 認知症自立度Ⅲ以上の人をみると、通所系サービスの利用回数が増えることで、「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」を不安に感じる介護者が少なくなっています。



②-3 短期系サービス（ショートステイ等）の利用回数と介護者の不安の相関

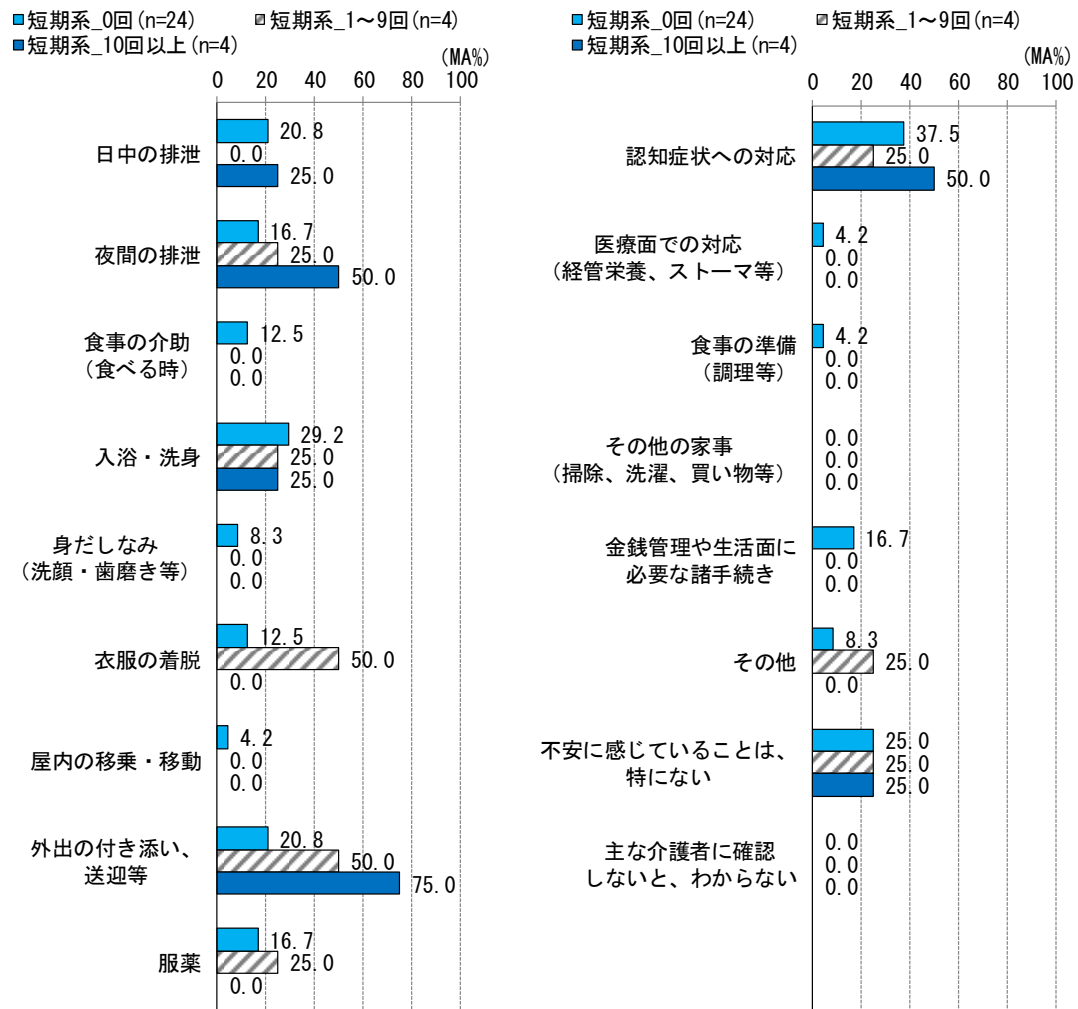
●要介護3以上

○ 要介護3以上の人をみると、短期系のサービス（ショートステイ等）の利用している人では、「夜間の排泄」「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」等を不安に感じる介護者が多くなっています。



●認知症自立度Ⅲ以上

- 認知症自立度Ⅲ以上の人をみると、短期系のサービス（ショートステイ等）の利用している人では、「夜間の排泄」「衣服の着脱」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」等を不安に感じる介護者が多くなっています。

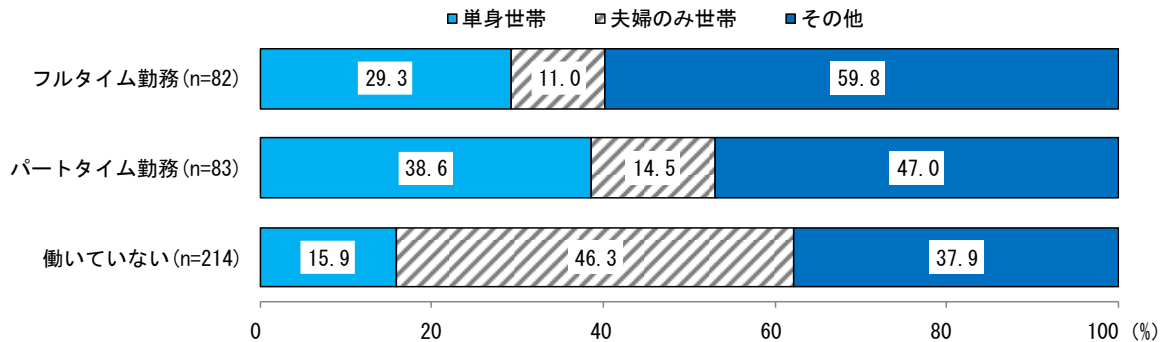


(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

① 介護者の就労状況別

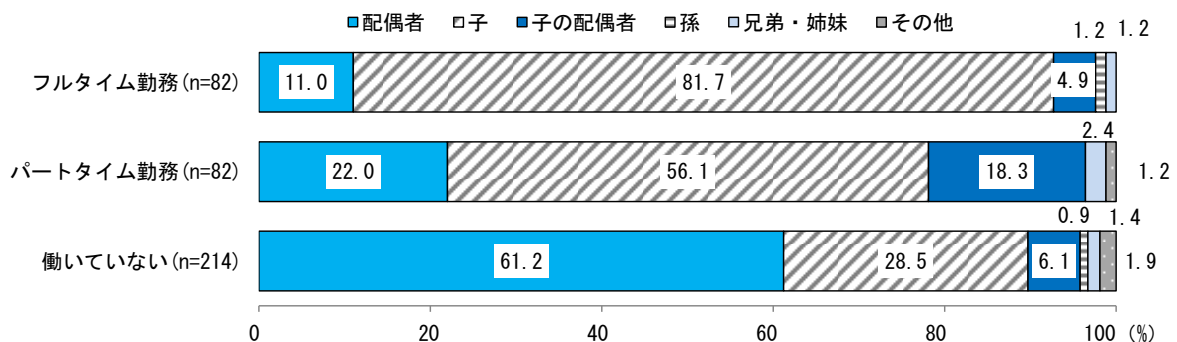
●世帯類型

- パートタイム勤務をみると、「単身世帯」が38.6%となっています。
- 働いていない人をみると、「夫婦のみ世帯」が多くなっています。



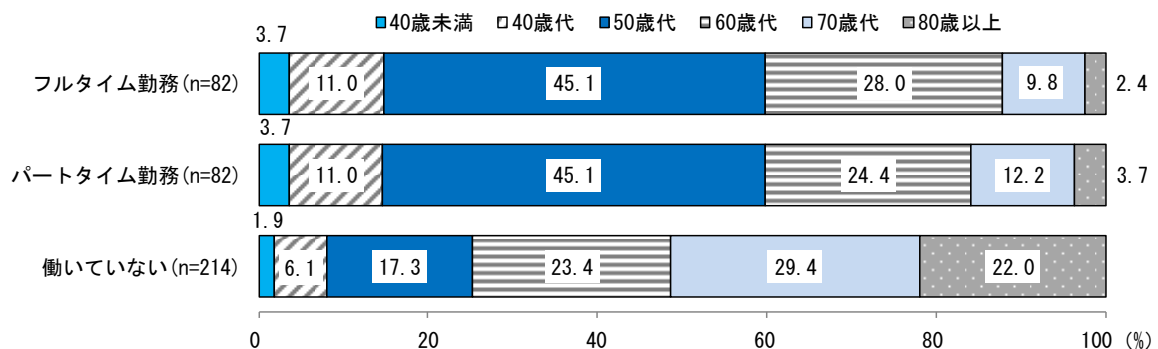
●主な介護者

- フルタイム、パートタイム勤務をみると、「子」が多くなっています。
- 働いていない人をみると、「配偶者」が多くなっています。



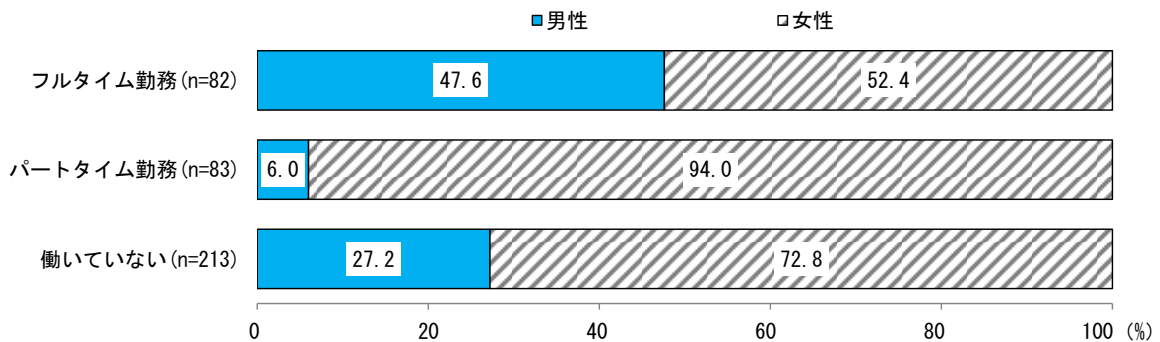
●主な介護者の年齢

- フルタイム、パートタイム勤務をみると、「50歳代」以上が多くなっています。
- 働いていない人をみると、「60歳代」以上が多くなっています。



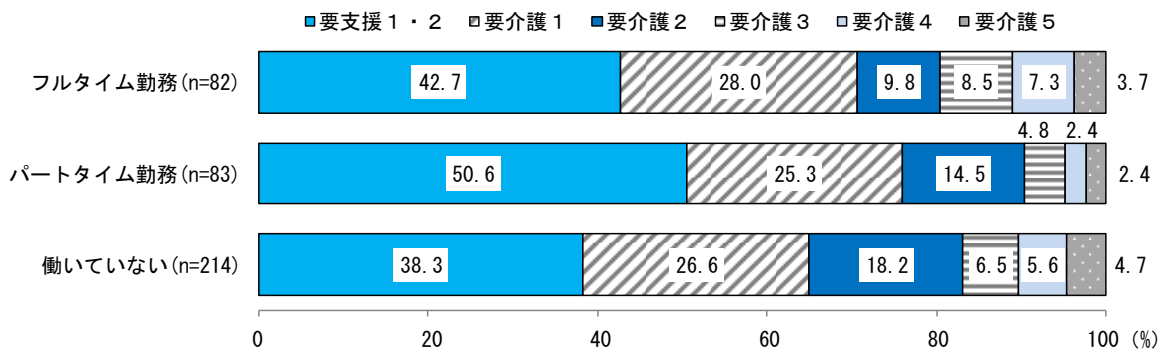
●主な介護者の性別

○ フルタイム勤務、パートタイム勤務ともに「女性」の割合が 52.4%、94.0%となっています。



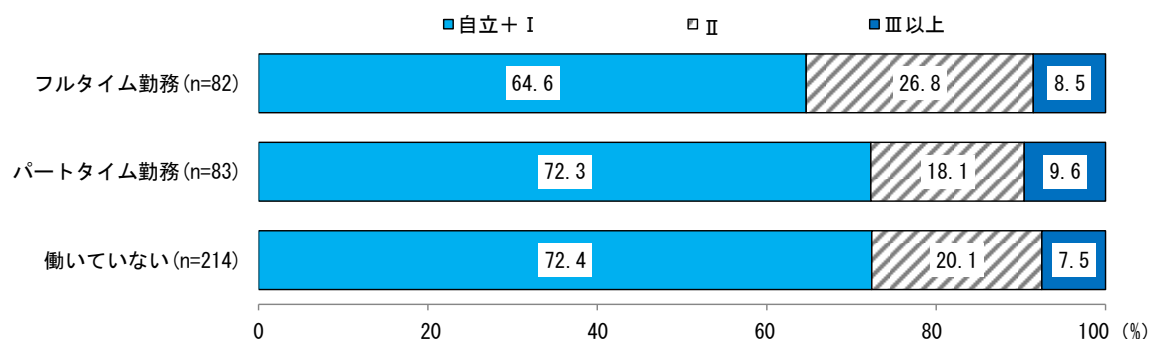
●本人の要介護度

○ フルタイム勤務では、“要介護 3 以上”が 19.5%となっています。



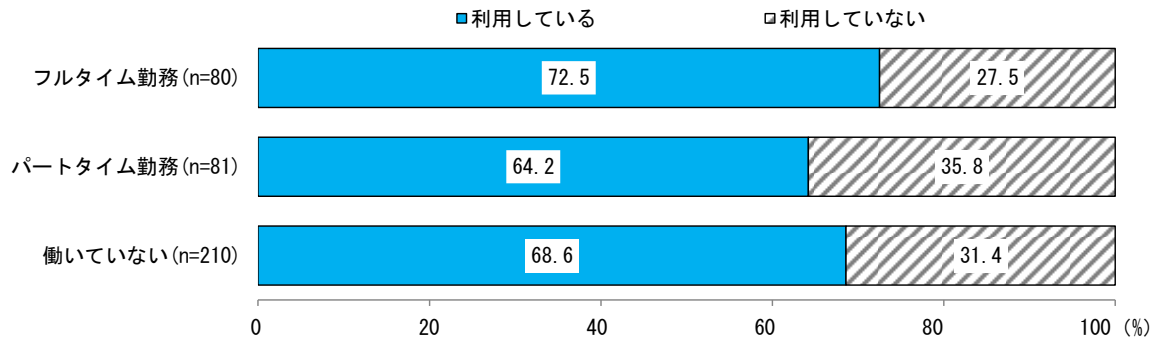
●本人の認知症自立度

○ 就労時間が短くなるにつれて軽度者が多くなる傾向がみられます。



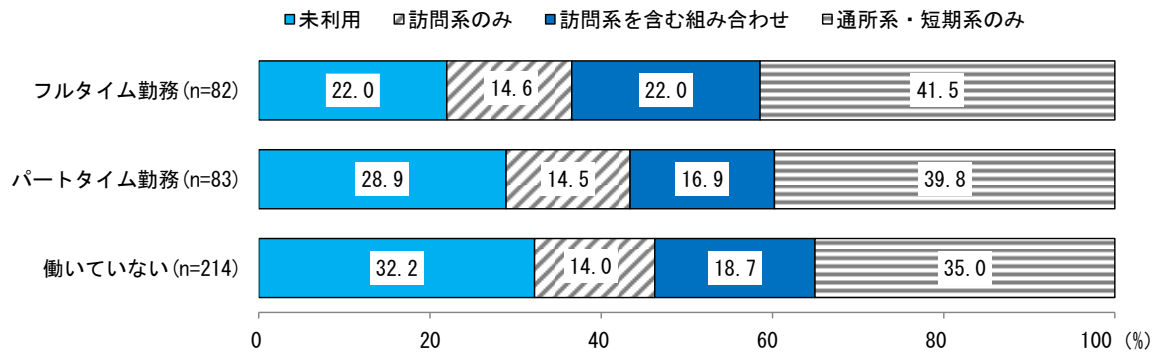
●介護保険サービスの利用有無

○ フルタイム勤務をみると、「利用している」が72.5%と多くなっています。



●就労状況別・サービス利用の組み合わせ

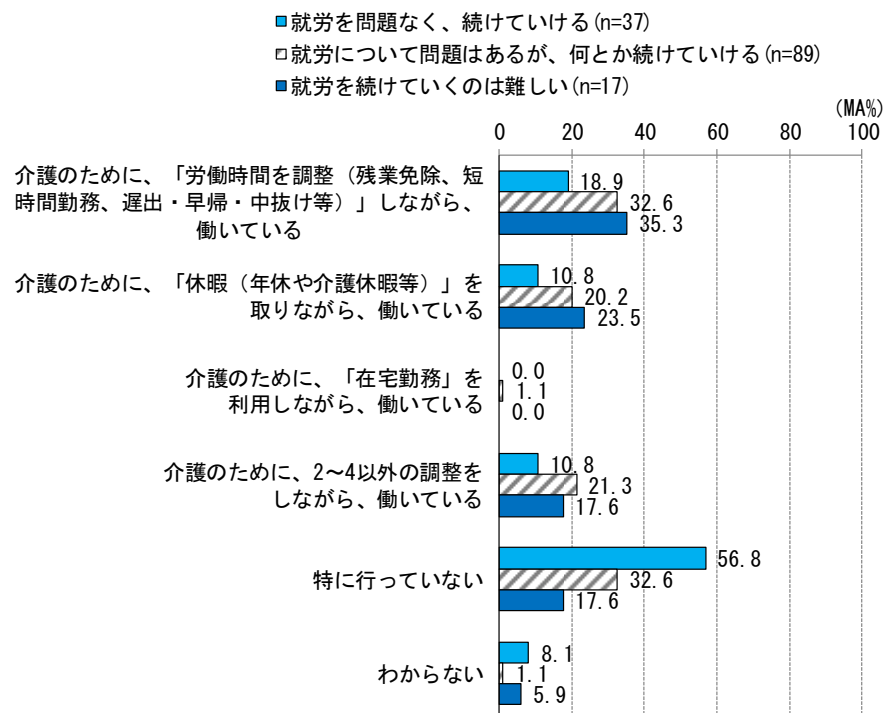
○ 就労時間が長くなるにつれて訪問系の利用が多くなる傾向がみられます。



② 介護者の就労継続見込み別

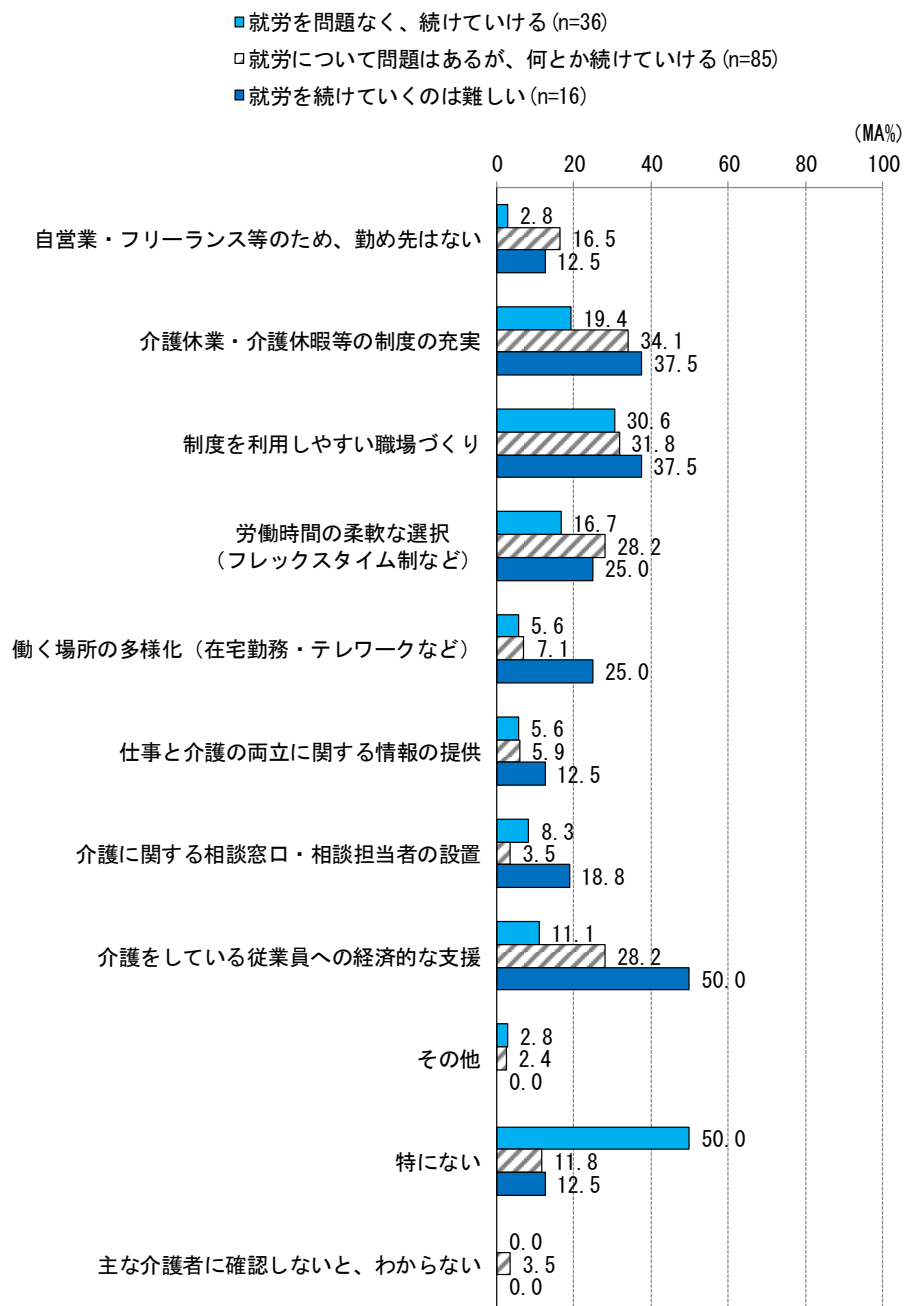
●介護のための働き方の調整

- 就労について問題はあるが、何とか続けていける人をみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が多くなっていますが、「特に行っていない」も 32.6%となっています。
- 就労を続けていくのは難しい人をみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 35.3%と多くなっています。



●効果的な勤め先からの支援

- 就労を問題なく続けていける人をみると、「制度を利用しやすい職場づくり」が多くなっています。
- 就労について問題はあるが、何とか続けていける人をみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」が多くなっています。
- 就労を続けていくのが難しい人をみると、「介護をしている従業員への経済的な支援」が多くなっています。

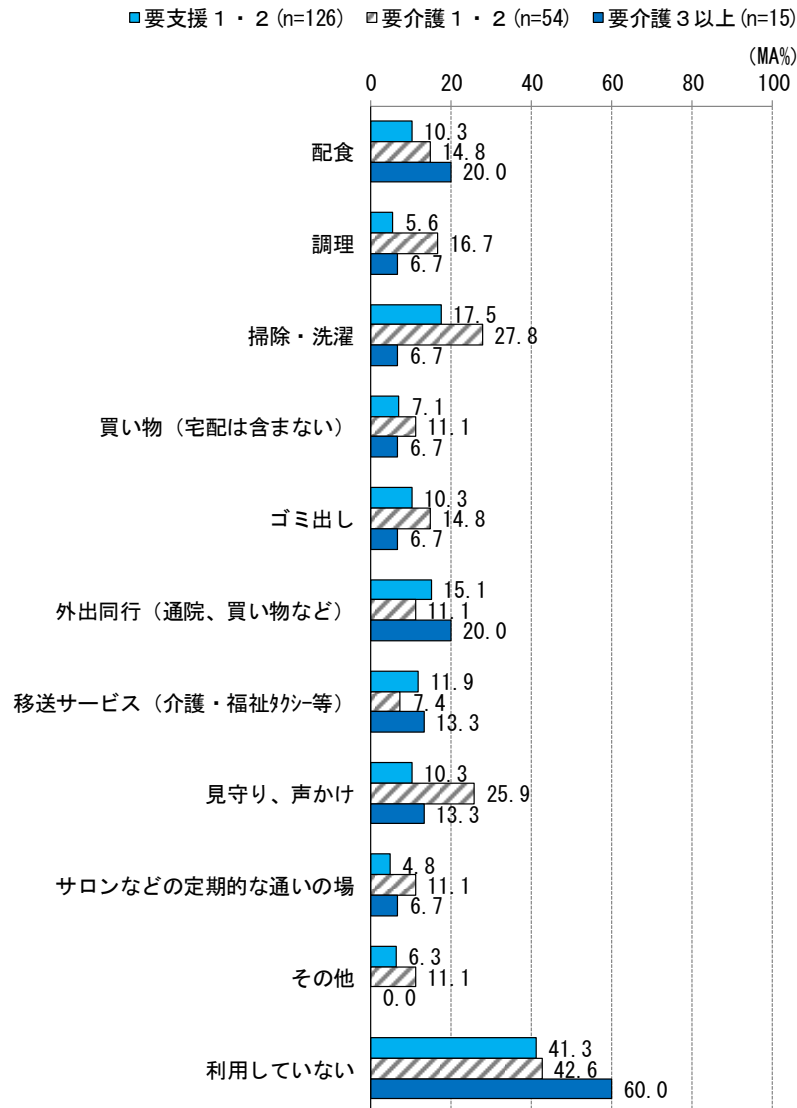


(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

① 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況

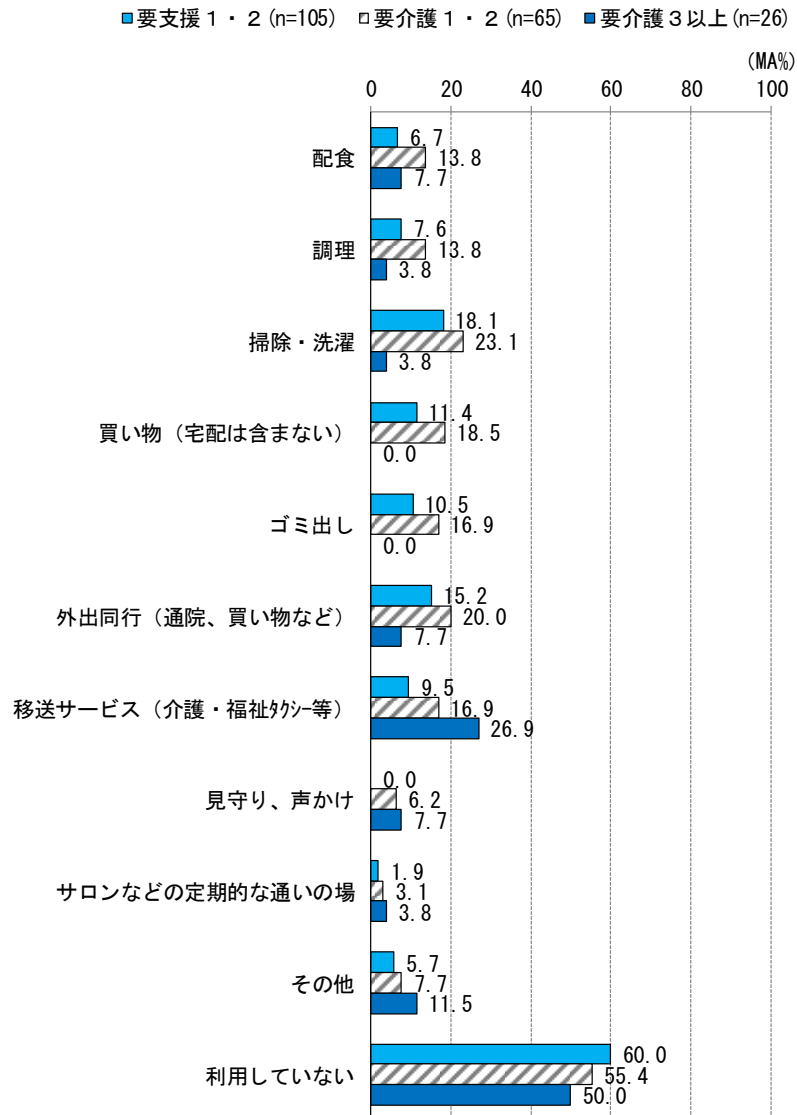
●単身世帯

- 単身世帯をみると、どの区分においても「利用していない」が多くなっていますが、要介護度が高くなるにつれて保険外の支援・サービスの利用が少なくなる傾向がみられます。
- 要介護1・2では、「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」が多く、要介護3以上では「配食」「外出同行（通院、買い物など）」が多くなっています。



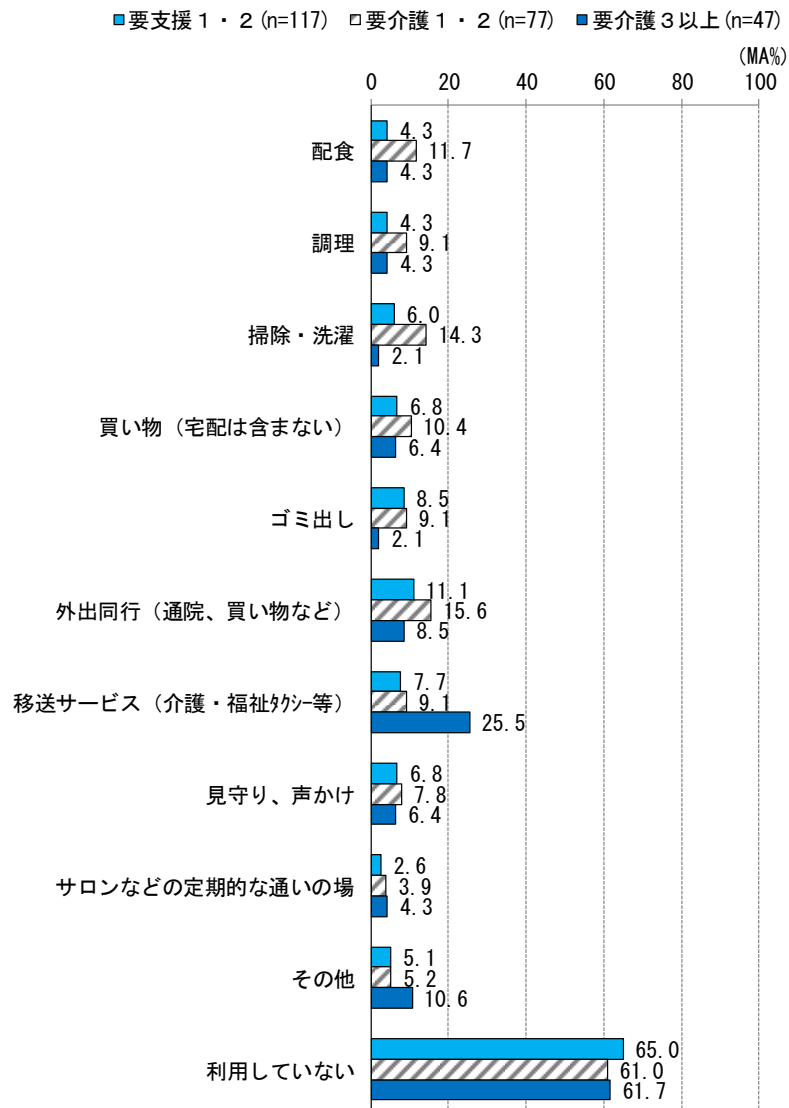
●夫婦のみ世帯

- 夫婦のみ世帯をみると、どの区分においても「利用していない」が多くなっていますが、要介護度が高くなるにつれて保険外の支援・サービスの利用が多くなる傾向がみられます。
- 要介護1・2では「掃除・洗濯」「買い物」「外出同行（通院、買い物など）」が多く、要介護3以上では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっています。



●その他世帯

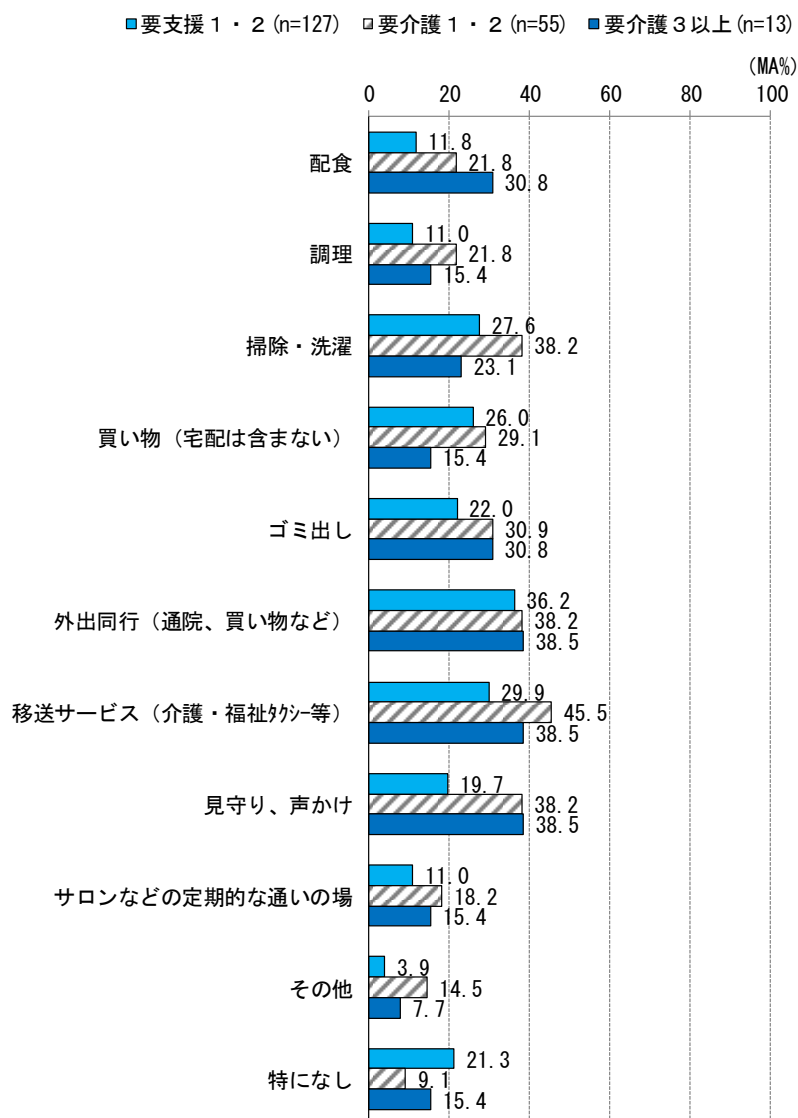
- その他世帯をみると、どの区分においても「利用していない」が多くなっていますが、要介護度が高くなるにつれて保険外の支援・サービスの利用が多くなる傾向がみられます。
- そのほか、要介護1・2では「配食」「掃除・洗濯」「外出同行（通院・買い物など）」が多く、要介護3以上では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっています。



② 要介護度別・在宅生活の継続に必要な支援・サービス

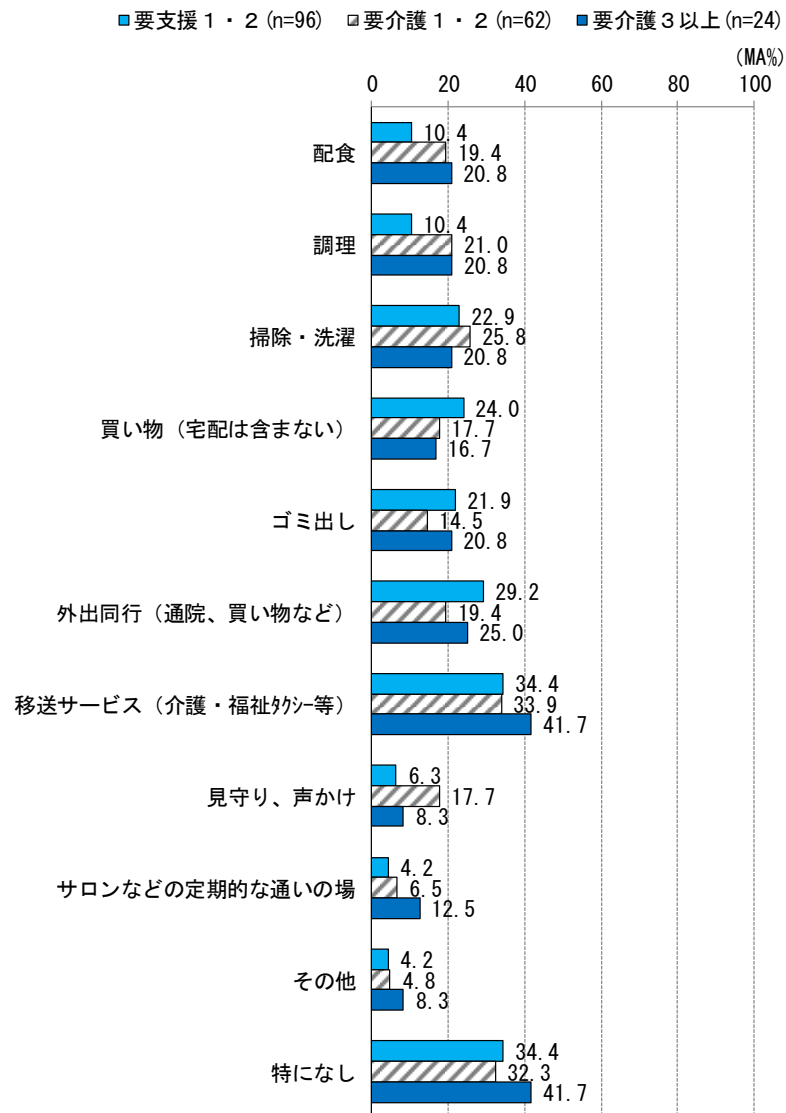
●単身世帯

- 単身世帯をみると、どの区分においても「外出同行（通院、買い物など）」が多くなっています。
- そのほか、要支援１・２、要介護１・２では「買い物（宅配は含まない）」が多くなっています。
- 要介護１・２、要介護３以上では「ゴミ出し」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が多くなっています。



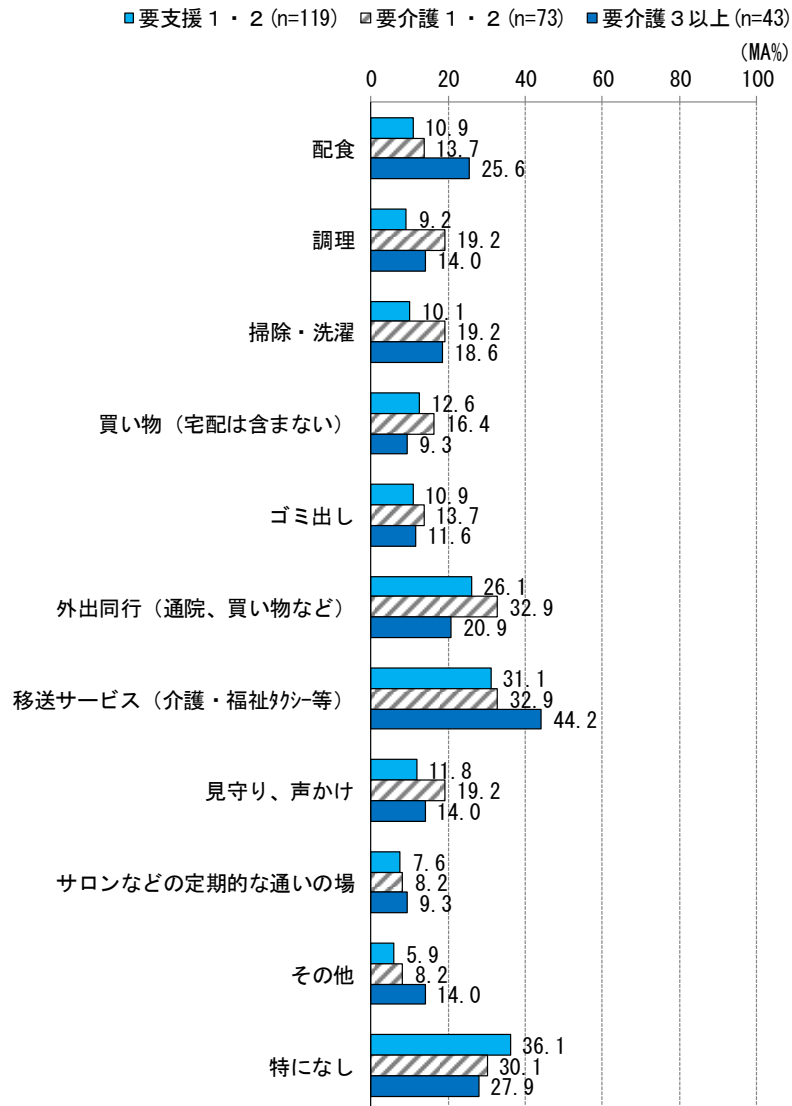
●夫婦のみ世帯

- 夫婦のみ世帯をみると、どの区分においても「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が多くなっています。
- そのほか、要支援１・２では「買い物（宅配は含まない）」「外出同行（通院、買い物など）」、要介護１・２、要介護３以上では「配食」「調理」が多くなっています。



●その他世帯

- その他世帯をみると、どの区分においても「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっていますが、特に要介護3以上で多くなっています。
- そのほか、要支援1・2、要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」、要介護1・2、要介護3以上では「掃除・洗濯」が多くなっています。

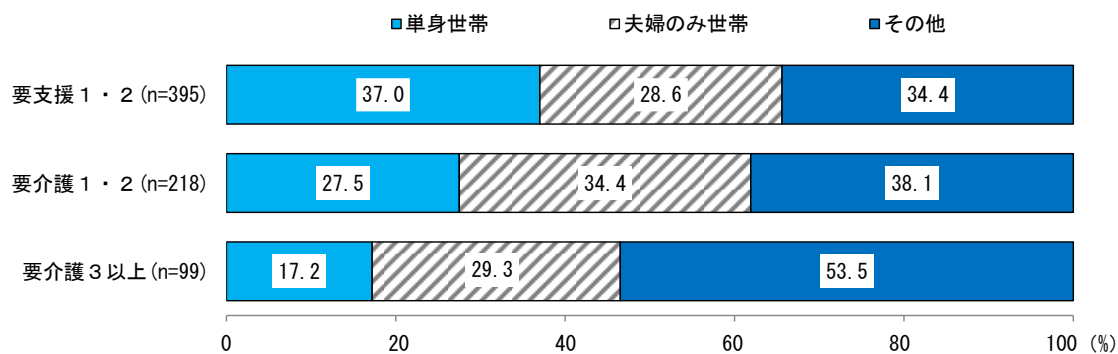


(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 要介護度と世帯類型

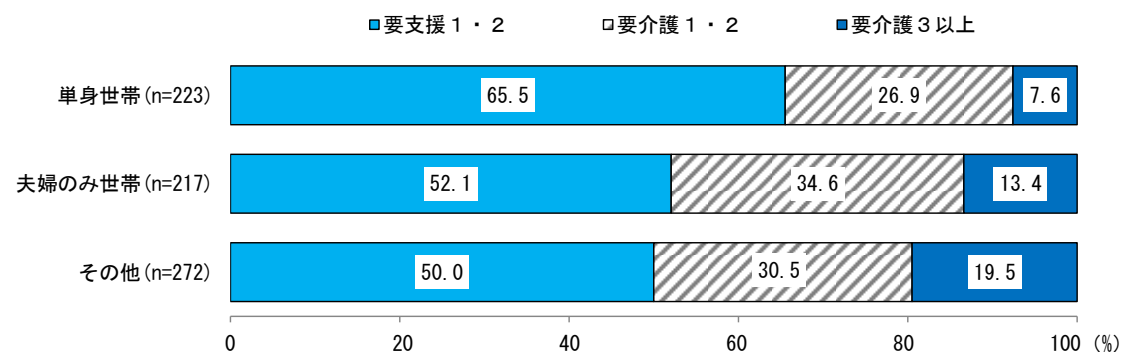
●要介護度別・世帯類型

○ 要介護度別に世帯類型をみると、要介護度が高くなるにつれて「単身世帯」が少なくなる傾向がみられます。



●世帯類型別・要介護度

○ 世帯類型別に要介護度をみると、世帯人員が増えるにつれて要介護 3 以上が多くなる傾向がみられます。

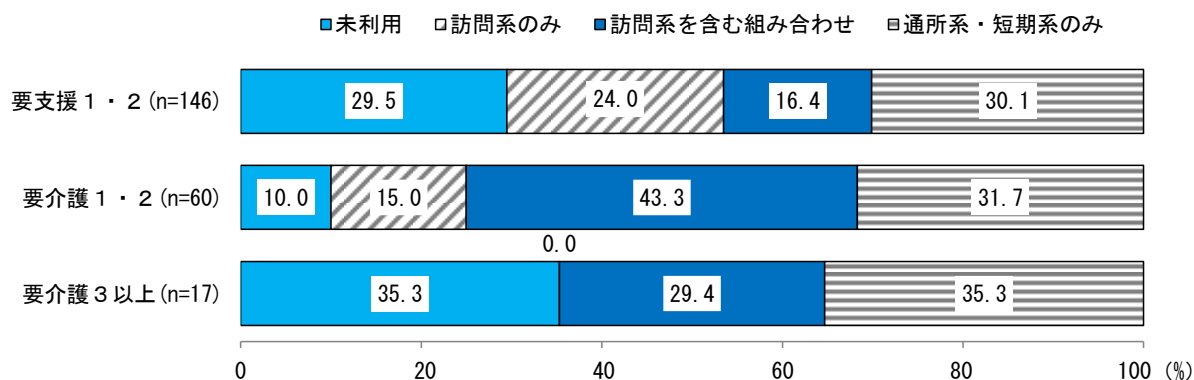


② サービス利用の組み合わせ

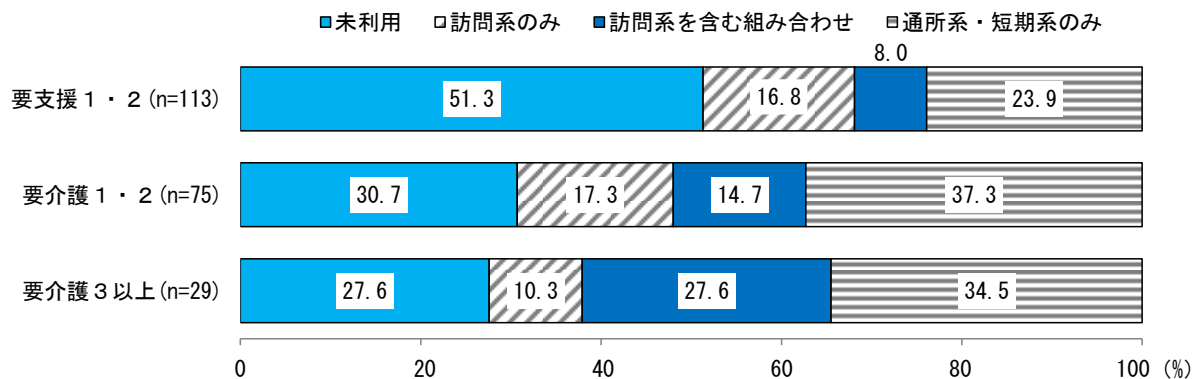
●要介護度・世帯類型別

- 単身世帯をみると、要介護3以上では、「未利用」が35.3%と多くなっています。
- 夫婦のみ世帯をみると、要介護度が高くなるにつれて訪問系サービスの利用が多くなる傾向がみられます。
- その他世帯をみると、要介護1・2では「通所系・短期系のみ」が5割を超えているのに対し、要介護3以上では訪問系サービスの利用が5割を超えています。
- 夫婦のみ世帯、その他世帯をみると、要支援1・2では「未利用」が約5割と多くなっています。

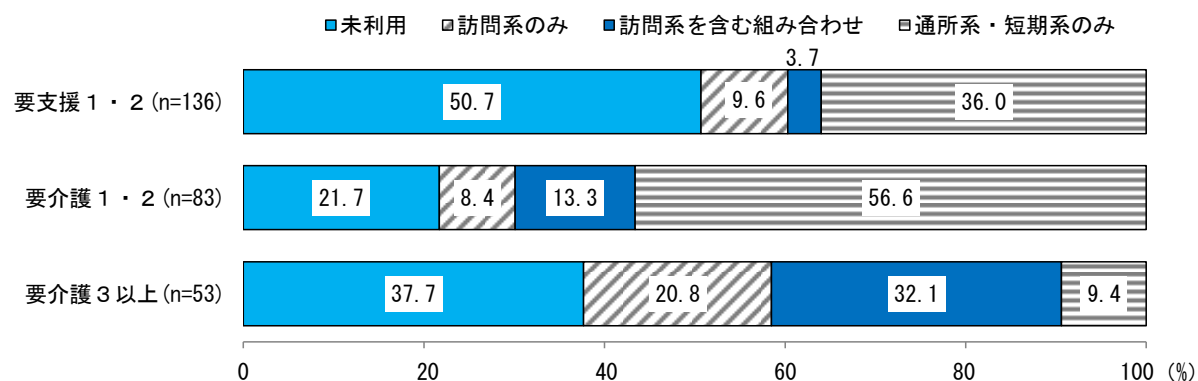
【単身世帯】



【夫婦のみ世帯】



【その他世帯】

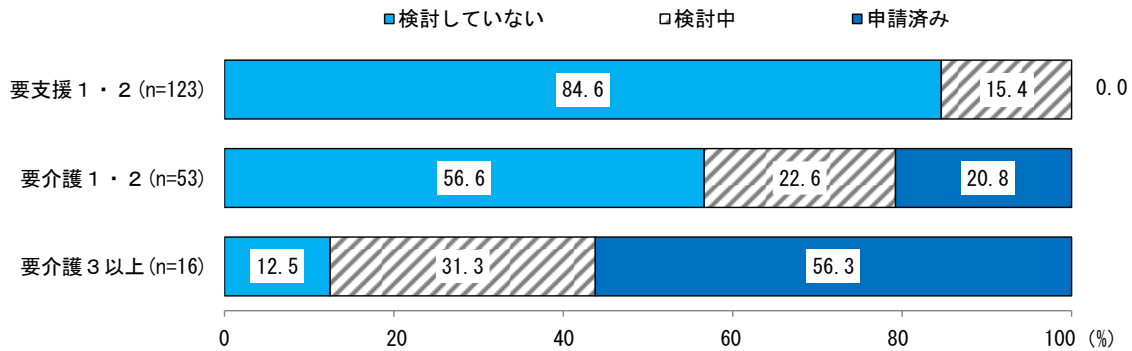


③ 施設等の検討状況

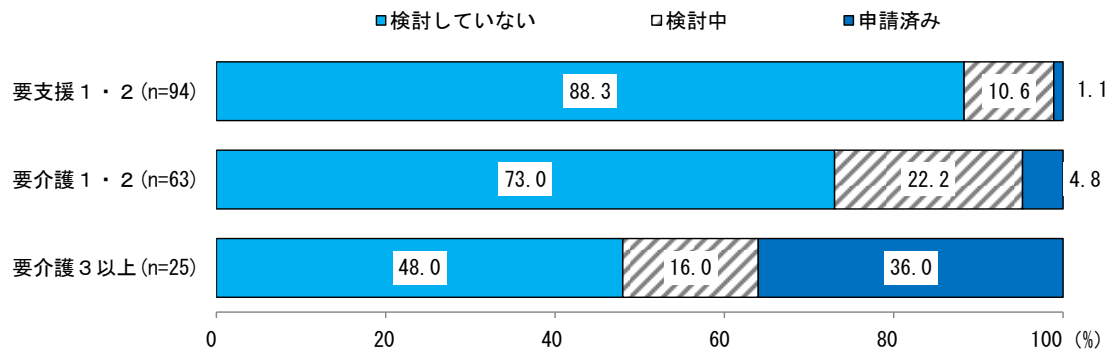
●要介護度・世帯類型別

○ いずれの世帯類型でも、要介護度が高くなるにつれて「検討中」「申請済み」が多くなる傾向がみられ、特に単身世帯の要介護3以上では8割以上となっています。

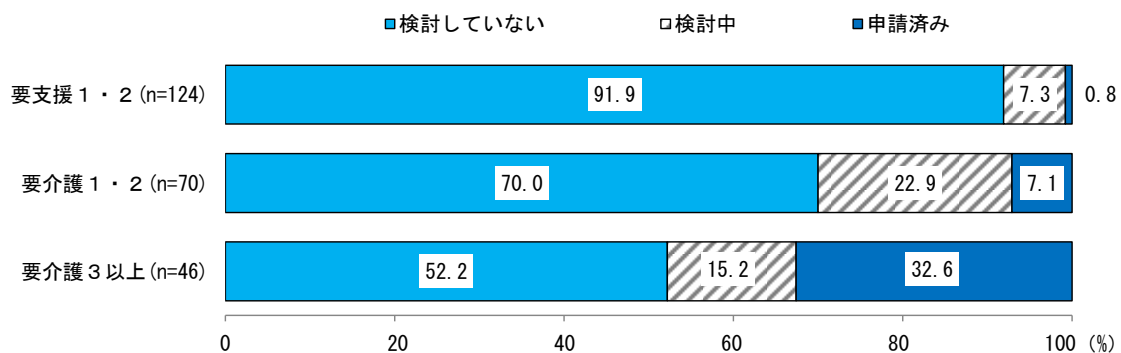
【単身世帯】



【夫婦のみ世帯】



【その他世帯】

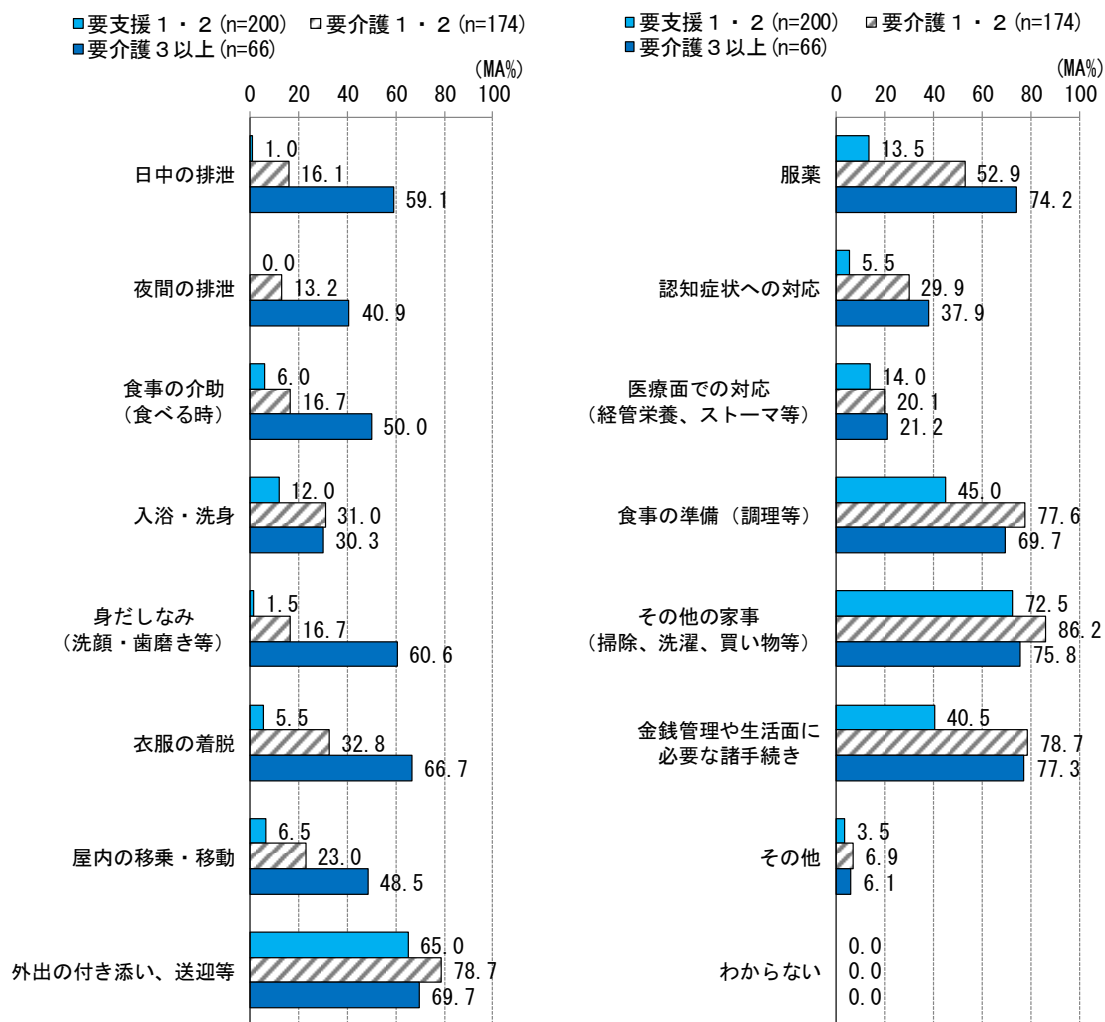


(5) 医療依存度の高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

① 主な介護者が行っている介護（医療面での対応）

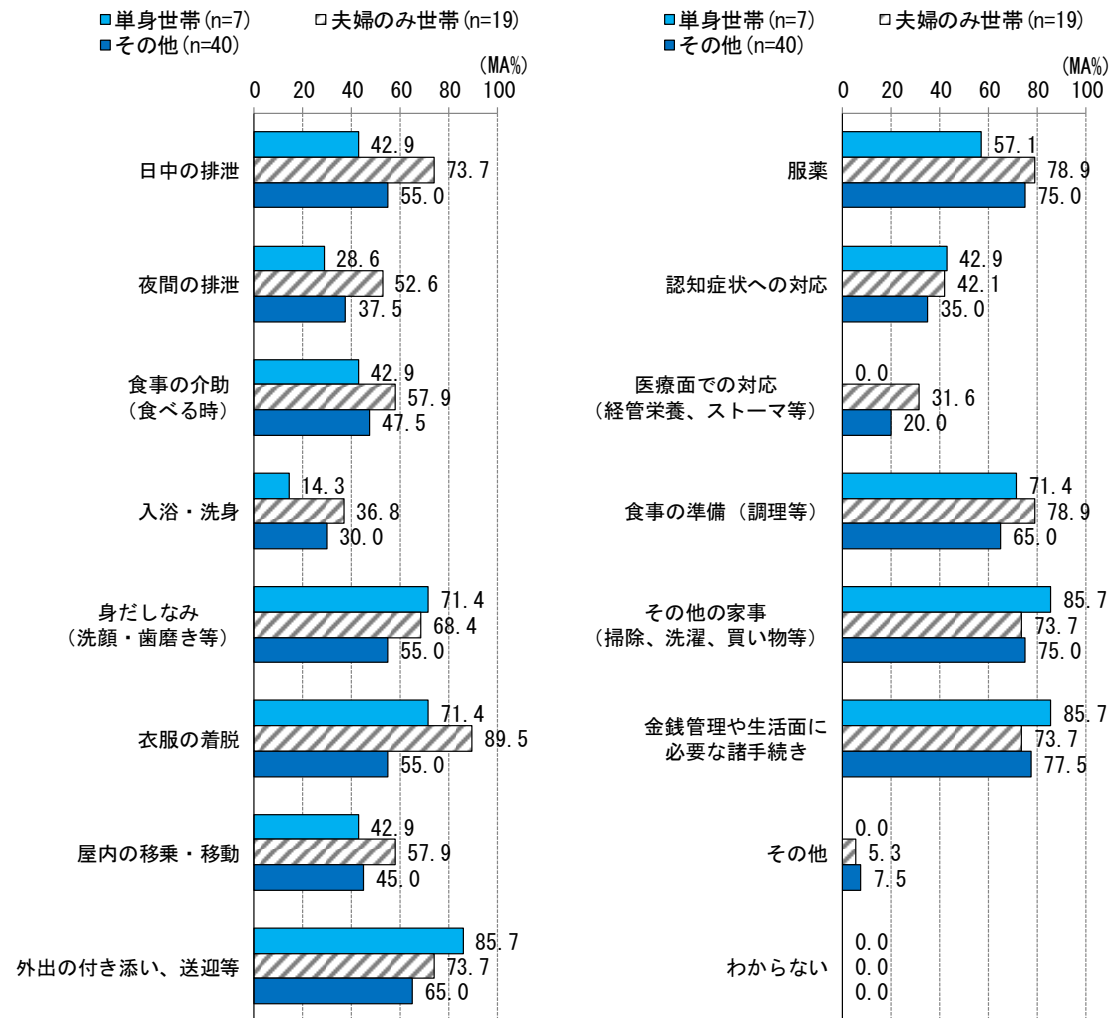
●要介護度別

○ 「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」をみると、要支援1・2では14.0%、要介護1・2では20.1%、要介護3以上では21.2%となっています。



●世帯類型別

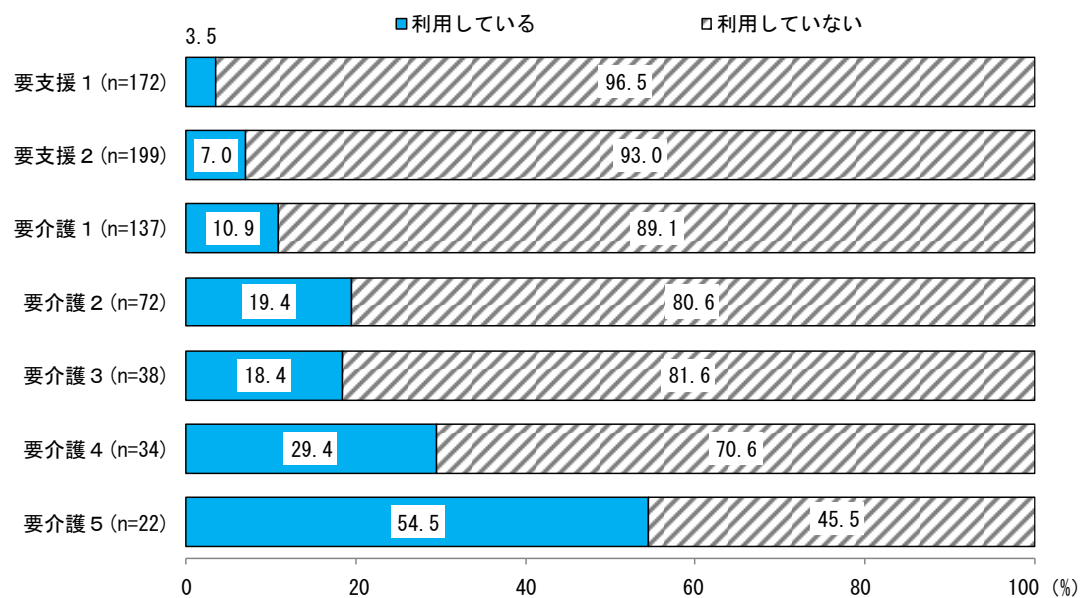
○ 「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」をみると、単身世帯では0.0%、夫婦のみ世帯では31.6%、その他世帯では20.0%となっています。



② 訪問診療の利用

● 要介護度別

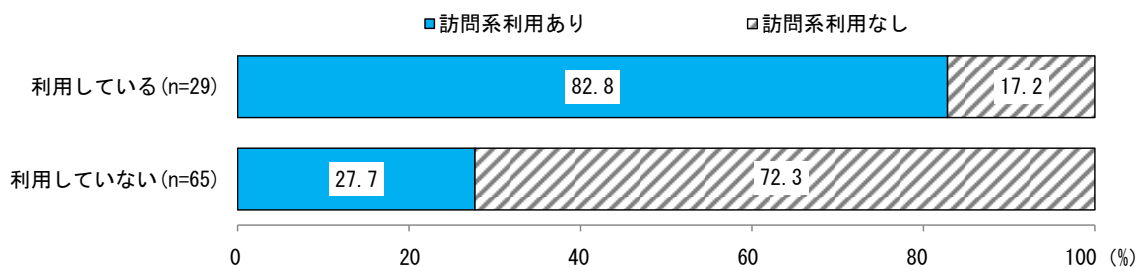
○ 要介護度が高くなるにつれて「利用している」が多くなる傾向がみられ、要支援1では3.5%であるのに対し、要介護5では54.5%となっています。



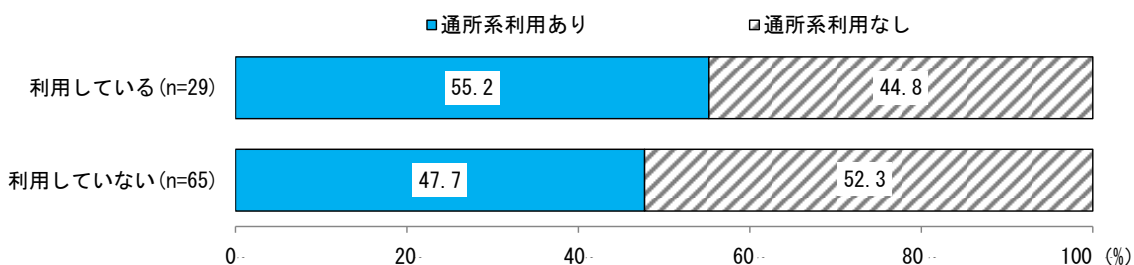
●介護保険サービスの利用有無

○ 訪問診療を利用している人をみると、「訪問系利用あり」は 82.8%、「通所系利用あり」は 55.2%、「短期系利用あり」は 20.7%となっています。

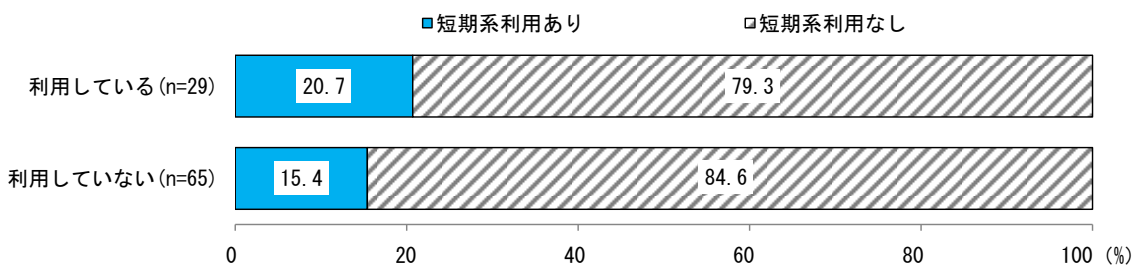
【訪問系、要介護3以上】



【通所系、要介護3以上】



【短期系、要介護3以上】

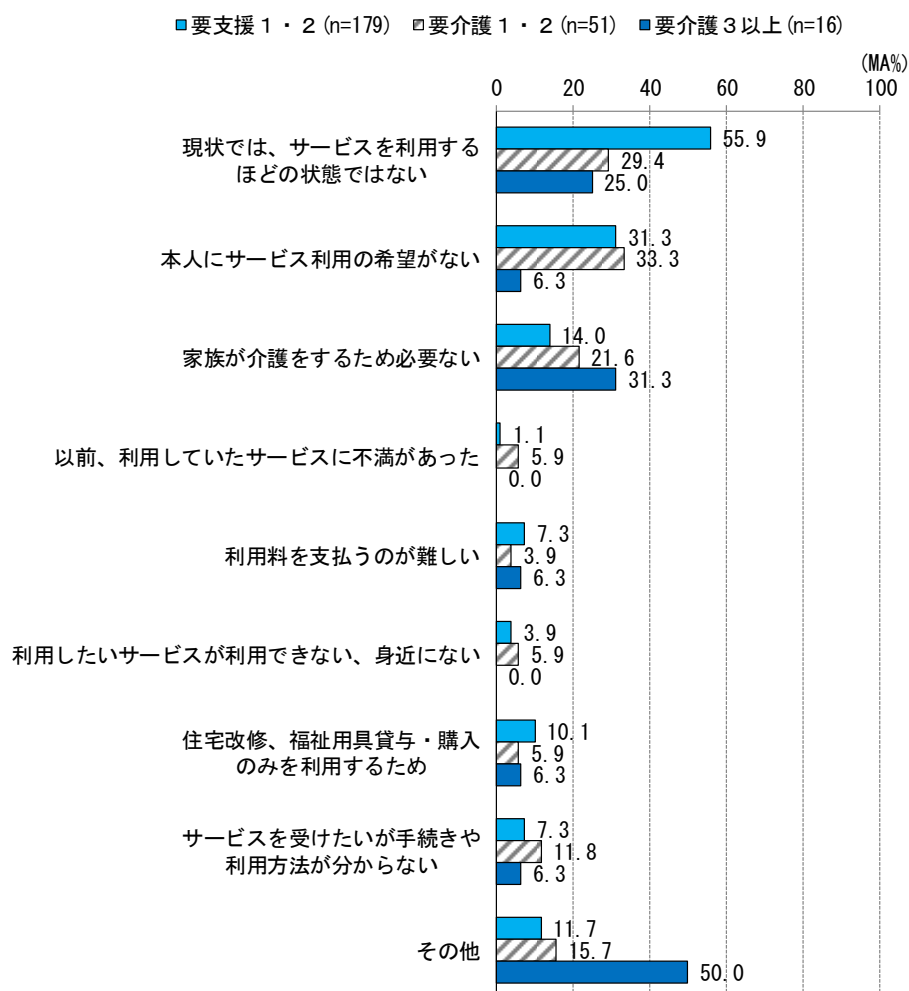


(6) その他

① 介護サービス未利用理由

●要介護度別

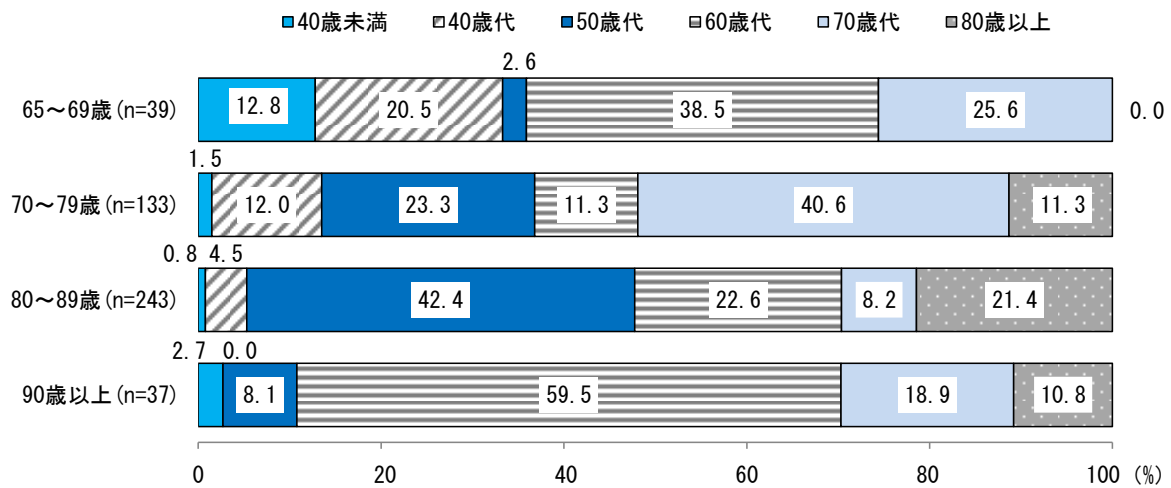
○ 要介護度が高くなるにつれて「家族が介護をするため必要ない」が多くなる傾向がみられます。



② 主な介護者の年齢

● 要介護度別

- 65～69 歳をみると、主な介護者の年齢が「60 歳代」以上が 64.1%となっています。
- 70～79 歳をみると、主な介護者の年齢が「70 歳代」以上が 51.9%となっています。
- 80 歳以上をみると、主な介護者の年齢が「50 歳代」「60 歳代」といった子の世代が多くなっています。



6. 調査結果にみる現状と課題

(1) 在宅生活の継続を考えている人

- 施設等への入所・入居の検討状況について、全体では6割以上の人が検討していないと回答しています。また、一般的に施設ニーズの高い要介護3以上の重度な要介護者では4割、単身世帯では7割以上の人が検討していないと回答しています。これらの人に対する在宅生活継続のための支援が必要と考えられます。

(2) 介護者が不安に感じる介護とサービス利用の関係

- 介護者が不安に感じる介護について、要介護度別にみると、要支援1・2では掃除、洗濯、買い物等の家事、要介護1・2では入浴・洗身、夜間の排泄、認知症状への対応、要介護3以上では入浴・洗身、日中・夜間の排泄、認知症状への対応が多くなっています。また、いずれの要介護度でも、外出の付き添いを不安に感じる介護者が多くなっています。介護者不安の側面からみた場合の在宅限界点に影響を与える要素といえるため、これらに係る介護不安をいかに軽減していくかが、在宅限界点の向上を図るためのポイントになると考えられます。
- 要介護3以上の人に限って、訪問系サービスの利用状況別に不安に感じる介護をみると、訪問系サービスを利用している人では、先述の不安に感じる介護のうち、外出の付き添い、認知症状への対応を不安に感じる人が少なくなっています。在宅での生活に、介護職・看護職等の目が多く入ることにより、在宅での生活環境の改善や介護者の不安の軽減につながっている可能性と考えられます。また、通所系サービスの利用状況別に不安に感じる介護をみると、入浴・洗身を不安に感じる人が少なくなっています。一方で、日中・夜間の排泄については、サービスの利用状況によらず不安に感じる人が多くみられるため、介護者の不安の解消が課題となっています。

(3) 主な介護者の就労状況と今後の就労継続見込み

- 主な介護者の就労状況について、本人の世帯類型別にみると、フルタイム勤務の人では、本人が単身世帯である人が約3割となっています。本人の要介護度別にみると、フルタイム勤務の人では、本人が要介護3以上である人が約2割となっています。介護保険サービスの利用状況別にみると、いずれの勤務形態でも約6～7割が介護保険サービスを利用しています。また、就労時間が長くなるにつれて、訪問系サービスの利用が多くなる傾向がみられます。
- 現在介護のために行っている働き方の調整について、今後の就労継続見込み別にみると、続けていける見込みがある人では、労働時間の調整が多くなっています。続けていくのが難しい人についても、労働時間の調整など何らかの調整を行っている人が多いものの、特に行っていないという人も約2割みられます。
- 今後の仕事と介護の両立にあたり、勤め先からあれば効果的だと思う支援について、今後の就労継続見込み別にみると、続けていくのが難しい人では、介護休業・介護休暇等の制度の充実、制度を利用しやすい職場づくり、介護をしている従業員への経済的な支援などが多くなっています。
- 訪問系サービスを含む組み合わせでの利用と、職場における介護休暇や経済的支援等の制度の整備及びそれらを気兼ねなく利用できる職場づくりにより、在宅生活継続の可能性が高まると考えられます。

(4) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

- 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、外出同行（通院、買い物など）、移送サービスのニーズが高くなっています。このような外出に係る支援・サービスは、買い物やサロンへの参加など、他の支援・サービスとの関係も深いことから、外出に係る支援・サービスの充実は大きな課題であるといえます。
- また、介護保険サービスの利用状況について、世帯類型別かつ要介護度別にみると、夫婦のみ世帯、その他の世帯では、要介護度が高くなるにつれて訪問系サービスを含む組み合わせで利用している人が多くなっています。配偶者等の介護者のレスパイトケアの必要性が高いことから、訪問系サービスのみではなく、そうした機能を持つサービス通所系サービス・短期系サービス（ショートステイ等）も組み合わせた利用が多くなっていると考えられます。一方で、単身世帯では、要介護度の重度化に伴い、通所系・短期系を利用していくことで、在宅生活の継続を可能にしていると考えられます。

(5) 在宅生活における医療ニーズへの対応

- 主な介護者が現在行っている介護のうち「医療面での対応」について、要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて行っている人が多く、要介護3以上の人では21.2%となっています。
- 訪問診療の利用の有無について、要介護度別にみると、利用している人の割合は要介護度が高くなるにつれて多くなっており、要介護3では約2割、要介護4では約3割、要介護5では5割以上となっています。
- 訪問診療を利用している人のサービスの利用状況について、要介護3以上の人に限ってみると、訪問系サービスでは8割、通所系サービスでは5割以上の人が利用しています。
- 今後、中重度者が増加するとそれに伴い「介護と医療の両方のニーズを持つ在宅療養者」の増加が予想されます。いかに適切なサービス提供体制を確保していくかが重要な課題であると考えられます。

第 3 章

事業所調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、「高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画（第8期）」の見直しを行うにあたり、介護保険サービス提供事業所の皆様の現状について把握し、今後の高砂市の高齢者福祉計画及び介護保険事業計画のための基礎資料とするために実施しました。

(2) 調査の実施について

調査名	高砂市これからの介護保険のための調査（事業所調査）
対象者	市内で介護保険サービスを提供している事業所、高砂市の指定を受けている事業所
実施期間	令和2年2月6日（木）～2月21日（金）
実施方法	郵送配布、郵送調査

(3) 配布件数及び有効回答件数・回答率

	配布数	有効回答数	有効回答率
全体	165 件	135 件	81.8%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りです。

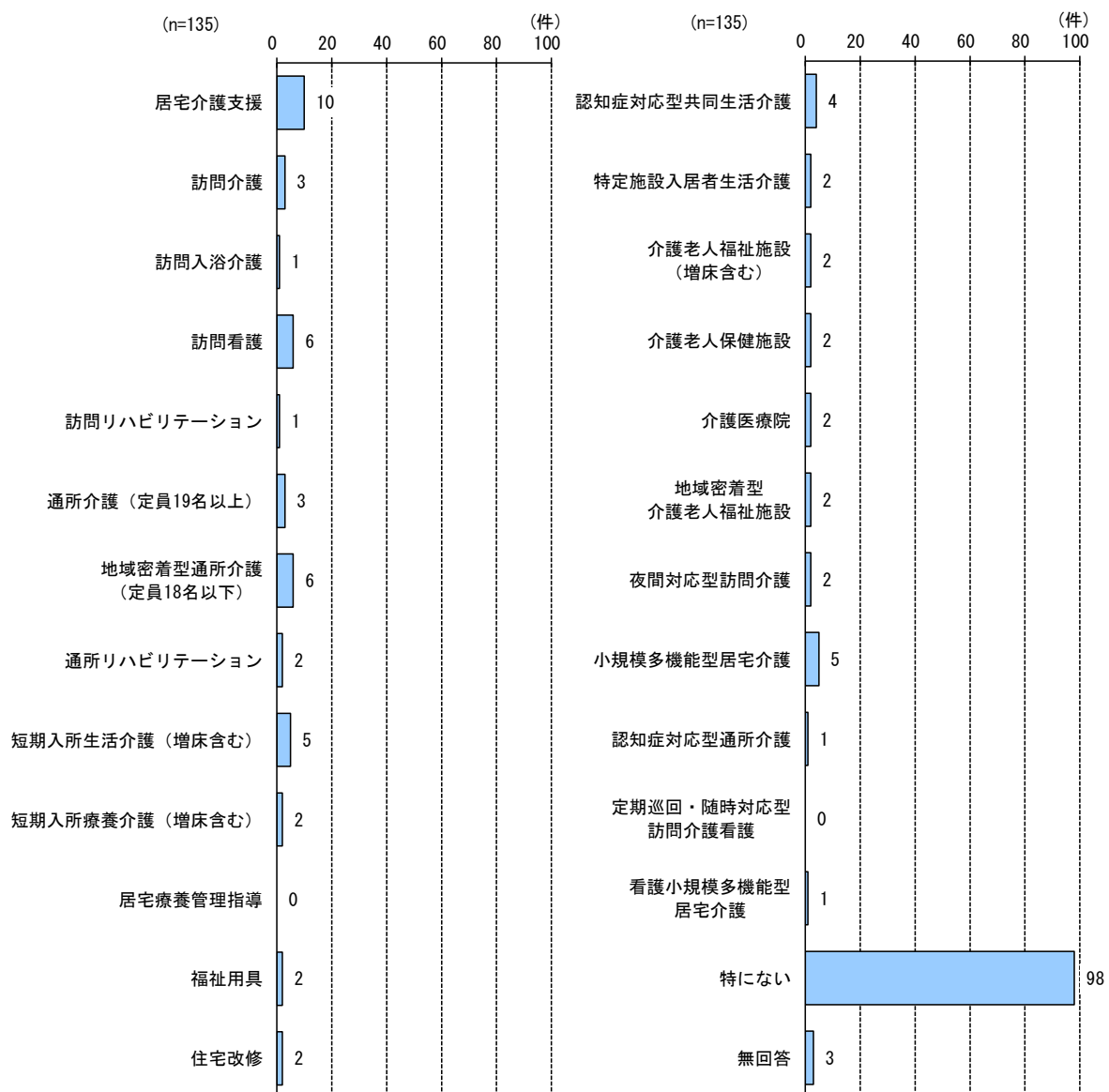
1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を指します。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）、5LA（5 Limited Answer＝5つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

2. すべての事業者に対する設問

(1) 今後のサービス展開の意向

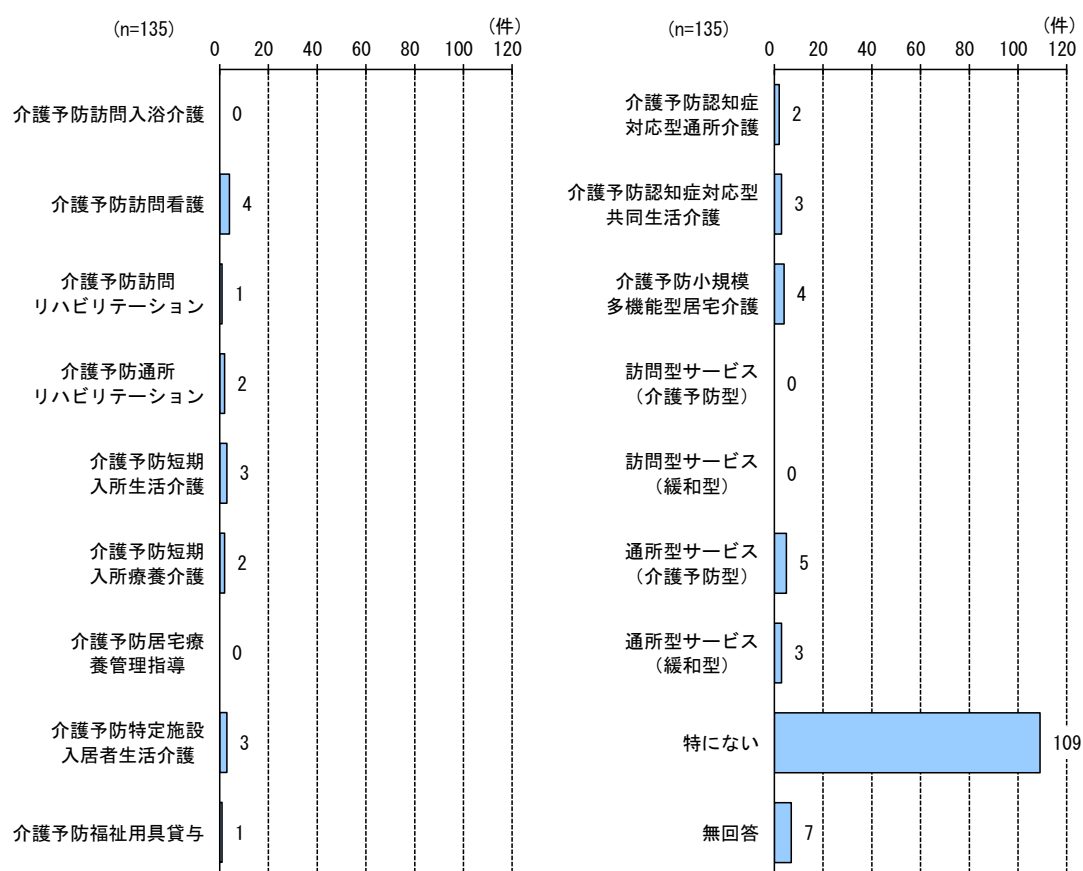
●問1 今後、高砂市において、新規に展開したい（新規に事業実施に取り組みたい）と考えている介護サービスはありますか。（いくつでも）

○ 新規に展開したい介護サービスについて、「特にない」が98件、回答があった中で「居宅介護支援」が10件、「訪問看護」「地域密着型通所介護（定員18名以下）」が6件となっています。



- 問2 今後、高砂市において、新規に展開したい（新規に事業実施に取り組みたい）と考えている介護予防サービス及び介護予防・生活支援サービス（総合事業）はありますか。（いくつでも）

○ 新規に展開したい介護予防サービス及び介護予防・生活支援サービス（総合事業）について、「特にない」が109件、回答があった中で「通所型サービス（介護予防型）」が5件、「介護予防訪問看護」「介護予防小規模多機能型居宅介護」が4件となっています。



(2) 高砂市に不足しているサービス

① 地域密着型介護老人福祉施設について

●問3 高砂市では地域密着型介護老人福祉施設（いわゆる「地密特養」）の事業者を2年度続けて公募しましたが、応募がありませんでした。貴事業所が考える高砂市の地密特養についてのご意見をお聞かせください。

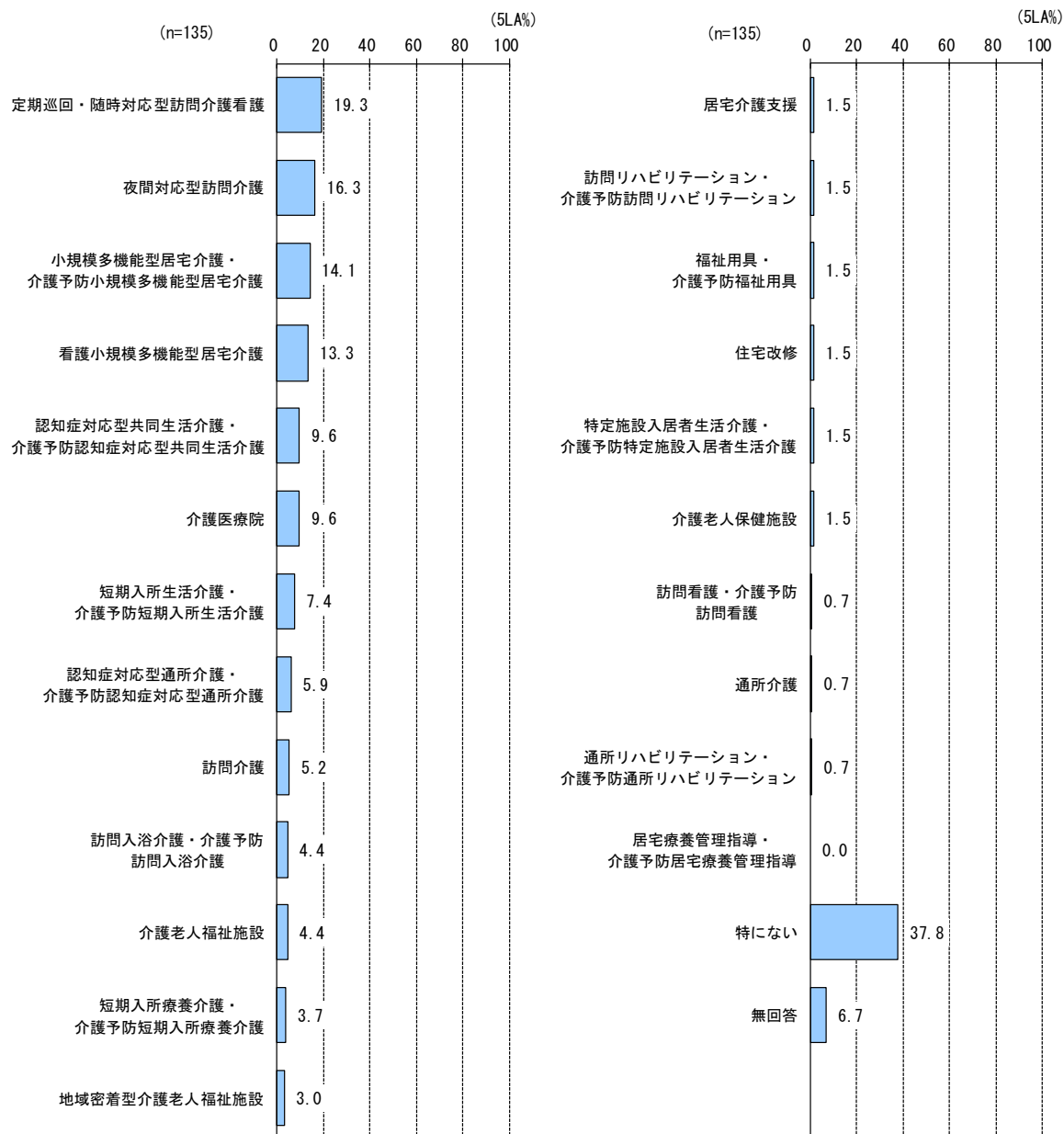
空家を利用し、高砂市の援助があれば手挙げするところもあるかもしれません。
地域密着型は、費用が割高で利用される方、又は家族の負担が多く、入りたくても難しいことがある。
住み慣れた地域で生活をし、一生を終えたいというニーズはあると思われますが、人員の確保など経営する方が難しそうに感じます。
地域密着型特養の理解ができていないと思います。経営的にも難しいのでは…と考えます。
介護報酬が少なく、ビジネスとして成り立たないと思う。当デイサービスも同じ状況。
地域密着型である必要性があまり感じられない。
本当に必要性を感じるなら、その旨を十分に説明する機会を設けて、高砂市で開設することを検討したらよいと思う。
他事業者も含めて必要ないと思っている。もしくは、地密特養の運営が収支の面で難しいと判断したのだと思う。
大きな母体のある施設でないと金銭、体制として不可。福祉でない企業であれば中小企業も検討していたが、福祉の知識不足で断念されていた。利用する側は従来型と比べて金額が高く入居できない者もいる。夜1人家で寝るのが心配という本人、家族も多い。
必要な施設であると考えてるが、人手不足が常態化しているため、なかなか応募することができない。
あればいい施設であると思いますが、それなりの資本がないとできない事業だと思います。
必要な事業形態とは言えますが、地密特養の規模では収入面・人材配置等、安定的継続的な運営が難しいと考えます。
介護職員不足、人材確保に向ける手段策があれば 今現在においても職員の定着、働き方改革をそれぞれの事業所が工夫している中、安定した運営が維持できないと思います。
地密特養はサービス内容について必要な事業とは考えますが、運営するには収入・人材配置等の観点から継続運営が難しい印象にある。
地密特養が悪いとは思いませんが、やはり問題は人材確保と特養（従来型）に比べ、値段が高くなる事などが考えられます。今、高砂市にはサービス付き高齢者向け住宅も多くありますが、要支援、要介護1、2等の方々を抱えて困っている家族が多い方達への支援を優先すべきではないかと思います。
地域密着という事で地域とのかかわりが深くなり、ご利用される方（特に地元で育った方など）は安心感があり良いとは思いますが、しかしながら、事業所からすると、特養となるとより一層、病院、医療との連携が必要で個人事業所のみでは難しいように思う。
高砂市のみで利用者が集約出来るか不安要素があるのでは？
人員不足
入所者ご家族にとっては少人数で生活しやすい環境ではないかと思います。
30 室未満とは言え、土地の確保特に人材の確保が難しい。しかし、現状では特養が少な過ぎる。できれば市民病院を利用しての市（社協）直営の特養をと考える。

地域が限定されているという点と、ご高齢者数と特養のベッド数がすでに充足しているのでしょうか。
経営が難しい。
人口が少ないと人が集まるのか不安がある。
全国的に入所待機者数が減少し、特養の入所はしやすくなっている。現在も多くの特養が介護職員等 人材の確保はできず入所を持っている人がいて、空室もあるのに受け入れができない状態である。また 近隣にも数多くの施設があり無理をしてまで応募はしないため地密特養を新設する必要はないと考える。
新設の特養でも今は人員が集まらなないと聞きます。さらに介護従事者も特養や老健は避ける傾向にあ るようです。建物が大きければ大きい程、人員がいるのに人員が避けている現状があるので、応募し たくてもできないのではないかと思います。
高砂市の人口から考えると、地密特養は将来性がない。現在の 70～74 才人口をピークに高齢者は減 少していくと思われる。施設運営の安定的な継続を考えると広域型の方が良い。ただし職員が集まる かどうかの問題はある。
高砂市の人口は少なく地域だけの利用者では運営が困難と考えます。広域型の特養公募の方が応募は あると思います。
原則、高砂市に住民票がある方に限られるので当法人は加古川市に拠点があるので法人内で連携がと りにくい。2市2町地密特養があれば理想。
要介護3以上の待機者がほとんどいません。待機があっても重度重症介護となるため専門知識のない ままに介護がされるのが現状です。時代の流れと共に、家族の考え方も大きく違ってきているので誰 でも契約できないのが現状（高齢者を支えようと思う気持ちが離れているか、施設責任の重さを痛感 させるような家族・看取りへの理解不足）。現状を踏まえ、本当にコストの高い、細かな配慮が必要 な地密特養は必要でしょうか。また、箱物をつくったとしても支える職員がいません。離職率の悪く ない当事業所でも、年々と向上心を持って就職される新規採用職員は少なくなり、育成等で苦勞して います。本当に高砂市の事業として何をもって必要とされているのでしょうか。
地域密着型特養は単独では採算がとりづらく、また新たに施設を立ち上げなくてはいけない程、特養 入所の待機者の実人数がいるのか？国が「在宅」を推し進めている現状、在宅サービスの充実に力を入 れた方が良いのではないかと？
重度な方が安心して暮らせるよう、また働く職員が働きがいを持てるよう行政の手厚い支援が得られ る特養であるべきである。しっかりと行政には運営基盤を作ってもらいたい。
特養は要介護3以上でないと入所できないので、有料でいいので、要介護1、2の方でも入所できる 施設があればと思います。要介護1、2の方で認知で暴力行為もあったりして、家で看るのが大変な 方がいると思います。その方の入所できる施設がなかなかないと思うので、有料でもいいので、そう いう施設が増えるといいかと思います。
スタッフの充実が図れていないのが一番の課題かと思います（スタッフ不足）。また、補助も少なく 経営していく上で困難があると思います。老々介護が増えており情報が行き届かない（情報が止まっ てしまい全体的に広まっていない）。療養通所介護についても情報が届いていない現状で知らない方が多い。
人口数に見合う入居が得られるか、もしくは介護度が受け入れ能力と適合するか、情報が得にくいた め、事業計画が立てにくい。
施設を自社で運営するには資金面や24h体制なので夜間の人員確保などが難しいと考えます。国や市 の補助金等などがあれば（実際あるのなら私の知識不足ですが…）考える事業所もあるのではないしょうか。

② 充実が必要なサービス

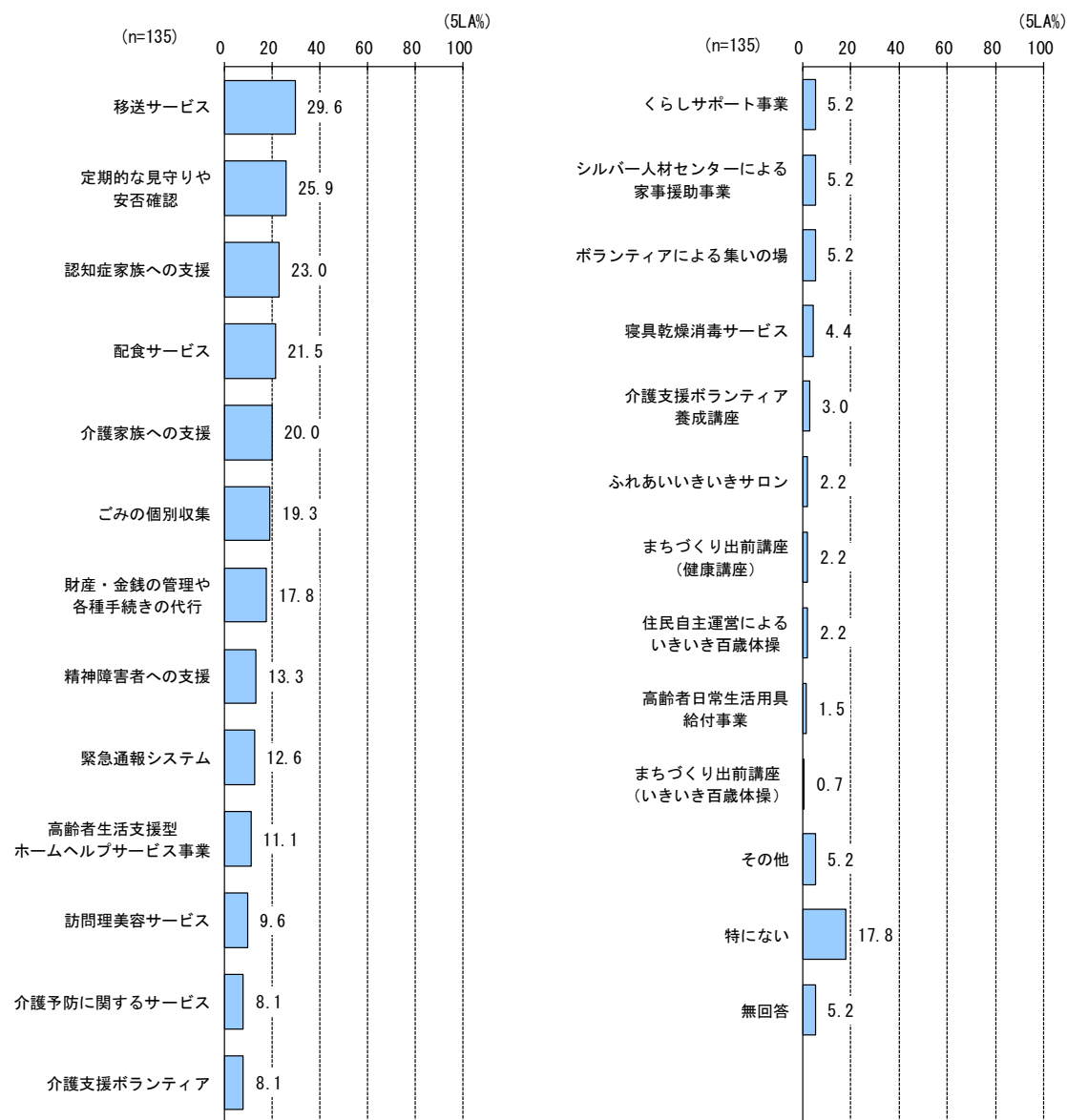
●問 4 高砂市に特に不足していると感じるサービスがありますか。(5つまで)

○ 高砂市に不足しているサービスについて、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が19.3%で最も多く、「夜間対応型訪問介護」が16.3%となっています。



●問5 介護保険サービス以外の高砂市の高齢者保健福祉サービスや活動について、もっと充実すべき、あるいは新たに行うべきだと感じられるサービスはありますか。（5つまで）

○ 充実すべき介護保険サービス以外の高齢者保健福祉サービスや活動について、「移送サービス」が29.6%で最も多く、「定期的な見守りや安否確認」が25.9%、「認知症家族への支援」が23.0%となっています。

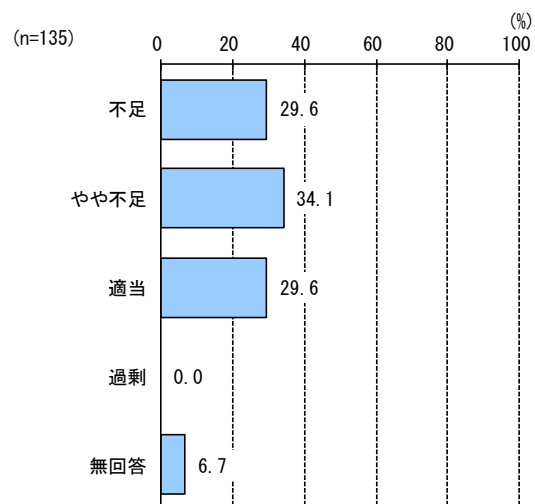


(3) 介護人材について

① 従事者の過不足状況

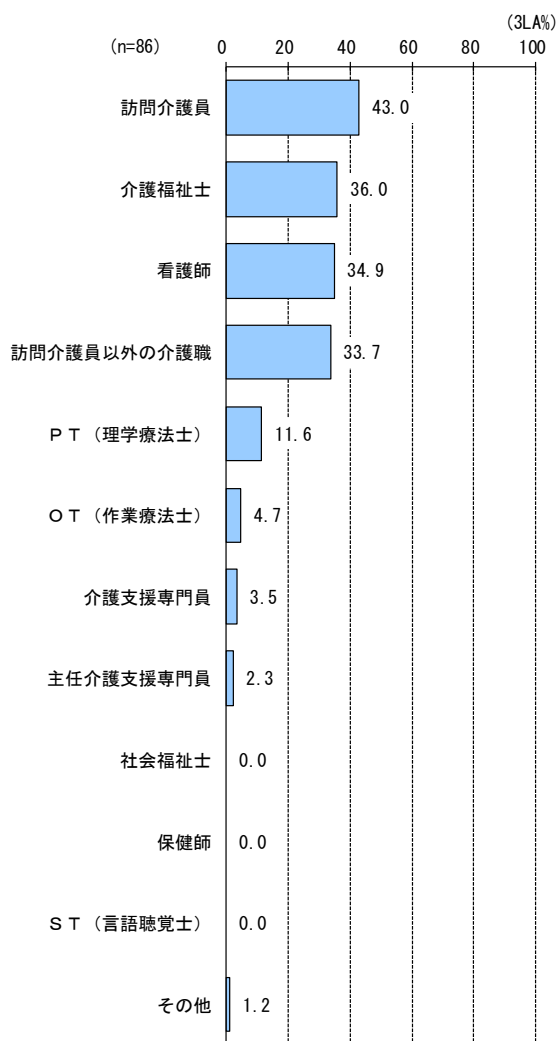
●問 6 貴事業所では、従事者の過不足の状況はどうか。

○ 従事者の過不足の状況について、「やや不足」が 34.1%で最も多く、「不足」「適当」が 29.6%となっています。「不足」「やや不足」を合わせると、“不足”が 63.7%となっています。



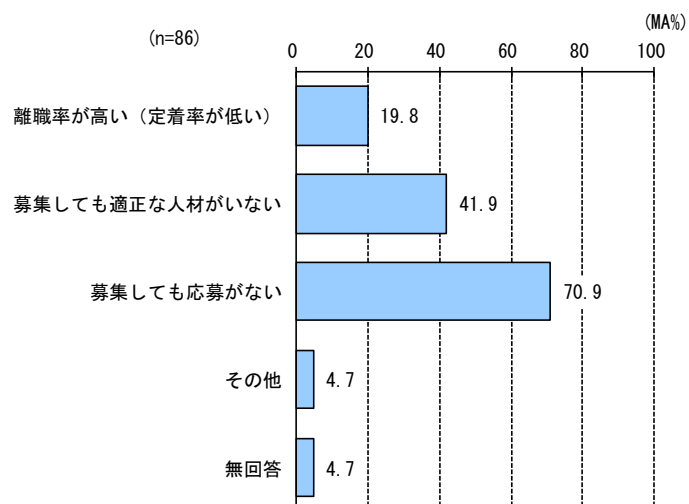
●問 6-1 不足している人材の職種は、次のうちどれですか。（3つまで）

○ 不足している職種について、「訪問介護員」が 43.0%で最も多く、「介護福祉士」が 36.0%、「看護師」が 34.9%となっています。



●問 6-2 不足している理由をお答えください。(いくつでも)

○ 不足している理由について、「募集しても応募がない」が70.9%で最も多く、「募集しても適正な人材がいない」が41.9%、「離職率が高い(定着率が低い)」が19.8%となっています。



② 介護人材確保に有効な取り組み

●問 7 介護人材確保のために有効と思われる制度や事業所が希望する取り組みについてご記入ください。

働きたい方が行政に登録し、派遣する制度を作ってほしい。人材派遣会社を通じて雇用すると、費用が掛かるため、行政から人材を事業所へ紹介する制度があれば利用したい。
社内で人材紹介の取り組みを行っている。
介護職員処遇改善加算は有効だと思うが、有資格者であっても介護の仕事に就いていない人へ PR する手段を考えて欲しい。
人材がいらないというよりも、その人材に適応する介護の現場が見つかっていないとの考え方もできる。賃金との兼ね合いもあると思うが、施設系では自分の力が発揮できないが、通所系ではできる場合もあることから、人材の確保の為、すべての事業所同士の連携で、敵に塩を送るわけではないが、相互扶助の精神と実践で、介護人材を確保するやり方もあるように思われる。
最低賃金のアップ、加えて介護収入の減少により、当事業所のような小さな会社では人件費が多くなります。大きな施設でも厳しいと思いますが、小さな民間会社ではなおさら厳しいのが現実です。ニュースにもなっていますが、紹介手数料も高いので手が出ない。なので希望する取り組みとしては紹介手数料の援助や高砂市主体の介護福祉、医療の職業紹介等でしょうか。
時間給の幅を広くする。早朝・深夜手当など。センター同士の交流を深める。研修も兼ねたスタッフ同士の交流。
報酬の見直しや仕事の依頼時間の集中（朝と夕は多く、昼間は少ない）。他の事業所のスタッフでも時間があれば業務出来るなど柔軟な制度があれば良いと思う。
人材育成やキャリアアップ制度の理解の促進
働きやすい環境を整えて PR していく（良い事業所はたくさんあると思う）。直接雇用と派遣からの違いがわかるようにする。派遣から働く人は定期的にやめ、介護に対しての意識が低い人が多いと思う。しっかりと働けたら安定した給料につながる事を知ってもらう。若い人達向けに介護の仕事の魅力を知ってもらう活動をする。
非常に難しい質問ですが、ハローワークなどが介護人材のみの就職フェアなどの開催。
福利厚生等やめない為の努力は精一杯取り組んでいるが、そもそも全体の人材不足と思われる。
行政からの人件費、手当てに対する支援制度がほしい。
高砂市が主体となって、定職していない方、仕事を探している方の介護職員に誘導できる研修。社会の現状（高砂市の現状）人材不足に対する処遇改善、加算制度の説明、職員が孤立しない為のバックアップ制度、相談窓口の数等、安心して働ける趣旨等の会を開いてみてはどうか。
紹介会社のようなことを市が事業として行う・採用時、定着時等の助成金・各専門学校（介護等）にて実施する市主催の就職セミナー（市内事業所のみ参加）
子育て世代でも働きやすい職場作り、フレックスタイムや柔軟な雇用形態
短時間勤務を雇用。（社会保険の 103 万、130 万円以内の職員が多く、人数は増えても出勤時間に限りがあり、時間帯で人手不足。）
専門職の場合、求人を出しても応募がなく、派遣や人材紹介は金額が高すぎるため、事業所の負担が大きいので求人にかかる費用や紹介料の一部を助成してもらえる制度が欲しい。

離職に対する職員の定着。働き方改革に対する業務の内容の見直し。雇用管理。
日曜、祝祭日を休みとし、働きやすい環境にしているが時給が低くみられがちである。働き出してから“思っていたより給料が良かった”という声もあり、求人方法を工夫したいと考えている。
福利厚生の実施。楽しく働いてもらえるように行事、イベント企画、スタッフとの関係づくり等
制度と言われるとよくわかりませんが、やはり介護職はきつく、大変な仕事と思われがちにあるように思う。また、その割には賃金が低く、より高い賃金が支払われる仕事へ流れてしまう傾向にあると思う。
現在、ハローワーク等に登録しても来ない為、紹介に頼っている状態なので市の方で、紹介等の制度を独自に作って頂きたい。
給与、福利厚生の実施、配置基準の緩和。
働きに見合った収入の確保。
紹介、ポスティング。
資格取得に要する費用免除。
育児休業をする従業員の代替要員を確保する為の補助する制度があるとよいと思います。
介護職の良い部分を発信する為、そういった場や機会があればと思う。
ハローワークなど求人に出してもなかなか来なくて紹介（個人、会社）からが一番有効であった。母体病院への問い合わせは多いが、介護部門はほとんどない状態。
働く時間の保証をする パートタイマー制 その際の訪問車は、公用車を使用する。
見学会を行う。ネットでの求人広告。
賃金を高くする。
求人はハローワークやイーアイデム2ヶ月に1回の広告など
有効であると思う制度として介護報酬単価を介護保険導入時ぐらいまでに戻すことだと考える。
子育て中も安心して働ける職場作り
ケアアシスタント研修事業（兵庫県が2019年度実施） ハローワークと高砂市がタイアップして福祉就職説明会や事業所説明会を行う。
見学会を行う。
国の政策（処遇改善）で充分だと思う。
直近はネット媒体影響がほとんどである。中でもスカウト機能のある求人サイト、業者は採用につながり易いと考えます。
訪問介護がなぜ必要なのかを知ってもらえる研修などが介護職の人だけでなく、一般の人達に向けてのものがあれば（多く）良いと思う。介護職は“大変だ”と思われている方が多いが“楽しい”と感じていただける様な研修等があればと思う。
人材が少ない中でのプリセプター制度の実施・新人一人につき育成担当・フォローUP 研修の実施・施設内外での研修受講 人材育成を各事業所の努力という時代は終わりつつあるのでないでしょうか。市政とともに共同、協働で歩めればと思います。介護についていない休眠介護士は多々いるかと思っています。何か掘り起こせるセミナー等検討して頂ければと思います。処遇改善・特定処遇改善等で介護職等が仕事に就いたとしても、職員と協力しながら働きやすい職場環境を心がけていきたいと思っています。
産休、育休、介護休暇の取得・介護職員等特定処遇改善加算の取得。

就職説明会（中途・新卒等）市内事業所合同で開催。
介護保険の報酬の底上げを行い、介護職の給与に反映させてほしい。手当の充実がないと働き手は見つからないと思う。
人間関係が大いに影響されると思う。会社、市町村の協力での取り組みが必要と考える。
もっと人材確保の制度が市としても充実していればいいと思います。
保育料無償化の対象を3歳未満の子供にも広げれば働きやすくなる方もでてくるのではないかなと思う。
ハローワーク求人の公開。インターネット上での求人公開。
地域の方達に情報を提供し、関わりを増やしていくようにしたいです。
処遇改善加算の継続。
介護に関する入門的研修制度
介護職員以外の処遇改善対策
人員基準の緩和、報酬増
処遇改善加算は確保、維持をするのに有効と思います。

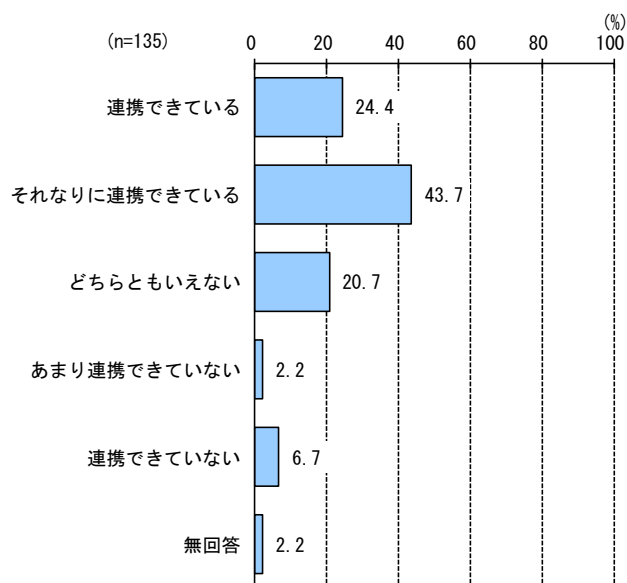
(4) 周囲との連携

① 地域包括支援センターとの連携状況

●問 8 貴事業所では、地域包括支援センターとどの程度連携できていますか。(1)～(6)それぞれ1つずつ)

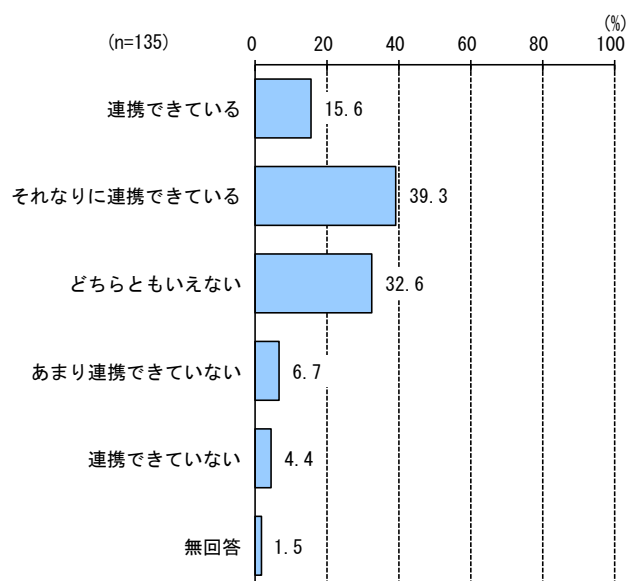
(1) 要支援者等の計画作成

○ 要支援者等の計画作成について、「それなりに連携できている」が43.7%で最も多く、「連携できている」が24.4%、「どちらともいえない」が20.7%となっています。



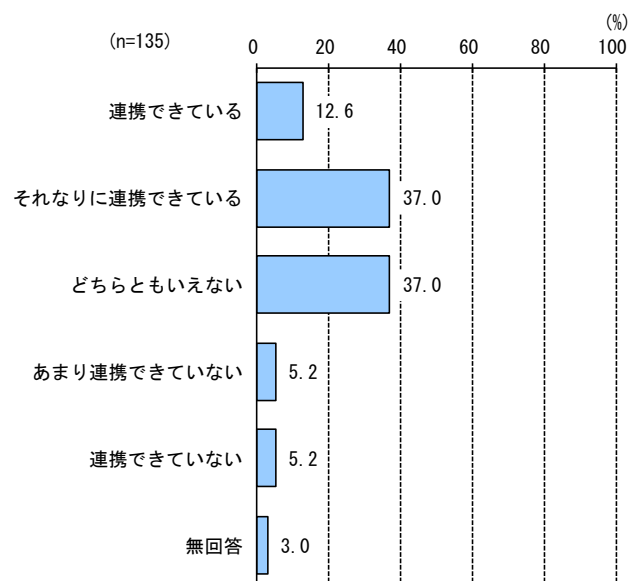
(2) 困難事例への対応

○ 困難事例への対応について、「それなりに連携できている」が39.3%で最も多く、「どちらともいえない」が32.6%、「連携できている」が15.6%となっています。



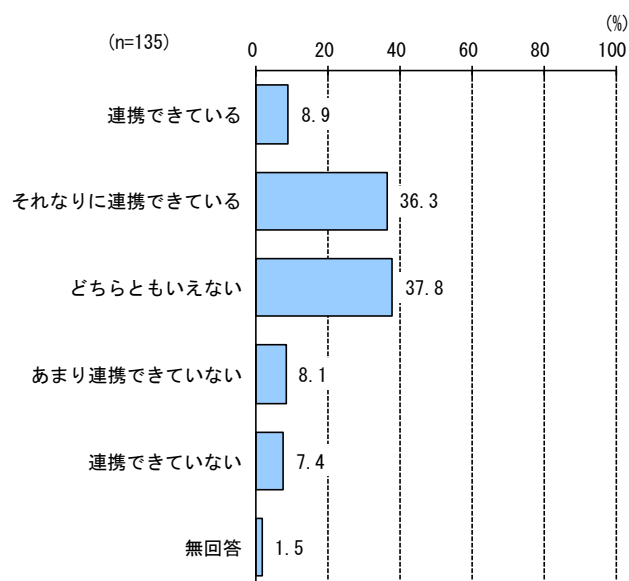
(3) 虐待事例の早期発見と報告

- 虐待事例の早期発見と報告について、「それなりに連携できている」「どちらともいえない」が37.0%で最も多く、「連携できている」が12.6%、「あまり連携できていない」「連携できていない」が5.2%となっています。



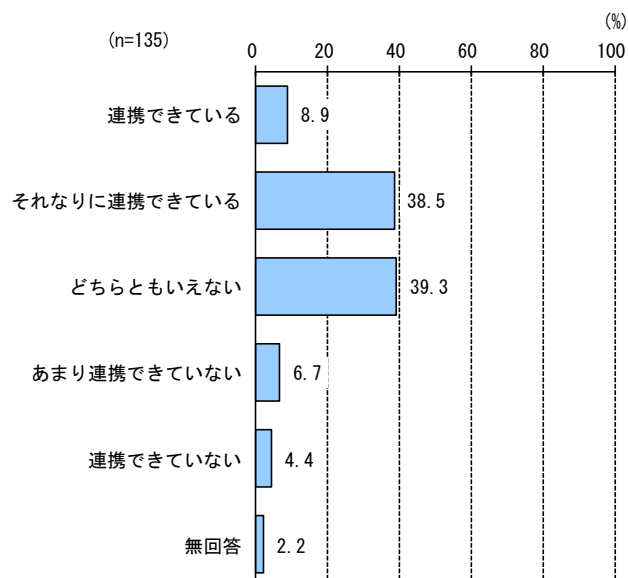
(4) 資質向上に向けた研修

- 資質向上に向けた研修について、「どちらともいえない」が37.8%で最も多く、「それなりに連携できている」が36.3%、「連携できている」が8.9%となっています。



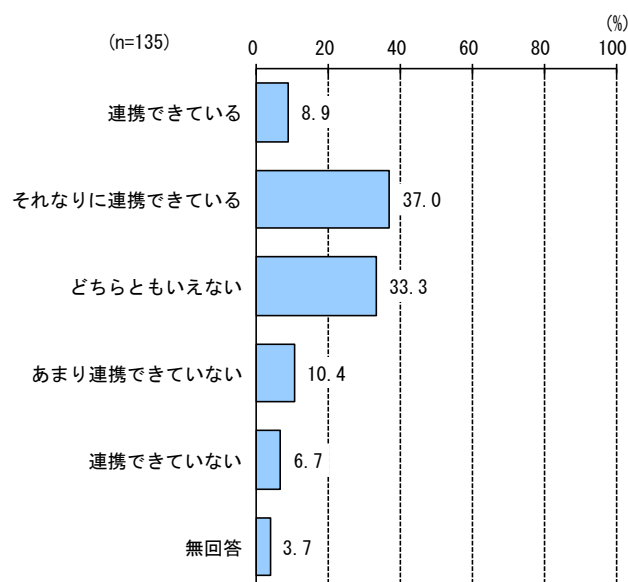
(5) 地域や関係機関との調整・ネットワーク作り

- 地域や関係機関との調整・ネットワーク作りについて、「どちらともいえない」が39.3%で最も多く、「それなりに連携できている」が38.5%、「連携できている」が8.9%となっています。



(6) 医療機関との調整

- 医療機関との調整について、「それなりに連携できている」が37.0%で最も多く、「どちらともいえない」が33.3%、「あまり連携できていない」が10.4%となっています。



- 問9 地域包括支援センターの役割について、貴事業所が日頃の業務を行うなかで感じていることを、ご自由にお書きください。

居宅へ利用者を紹介していただいています。大変ありがたく感じています。
地域密着型サービス運営推進会議へ出席頂き、自治会、家族様とのかかわりを持って頂き、大変感謝しています。
地域包括で働かれている方々も担当ケース数が多く利用者の相談支援に留まってしまっているように感じますが、本来の役割とは少し違うのではないかと感じます。
この地域に限ったことではないが、ケアマネジャー自身が、医療系の知識が乏しい為、一般論で介護・介護予防の実体を見がちである。
包括支援センター主体の研修等に参加させて頂いております。ボランティアの要請等でも利用させて頂いております。当事業所が北脇にあり、大塩（姫路）も近いので、大地的包括支援センターとも連携させて頂いております、行方不明者の情報等が流れてきます。
プラン数が多いのか、利用者に関わりが薄い感じがする。
業務時間外にトラブルがある事が多いので、対応窓口などあればありがたいと思う。
軽度認知症や家族のフォローや理解が十分でない要支援の方がおられる中で地域包括支援センターの方が、身近な相談窓口として協力して下さっていると感じています。
困難事例への対応が、警察からの要望等に対して大変な時があると思う。いつでも対応するのは限度があるのではと思う。特に家族がいない利用者に対して。
当法人も地域包括の委託を受けている為、その連携はできているが、全体的な連携はとりづらい実情がある様に思われる。包括のマンパワーが少ないと思われる。
市外（姫路市）ですが、いつも情報提供、研修へのお誘いをして下さいました。
総合事業を受けていない為、あまり関心が少ないです。虐待の疑いがある場合でも、今まで、ケアマネジャーとのやりとりで解決できていたので、正直分かりません。
地域包括支援センターは行政と要介護者、事業所をつなぐ窓口だと思います。行政の動きが見えにくい。現場まで情報が伝わりにくく、周知が遅くなっているように思います。
年6回の運営推進会議で顔馴染みの関係ができ、地域の情報の共有、相談をしやすくなったと感じています。
要支援の方の訪問をしています居宅介護支援センターのケアマネジャーとの関わりはありますが、地域包括支援センターの方とは、お会いした事はありません。
必要時、問い合わせがある。相談の連絡をすると対応してくれるため困っていない。一度相談すると、問い合わせはないが内容が把握されている。
困難ケースは一緒に関わってもらいたい。
いろんな困難なケースを対応されていると聞き、大変な業務だと思っています。地域でサービスを知らないままの方への支援や私達事業所への紹介等つなげて頂き助かっています。重要な役割をされていると思います。
デイサービスを利用されている方は、支援センターで何が行われていて、何をやる所なのかもご存じない方もおられるので、もう少し、施設としてどういった役割のある場所なのかが広まればいいなと思う
事業所として身近な相談しやすい所とはあまり感じていないのでわからない。

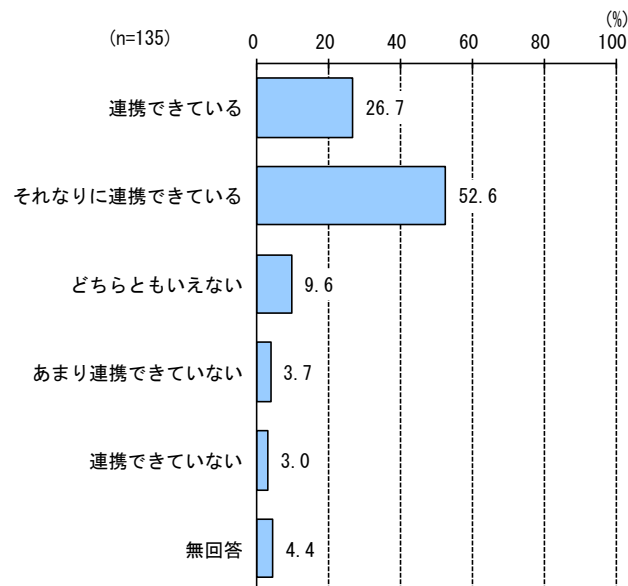
日曜、祝日等に連絡がつかない。
事業所の特徴にあわせて利用者の相談をいただいているので、さらに利用者のニーズに対応できるようにサービスの向上に努めリハビリ事業所として連携していきたい。
介入をお願いしたケースの経過報告をいただきたい。
地域の保健教室やサロンなどを通じて介護予防に取り組まれていると思います。要支援の方々の様々な相談を受け支援されていると思います。
困り事を一緒になって相談、聞いてもらえる頼りになる存在です。
困難事例への対応。相談に乗っていただき、サービスとの連携を取らせて頂きます。
要支援者への対応が不十分と感じています。介護認定結果が利用者の意にそぐわない場合も直で不服申し立てではなく、理由等しっかり説明していただきたいと思います。
日頃から対面でお世話になっております。 高齢者の方の生活上の困ったことに対して常に総合的に相談に乗ってくださる場として心強いです。
何か問題がなければ関わる事が少ないので定期的に連携が出来たらと思います。
困難事例が発生した場合、利用者との間に入っていただく事で助言していただいた事がありました。
職員により対応が親切・丁寧であったり、直接本人や家族への確認を依頼されたりすることがある。 事業所に対して利用者ニーズを一方的に主張されサービスの受け入れを要求されることがある。
地域の窓口
時間外の連絡が取れない。対応に困る事がある。
認知症カフェのネットワーク作りで地域包括は話し合う機会が多いがその他は特にはない。地域の民生委員さんが「こんな人がいて」と相談によく来るが地域包括に相談してみたらどうかとよく投げかけている。
土日完全に休みなのが不便な時がある。
現在、高砂の地域包括支援センターとのやり取りがないため何とも言えません。
地域密着型サービスの為、関わる機会は少なくとも2か月毎にあります。ただ従業員が地域包括支援センターの業務や役割を理解していない点があり、十分な連携ができているとは言い難い状況です。
ケアマネの方々と関わる事が多いなか、とてもスムーズに連携が取れ助かっている。困難事例などの対応も早く行動して下さり、ありがたいです。
虐待ケースや困難事例への対応の際、更なる密な連携が必要と思われます。
地域高齢者の見守り、行方不明者の SOS ネットワーク事業の充実などありがとうございます。サービス事業所としても行政が関わってくださる事は大変心強く感じています。
どのような活動、行動をしているのか分からない事がある。
土・日・祝が休みなのも困ります。
地域包括の役割が多岐にわたりすぎており、なんでも相談というのは逆に専門性が低くなるような気がします。
地域包括はいろんな面での相談窓口なので、連携とれる体制を作ってほしいです。
市民の立場をよく見ていると思う
ケースの相談など市外のため連携がとりにくい。依頼もない
総合事業を 2019 年より開始したので要支援の高齢者をもっと紹介してほしいです。

② 多様な関係者との連携状況

●問 10 貴事業所では、業務を実施するうえで、次の関係者とどの程度連携できていると思いますか。((1)～(5)それぞれ1つずつ)

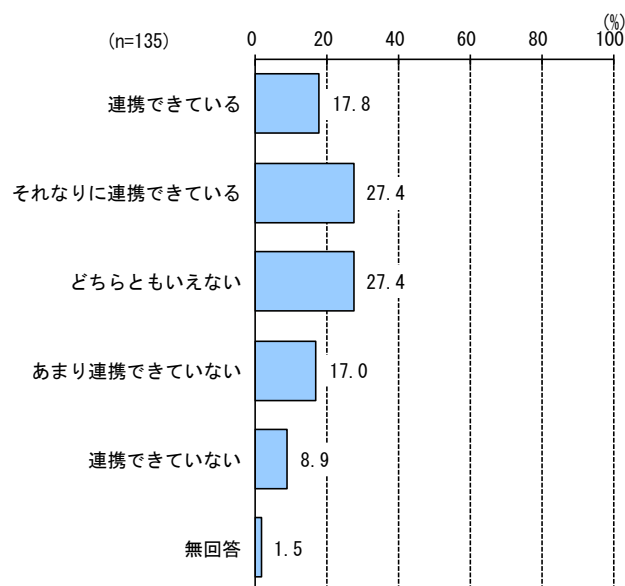
(1) サービス提供事業所

○ サービス提供事業所について、「それなりに連携できている」が52.6%で最も多く、「連携できている」が26.7%、「どちらともいえない」が9.6%となっています。



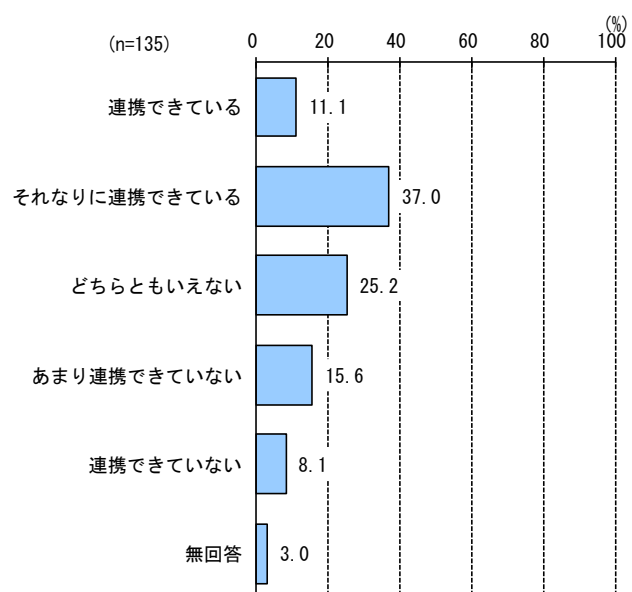
(2) 医療機関（主治医）

○ 医療機関（主治医）について、「それなりに連携できている」「どちらともいえない」が27.4%で最も多く、「連携できている」が17.8%、「あまり連携できていない」が17.0%となっています。



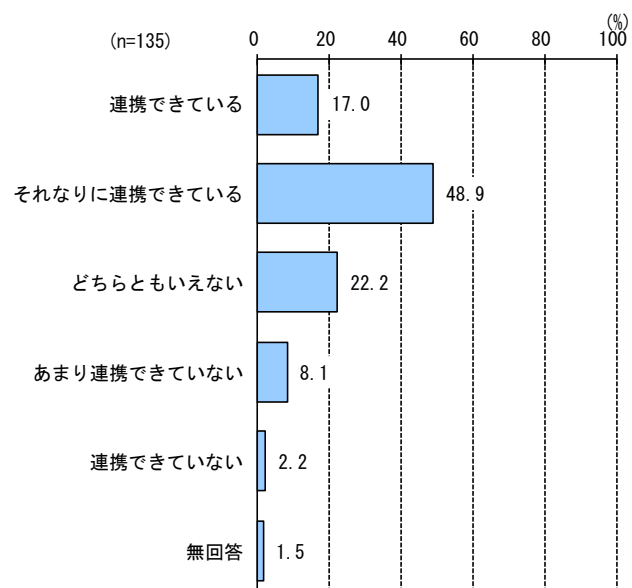
(3) 医療機関（MSW）

○ 医療機関（MSW）について、「それなりに連携できている」が37.0%で最も多く、「どちらともいえない」が25.2%、「あまり連携できていない」が15.6%となっています。



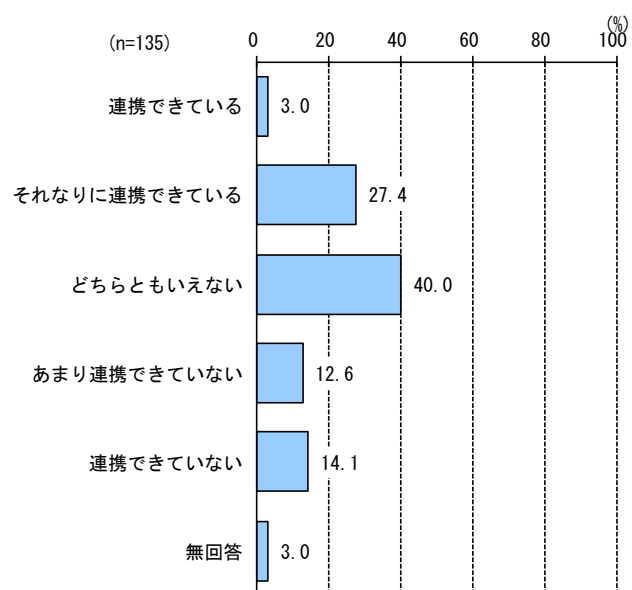
(4) 地域包括支援センター職員

○ 地域包括支援センター職員について、「それなりに連携できている」が48.9%で最も多く、「どちらともいえない」が22.2%、「連携できている」が17.0%となっています。



(5) 高砂市職員

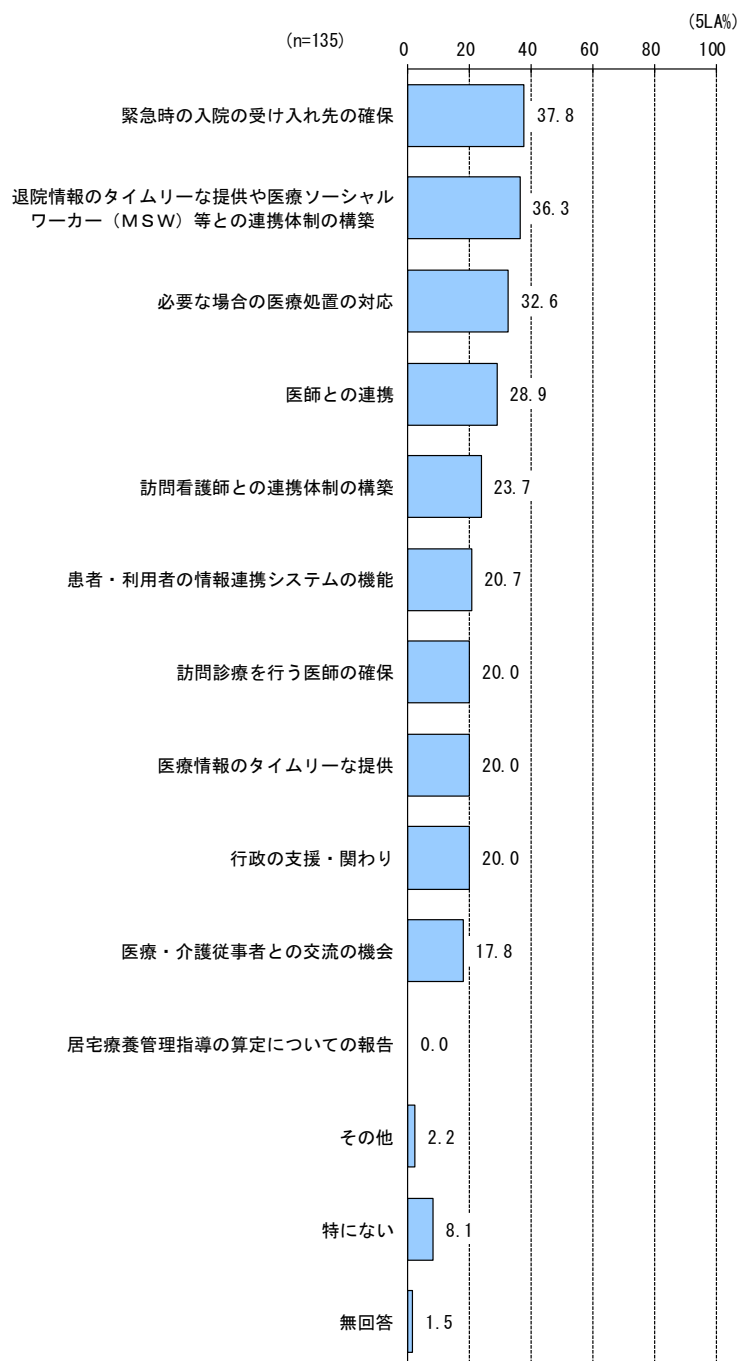
○ 高砂市職員について、「どちらともいえない」が40.0%で最も多く、「それなりに連携できている」が27.4%、「連携できていない」が14.1%となっています。



③ 医療との連携において必要なこと

●問 11 貴事業所では、医療連携でどのような面を充実させるべきと感じていますか。（5つまで）

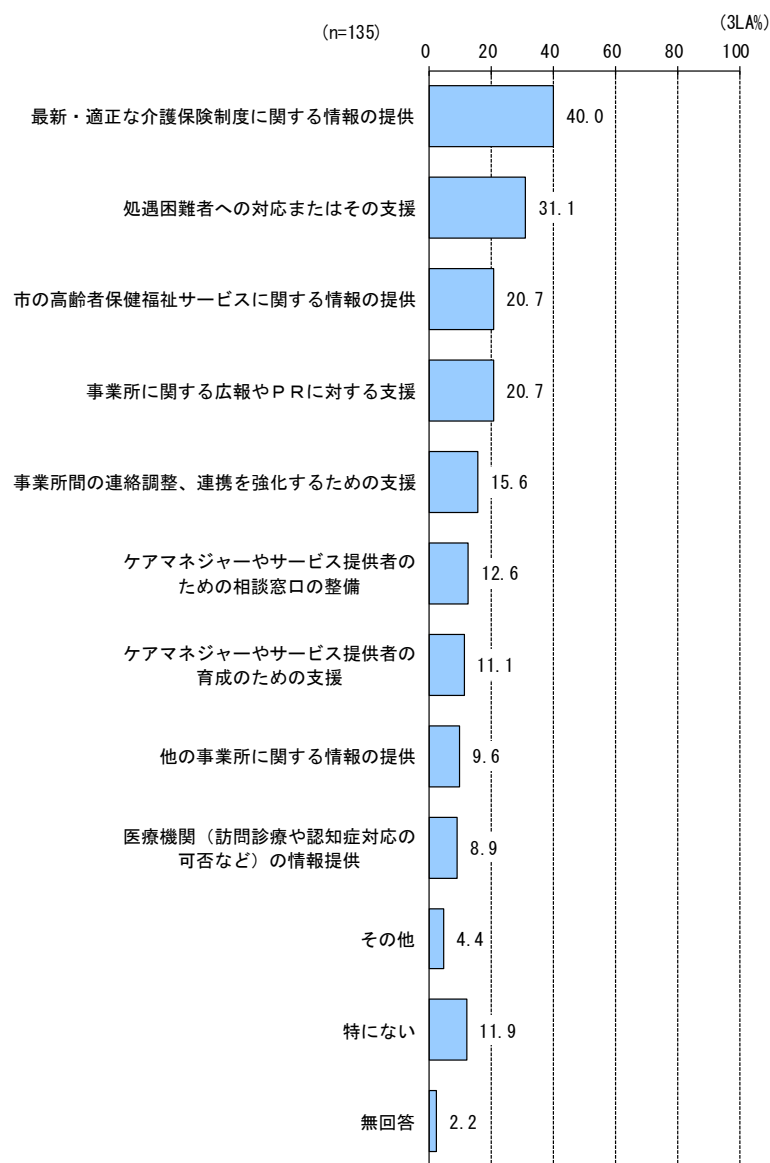
○ 充実させるべき医療連携について、「緊急時の入院の受け入れ先の確保」が37.8%で最も多く、「退院情報のタイムリーな提供や医療ソーシャルワーカー（MSW）等との連携体制の構築」が36.3%、「必要な場合の医療処置の対応」が32.6%となっています。



④ 市との連携における要望

●問 12 事業を行ううえで、高砂市に対する要望はありますか。（3つまで）

○ 高砂市への要望について、「最新・適正な介護保険制度に関する情報の提供」が40.0%で最も多く、「処遇困難者への対応またはその支援」が31.1%、「市の高齢者保健福祉サービスに関する情報の提供」「事業所に関する広報やPRに対する支援」が20.7%となっています。



⑤ ケアマネジャーとの連携における課題

●問 13 貴事業所において、ケアマネジャーとの連携やケアプランについて、課題と感ずることはありますか。(いくつでも)

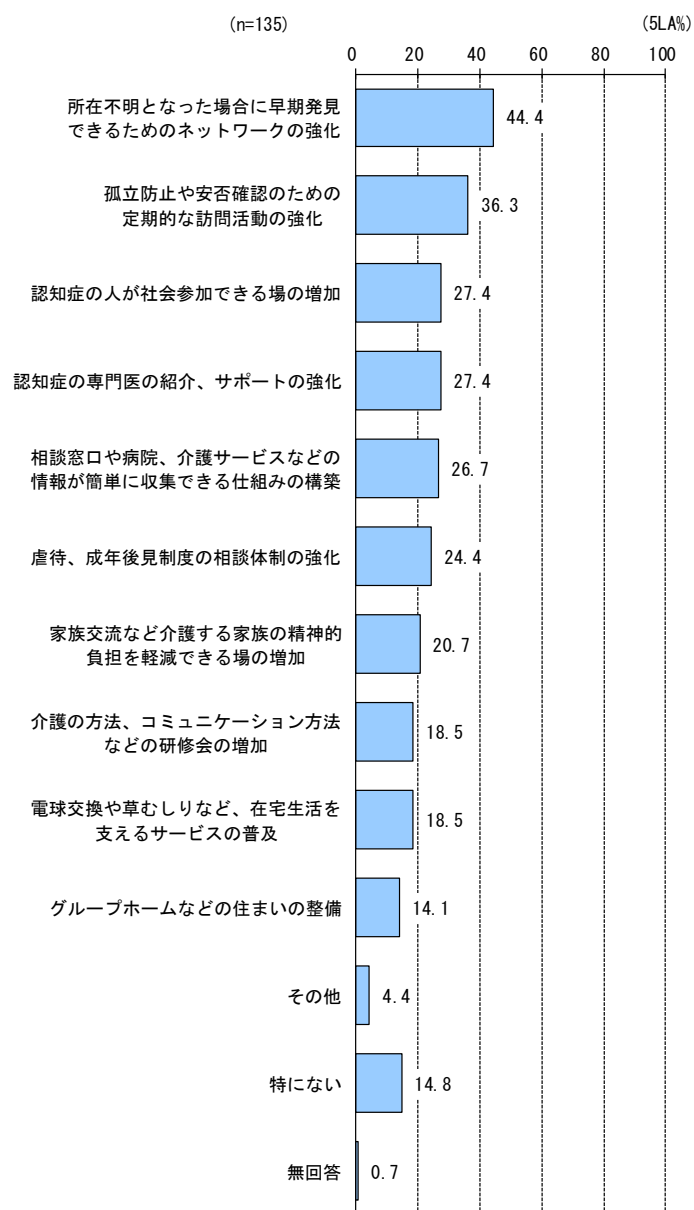
- ケアマネジャーとの連携やケアプランの課題について、「特にない」が 52.6%で最も多く、「自立支援という視点に立ったプランとなっていない」が 14.1%、「ケアマネジャーの利用者への訪問・連絡が不十分」「利用者の変化やニーズについて対応が遅い」が 13.3%となっています。



(5) 認知症施策について

●問 14 貴事業所が考える、高砂市の認知症施策に必要と思うことは何ですか。(5つまで)

- 高砂市の認知症施策で必要なことについて、「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワークの強化」が44.4%で最も多く、「孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動の強化」が36.3%、「認知症の人が社会参加できる場の増加」「認知症の専門医の紹介、サポートの強化」が27.4%となっています。



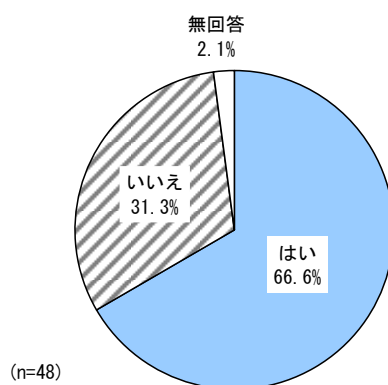
3. 訪問介護事業所・訪問看護事業所に対する設問

(1) 従事者の安全確保

① 利用者からの暴力・暴言・ハラスメント等の被害経験

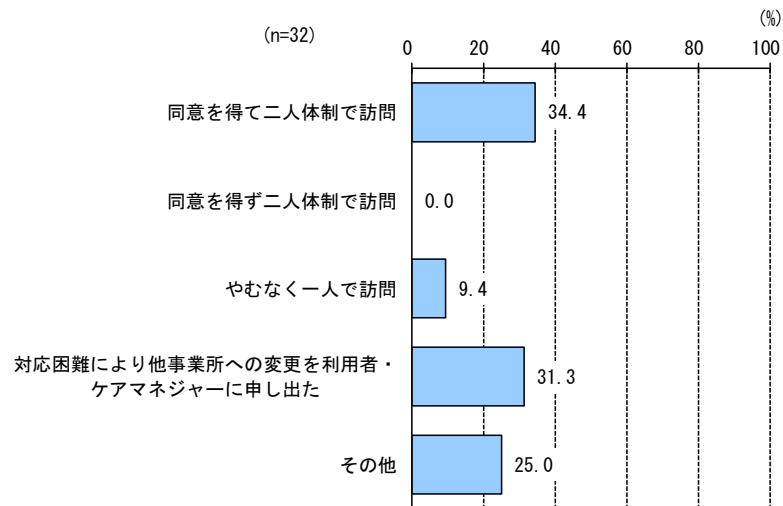
●問 16 貴事業所の従業員が利用者からの暴力・暴言・ハラスメント等の被害に遭ったことはありますか。

○ 利用者からの暴力・暴言・ハラスメント等の被害に遭った経験について、「はい」が 66.6%、「いいえ」が 31.3%となっています。



●問 16-1 その時の主な対応はどうしましたか。

○ その時の主な対応について、「同意を得て二人体制で訪問」が 34.4%で最も多く、「対応困難により他事業所への変更を利用者・ケアマネジャーに申し出た」が 31.3%となっています。



その他の回答

市に相談した。

従業員を変更する（訪問日数を減らす）。

ケアマネジャーには報告。すぐに利用者宅に訪問して対処して下さいました。

利用者、家族の理解、対応による。

男性ヘルパーへ交代。

法人内で記録による情報共有を行った。記録を残すという重要性を法人全体で再認識した。

家族、ケアマネジャーと話し合う。

他事業が暴力・暴言があり事業所変更でサービスを受けました。苦情があり現在は終了しています。

② 二人体制での訪問における加算相当額助成制度について

●問 17 当市では訪問介護員・訪問看護師の安全確保・離職防止のために、同意を得られなかった二人体制での訪問について介護報酬上の二人訪問加算が適用されない場合、加算相当額の一部を助成する制度を検討しています。貴事業所のご意見をお聞かせください。

やむを得ない理由で訪問する場合もあるため前向きに検討して頂ければ助かります。
二人訪問加算が適用できるよう第三者評価から判断するなど難しいですか？現状は事業所努力であったり、利用継続を検討して頂くようケアマネジャーに相談する等されている事業所が多いと思いますが、助成制度はありがたいと思います。
訪問してサポートしなければならない側からすると、ありがたい制度と思います。事業所によっては、スタッフの人数が多くはないので、そこで2人訪問するとなるとコスト面でも厳しい。何よりスタッフの安全の為に二人体制が取れるという事が重要と考えます。
早くからそのような制度を検討して頂ければ訪問に行く事が恐いとか離職を考えずに続けれた方も一杯いらっしゃると思われます。
ケースがありません。
是非導入して欲しい。
ありがたいです。
暴力・暴言・ハラスメントの利用者対応として二人体制で入る体制をお願いしたいです。同意が得られなかった場合、市の助成制度の検討をお願いします。
それはありがたいです。暴言とまではいかないが、ヘルパーが嫌な思いをして、サービスに行っている所もあり、今は、ケアマネも含めて話し合い、対応しているが、これから解決できない事ができた場合、どうしたらよいか悩むことはあります。地域の役割や事例を持ち入れた研修等開いて頂けると嬉しいです。
ありがたいです。
こういう制度があれば助かると思いますが、離職防止につながるかは疑問。
暴力、暴言、ハラスメント以外の体重や病状、安全面による二人介助が必要な方もいる。介護員の腰痛や精神的負担は大きい。訪問サービスは家族様が必ずいるわけではないので検討中の段階で幅を広げてほしい。
介護員を身体的・精神的に守るため、二人体制を実施するのはとても良いと思う。しかし、助成は一部ではなく、全額としてほしい。
勝手な解釈でなくきちんとルールを作り不正請求を防ぐ。
助成制度に対しては評価したいと思います。ただ本来は必要な二人体制訪問であれば介護保険での報酬が基本である為、同意が得られるようなかわり体制を強化していく必要があると考えます。
続けて欲しいです。
安全確保のための複数名訪問は必要だと思います。同意が得られないとき、加算をとれないので加算相当額の一部を助成する制度はいいと思います。事業所自体も1/3負担しないといけないとお聞きしたのですが、その仕組みはどうなっているのでしょうか。
訪問者を守る為に、安心できる制度だと思います。

当ステーションで、現在まで該当する事例はありませんが、今後このような状況に直面する事もあると思われ、この制度が使えるようになればありがたい。
加算や助成金をいただく手続きは手間暇が多く、二人訪問の件を避けたくなくと思います。
同意を得られなくても二人訪問加算が適応になれば、もっと安心して仕事が出来、スタッフのやる気、継続につながると思う。助成を受ける仕組みがシンプルでなければ制度だけ作っても実績につながらないので、複雑化して机上の制度にならないようにして欲しい。
助成制度が実現するように進めて下さい。
現在困ったプランはありませんが、そのような制度があればいいと思います。
加算相当の一部では、今後大変で2人体制の依頼があっても受けるかどうかを考えて断る事もある。
人材不足という点がありますが、助成制度ができることにより、対応しやすくなると考えます。
とてもありがたいです。同意をして下さる方は基本、暴力・暴言等はほとんど無いです。暴力・暴言がある方は同意もして下さるという事はほぼ無理です。
サービスに入りやすくなるため、前向きに検討して頂きたいです。
在宅で1対1の訪問がほとんどで、今後危険を伴う事は、これから多々あると思うので、職員の安全制を考えた対応は必要だと思えます。安全確保をしないと訪問をする職員は減ってくると思えます。

第4章

ケアマネジャー調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、「高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画（第8期）」の見直しを行うにあたり、介護支援専門員の皆様の現状について把握し、今後の高砂市の高齢者福祉計画及び介護保険事業計画のための基礎資料とするために実施しました。

(2) 調査の実施について

調査名	高砂市これからの介護保険のための調査（ケアマネジャー調査）
対象者	市内及び市が介護予防ケアマネジメントを委託している居宅介護支援事業者のケアマネジャー
実施期間	令和2年2月6日（木）～2月21日（金）
実施方法	郵送配布、郵送調査

(3) 配布件数及び有効回答件数・回答率

	配布数	有効回答数	有効回答率
全体	78 件	78 件	100.0%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りです。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数を指します。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）、5LA（5 Limited Answer＝5つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

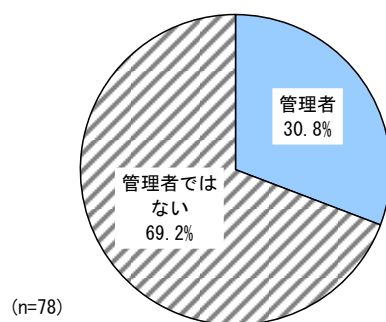
2. 回答者について

(1) 回答者の属性

① 役職・年齢について

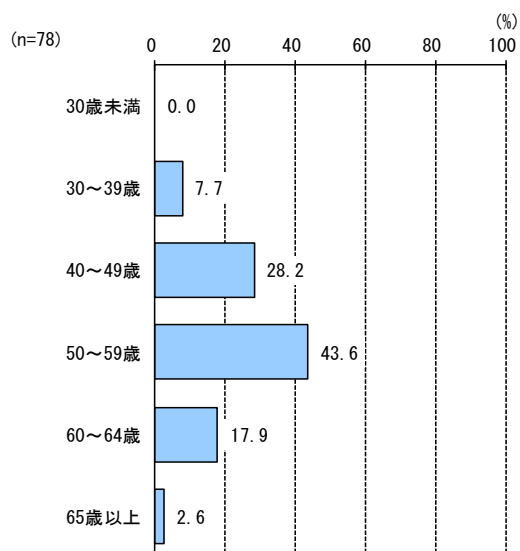
●問1 あなたの役職を教えてください。(1つだけ)

○ 回答者の役職について、「管理者」が30.8%、「管理者ではない」が69.2%となっています。



●問2 あなたの年齢を教えてください。(1つだけ)

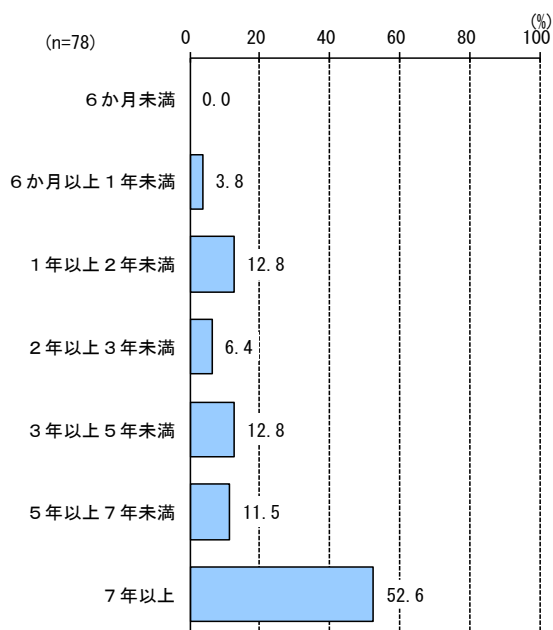
○ 回答者の年齢について、「50～59歳」が43.6%で最も多く、「40～49歳」が28.2%、「60～64歳」が17.9%となっています。



② 勤務状況等について

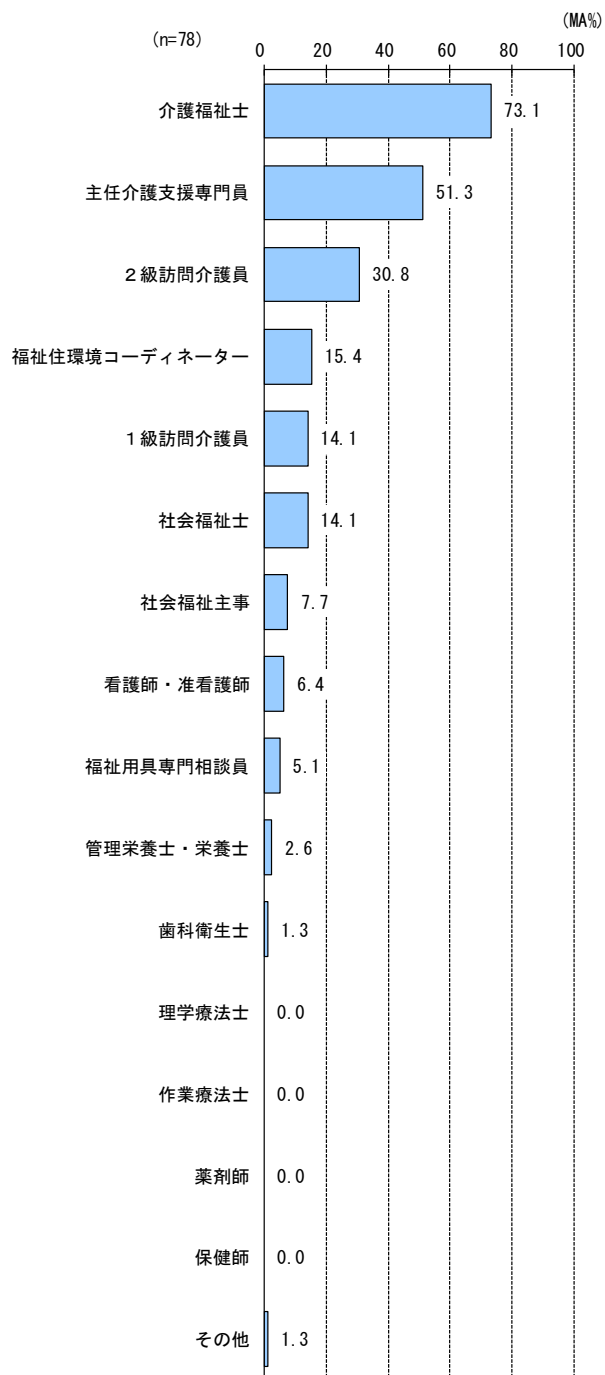
●問3 あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。前職なども含めた合計期間でお答えください。（1つだけ）

○ 回答者の経験年数について、「7年以上」が52.6%で最も多く、「1年以上2年未満」「3年以上5年未満」が12.8%、「5年以上7年未満」が11.5%となっています。



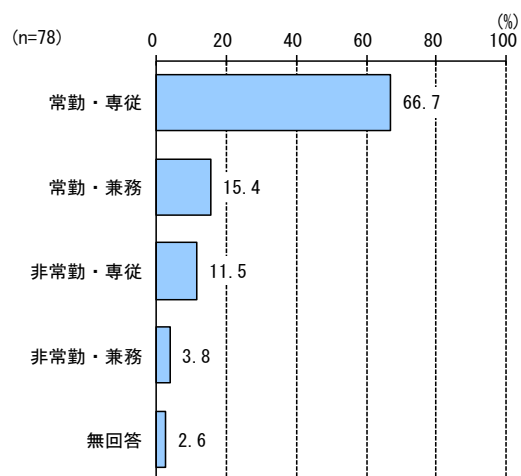
●問 4 あなたは、どのような保健・医療・福祉関係の資格をお持ちですか。(いくつでも)

○ 回答者の資格について、「介護福祉士」が73.1%で最も多く、「主任介護支援専門員」が51.3%、「2級訪問介護員」が30.8%となっています。



●問 5 あなたの現在の勤務形態は、次のうちどれですか。(1つだけ)

○ 回答者の勤務形態について、「常勤・専従」が66.7%で最も多く、「常勤・兼務」が15.4%、「非常勤・専従」が11.5%となっています。

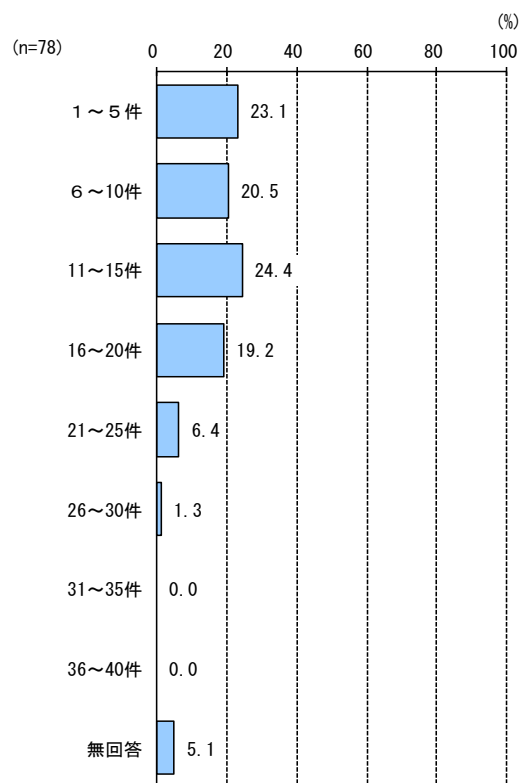


(2) 担当しているケアプランについて

●問 6 令和2年1月1日現在、何件のプランを担当していますか。

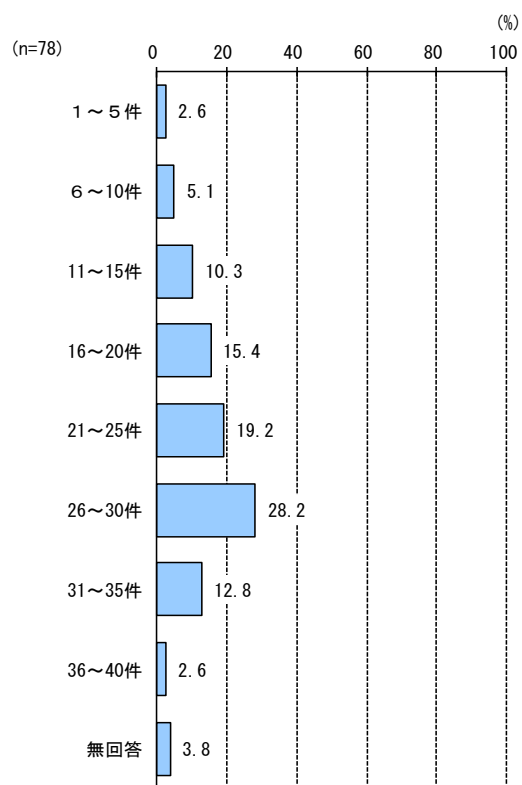
(1) 予防プラン

○ 予防プランについて、「11～15 件」が 24.4%で最も多く、「1～5 件」が 23.1%、「6～10 件」が 20.5%となっています。



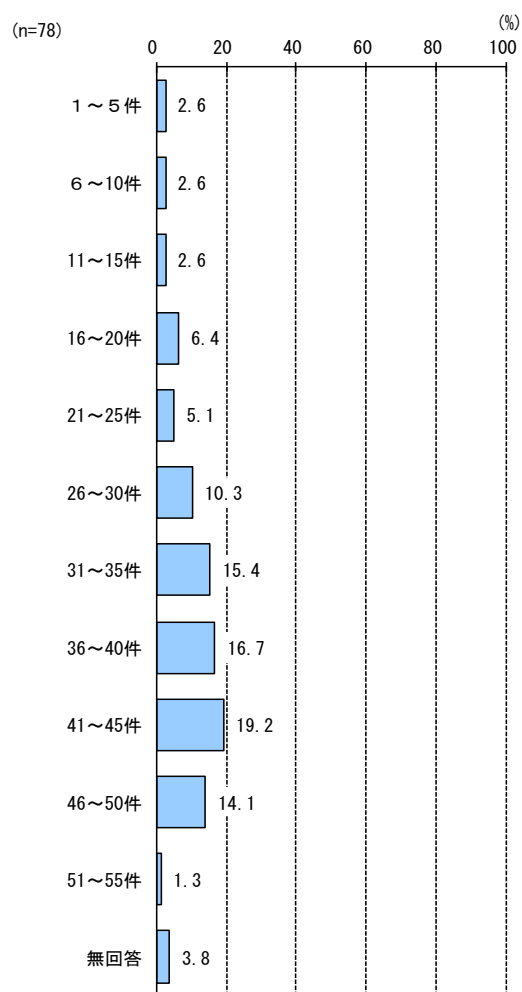
(2) 介護プラン

○ 介護プランについて、「26～30 件」が 28.2%で最も多く、「21～25 件」が 19.2%、「16～20 件」が 15.4%となっています。



(3) 予防プラン+介護プラン

○ 予防プラン+介護プランについて、「41～45 件」が 19.2%で最も多く、「36～40 件」が 16.7%、「31～35 件」が 15.4%となっています。

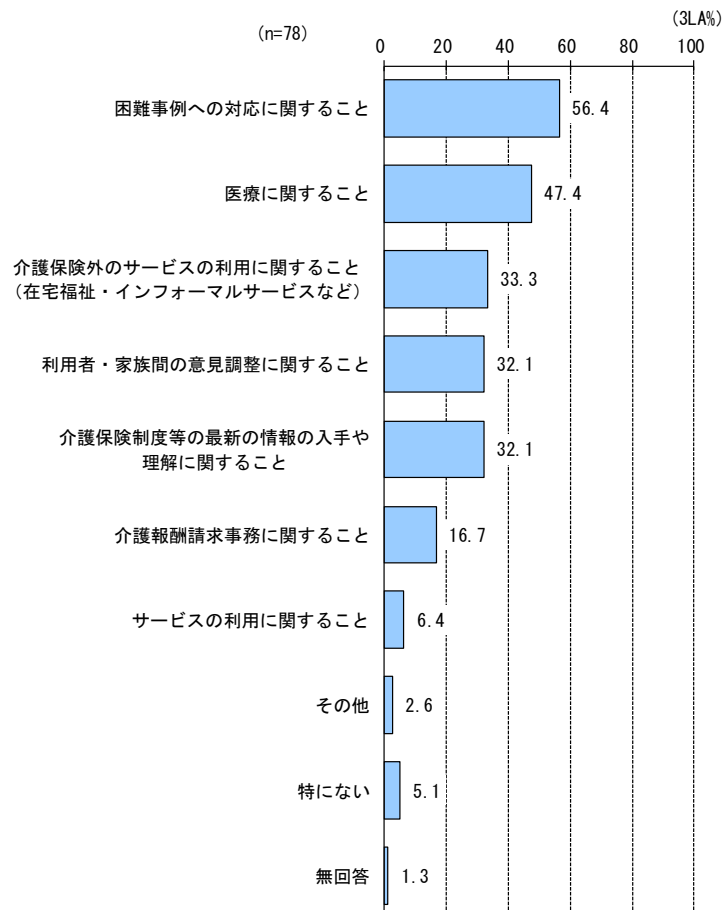


3. 業務について

(1) わからないことや困ったこと

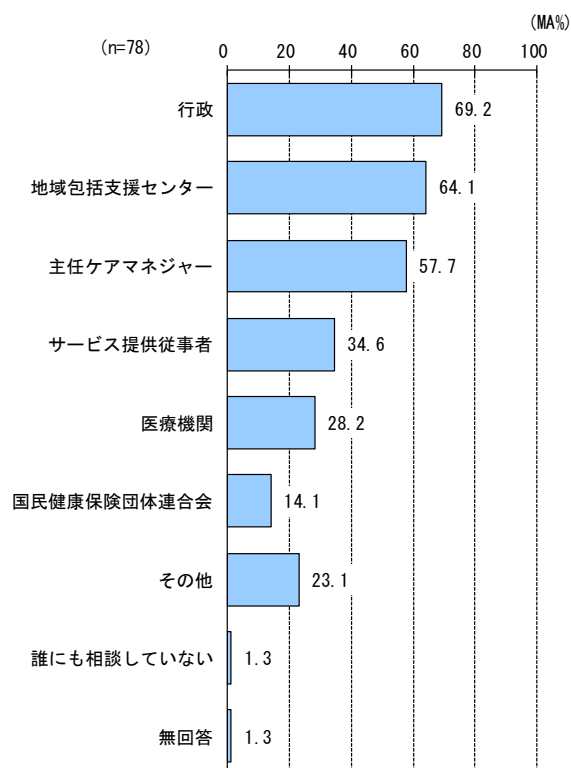
●問7 業務上、わからないことや困ったことは何ですか。(3つまで)

○ わからないことや困ったことについて、「困難事例への対応に関すること」が56.4%で最も多く、「医療に関すること」が47.4%、「介護保険外のサービスの利用に関すること（在宅福祉・インフォーマルサービスなど）」が33.3%となっています。



●問8 わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。(いくつでも)

○ わからないことや困ったことの相談相手について、「行政」が69.2%で最も多く、「地域包括支援センター」が64.1%、「主任ケアマネジャー」が57.7%となっています。

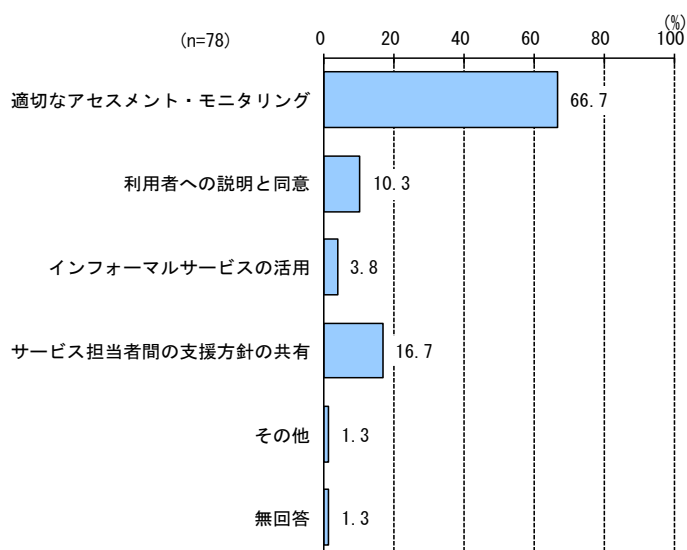


(2) ケアマネジャーとしての考え

① ケアマネジャーの役割

●問9 自立支援・重度化防止を進めるために、ケアマネジャーの役割として最も重要と思われることは何ですか。(1つだけ)

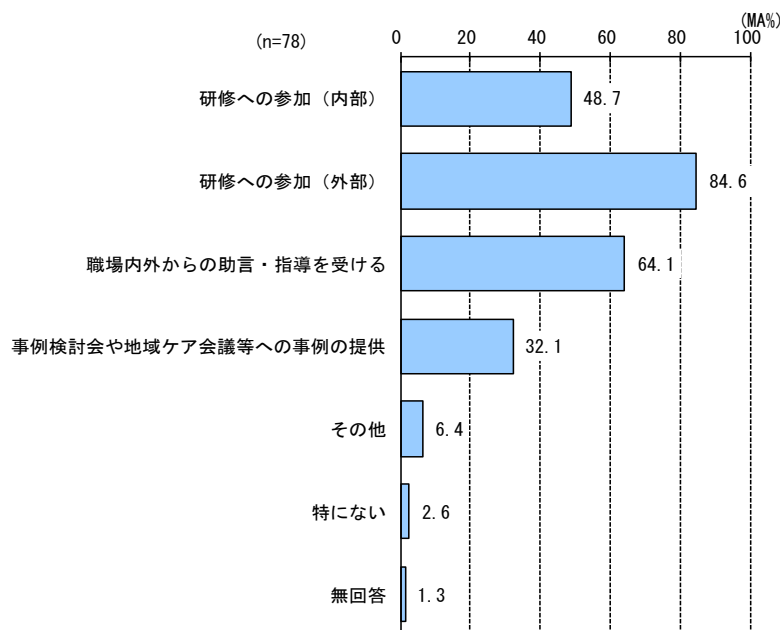
○ 自立支援・重度化防止のためのケアマネジャーの重要な役割について、「適切なアセスメント・モニタリング」が66.7%で最も多く、「サービス担当者間の支援方針の共有」が16.7%、「利用者への説明と同意」が10.3%となっています。



② レベルアップのための取り組み

●問 10 あなたは、自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在、どのような取り組みを行っていますか。(いくつでも)

○ ケアマネジャー業務のレベルアップのための取り組みについて、「研修への参加（外部）」が 84.6%で最も多く、「職場内外からの助言・指導を受ける」が 64.1%、「研修への参加（内部）」が 48.7%となっています。



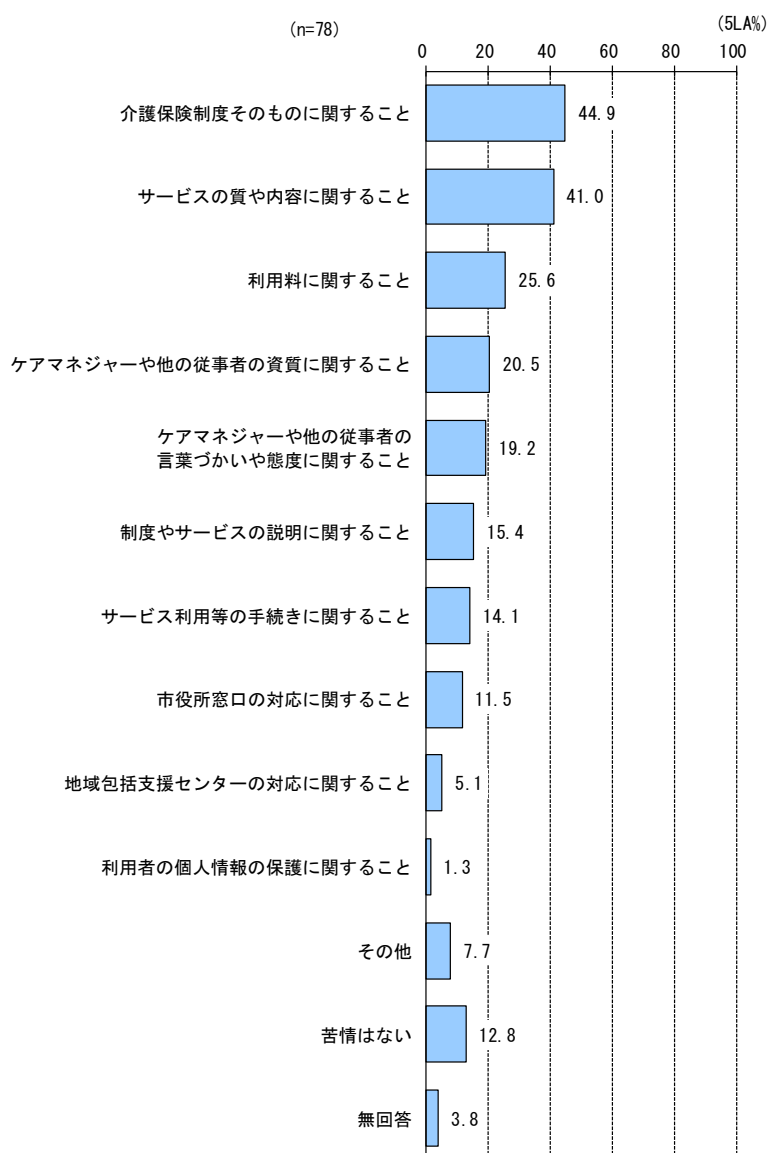
●問 11 あなたは、自分自身の業務のレベルアップのために今後どのような支援や環境が必要と思われますか。ご自由にお書きください。

資格のとりやすい環境
分からないことを気軽に相談できる環境
研修講師や事例検討会のスーパーバイザーとしての評価基準と業務との関連性を言語化して自身の中に蓄積されたものをより業務の中に還元できるような環境
定期的な研修の開催や事例検討会の開催、他職種との情報交換、相談ができる場所
利用者、制度の情報収集の為、外部との関わり
地域に根ざしたローカルインフォーマルサービス情報の提供
事務処理の時間を減らす工夫
シルバー産業新聞が提供され、最新の情報が得られているが地域の身近な、最新の情報が得られたらよい
医師との連携や他職種との勉強会

(3) 利用者や家族からの苦情について

●問 12 利用者や家族からあげられる苦情の内容としては、こういったものが多くありますか。(5つまで)

○ 利用者や家族からの苦情について、「介護保険制度そのものに関すること」が44.9%で最も多く、「サービスの質や内容に関すること」が41.0%、「利用料に関すること」が25.6%となっています。

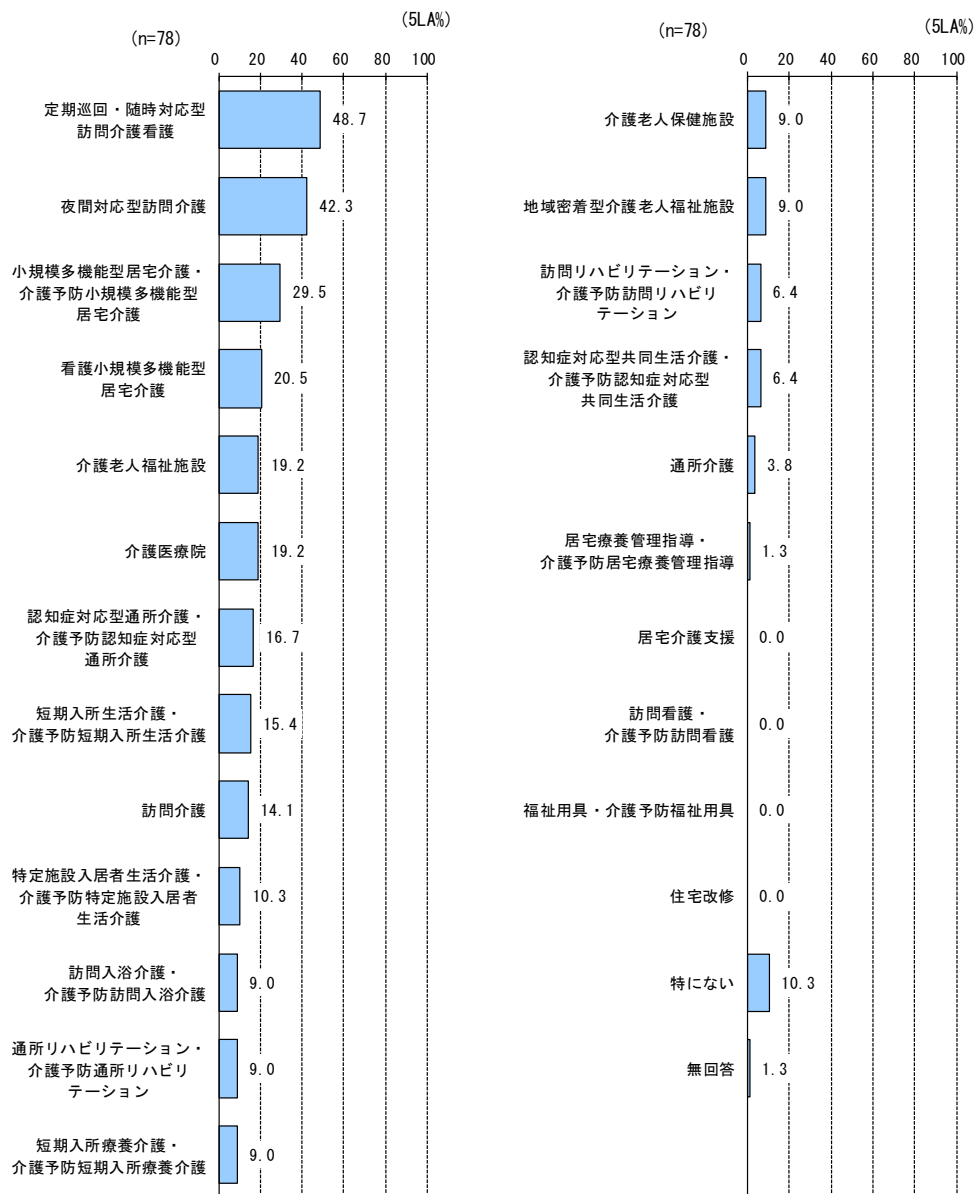


4. 高砂市のサービスについて

(1) 不足している介護保険サービス

●問 13 高砂市に特に不足していると感じるサービスはありますか。(5つまで)

○ 高砂市に不足しているサービスについて、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が48.7%で最も多く、「夜間対応型訪問介護」が42.3%、「小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護」が29.5%となっています。



(2) サービスの利用希望と充実の必要性

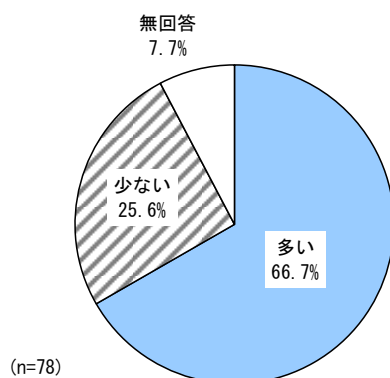
① 総合事業サービス

●問 14 高砂市の総合事業サービスについて、被保険者（家族含む）の利用希望が「1. 多いサービス」、「2. 少ないサービス」のどちらかを選び、またサービスが「3. 充実している」、「4. 充実させるべき」と思うものを、あてはまる欄に○で記入してください。

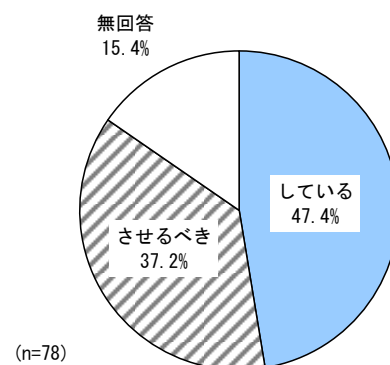
(1) 訪問介護相当サービス 利用希望・充実度

- 訪問介護相当サービスの利用希望について、「多い」が 66.7%、「少ない」が 25.6%となっています。
- 充実度は、「している」が 47.4%、「させるべき」が 37.2%となっています。

【利用希望】



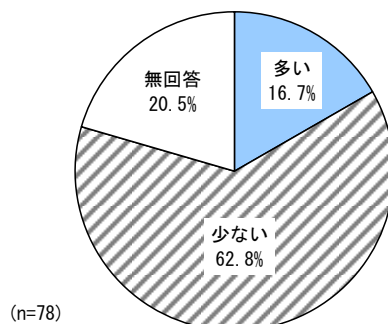
【充実度】



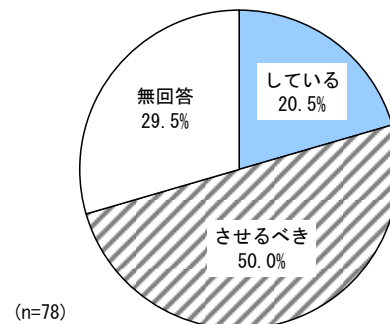
(2) 訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス） 利用希望・充実度

- 訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）の利用希望について、「多い」が 16.7%、「少ない」が 62.8%となっています。
- 充実度は、「している」が 20.5%、「させるべき」が 50.0%となっています。

【利用希望】



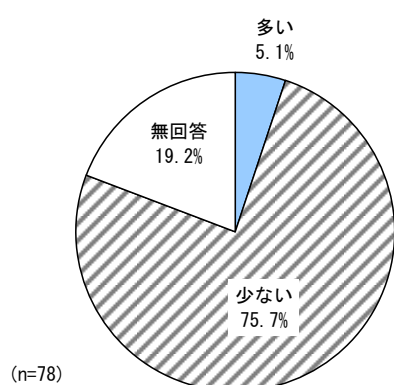
【充実度】



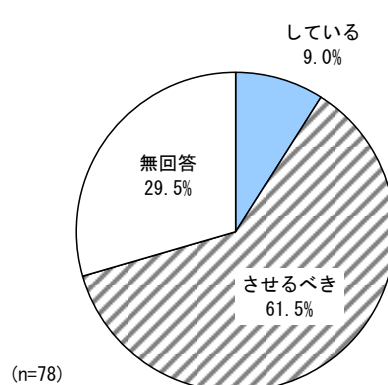
(3) 訪問型サービスB（住民主体による支援） 利用希望・充実度

- 訪問型サービスB（住民主体による支援）の利用希望について、「多い」が5.1%、「少ない」が75.7%となっています。
- 充実度は、「している」が9.0%、「させるべき」が61.5%となっています。

【利用希望】



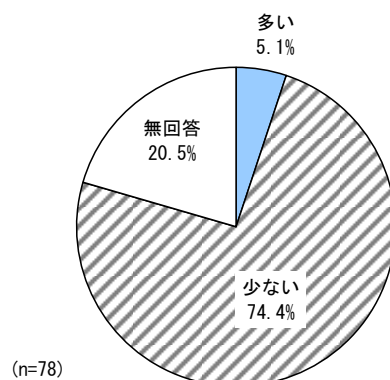
【充実度】



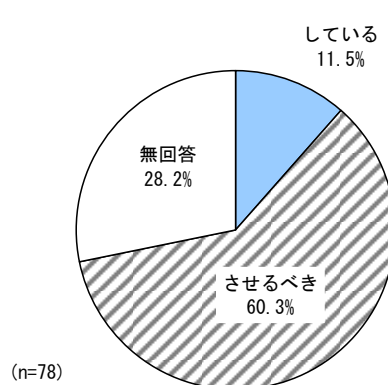
(4) 訪問型サービスC（短期集中予防サービス） 利用希望・充実度

- 訪問型サービスC（短期集中予防サービス）の利用希望について、「多い」が5.1%、「少ない」が74.4%となっています。
- 充実度は、「している」が11.5%、「させるべき」が60.3%となっています。

【利用希望】



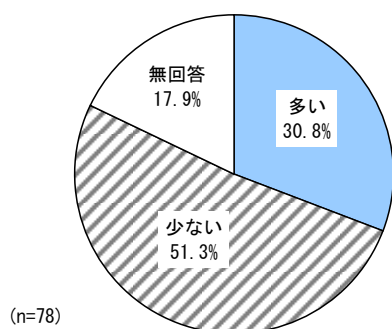
【充実度】



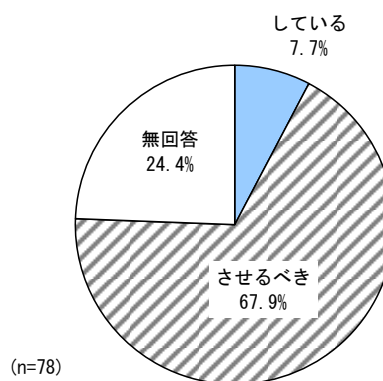
(5) 訪問型サービスD（移動支援） 利用希望・充実度

- 訪問型サービスD（移動支援）の利用希望について、「多い」が30.8%、「少ない」が51.3%となっています。
- 充実度は、「している」が7.7%、「させるべき」が67.9%となっています。

【利用希望】



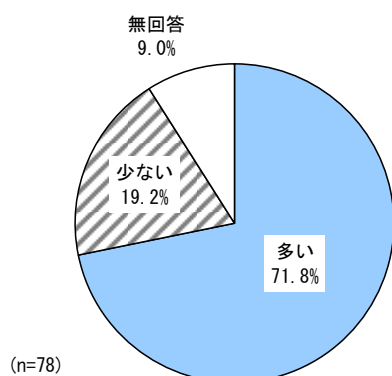
【充実度】



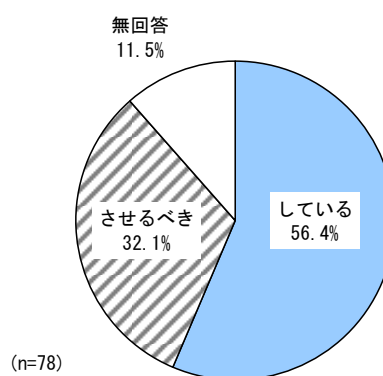
(6) 通所介護相当サービス 利用希望・充実度

- 通所介護相当サービスの利用希望について、「多い」が71.8%、「少ない」が19.2%となっています。
- 充実度は、「している」が56.4%、「させるべき」が32.1%となっています。

【利用希望】



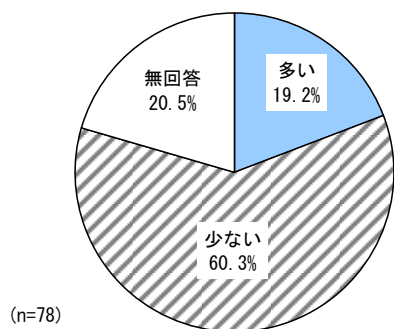
【充実度】



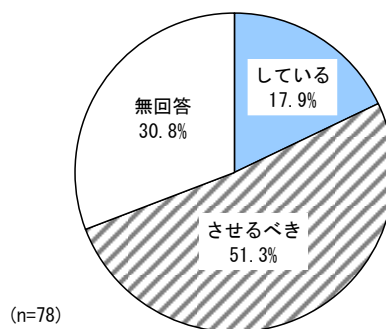
(7)通所型サービスA（緩和した基準によるサービス） 利用希望・充実度

- 通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）の利用希望について、「多い」が19.2%、「少ない」が60.3%となっています。
- 充実度は、「している」が17.9%、「させるべき」が51.3%となっています。

【利用希望】



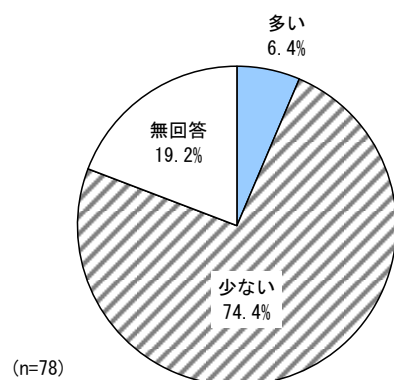
【充実度】



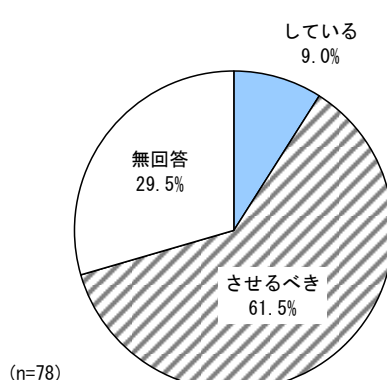
(8)通所型サービスB（住民主体による支援） 利用希望・充実度

- 通所型サービスB（住民主体による支援）の利用希望について、「多い」が6.4%、「少ない」が74.4%となっています。
- 充実度は、「している」が9.0%、「させるべき」が61.5%となっています。

【利用希望】



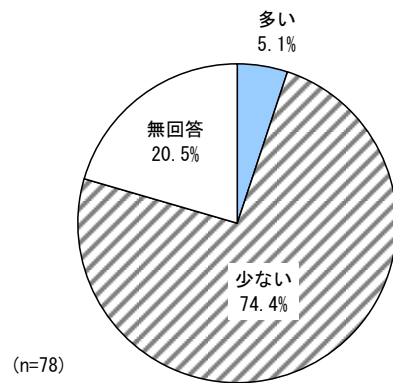
【充実度】



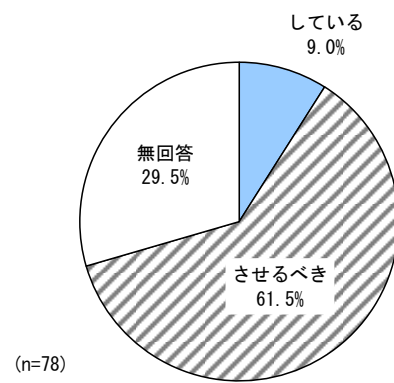
(9)通所型サービスC（短期集中予防サービス） 利用希望・充実度

- 通所型サービスC（短期集中予防サービス）の利用希望について、「多い」が5.1%、「少ない」が74.4%となっています。
- 充実度は、「している」が9.0%、「させるべき」が61.5%となっています。

【利用希望】



【充実度】



② 在宅福祉サービス

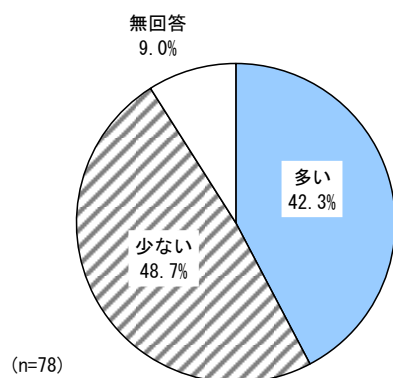
●問 15 高砂市の在宅福祉サービスについて、被保険者（家族含む）の利用希望が「1. 多いサービス」、「2. 少ないサービス」のどちらかを選び、またサービスが「3. 充実している」、「4. 充実させるべき」と思うものを、あてはまる欄に○で記入してください。

(1)介護用品（紙おむつ）給付 利用希望・充実度

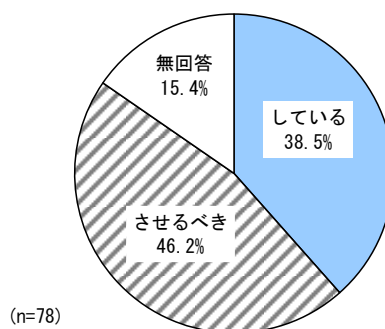
○ 介護用品（紙おむつ）給付の利用希望について、「多い」が 42.3%、「少ない」が 48.7%となっています。

○ 充実度は、「している」が 38.5%、「させるべき」が 46.2%となっています。

【利用希望】



【充実度】

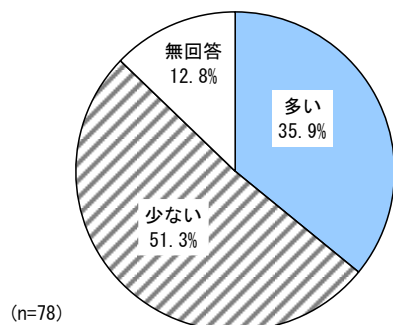


(2)緊急通報システム 利用希望・充実度

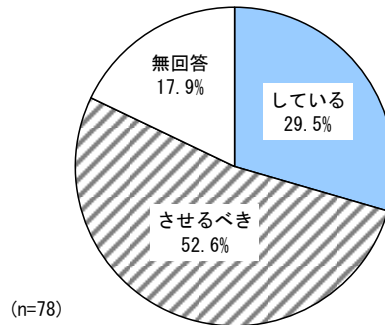
○ 緊急通報システムの利用希望について、「多い」が 35.9%、「少ない」が 51.3%となっています。

○ 充実度は、「している」が 29.5%、「させるべき」が 52.6%となっています。

【利用希望】



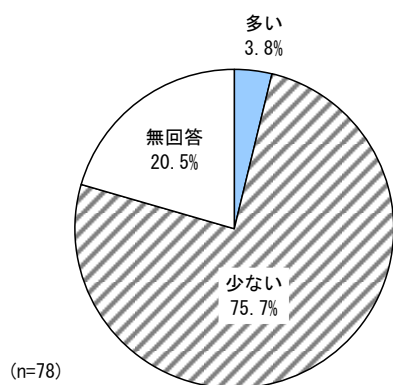
【充実度】



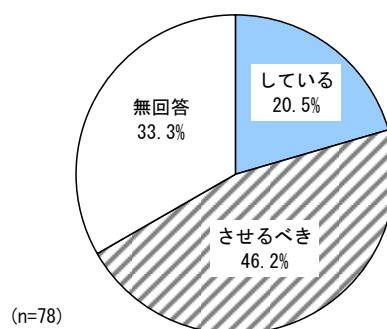
(3) 寝具丸洗い・乾燥消毒 利用希望・充実度

- 寝具丸洗い・乾燥消毒の利用希望について、「多い」が3.8%、「少ない」が75.7%となっています。
- 充実度は、「している」が20.5%、「させるべき」が46.2%となっています。

【利用希望】



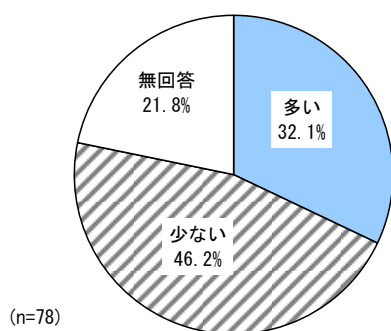
【充実度】



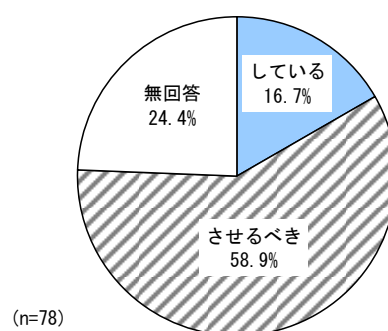
(4) 配食サービス費助成 利用希望・充実度

- 配食サービス費助成の利用希望について、「多い」が32.1%、「少ない」が46.2%となっています。
- 充実度は、「している」が16.7%、「させるべき」が58.9%となっています。

【利用希望】



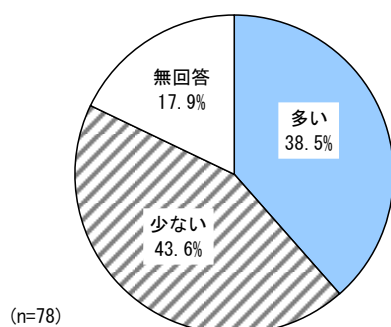
【充実度】



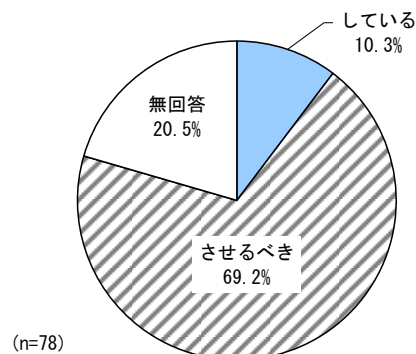
(5) 送迎費助成 利用希望・充実度

- 送迎費助成の利用希望について、「多い」が38.5%、「少ない」が43.6%となっています。
- 充実度は、「している」が10.3%、「させるべき」が69.2%となっています。

【利用希望】



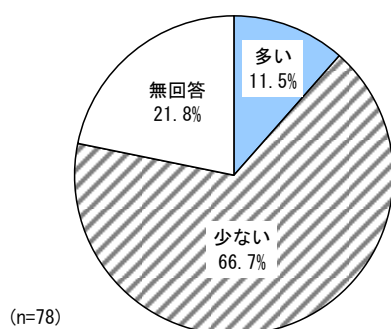
【充実度】



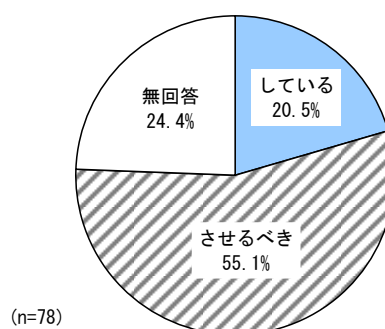
(6) 訪問理髪費助成 利用希望・充実度

- 訪問理髪費助成の利用希望について、「多い」が11.5%、「少ない」が66.7%となっています。
- 充実度は、「している」が20.5%、「させるべき」が55.1%となっています。

【利用希望】



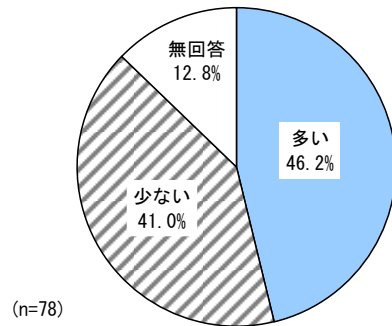
【充実度】



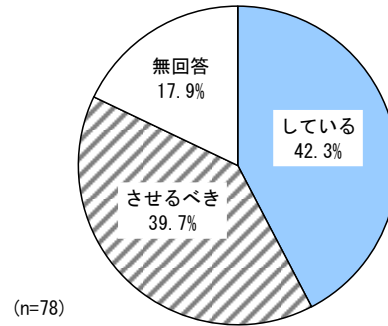
(7) 要介護高齢者等住宅改造費補助 利用希望・充実度

- 要介護高齢者等住宅改造費補助の利用希望について、「多い」が46.2%、「少ない」が41.0%となっています。
- 充実度は、「している」が42.3%、「させるべき」が39.7%となっています。

【利用希望】



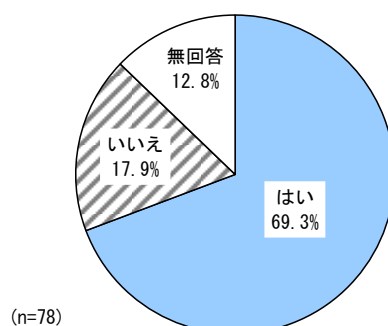
【充実度】



(3) インフォーマルなサービスの利用

●問 16 インフォーマルなサービスをプランに位置付けたことがありますか。(1つだけ)

○ インフォーマルなサービスをプランに位置付けた経験について、「はい」が 69.3%、「いいえ」が 17.9%となっています。

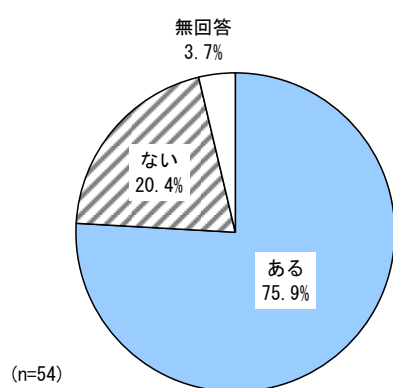


●問 16-1 あなたがケアプランの作成または見直し時に、以下のサービスを利用したことが「1. ある」、「2. ない」のどちらかを選び、またサービスが現在「3. 不足している」「4. 不足していない」と思うものを、あてはまる欄に○で記入してください。

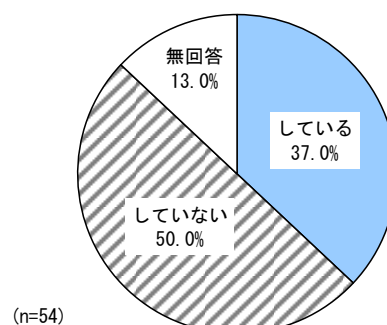
(1) ごみ出し 利用有無・不足度

○ ごみ出しの利用有無について、「ある」が 75.9%、「ない」が 20.4%となっています。
○ 不足度は、「している」が 37.0%、「していない」が 50.0%となっています。

【利用有無】



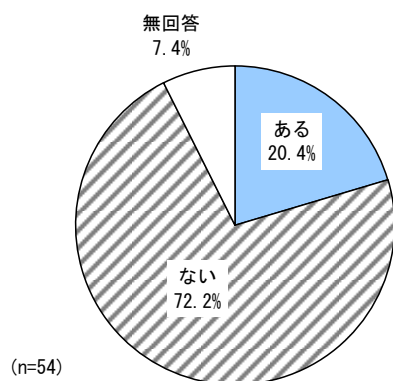
【不足度】



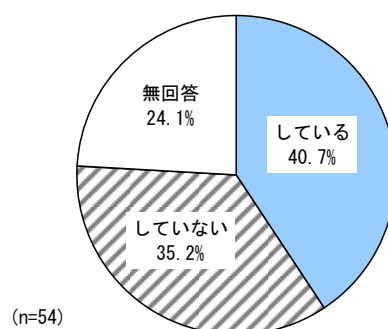
(2) 草取り・剪定 利用有無・不足度

- 草取り・剪定の利用有無について、「ある」が20.4%、「ない」が72.2%となっています。
- 不足度は、「している」が40.7%、「していない」が35.2%となっています。

【利用有無】



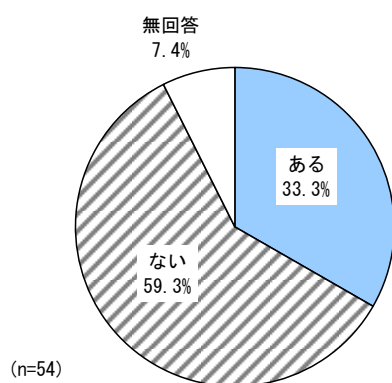
【不足度】



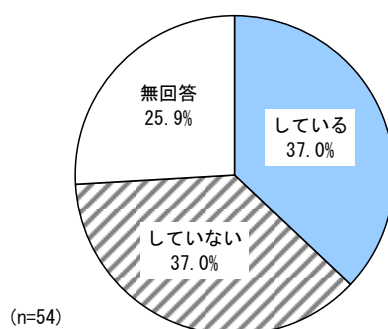
(3) 洗濯・部屋の掃除 利用有無・不足度

- 洗濯・部屋の掃除の利用有無について、「ある」が33.3%、「ない」が59.3%となっています。
- 不足度は、「している」「していない」とともに37.0%となっています。

【利用有無】



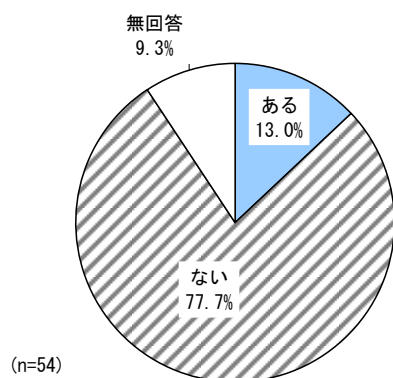
【不足度】



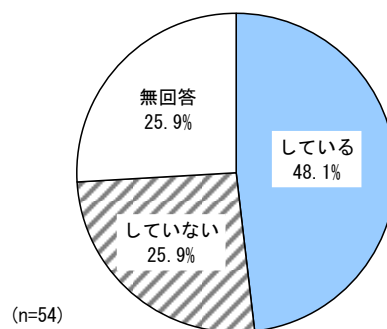
(4) 玄関前や家周りの掃除 利用有無・不足度

- 玄関前や家周りの掃除の利用有無について、「ある」が13.0%、「ない」が77.7%となっています。
- 不足度は、「している」が48.1%、「していない」が25.9%となっています。

【利用有無】



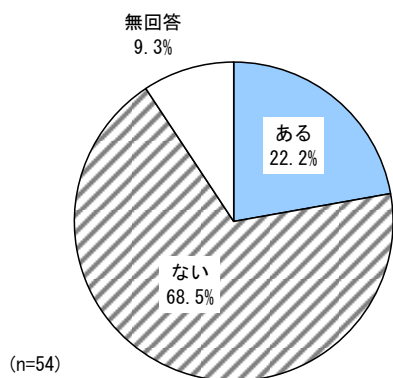
【不足度】



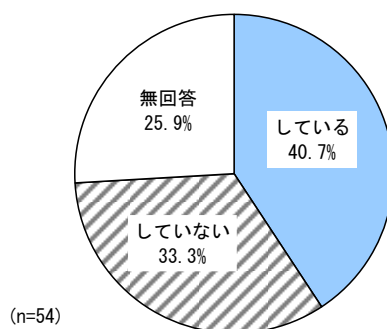
(5) 調理 利用有無・不足度

- 調理の利用有無について、「ある」が22.2%、「ない」が68.5%となっています。
- 不足度は、「している」が40.7%、「していない」が33.3%となっています。

【利用有無】



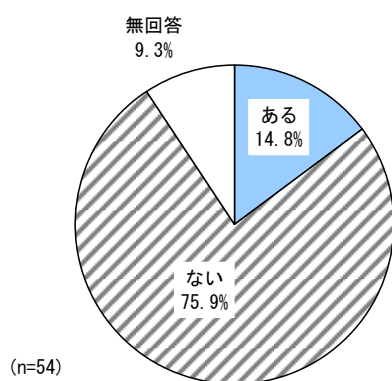
【不足度】



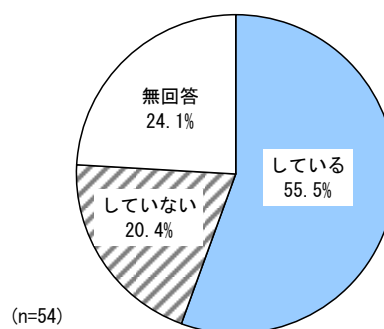
(6)話し相手 利用有無・不足度

- 話し相手の利用有無について、「ある」が14.8%、「ない」が75.9%となっています。
- 不足度は、「している」が55.5%、「していない」が20.4%となっています。

【利用有無】



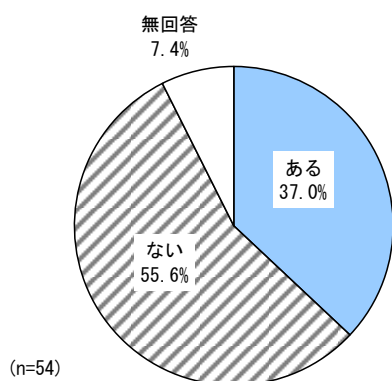
【不足度】



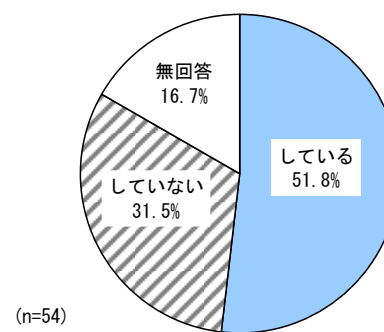
(7)買い物 利用有無・不足度

- 買い物の利用有無について、「ある」が37.0%、「ない」が55.6%となっています。
- 不足度は、「している」が51.8%、「していない」が31.5%となっています。

【利用有無】



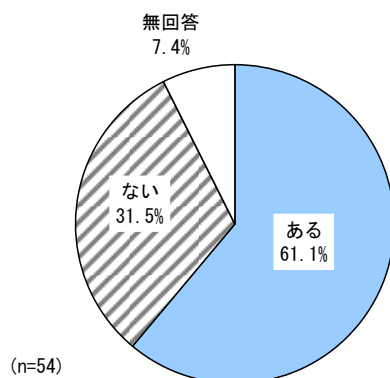
【不足度】



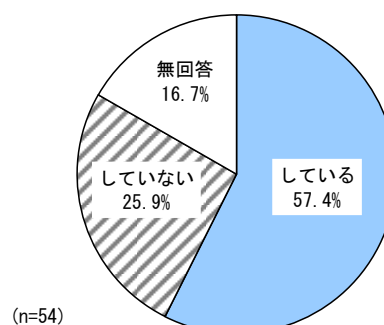
(8) 外出時の付き添い（通院等） 利用有無・不足度

- 外出時の付き添い（通院等）の利用有無について、「ある」が 61.1%、「ない」が 31.5%となっています。
- 不足度は、「している」が 57.4%、「していない」が 25.9%となっています。

【利用有無】



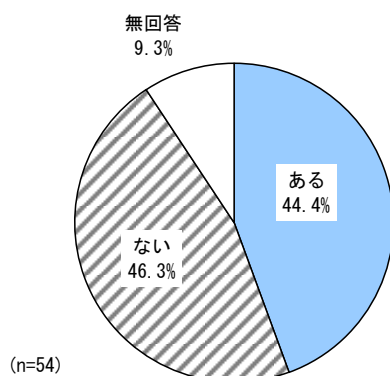
【不足度】



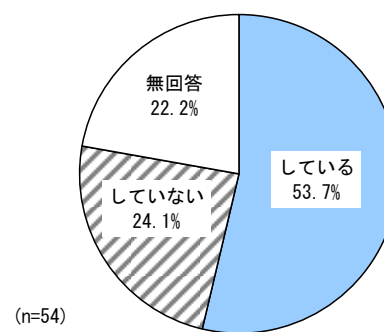
(9) 声かけ・見守り 利用有無・不足度

- 声かけ・見守りの利用有無について、「ある」が 44.4%、「ない」が 46.3%となっています。
- 不足度は、「している」が 53.7%、「していない」が 24.1%となっています。

【利用有無】

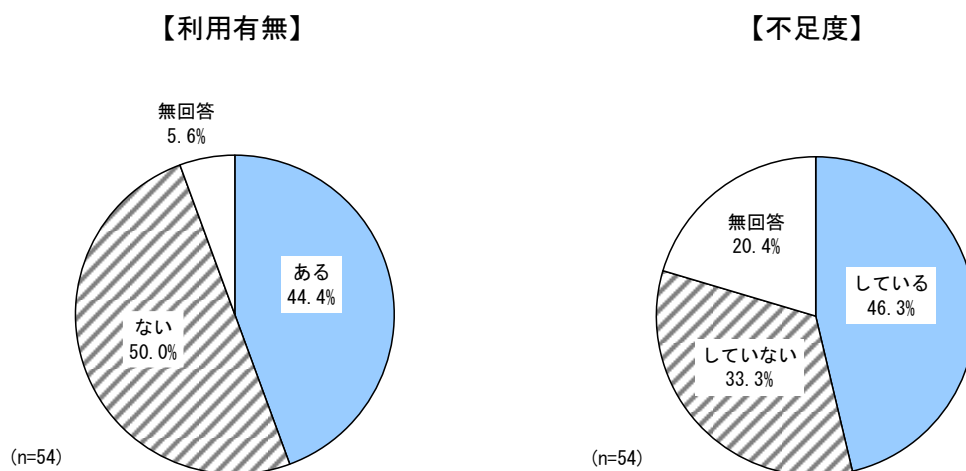


【不足度】



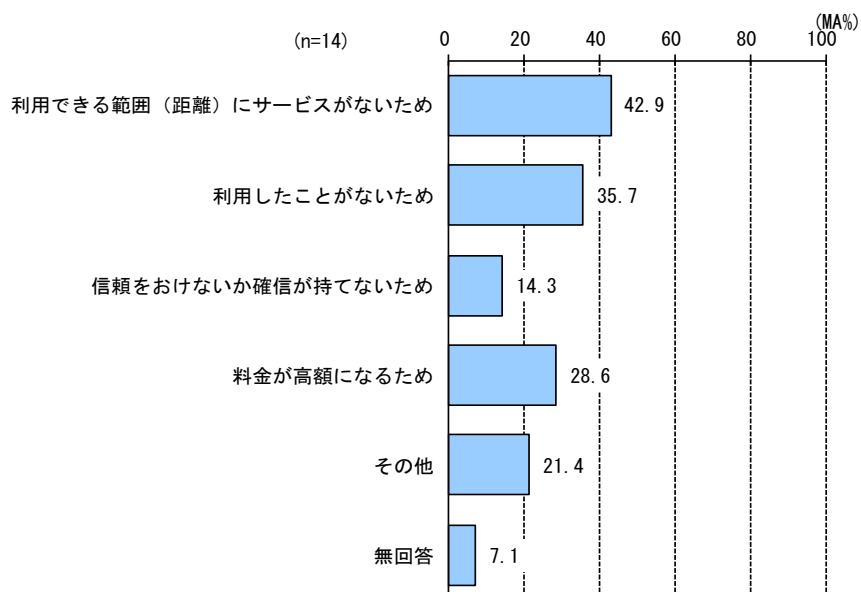
(10) サロン・通いの場 利用有無・不足度

- サロン・通いの場の利用有無について、「ある」が 44.4%、「ない」が 50.0%となっています。
- 不足度は、「している」が 46.3%、「していない」が 33.3%となっています。



●問 16-2 インフォーマルサービスをプランに位置付けたことがない理由は何ですか。(いくつかでも)

- インフォーマルサービスをプランに位置付けたことがない理由について、「利用できる範囲（距離）にサービスがないため」が 42.9%で最も多く、「利用したことがないため」が 35.7%、「料金が高額になるため」が 28.6%となっています。

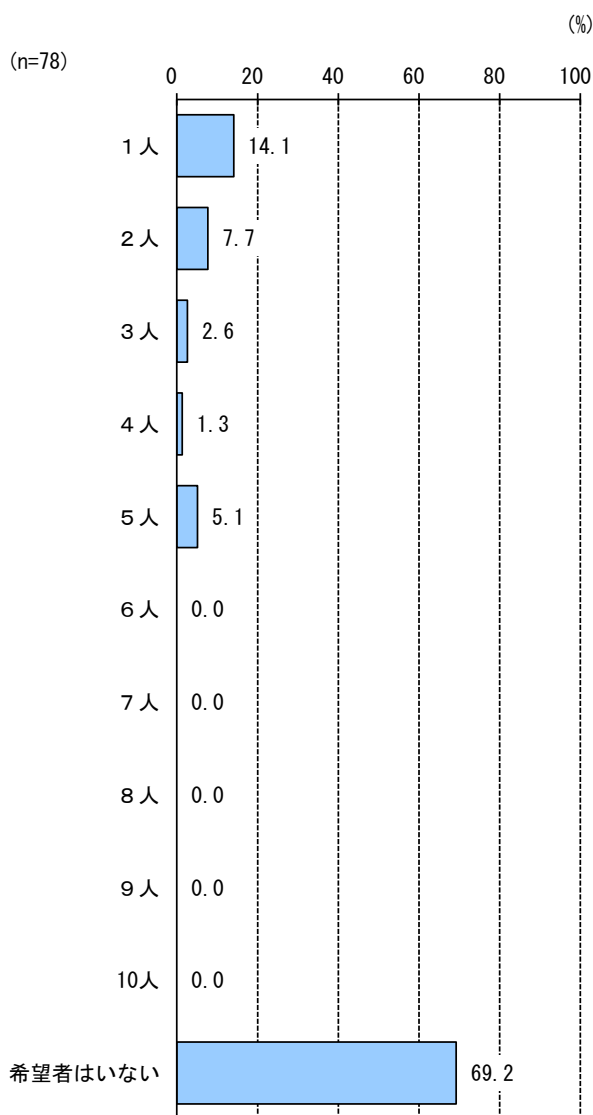


(4) 施設への入居希望

●問 17 現在担当している利用者で施設等への入居希望者はいますか。施設別に入居を希望している人数をご記入ください。利用者に複数の希望がある場合は、第一希望のみ加算してください。

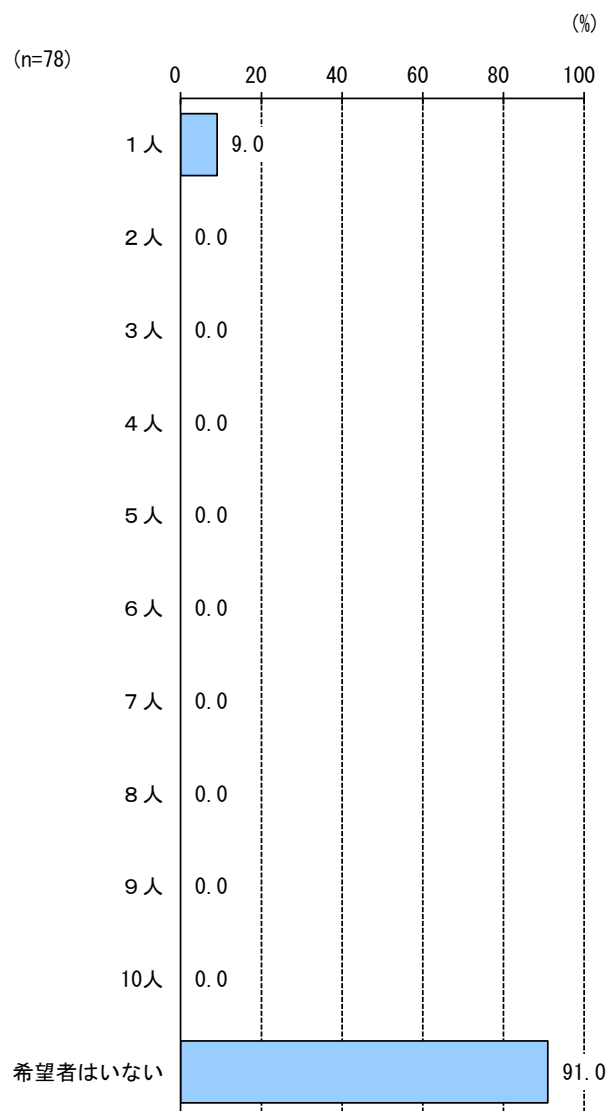
(1) サービス付き高齢者向け住宅

○ サービス付き高齢者向け住宅の入居希望者について、「希望者はいない」が 69.2%、回答があった中では「1人」が 14.1%で最も多く、「2人」が 7.7%、「5人」が 5.1%となっています。



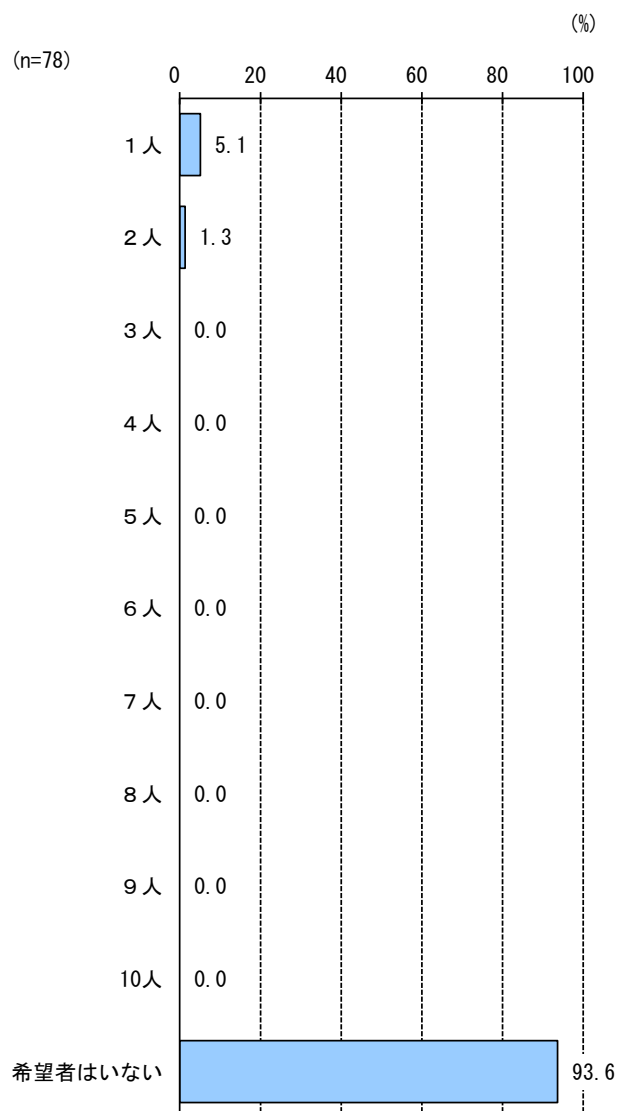
(2) 有料老人ホーム

○ 有料老人ホームへの入居希望者について、「希望者はいない」が91.2%、回答があった中では「1人」が9.0%となっています。



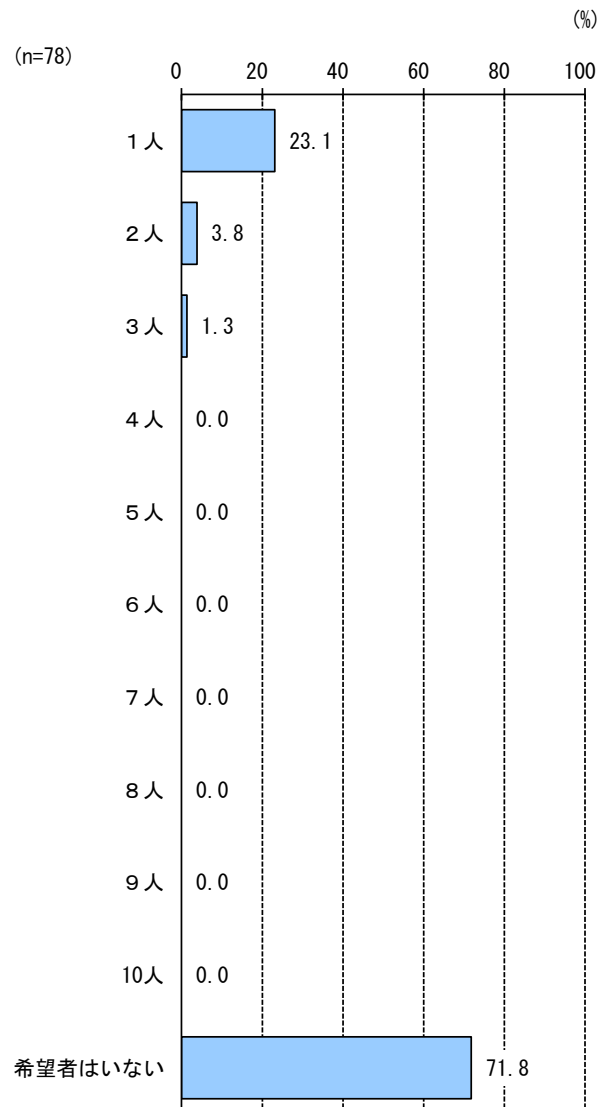
(3)介護付き特定施設

○ 介護付き特定施設への入居希望者について、「希望者はいない」が93.6%、回答があった中では「1人」が5.1%、「2人」が1.3%となっています。



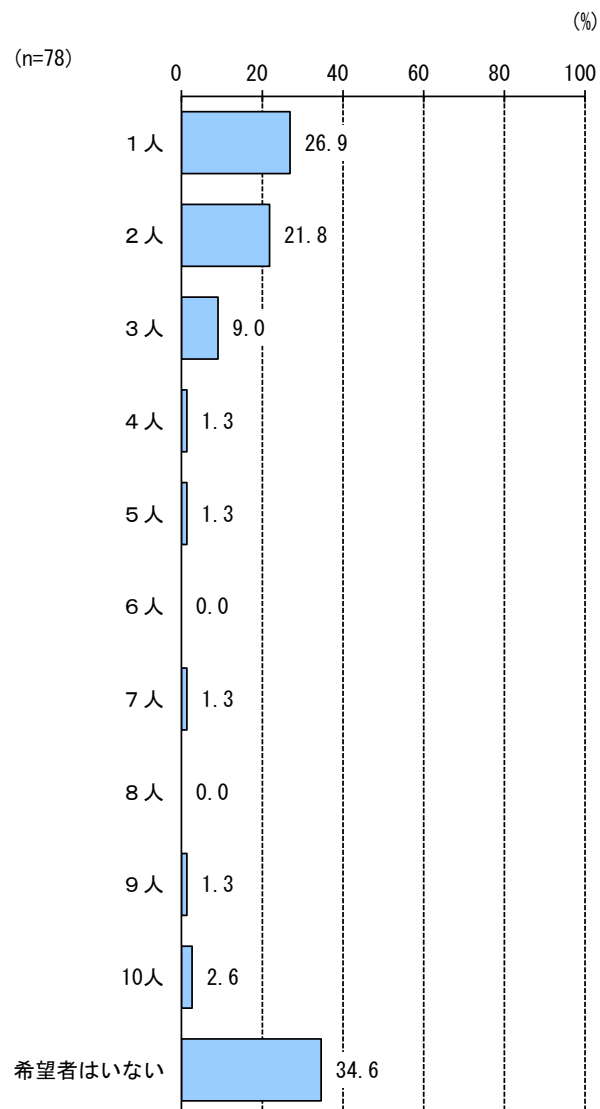
(4) グループホーム

○ グループホームへの入居希望者について、「希望者はいない」が71.8%、回答があった中では「1人」が23.1%で最も多く、「2人」が3.8%、「3人」が1.3%となっています。



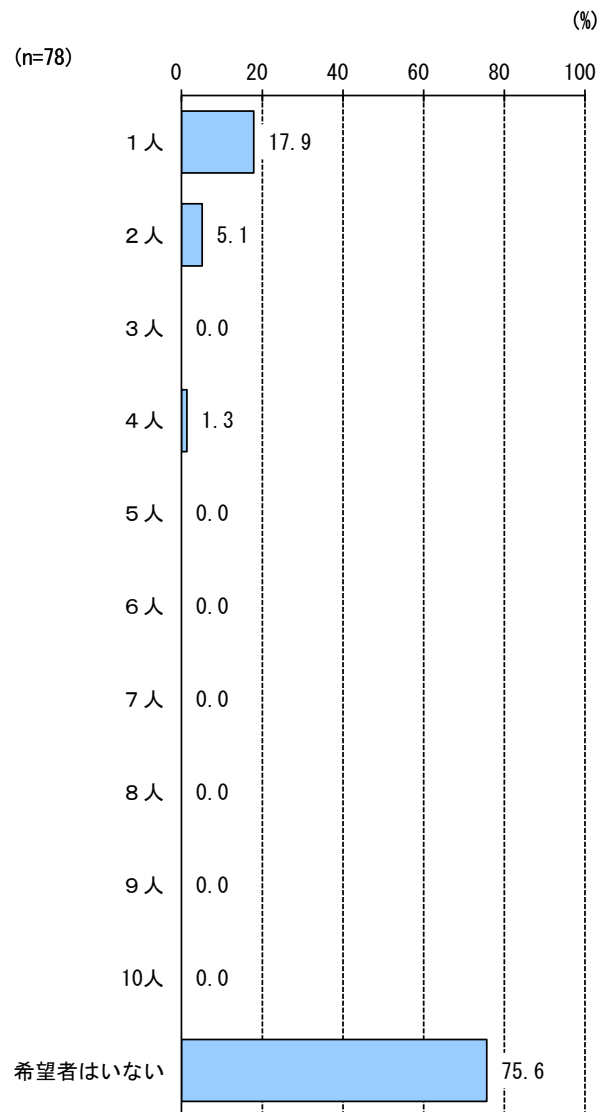
(5) 特別養護老人ホーム

○ 特別養護老人ホームへの入居希望者について、「希望者はいない」が34.6%、回答があった中では「1人」が26.9%で最も多く、「2人」が21.8%、「3人」が9.0%となっています。



(6) 老人保健施設

○ 老人保健施設への入居希望者について、「希望者はいない」が75.6%、回答があった中では「1人」が17.9%で最も多く、「2人」が5.1%、「4人」が1.3%となっています。



【入居希望者（施設別）】

単位：人

ケアマネジャーが回答した人数	1人	2人	3人	4人	5人
サービス付き高齢者向け住宅	11	6	2	1	4
有料老人ホーム	7	-	-	-	-
介護付き特定施設	4	1	-	-	-
グループホーム	18	3	1	-	-
特別養護老人ホーム	21	17	7	1	1
老人保健施設	14	4	-	1	-

ケアマネジャーが回答した人数	6人	7人	8人	9人	10人	合計
サービス付き高齢者向け住宅	-	-	-	-	-	53
有料老人ホーム	-	-	-	-	-	7
介護付き特定施設	-	-	-	-	-	6
グループホーム	-	-	-	-	-	27
特別養護老人ホーム	-	1	-	1	2	121
老人保健施設	-	-	-	-	-	26

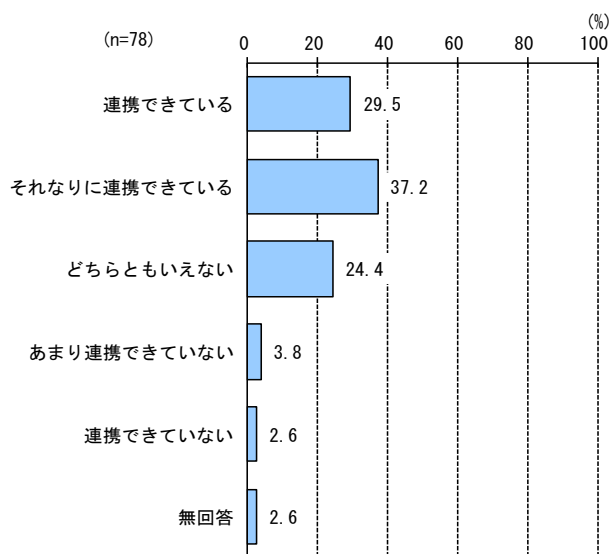
5. 周囲との連携

(1) 地域包括支援センターとの連携状況

●問 18 あなたは、地域包括支援センターとどの程度連携ができていますか。(1)～(6)それぞれ1つずつ)

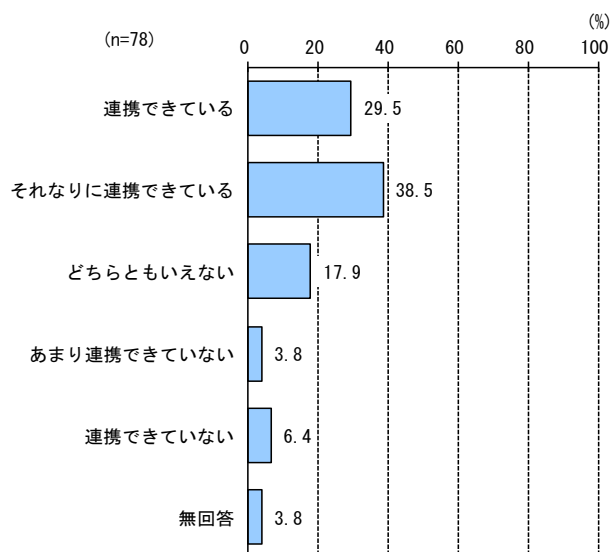
(1) 要支援者等の計画作成

○ 要支援者等の計画作成について、「それなりに連携できている」が37.2%で最も多く、「連携できている」が29.5%、「どちらともいえない」が24.4%となっています。



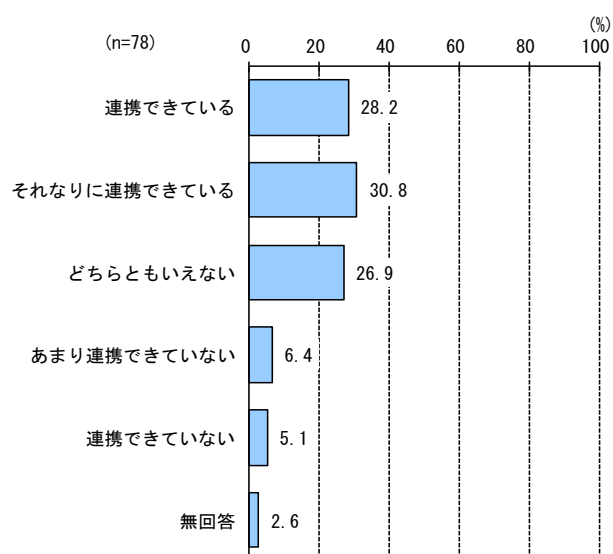
(2) 困難事例への対応

○ 困難事例への対応について、「それなりに連携できている」が38.5%で最も多く、「連携できている」が29.5%、「どちらともいえない」が17.9%となっています。



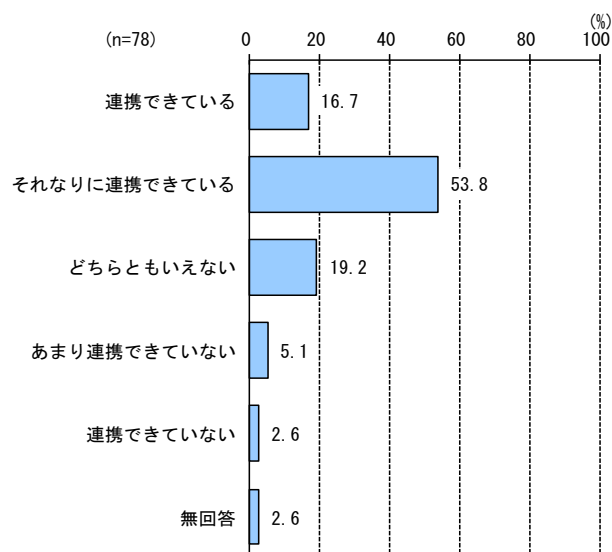
(3) 虐待事例の早期発見と報告

- 虐待事例の早期発見と報告について、「それなりに連携できている」が 30.8%で最も多く、「連携できている」が 28.2%、「どちらともいえない」が 26.9%となっています。



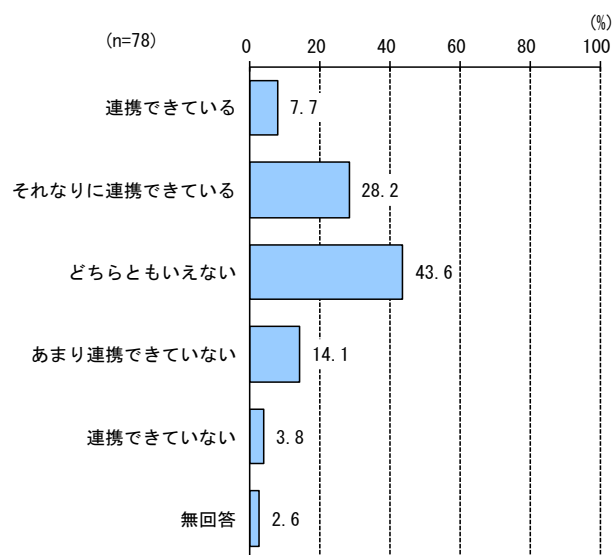
(4) 資質向上に向けた研修

- 資質向上に向けた研修について、「それなりに連携できている」が 53.8%で最も多く、「どちらともいえない」が 19.2%、「連携できている」が 16.7%となっています。



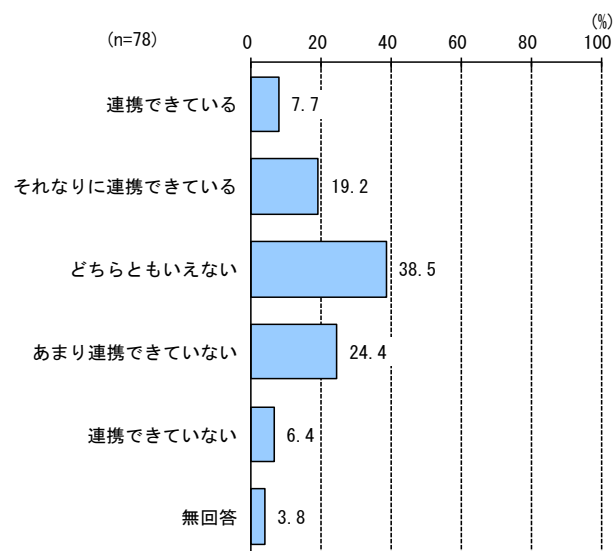
(5) 地域や関係機関との調整・ネットワーク作り

- 地域や関係機関との調整・ネットワーク作りについて、「どちらともいえない」が43.6%で最も多く、「それなりに連携できている」が28.2%、「あまり連携できていない」が14.1%となっています。



(6) 医療機関との調整

- 医療機関との調整について、「どちらともいえない」が38.5%で最も多く、「あまり連携できていない」が24.4%、「それなりに連携できている」が19.2%となっています。



- 問 19 地域包括支援センターの役割について、あなたが日頃の業務を行うなかで感じていることを、ご自由にお書きください。

権利擁護的な機能に特化した部署があると、利用者も事務所も大変心強い。
包括支援センターも人が多くなり、関わりのある人とは、顔なじみになり相談もしやすいです。
困難事例への対応では、相談できる場所があり、皆で対応できる為、心強いです。
困ったことなど色々アドバイスを受けています。助けて頂いています。
困難事例の報告、相談を行うがアドバイスに欠けている。地域ケア会議の開催をもっとしてほしい。
地域課題を抽出し、不足しているもの、課題解決に向けて行政とともに考えていく。
相談しやすい雰囲気です。
地域のケアマネジャーにとっても相談窓口であり、対応困難な事例やアイデア等、気軽に相談させてもらっている。困難事例や近隣の問題等を含む場合には、同行訪問等もしていただき、第三者からの意見や記録も頂ける為、安心して業務に取り組むことができます。
困難事例を相談し助言をもらえる、インフォーマルなサービスの紹介をしてもらえる等、困った時に頼りになり、一人で抱え込まなくて良いという安心感がある。
地域包括支援センターが多く事業委託を受け過ぎているように感じています。一般相談の受け方や細かい事では、電話の切り方等、相談援助職として必要な資質向上よりも受託事業に注力しなければいけない環境で、業務についているように推察され気の毒に感じています。地域包括は、社会福祉法人が受託している一事業所でありながら、行政色が濃く感じます。24時間対応もなく、土日は休みということを設置主体の行政が許容しているからなのではないでしょうか？民間事業所としては、不思議に感じますし、利用者さんからも「あてにならない」と聞いたことがあり残念です。
制度に詳しくない市民がまず初めに相談に出向くところになるので、窓口として相談にあたる包括職員の方は適切なアドバイスができる方がその職にあたってほしいと思います。一番先に市民に対する包括の役割は大きいと思います。
地域包括支援センターという一つの事業所を考えているので、ケアマネジメント業務を行う上で、必要と思えば連携もしますが、今は、あまりその機会はありません。支援者支援＝研修開催という考えはおかしいと思います。支援者支援というなら、もう少し居宅介護支援事業所での経験をしっかり持ってケアマネジャーの業務、アセスメント等が分かっている人材を置いてください。
職員の数や人の出入りが多く相談しにくい雰囲気を感じています。請求時の書類が多く、準備が大変です。時間が非常にかかります。
困難なことを相談できる頼りになる存在ですが、請求の方法については簡素にならないものかと思っています。
いつも忙しそうで情報交換や相談がしにくいと感じます。

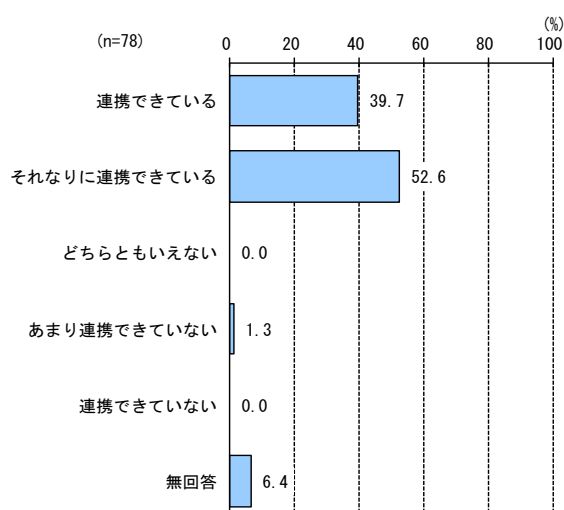
相談はのってくれるが、一般的な回答のみという場合が多い。包括にもできる事とできない事があるのは理解しているが、困難事例での相談等、もう少し明確な回答や指示が出せるようになって下されば助かるが、正直、相談しても、回答は予想の範囲という事の方が多い。
困難事例の相談について責任をもって対応してほしい。
認知症があり、家族と一緒に在宅で生活されている方が入院となった時の緊急の受け入れがスムーズでない。
相談することもあります。包括と連携しても解決の糸口とならないケースがいくつかあった為、相談しにくい。
3 職種の立場から専門的な意見をもらえるので助かります。
最近では、担当している本人だけでなく、その家族にもさまざまな問題がある事が多い。支援困難事例に対し、相談できる環境が身近に感じることができれば助かります。
地域包括と行政(保険者)との連携、意思統一が図れているかに疑問がある。
居宅が予防プランを多数担当するのは収入の面で難しい。土、日の対応を包括がしてほしい。
ケアマネジャーの後方支援も役割があるという認識でいるが、当市の地域包括支援センターにおいては、その印象を抱きにくく、むしろ逆転しているのではないかと思うことがある。インフォーマルサービスについても包括のみだけが把握活用するのではなく、メーリングリスト等大いに活用してリアルタイムで新しい情報を活用できるようにして欲しい。書類の提出について期限内で提出するようにしているが、確認後の書類をいただくのが1ヶ月以上経過している事があり、結果的に事業所に渡すのが遅れる事があるので何らかの方法を検討いただきたく思う。今後の地域福祉計画においても包括が市民の声を汲み上げ主体的に取り組んでいただきたい。
役割が広範囲で大変であると思います。困難事例など問い合わせすると、迅速に対応して頂けるので助かっています。
土・日が休みなので困る。
研修開催、多職種連携研修など、支援業務技術の向上等のため動いて下さっている。
たくさんのケースを抱えておられると思いますが、委託（外部居宅へ）出しすぎではないかと思っています。
何でも相談しやすいです。力強いです。
限られた制度や人的資源の内でよく対応して下さいと感じます。

(2) 多様な関係者との連携状況

●問 20 あなたは、業務を実施するうえで、次の関係者とどの程度連携できていると思いますか。(1)～(5)それぞれ1つずつ)

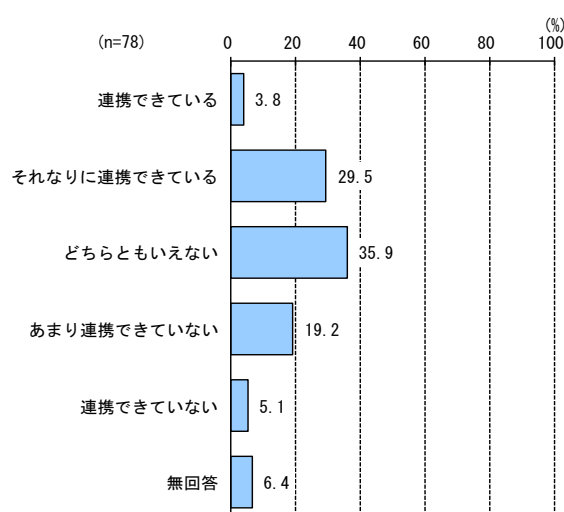
(1) サービス提供事業所

○ サービス提供事業所について、「それなりに連携できている」が52.6%で最も多く、「連携できている」が39.7%、「あまり連携できていない」が1.3%となっています。



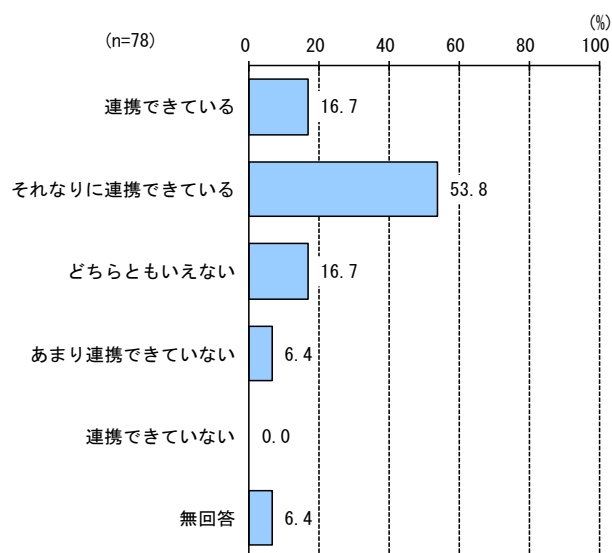
(2) 医療機関（主治医）

○ 医療機関（主治医）について、「どちらともいえない」が35.9%で最も多く、「それなりに連携できている」が29.5%、「あまり連携できていない」が19.2%となっています。



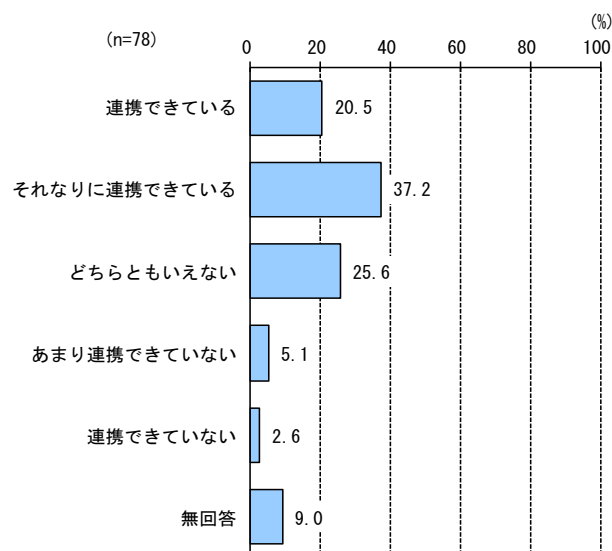
(3) 医療機関（MSW）

○ 医療機関（MSW）について、「それなりに連携できている」が 53.8%で最も多く、「連携できている」「どちらともいえない」が 16.7%、「あまり連携できていない」が 6.4%となっています。



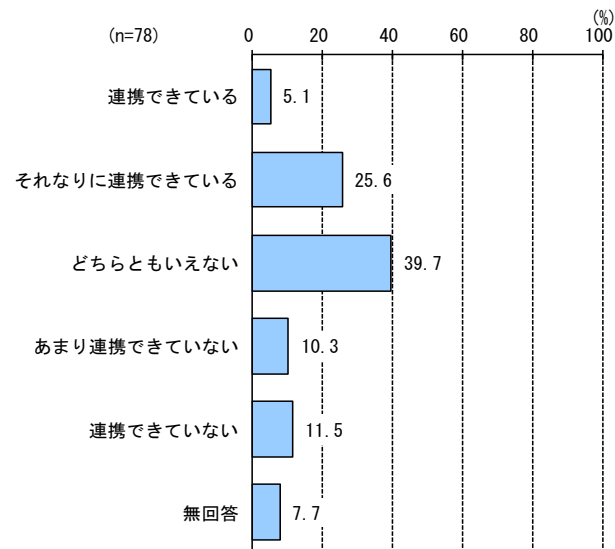
(4) 地域包括支援センター職員

○ 地域包括支援センター職員について、「それなりに連携できている」が 37.2%で最も多く、「どちらともいえない」が 25.6%、「連携できている」が 20.5%となっています。



(5) 高砂市職員

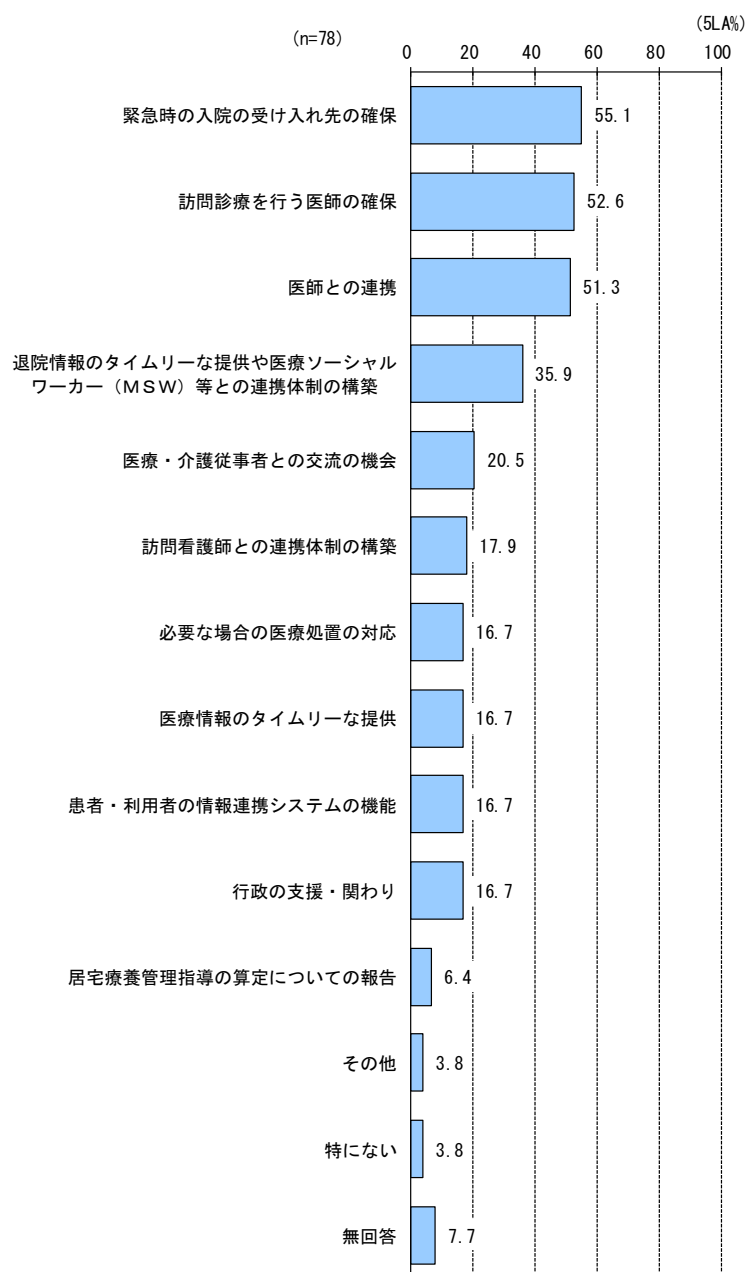
○ 高砂市職員について、「どちらともいえない」が 39.7%で最も多く、「それなりに連携できている」が 25.6%、「連携できていない」が 11.5%となっています。



(3) 医療との連携において必要なこと

●問 21 あなたは、医療連携でどのような面を充実させるべきと感じていますか。(5つまで)

○ 充実させるべき医療連携について、「緊急時の入院の受け入れ先の確保」が55.1%で最も多く、「訪問診療を行う医師の確保」が52.6%、「医師との連携」が51.3%となっています。



6. ケアマネジャーとして感じること

●問 22 ケアマネジャーとして日頃の業務を行うなかで感じていることを、ご自由にお書きください。

日々業務に追い込まれる時もあり、スキルアップのための研修に参加しにくいことがあります。
施設利用等もできないことがあり、病院入院も少し敬遠され、ケアマネジャーに保証人的役割を委ねられることもあります。ケアマネジャーの将来性に不安を感じます。
ケアマネジャー1人で利用者を抱えてしまい、大変になっている。また、帳票類も多くあり、ますますケアマネジャーの業務が大変になっている。ケアマネジャー業務がブラック仕事になっている。帳票類は簡素化すべき。
時間が圧倒的に足りません。家族の代わりをする業務が増えています。また、介護保険で賄おうとすると、介護度や費用が出せない状況も多くあります。受診も一人で出来ない利用者も増えています。介護保険では対応できない事が多くあり、ボランティア等のサービスがもっとあればいいと思う。
業務内容が多くて、日々悩みます。
あちらこちらからアンケートの協力依頼があります。中には、長期に渡る場合もあり、ケアマネジャー業務以外に時間をとられ困ります。アンケートによって、ケアマネジャー業務が良くなりケアマネジャーになりたいと思う人が増えることを望みます。
その方の必要としているサービスをきちんと提供できているのか？など、自分の知識の中で不安なことが沢山あります。もっと話を聞けたらいいと思いますが、時間がなく満足には話が聞けていないかとも思うこともあり心配です。また、きちんと書類などが正しく作られているかなど不安です。
介護保険制度に依存しすぎてサービスを考えていく傾向が強いので、介護保険サービスに代わるものを考えていく必要があるかと思います。体調が悪い時だけ、支援が必要な時だけ、例えば1ヶ月のみ利用するようなサービスがあっても良いように思います。
書類作成が多く簡素化できないのかと感じています。
仕事量が多すぎる。
ケアマネジャーが地域や行政から連携や問題解決等求められる事がこれから多くなっていくかと思っています。各者との連携を行っていきたいと思いますが、きっかけなどなく、あまり行えていない状況です。研修や会などあれば参加していきたいです。
書類が多すぎる。業務の流れの順序をマニュアル通りに行っていたら、緊急対応ができない。フェイスシートもアセスメント票も依頼票も内容が同じなのに、書式をかえる必要があるのか常に疑問。計画書もサービスが変わる時に更新すれば良いと思う。
例外給付申請時のアセスメント表提出等、厚労省が書類の手間を省略しようとしている中、時代に逆行するものとも考えられる行政指示については説明会等を設け、相互理解の上でより良い制度運営ができるようにしていただければと思います。行政との意見交換会を定期的に開催している地域もありうらやましく思っています。ぜひ、ご一考下さいますようお願いします。

<p>認定調査時の資料の閲覧申請を行った時、急ぎ交付をお願いしたいと思うことがあります。窓口に行った時に、今は、高年介護課と障がい・地域福祉課の受付場所が共用になりました。できれば、分けてもらえたら、それぞれの職員さんにもどの課に用があるのかわかりやすく、双方対応しやすいと感じています。高砂町に住んでいる高齢者の方が買い物に困っています。まだ、試験的ですがコープへの買い物をアスパにも拡大できたらいいのではと思います。</p>
<p>連携という名の不必要な機関、人、手続きが増えすぎ。もっとシンプルにマネジメント業務をしたい。ケアマネジャーの役割、責任を増やしている割には、ケアマネジャーの判断、権限が制限されすぎ。信用されていない。</p>
<p>記録が多く、日々追われる感じがします。</p>
<p>何が正解か分からないので自分のやっていることも正しいか日々悩みます。</p>
<p>とにかく時間が足りないと感じています。</p>
<p>業務に追われ、時間がない。個別に利用者様訪問は、随時（モニタリングは別）行っているが、他事業所までの訪問をする時間が取れない所はある。情報共有をスムーズに行えるようにするには…と悩むところがある。</p>
<p>書類が多く訪問時間（利用者宅）が取りにくくモニタリングも充分できない。</p>
<p>日々、書類作成に追われてしまいます。書類の簡素化ができれば、もう少し利用者様としっかり向き合える時間が持てると思います。利用者様もそれを望まれていらっしゃると思います。</p>
<p>ケアマネジャーとしての経験も浅く難しいことが多い。時間外にも呼び出されることや電話も多く、大変と感じることが多い。利用者の為にとはいえ頑張っているが、体力的、精神的にもきつく感じる時が増えてきている。</p>
<p>本人は、悪くないのに、家族や身内が無責任。使い込みをしていて、本人の生活をおびやかす事があると思う。今後もますます増えていくことが予想されるので、難しいなと思う。</p>
<p>利用者さんに対してのケアマネジャーの仕事として、どこまで行えばベストなのか分からない。</p>
<p>求められているものが大きいと感じ業務量と合っていない。アセスメントの重要性は分かるが、事務作業の多さにアセスメントに充てられる時間が少なくなる。</p>
<p>在宅サービスを利用しなければ、ケアマネジャーに報酬は入らない。退院調整をしても、施設に入所すれば無報酬、お金にならない。振り回されているばかりの業務が多い。</p>
<p>認定結果を早く出して頂けると、サービスの調整がしやすくなります。</p>
<p>責任がかかる仕事だと思います。新しく変わる制度についていけるように日々勉強です。</p>
<p>困難事例や状態の変化等により頻回な訪問・様子観察が必要、家族との関わりを持つ必要がある等の業務に加え、書類作成業務が多く、追いつかない現状がある。</p>
<p>記録等の書類作成が多い。プラン変更時には、印が必要であったり保険証の受け渡し等、頻回な訪問で業務量が多い。</p>
<p>事務作業の時間割合が大きい為、自己研鑽や研修に時間をあてることが困難である。実働があるにも関わらず、給付管理上は報酬につながらないことは徒労に感じる。モニタリングは自宅では分からないこともあるので、サービス事務所へのモニタリングも可能となればと思う。</p>
<p>ケアマネだけ過度に資質を問われ不快に思っている。書類や記録しておくことが多く、負担になっています。</p>

日々試行錯誤しながら業務に取り組んでいる。書類作成の多さ、煩雑さ、整えておくべき書類の量は減ることなく負わされる。書類はより多くなる一方である。これが全てとは言えないがケアマネジャー減少に歯止めが効かない状況は一考いただきたと思う。
書類作成等の業務が多い。
事務処理が多すぎる。もっと利用者に関わる時間が必要。
書類作成が多すぎて、書類に追われている。
紙ベースを減らしてほしい。話相手などインフォーマルサービスを利用したいのもっと表に出してほしい。
事務処理に追われてしまいがちですが、できる限り利用者様との接する時間を持てる工夫が必要だと思います。
緊急対応も多く日々忙しい。振り返りをきちんとしたい。
利用者に対する虐待は大きく取り沙汰される中、利用者側からの暴言は？認知が原因だと思いますが、大きな声で怒り出される時があり、事業所も理由をつけて変えている。
利用者ができる限り自宅で最期に近づくまで居ることができるように支援をしたい。時間に追われ丁寧な対応を心がけるも上手に切り上げて…というのは自分には難しいところ。帳票のモニタリング表は支援経過で読み替えてほしい。書類と、本人との直接支援とどちらが大切か、本末転倒ではないか。ケアマネジャーも疲れて良い支援ができないのではと思う。

資料編

アンケート調査票

高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画（第8期）
策定のためのアンケート調査結果報告書

発行 高砂市 福祉部 地域福祉室 高年介護課
〒676-8501
兵庫県高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号
電話（079）443-9063・9026・9137